

Ⅲ. 調查結果

Ⅲ. 調査結果の分析

1 居住年数と前住地について

(1) 居住年数

問1. 府中市に住んで何年くらいになりますか。次の中から1つだけ選んでください。
(n=835)

1. 3年以下	3. 10年以下	6. 25年以下
2. 5年以下	4. 15年以下	7. 25年を超える
	5. 20年以下	

居住年数では、「25年を超える」(41.3%)、「10年以下」(14.0%)、「15年以下」(11.4%)の順で高くなっている。

また、居住年数が5年以下の『短期居住者』(16.4%)、5年を越えて20年以下の『中期居住者』(34.3%)、20年を超える『長期居住者』(47.9%)とみる3分類では、『長期居住者』の割合が半数近くを占めている。

居住年数分類	居住年数	回答者数(人)	割合(%)
短期居住者	3年以下	89	10.7
	5年以下	48	5.7
中期居住者	10年以下	117	14.0
	15年以下	95	11.4
	20年以下	74	8.9
長期居住者	25年以下	55	6.6
	25年を超える	345	41.3
	(無回答)	12	1.4
合計		835	100.0

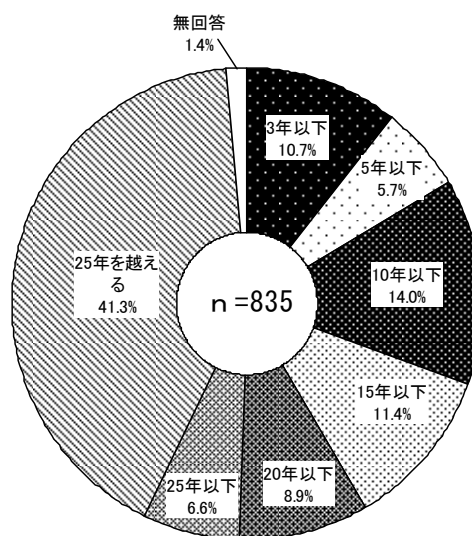


表 1-1 居住年数

図 1-1 居住年数

居住年数を地区別で比較すると、居住年数が20年を超える『長期居住者』の割合は、「新町」(59.2%)、「片町」(57.7%)、「住吉」(55.8%)の順で高くなっている。一方、居住年数が5年以下の『短期居住者』の割合は、「押立」(41.7%)が最も高く、「武蔵台」(21.5%)、「白糸台」(20.4%)の順となっている。

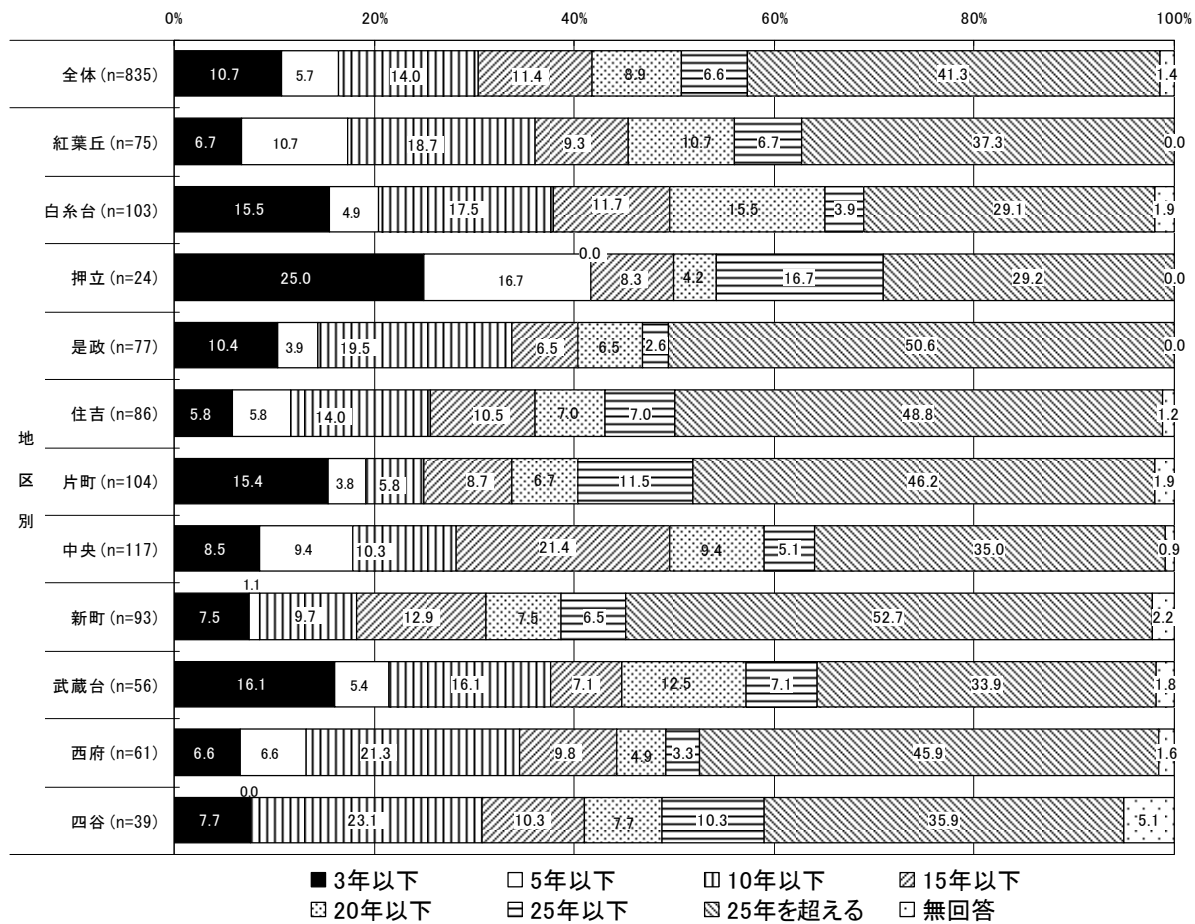


図 1-2 居住年数 (地区別)

(%)

地区名	短期居住者	中期居住者	長期居住者
紅葉丘 (n=75)	17.4	38.7	44.0
白糸台 (n=103)	20.4	44.7	33.0
押立 (n=24)	41.7	12.5	45.9
是政 (n=77)	14.3	32.5	53.2
住吉 (n=86)	11.6	31.5	55.8
片町 (n=104)	19.2	21.2	57.7
中央 (n=117)	17.9	41.1	40.1
新町 (n=93)	8.6	30.1	59.2
武蔵台 (n=56)	21.5	35.7	41.0
西府 (n=61)	13.2	36.0	49.2
四谷 (n=39)	7.7	41.1	46.2

表 1-2 居住年数 (地区別)

(2) 前住地

《 問1で「1」または「2」をお答えの方に 》

問1-1. 府中市に住む前はどちらに住んでいましたか。次の中から1つだけ選んでください。

(n = 137)

1. 都内23区
2. 23区以外の都内
3. 神奈川・千葉・埼玉
4. その他 ()

居住年数が5年以下の短期居住者の前住地としては、「23区以外の都内」(34.3%)、「都内23区」(24.8%)の順で高くなっている。

前住地	回答者数(人)	割合(%)
23区以外の都内	47	34.3
都内23区	34	24.8
神奈川・千葉・埼玉	27	19.7
その他	29	21.2
(無回答)	0	0.0
合計	137	100.0

表 1-3 前住地

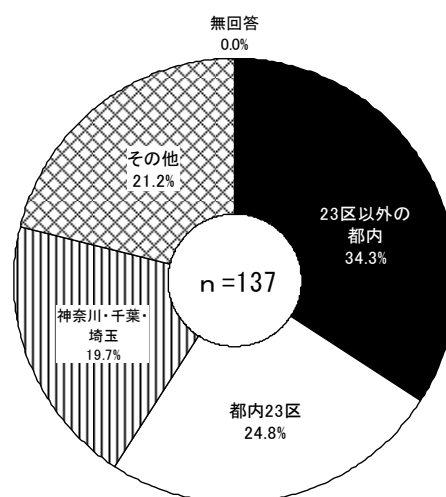


図 1-3 前住地

(3) 府中市に住んでいる理由

《 問1で「3」「4」「5」「6」「7」をお答えの方に 》

問2. 府中市にお住まいになっている最も大きな理由は何でしょうか。次の中から1つだけ選んでください。(n=686)

1. 親の代から住んでいたから
2. 知人や親戚の人が近くにいたから
3. 適当な住宅や土地が見つかったから
4. 周囲の環境がよかったから
5. 通勤・通学に便利だから
6. 仕事・学校の関係で
7. その他()

居住年数が5年を越えると回答した人の府中市に住む最も大きな理由としては、「親の代から住んでいたから」(31.6%)が最も高く、「適当な住宅や土地が見つかったから」(17.9%)、「周囲の環境がよかったから」(13.8%)、「通勤・通学に便利だから」(9.9%)の順で高くなっている。

府中市に住む理由	回答者数(人)	割合(%)
親の代から住んでいたから	217	31.6
適当な住宅や土地が見つかったから	123	17.9
周囲の環境がよかったから	95	13.8
通勤・通学に便利だから	68	9.9
仕事・学校の関係で	59	8.6
知人や親戚の人が近くにいたから	56	8.2
その他	46	6.7
(無回答)	22	3.2
合計	686	100.0

表 1-4 府中市に住む理由

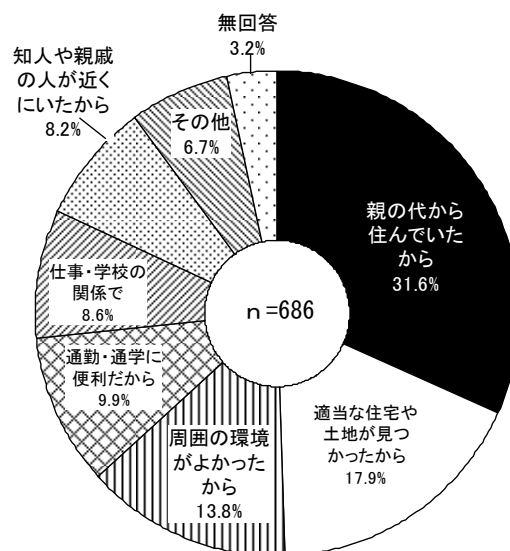


図 1-4 府中市に住む理由

府中市に住む理由を地区別にみると、「四谷」「紅葉丘」を除いた全ての地区で「親の代から住んでいたから」が最も高くなっている。「四谷」では、「適当な住宅や土地が見つかったから」が最も高く、「紅葉丘」では、「親の代から住んでいたから」と「適当な住宅や土地が見つかったから」が等しく最も高い。

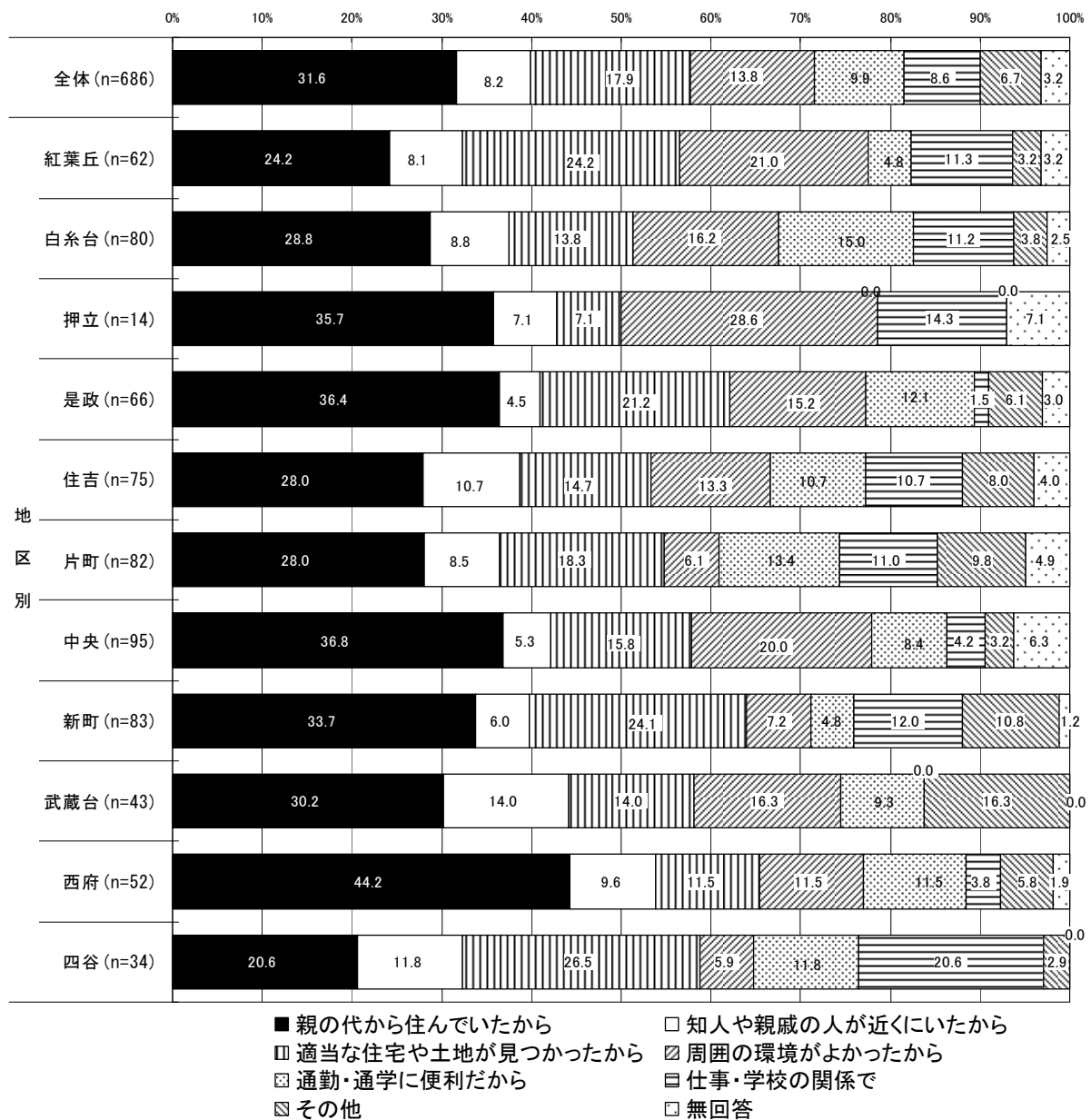


図 1-5 府中市に住む理由

2 住み心地について

問3. 府中市は住みよいところだとお感じになりますか。それとも住みにくいところだとお感じになりますか。次の中から1つだけ選んでください。(n=835)

1. 住みよい
2. どちらかといえば住みよい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい

「住みよい」(54.3%)、「どちらかといえば住みよい」(41.4%)を合わせた『住みよいと感じる割合』は、9割半ば(95.7%)にのぼる。また、「住みにくい」(0.4%)、「どちらかといえば住みにくい」(3.0%)を合わせた『住みにくいと感じる割合』は3.4%にとどまっている。

住み心地	回答者数(人)	割合(%)
住みよい	453	54.3
どちらかといえば住みよい	346	41.4
どちらかといえば住みにくい	25	3.0
住みにくい	3	0.4
(無回答)	8	1.0
合計	835	100.0

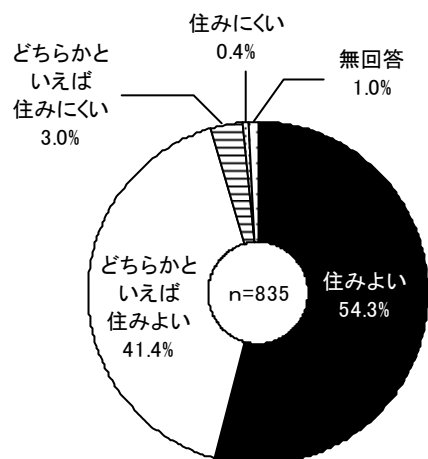


表 2-1 住み心地

図 2-1 住み心地

年度別にみると、『住みよいと感じる』割合は、平成4年から20年間9割半ばを維持している。

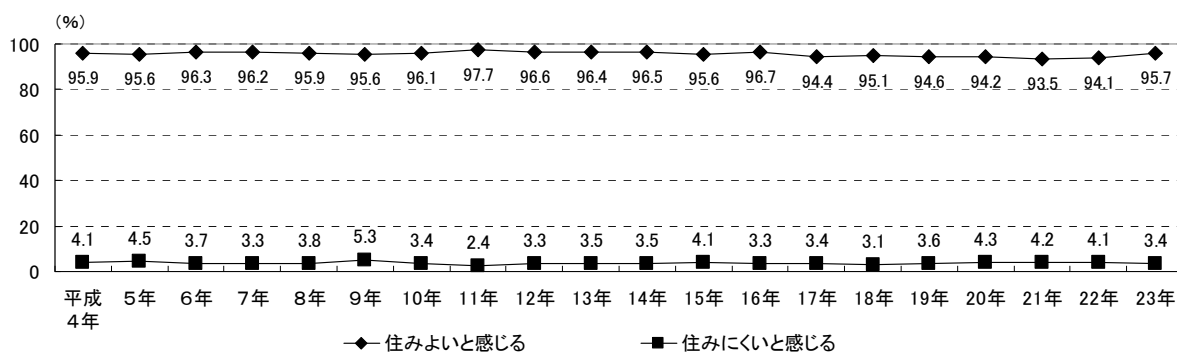


図 2-2 住み心地(年度別)

住み心地を性別／年代別でみると、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよいと感じている割合』は、全ての性別／年代別で9割を超えている。最も高いのは「男性／50歳代」（100.0%）、最も低いのは「男性／30歳代」（90.5%）となっている。

一方、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた『住みにくいと感じている割合』は、「男性／30歳代」（9.6%）が最も高くなっているが、1割に満たない。

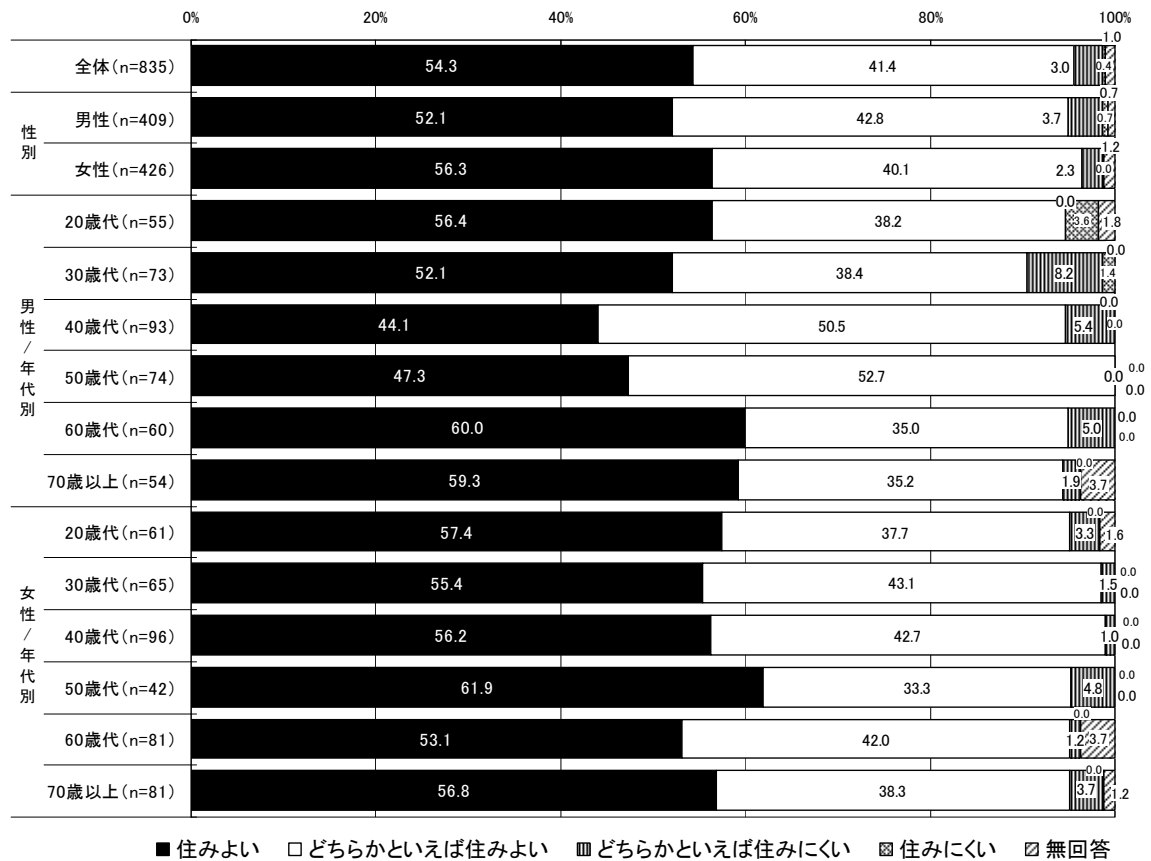


図 2-3 住み心地（性別年代別）

	住みよい	どちらかといえ ば住みよい	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	(無回答)
全体 (n=835)	54.3	41.4	3.0	0.4	1.0
男性 (n=409)	52.1	42.8	3.7	0.7	0.7
女性 (n=426)	56.3	40.1	2.3	0.0	1.2
男性／20歳代 (n=55)	56.4	38.2	0.0	3.6	1.8
男性／30歳代 (n=73)	52.1	38.4	8.2	1.4	0.0
男性／40歳代 (n=93)	44.1	50.5	5.4	0.0	0.0
男性／50歳代 (n=74)	47.3	52.7	0.0	0.0	0.0
男性／60歳代 (n=60)	60.0	35.0	5.0	0.0	0.0
男性／70歳以上 (n=54)	59.3	35.2	1.9	0.0	3.7
女性／20歳代 (n=61)	57.4	37.7	3.3	0.0	1.6
女性／30歳代 (n=65)	55.4	43.1	1.5	0.0	0.0
女性／40歳代 (n=96)	56.2	42.7	1.0	0.0	0.0
女性／50歳代 (n=42)	61.9	33.3	4.8	0.0	0.0
女性／60歳代 (n=81)	53.1	42.0	1.2	0.0	3.7
女性／70歳以上 (n=81)	56.8	38.3	3.7	0.0	1.2

表 2-2 住み心地（性別年代別）

住み心地を地区別でみると、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよいと感じている割合』は、全ての地区で9割を超えており、「紅葉丘」(98.7%)、「片町」(98.1%)と高い割合を占めている。

「住みよい」と回答した割合をみると、「中央」(66.7%)、「西府」(59.0%)、「片町」(57.7%)、「新町」(57.0%)の順に高くなっている。低いのは「住吉」(39.5%)、「武蔵台」(44.9%)の順である。

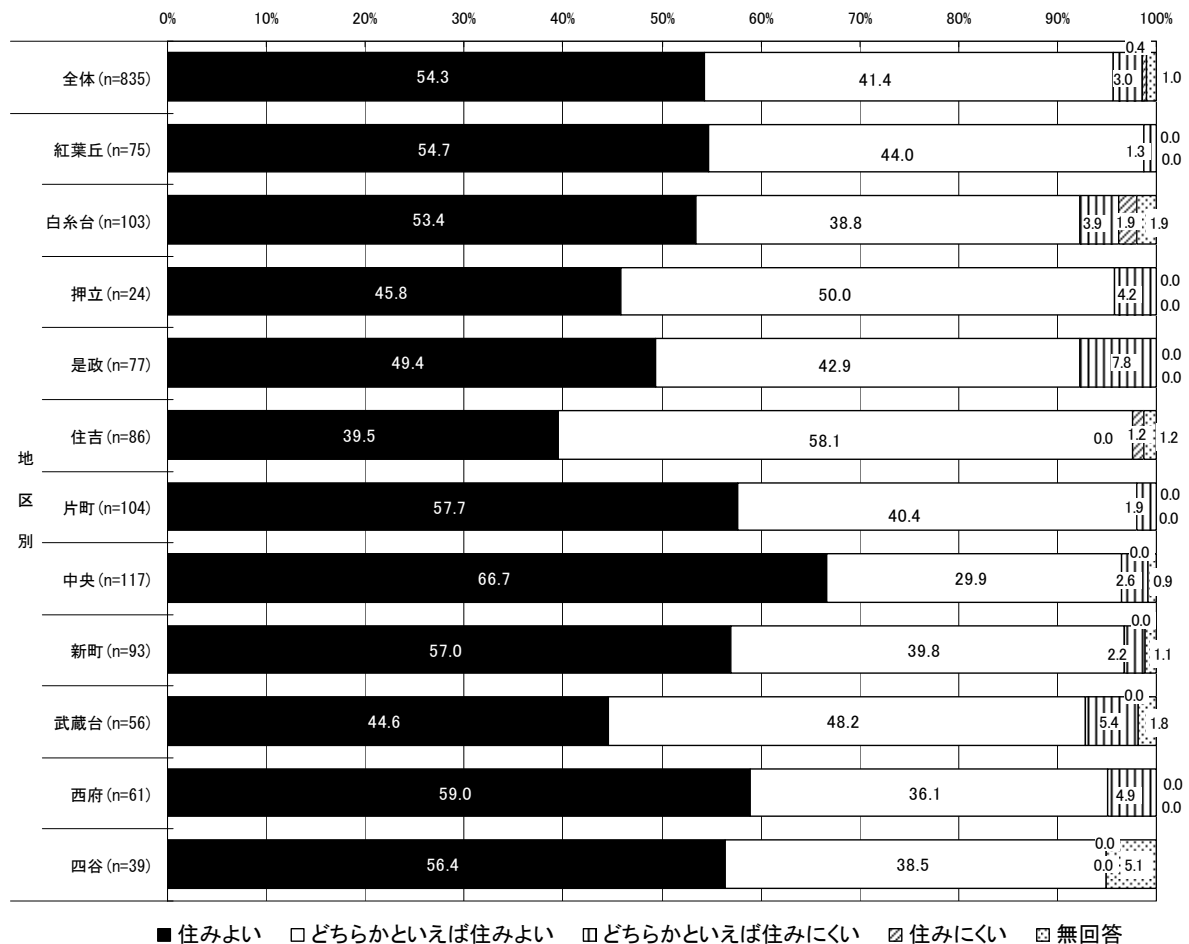


図 2-4 住み心地 (地区別)

地区名	住みよい	どちらかといえ ば住みよい	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	(%) (無回答)
全体 (n=835)	54.3	41.4	3.0	0.4	1.0
紅葉丘 (n=75)	54.7	44.0	1.3	0.0	0.0
白糸台 (n=103)	53.4	38.8	3.9	1.9	1.9
押立 (n=24)	45.8	50.0	4.2	0.0	0.0
是政 (n=77)	49.4	42.9	7.8	0.0	0.0
住吉 (n=86)	39.5	58.1	0.0	1.2	1.2
片町 (n=104)	57.7	40.4	1.9	0.0	0.0
中央 (n=117)	66.7	29.9	2.6	0.0	0.9
新町 (n=93)	57.0	39.8	2.2	0.0	1.1
武蔵台 (n=56)	44.6	48.2	5.4	0.0	1.8
西府 (n=61)	59.0	36.1	4.9	0.0	0.0
四谷 (n=39)	56.4	38.5	0.0	0.0	5.1

表 2-3 住み心地 (地区別)

住み心地を居住年数別でみると、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよいと感じている割合』は、「15年以下」(99.0%)、「10年以下」(98.3%)、「5年以下」(97.9%)の順に高い割合を占めている。「3年以下」(88.8%)のみ9割を切っている。

「住みよい」と回答した割合をみると、「25年を越える」(62.0%)、「15年以下」(61.1%)、「20年以下」(55.4%)の順で高くなっている。低いのは「3年以下」(37.1%)、「10年以下」(45.3%)の順である。

「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた『住みにくいと感じる割合』では、「3年以下」(11.2%)が最も高く、約1割が「住みにくい」と感じている。

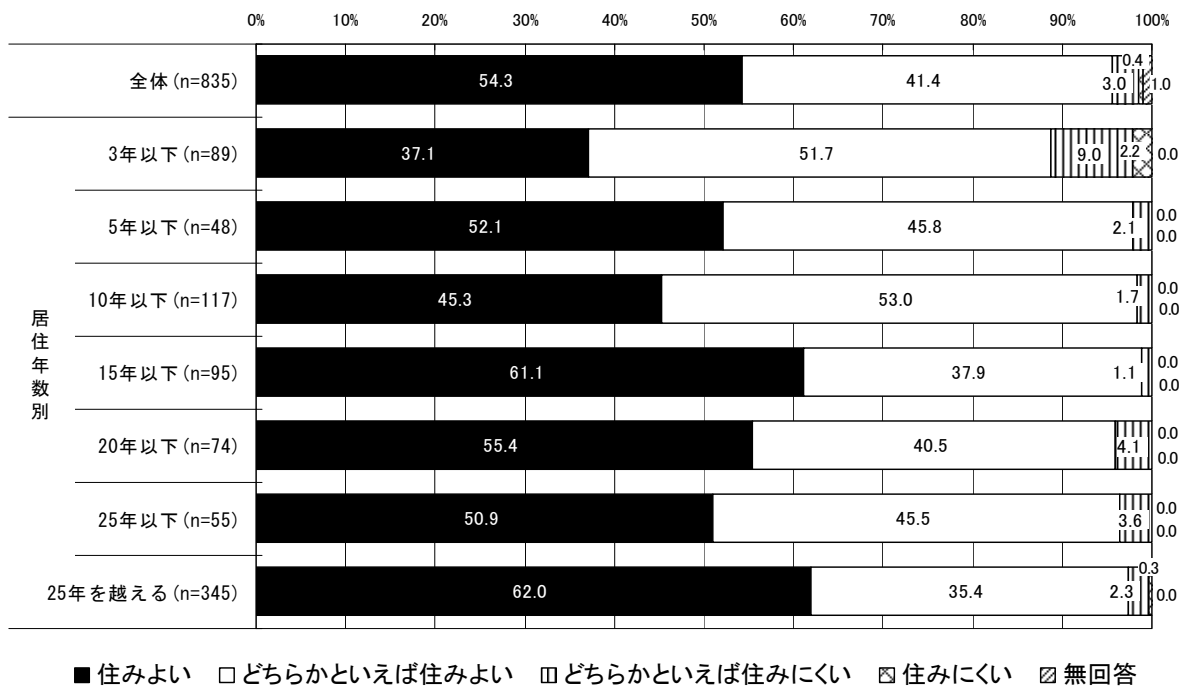


図 2-5 住み心地 (居住年数別)

地区名	住みよい	どちらかといえ ば住みよい	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	(無回答)
全体 (n=835)	54.3	41.4	3.0	0.4	1.0
3年以下 (n=89)	37.1	51.7	9.0	2.2	0.0
5年以下 (n=48)	52.1	45.8	2.1	0.0	0.0
10年以下 (n=117)	45.3	53.0	1.7	0.0	0.0
15年以下 (n=95)	61.1	37.9	1.1	0.0	0.0
20年以下 (n=74)	55.4	40.5	4.1	0.0	0.0
25年以下 (n=55)	50.9	45.5	3.6	0.0	0.0
25年を越える(n=345)	62.0	35.4	2.3	0.3	0.0

表 2-4 住み心地 (居住年数別)

3 住まいの環境について

問4. 身近なお住まい環境についておうかがいします。それぞれの項目について、あなたの率直な感想をお聞かせください。次にあげる項目ごとに評価をそれぞれ1つだけ選んでください。(n=835)
 評価:(非常によい・まあよい・どちらともいえない・あまりよくない・非常に悪い)

住まいの環境について「非常によい」と感じている項目は、「緑の豊かさ」(32.7%)、「風通し、日当たり」(30.1%)、「排水の便」(24.6%)の順で高くなっている。「非常に悪い」は、「騒音や振動の防止」(4.9%)、「日常の買い物の便」(4.3%)の順で高くなっている。

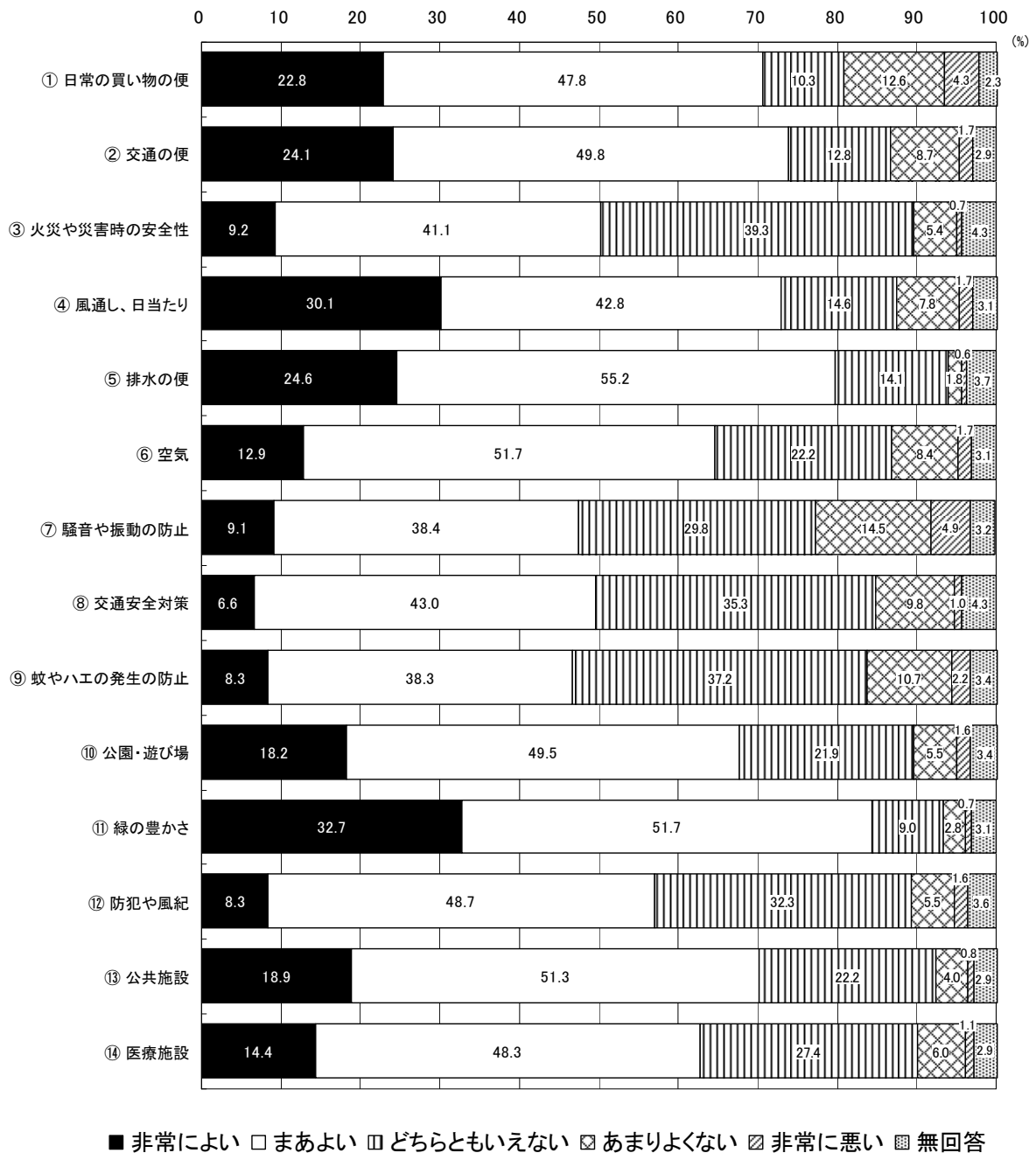


図 3-1 住まいの環境

「非常によい」「まあよい」を合わせた『よいと感じている住まいの環境』は、「緑の豊かさ」(84.4%)、「排水の便」(79.8%)、「交通の便」(73.9%)、「風通し、日当たり」(72.9%)の順で高くなっている。一方、「交通安全対策」(49.6%)、「騒音や振動の防止」(47.5%)、「蚊やハエの発生の防止」(46.6%)は、5割に満たない。

「あまりよくない」「非常に悪い」を合わせた『よくないと感じている住まいの環境』は、「騒音や振動の防止」(19.4%)、「日常の買い物の便」(16.9%)、「蚊やハエの発生の防止」(12.9%)、「交通安全対策」(10.8%)の順で高くなっている。

順位	住まいの環境	非常によい または まあよい(%)
1位	⑪ 緑の豊かさ	84.4
2位	⑤ 排水の便	79.8
3位	② 交通の便	73.9
4位	④ 風通し、日当たり	72.9
5位	① 日常の買い物の便	70.6
6位	⑬ 公共施設	70.2
7位	⑩ 公園・遊び場	67.7
8位	⑥ 空気	64.6
9位	⑭ 医療施設	62.7
10位	⑫ 防犯や風紀	57.0
11位	③ 火災や災害時の安全性	50.3
12位	⑧ 交通安全対策	49.6
13位	⑦ 騒音や振動の防止	47.5
14位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	46.6

表 3-1 住まいの環境(よいと感じる順)

順位	住まいの環境	あまりよくない または 非常に悪い(%)
1位	⑦ 騒音や振動の防止	19.4
2位	① 日常の買い物の便	16.9
3位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	12.9
4位	⑧ 交通安全対策	10.8
5位	② 交通の便	10.4
6位	⑥ 空気	10.1
7位	④ 風通し、日当たり	9.5
8位	⑩ 公園・遊び場	7.1
9位	⑫ 防犯や風紀	7.1
10位	⑭ 医療施設	7.1
11位	③ 火災や災害時の安全性	6.1
12位	⑬ 公共施設	4.8
13位	⑪ 緑の豊かさ	3.5
14位	⑤ 排水の便	2.4

表 3-2 住まいの環境(よくないと感じる順)

加重平均値(※)により数量化した評価点の平均値を比較すると、最も高いのは「緑の豊かさ」であり、次いで「排水の便」「風通し、日当たり」「交通の便」「公共施設」の順で高くなっている。一方、最も低いのは「騒音や振動の防止」であり、次いで「蚊やハエの発生の防止」、「交通安全対策」となっている。

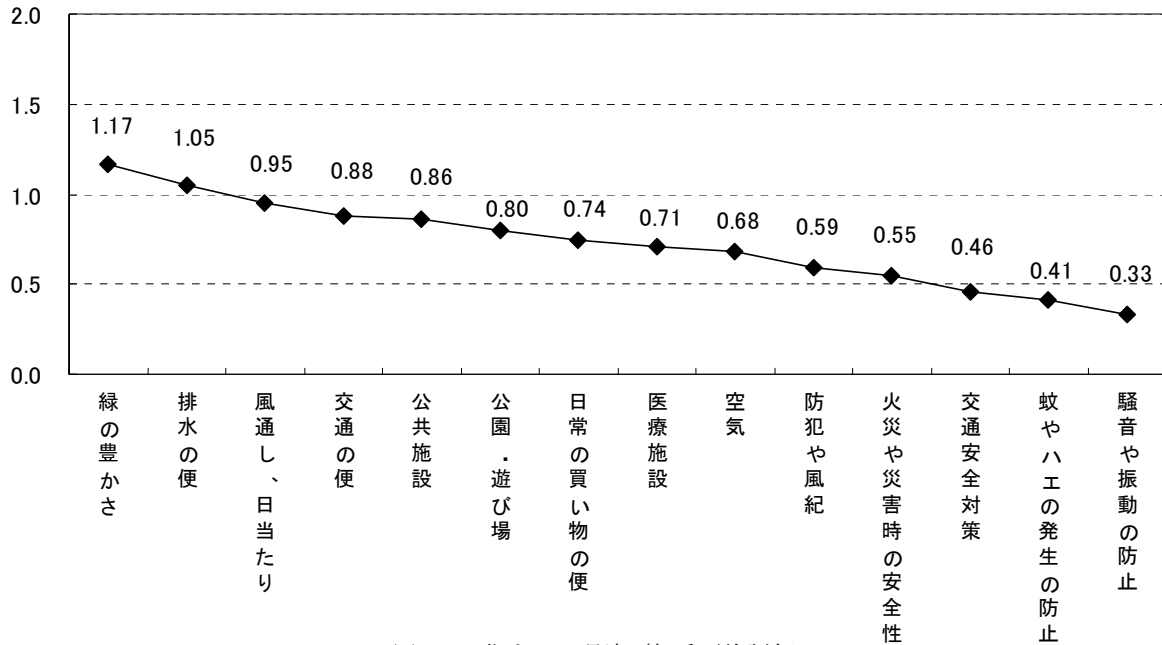


図 3-2 住まいの環境／加重平均評価

(※)加重平均値による数量化

下式にあるように、評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する方法。

算出方法

$$\text{評価点} = \frac{\begin{aligned} & \text{「非常によい」の回答数} \times 2 \text{点} \\ & + \text{「まあよい」の回答数} \times 1 \text{点} \\ & + \text{「あまりよくない」の回答数} \times \blacktriangle 1 \text{点} \\ & + \text{「非常に悪い」の回答数} \times \blacktriangle 2 \text{点} \end{aligned}}{\text{回答者数}}$$

この算出方法では、評価点は+2.00点～▲2.00点の間に分布し、中間点の0.00点を境に、+2.00点に近いほど評価は高く、逆に▲2.00点に近いほど評価は低いことになる。

各項目の地区別の加重平均評価点は次のようになっている。

項目	市平均	最高	最低
日常の買い物の便	0.74	住吉 (1.17)	押立 (-0.13)
交通の便	0.88	片町 (1.33)	押立 (-0.13)
火災や災害時の安全性	0.55	中央 (0.78)	四谷 (0.44)
風通し、日当たり	0.95	押立／武蔵台 (1.27)	武蔵台 (0.82)
排水の便	1.05	西府 (1.33)	押立 (0.75)
空気	0.68	紅葉丘／中央 (0.81)	押立 (0.42)
騒音や振動の防止	0.33	新町 (0.51)	押立 (-0.04)
交通安全対策	0.46	中央 (0.66)	西府／紅葉丘 (0.32)
蚊やハエの発生の防止	0.41	中央 (0.72)	白糸台 (0.21)
公園・遊び場	0.80	中央 (1.05)	押立 (0.46)
緑の豊かさ	1.17	中央 (1.35)	白糸台 (1.07)
防犯や風紀	0.59	西府 (0.78)	是政 (0.42)
公共施設	0.86	中央 (1.20)	押立 (0.38)
医療施設	0.71	武蔵台 (1.18)	押立 (0.46)

表 3-3 住まいの環境(地区別加重評価)

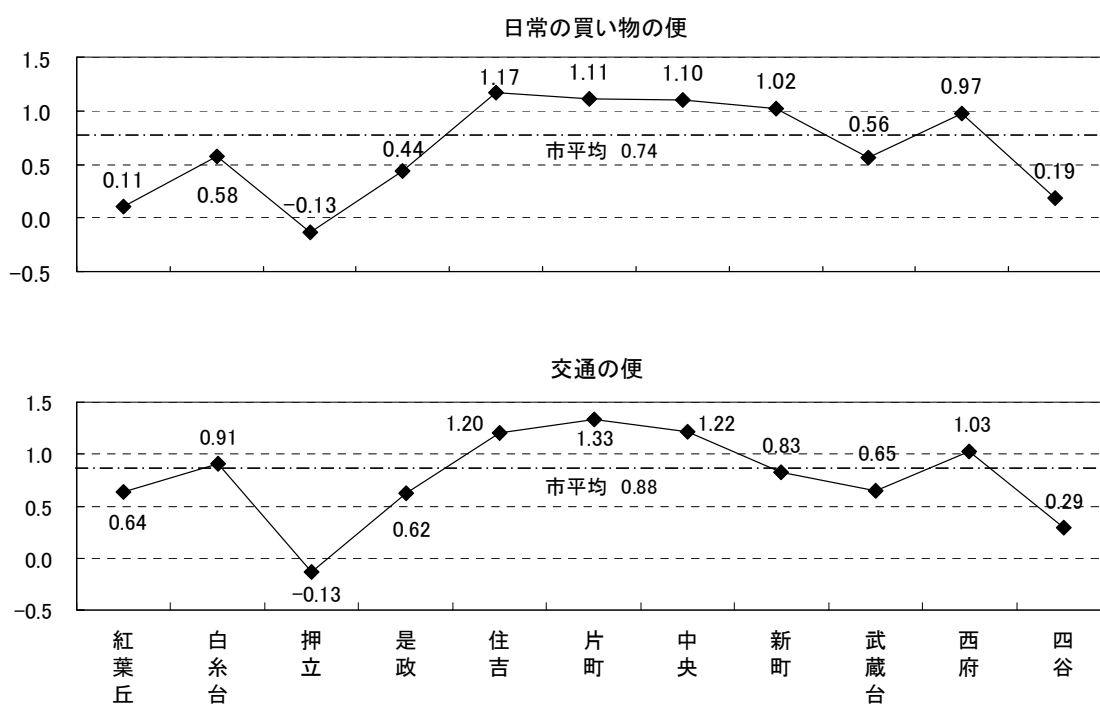


図 3-3① 住まいの環境(地区別加重平均評価)

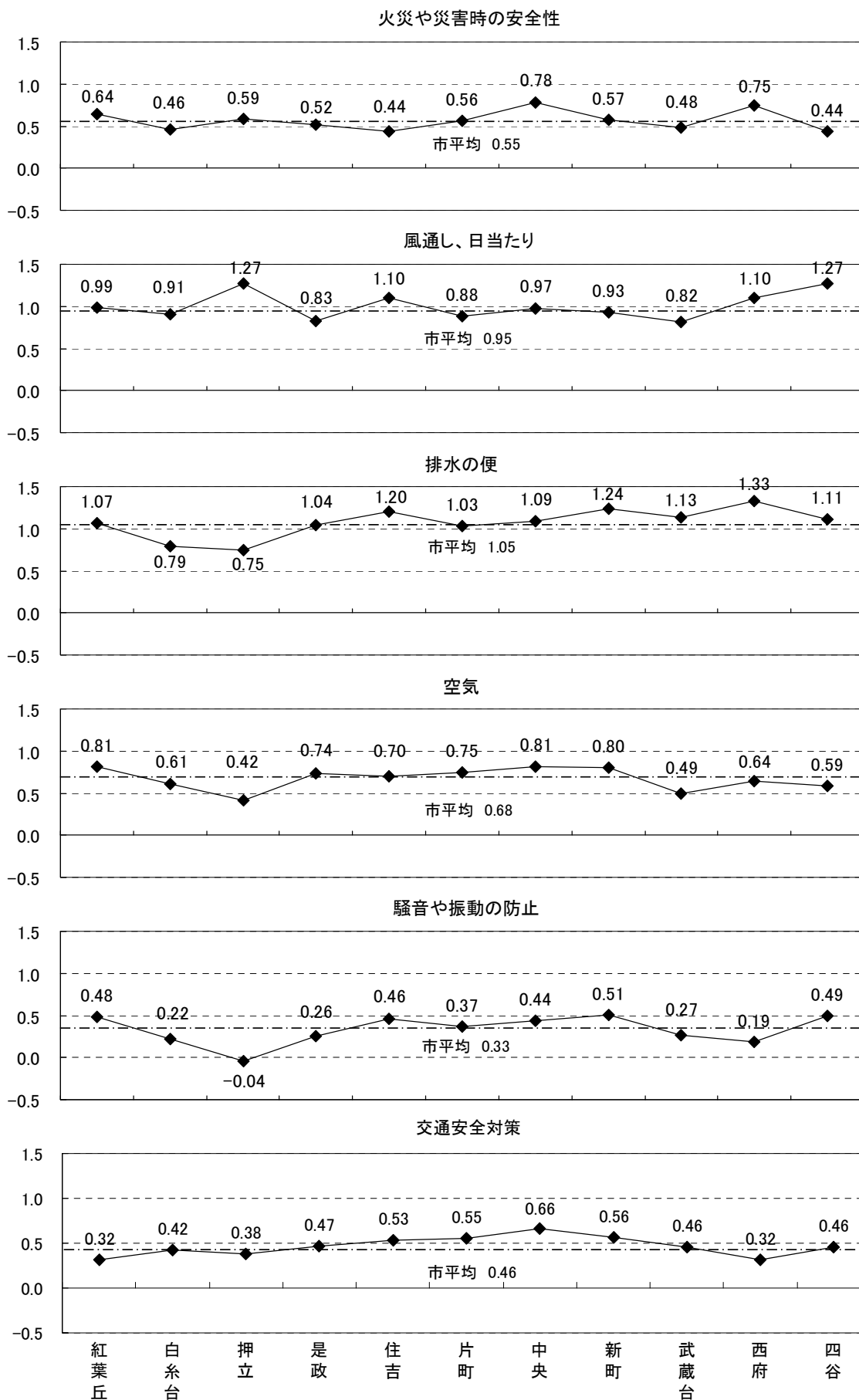


図 3-3② 住まいの環境(地区別加重平均評価)

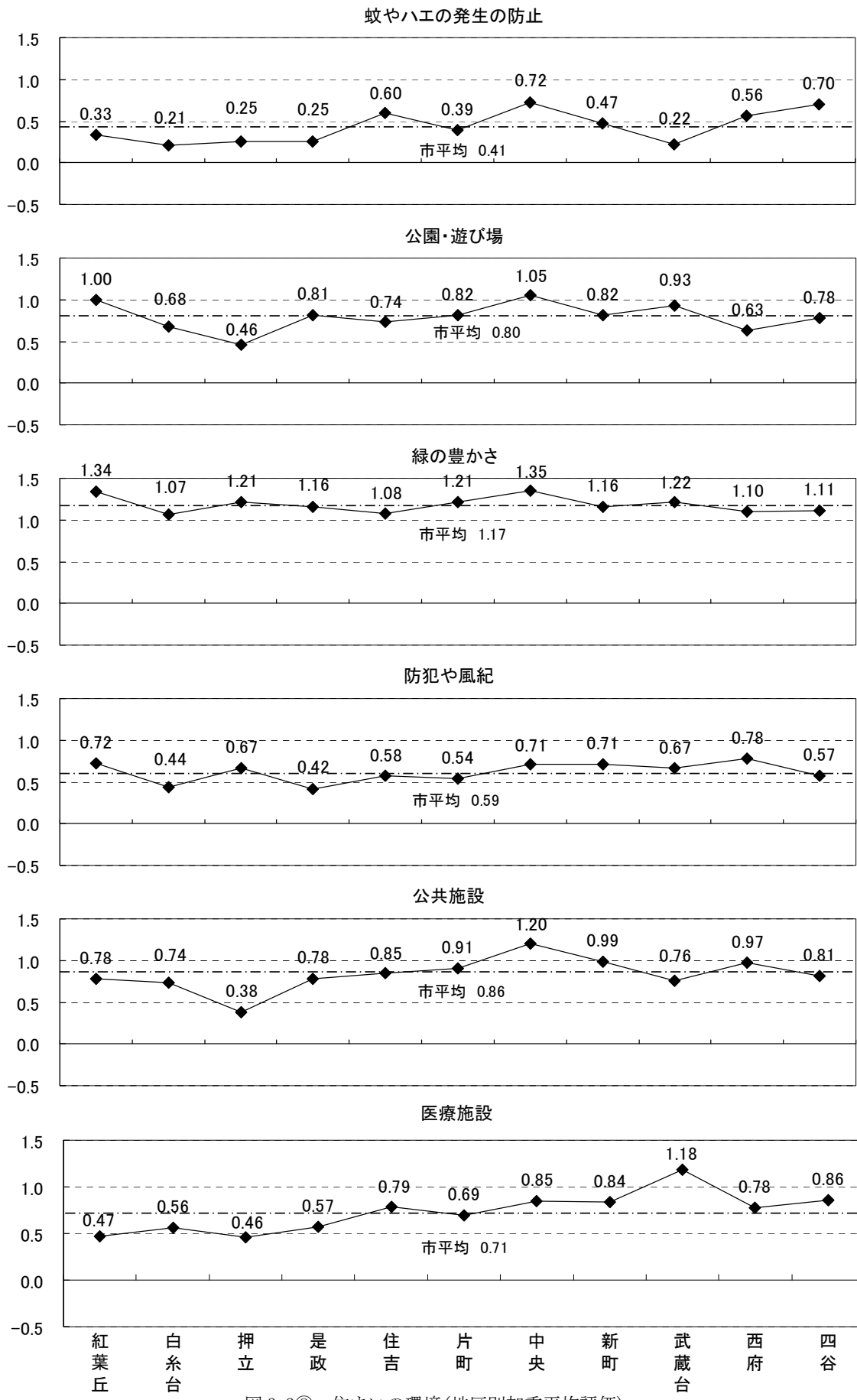


図 3-3③ 住まいの環境(地区別加重平均評価)

4 生活の満足度について

問5. 現在の生活にどの程度満足していらっしゃいますか。次の中から1つだけ選んでください。(n=835)

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば不満である
4. 不満である

「満足している」(26.0%)、「どちらかといえば満足している」(59.4%)を合わせた『生活に満足していると感じる割合』は、8割半ば(85.4%)にのぼる。

また、「不満である」(1.9%)、「どちらかといえば不満である」(9.3%)を合わせた『生活に不満を感じる割合』は、約1割(11.2%)である。

生活の満足度	回答者数(人)	割合(%)
満足している	217	26.0
どちらかといえば満足している	496	59.4
どちらかといえば不満である	78	9.3
不満である	16	1.9
(無回答)	28	3.4
合計	835	100.0

表 4-1 生活の満足度

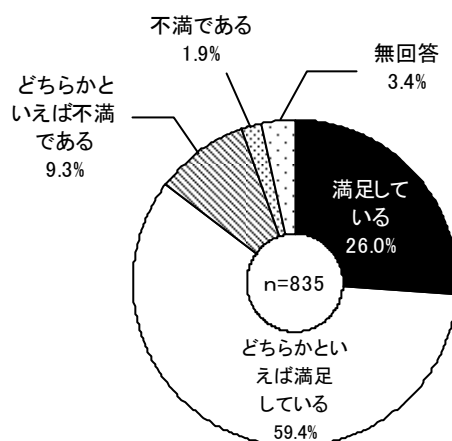


図 4-1 生活の満足度

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	(無回答)
全体 (n=835)	26.0	59.4	9.3	1.9	3.4
男性 (n=409)	25.7	58.7	8.8	2.7	4.2
女性 (n=426)	26.3	60.1	9.9	1.2	2.6
男性/20歳代 (n=55)	25.5	60.0	9.1	1.8	3.6
男性/30歳代 (n=73)	27.4	47.9	16.4	4.1	4.1
男性/40歳代 (n=93)	17.2	72.0	5.4	3.2	2.2
男性/50歳代 (n=74)	32.4	50.0	12.2	2.7	2.7
男性/60歳代 (n=60)	26.7	65.0	3.3	3.3	1.7
男性/70歳以上 (n=54)	27.8	53.7	5.6	0.0	13.0
女性/20歳代 (n=61)	36.1	57.4	6.6	0.0	0.0
女性/30歳代 (n=65)	29.2	58.5	12.3	0.0	0.0
女性/40歳代 (n=96)	24.0	58.3	14.6	2.1	1.0
女性/50歳代 (n=42)	23.8	69.0	4.8	0.0	2.4
女性/60歳代 (n=81)	14.8	65.4	8.6	2.5	8.6
女性/70歳以上 (n=81)	32.1	55.6	8.6	1.2	2.5

表 4-2 生活の満足度 (性別年代別)

生活の満足度を性別／年代別でみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「女性／20歳代」(93.5%)、「女性／50歳代」(92.8%)、「男性／60歳代」(91.7%)の順で高くなっている。

一方、「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせた『不満とじている割合』は、「男性／30歳代」(20.5%)、「女性／40歳代」(16.7%)、「男性／50歳代」(14.9%)の順で高くなっている。『不満とじている割合』が低いのは、「女性／50歳代」(4.8%)、「男性／70歳代」(5.6%)、「男性／60歳代」(6.6%)、「女性／20歳代」(6.6%)の順である。

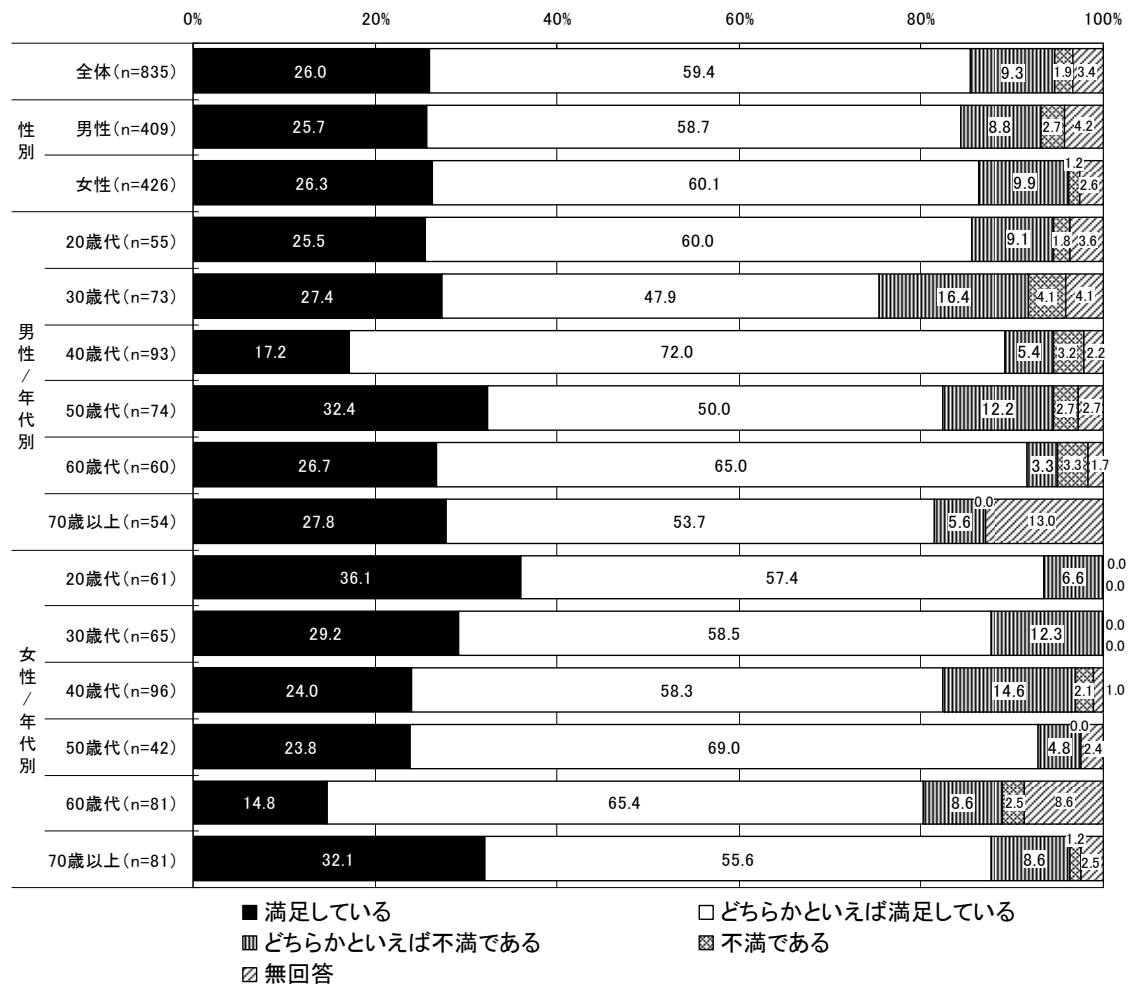


図 4-2 生活の満足度(性別／年代別)

生活の満足度を地区別でみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「是政」(90.9%)、「押立」「片町」(87.5%)の順で高くなっている。「四谷」(79.5%)が最も低く、1地区のみ8割を切っている。

一方、「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせた『不満とじている割合』は、「四谷」(15.4%)、「武蔵台」(14.3%)、「住吉」(13.9%)の順で高くなっている。『不満とじている割合』が低いのは、「中央」(8.5%)、「片町」(8.7%)、「是政」(9.1%)の順である。

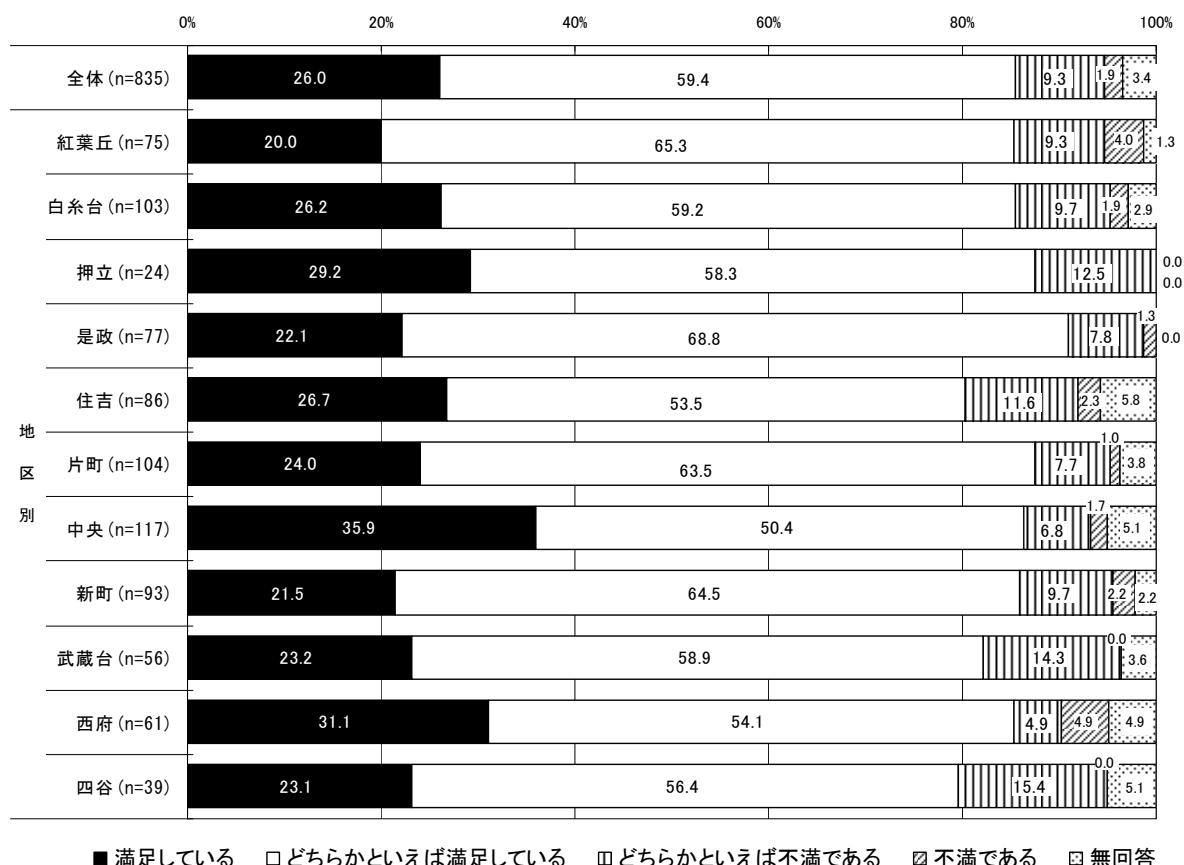


図 4-3 生活の満足度(地区別)

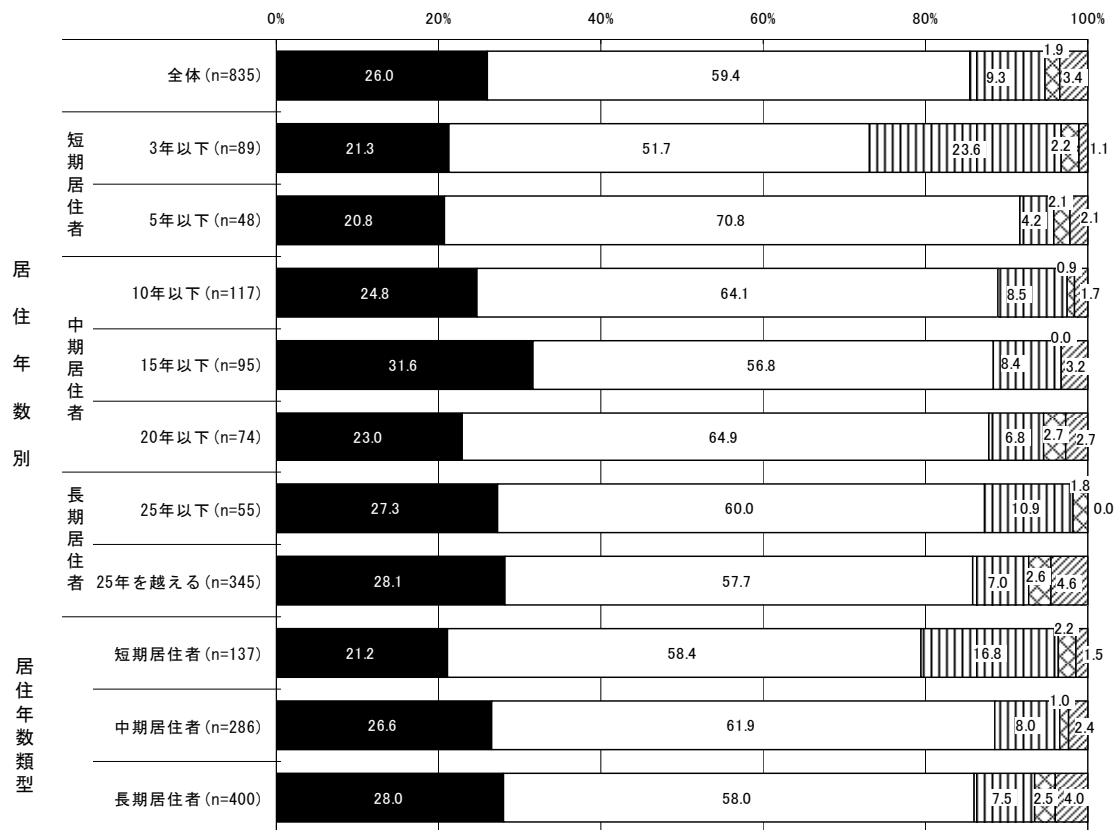
地区名	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらかといえ ば不満である	不満である	(無回答)
全体 (n=835)	26.0	59.4	9.3	1.9	3.4
紅葉丘 (n=75)	20.0	65.3	9.3	4.0	1.3
白糸台 (n=103)	26.2	59.2	9.7	1.9	2.9
押立 (n=24)	29.2	58.3	12.5	0.0	0.0
是政 (n=77)	22.1	68.8	7.8	1.3	0.0
住吉 (n=86)	26.7	53.5	11.6	2.3	5.8
片町 (n=104)	24.0	63.5	7.7	1.0	3.8
中央 (n=117)	35.9	50.4	6.8	1.7	5.1
新町 (n=93)	21.5	64.5	9.7	2.2	2.2
武蔵台 (n=56)	23.2	58.9	14.3	0.0	3.6
西府 (n=61)	31.1	54.1	4.9	4.9	4.9
四谷 (n=39)	23.1	56.4	15.4	0.0	5.1

表 4-3 生活の満足度(地区別)

生活の満足度を居住年数別でみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「中期居住者」(88.5%)、「長期居住者」(86.0%)、「短期居住者」(79.6%)の順で高くなっている。

一方、「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせた『不満とじている割合』は、「短期居住者」(19.0%)、「長期居住者」(10.0%)、「中期居住者」(9.0%)の順で高くなっている。

※ 「短期居住者」とは居住年数が5年以下、「中期居住者」とは居住年数が5年を超え20年以下、「長期居住者」とは居住年数が20年を超える者



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である ▩ 無回答

図 4-4 生活の満足度(居住年数/居住年数類型別)

居住年数類型	居住年数	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	(無回答)
	全体 (n=835)	26.0	59.4	9.3	1.9	3.4
短期居住者 (n=137)	3年以下 (n=89)	21.3	51.7	23.6	2.2	1.1
	5年以下 (n=48)	20.8	70.8	4.2	2.1	2.1
中期居住者 (n=286)		21.2	58.4	16.8	2.2	1.5
	10年以下 (n=117)	24.8	64.1	8.5	0.9	1.7
	15年以下 (n=95)	31.6	56.8	8.4	0.0	3.2
	20年以下 (n=74)	23.0	64.9	6.8	2.7	2.7
長期居住者 (n=400)		26.6	61.9	8.0	1.0	2.4
	25年以下 (n=55)	27.3	60.0	10.9	1.8	0.0
	25年を超える(n=345)	28.1	57.7	7.0	2.6	4.6
		28.0	58.0	7.5	2.5	4.0

表 4-4 生活の満足度(居住年数別)

5 定住意向について

問6. 今後も府中市に住み続けたいと思っていますか。それともそうは思っていませんか。次の中から1つだけ選んでください。(n=835)

1. ずっと住むつもり
2. 当分は住むつもり
3. できれば市外に移りたい
4. 市外に移りたい

「ずっと住むつもり」(50.4%)、「当分は住むつもり」(43.4%)の順に高い割合になっている。「できれば市外に移りたい」(4.3%)「市外に移りたい」(0.7%)を合わせた『住まいを移りたいと感じている割合』は5%である。

定住意向	回答者数(人)	割合(%)
ずっと住むつもり	421	50.4
当分は住むつもり	362	43.4
できれば市外に移りたい	36	4.3
市外に移りたい	6	0.7
(無回答)	10	1.2
合計	835	100.0

表 5-1 定住意向

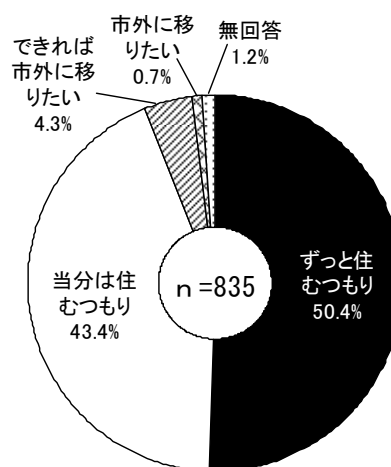


図 5-1 定住意向

	ずっと住むつもり	当分は住むつもり	できれば市外に移りたい	市外に移りたい	(無回答)
全体 (n=835)	50.4	43.4	4.3	0.7	1.2
男性 (n=409)	47.7	47.2	3.7	0.7	0.7
女性 (n=426)	53.1	39.7	4.9	0.7	1.6
男性/20歳代 (n=55)	36.4	56.4	1.8	3.6	1.8
男性/30歳代 (n=73)	39.7	50.7	8.2	0.0	1.4
男性/40歳代 (n=93)	33.3	65.6	1.1	0.0	0.0
男性/50歳代 (n=74)	55.4	39.2	5.4	0.0	0.0
男性/60歳代 (n=60)	61.7	31.7	5.0	1.7	0.0
男性/70歳以上 (n=54)	68.5	29.6	0.0	0.0	1.9
女性/20歳代 (n=61)	26.2	59.0	14.8	0.0	0.0
女性/30歳代 (n=65)	35.4	58.5	4.6	0.0	1.5
女性/40歳代 (n=96)	43.8	51.0	2.1	1.0	2.1
女性/50歳代 (n=42)	59.5	33.3	2.4	4.8	0.0
女性/60歳代 (n=81)	66.7	27.2	2.5	0.0	3.7
女性/70歳以上 (n=81)	81.5	12.3	4.9	0.0	1.2

表 5-2 定住意向(性別/年代別)

定住意向を性別／年代別で見ると、「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」を合わせた『住むつもりと感じている割合』は、「男性／40歳代」（98.9%）、「男性／70歳以上」（98.1%）、「女性／40歳代」（94.8%）「男性／50歳以上」（94.6%）の順で高くなっている。最も低いのは、「女性／20歳代」（85.2%）である。

一方、「できれば市外に移りたい」「市外に移りたい」を合わせた『移りたいと感じている割合』は、「女性／20歳代」（14.8%）、「男性／30歳代」（8.2%）、「女性／50歳代」（7.2%）の順で高くなっている。「男性／70歳以上」（0%）、「男性／40歳代」（1.1%）、「女性／60歳代」（2.5%）の順で『移りたいと感じる割合』は低い。

性別で見ると、男性の定住意向の割合（94.9%）が女性の定住意向の割合（92.8%）をわずかに上回っている。

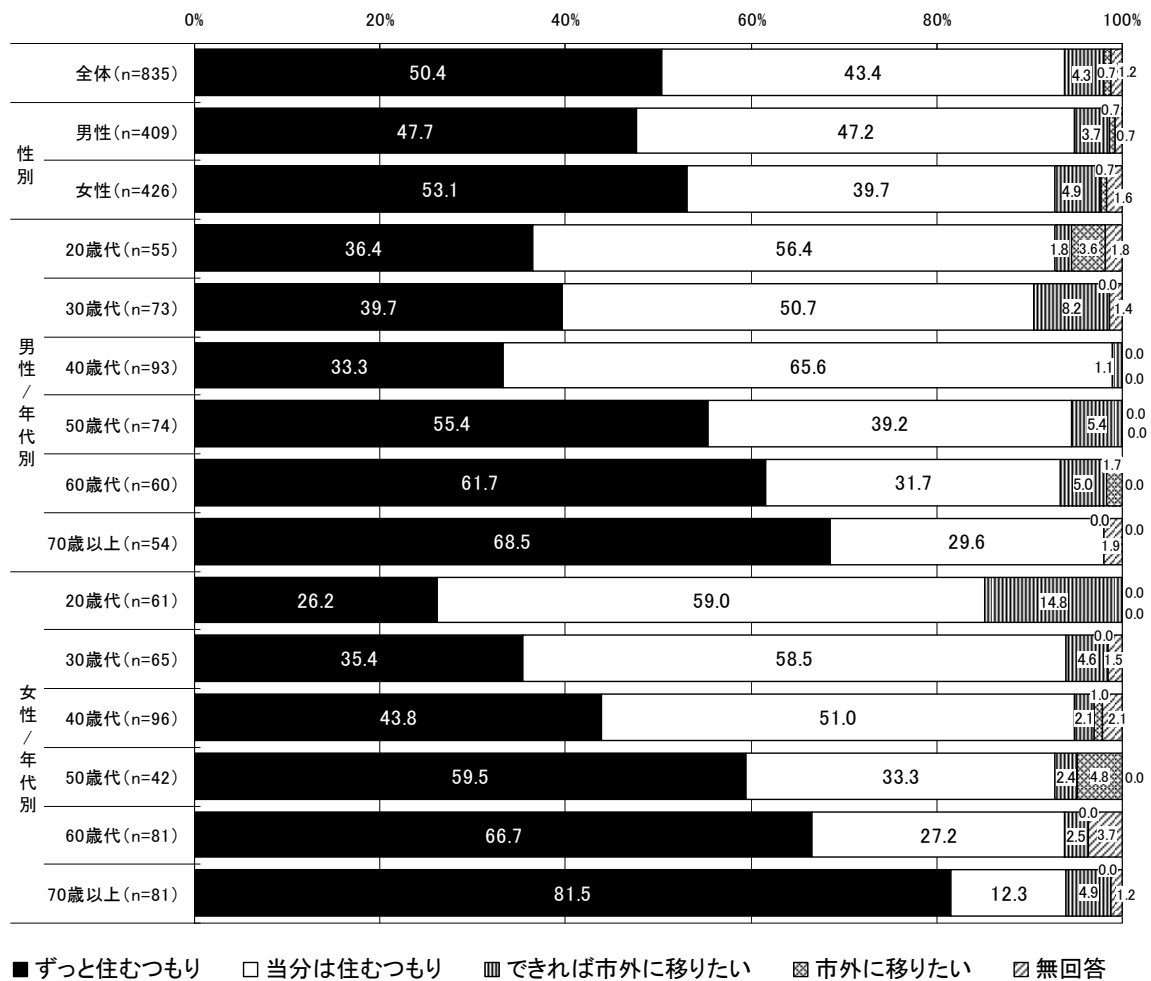


図 5-2 定住意向(性別／年代別)

定住意向を地区別でみると、「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」を合わせた『住むつもりと感じている割合』は、「是政」(98.7%)、「西府」(96.7%)、「紅葉丘」(96.0%)「押立」(95.8%)の順で高くなっている。「白糸台」(88.3%)が最も低く、唯一8割台になっている。

一方、「できれば市外に移りたい」「市外に移りたい」を合わせた『市外に移りたいと感じている割合』は、「白糸台」(10.6%)、「片町」(8.6%)、「武蔵台」(5.4%)の順で高くなっている。「是政」(1.3%)、「西府」(1.6%)の順に『市外に移りたいと感じる割合』は低い。

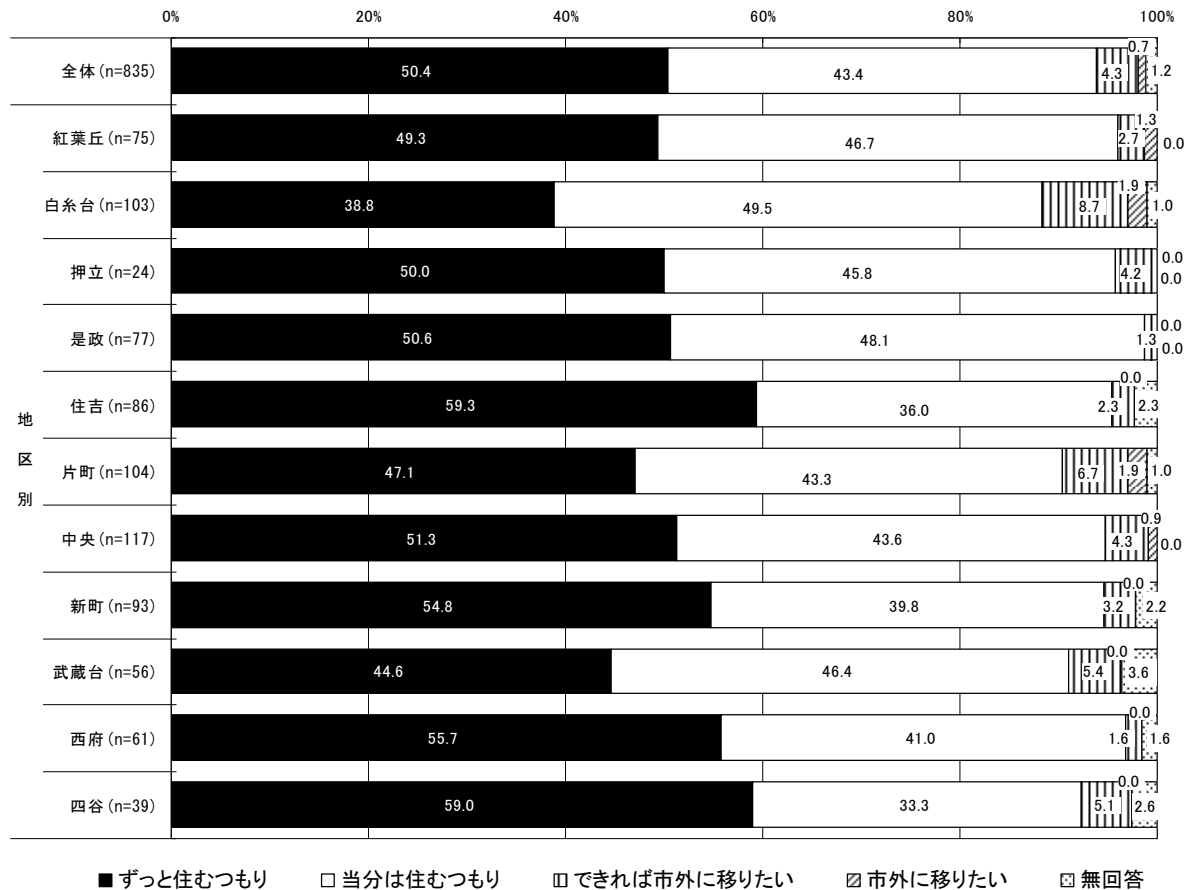


図 5-3 定住意向(地区別)

地区名	ずっと住むつもり	当分は住むつもり	できれば市外に移りたい	市外に移りたい	(無回答)
全体 (n=835)	50.4	43.4	4.3	0.7	1.2
紅葉丘 (n=75)	49.3	46.7	2.7	1.3	0.0
白糸台 (n=103)	38.8	49.5	8.7	1.9	1.0
押立 (n=24)	50.0	45.8	4.2	0.0	0.0
是政 (n=77)	50.6	48.1	1.3	0.0	0.0
住吉 (n=86)	59.3	36.0	2.3	0.0	2.3
片町 (n=104)	47.1	43.3	6.7	1.9	1.0
中央 (n=117)	51.3	43.6	4.3	0.9	0.0
新町 (n=93)	54.8	39.8	3.2	0.0	2.2
武蔵台 (n=56)	44.6	46.4	5.4	0.0	3.6
西府 (n=61)	55.7	41.0	1.6	0.0	1.6
四谷 (n=39)	59.0	33.3	5.1	0.0	2.6

表 5-3 定住意向(地区別)

定住意向を居住年数別で見ると、「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」を合わせた『住むつもりと感じている割合』は、「5年以下」(100.0%)、「25年を越える」(96.5%)、「25年以下」(96.4%)の順で高くなっている。「3年以下」(83.1%)が最も低く、唯一8割台になっている。

一方、「できれば市外に移りたい」「市外に移りたい」を合わせた『移りたいと感じている割合』は、「3年以下」(14.6%)、「20年以下」(8.2%)、「10年以下」(6.8%)の順で高くなっている。「5年以下」(0.0%)、「25年を越える」(2.6%)、「25年以下」(3.6%)の順に『移りたいと感じる割合』は低い。

「ずっと住むつもり」をみると、「25年を越える」(69.0%)が最も高く、概ね、居住年数が多くなるほど高くなる傾向がある。

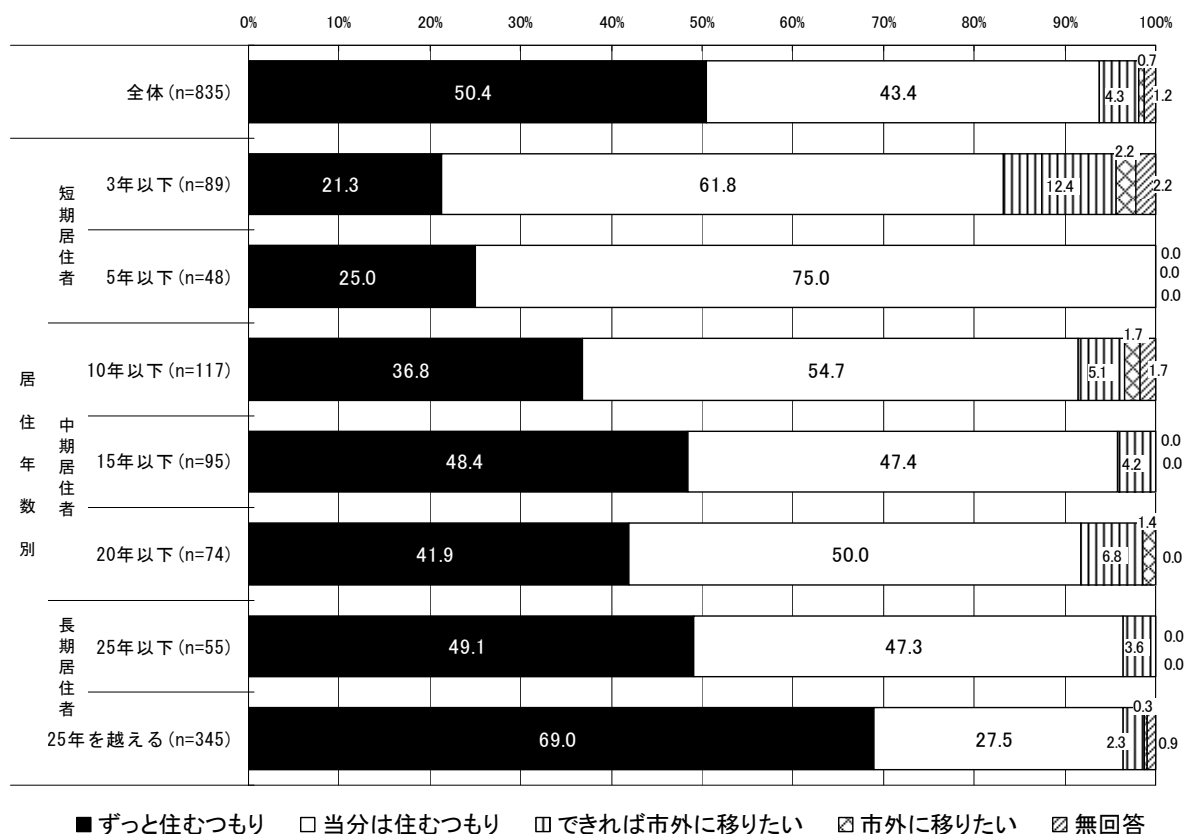


図 5-4 定住意向(居住年数別)

居住年数類型	居住年数別	ずっと住むつもり	当分は住むつもり	できれば市外に移りたい	市外に移りたい	(無回答)
短期居住者 (n=137)	全体 (n=835)	50.4	43.4	4.3	0.7	1.2
	3年以下 (n=89)	21.3	61.8	12.4	2.2	2.2
	5年以下 (n=48)	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
中期居住者 (n=286)	10年以下 (n=117)	36.8	54.7	5.1	1.7	1.7
	15年以下 (n=95)	48.4	47.4	4.2	0.0	0.0
長期居住者 (n=400)	20年以下 (n=74)	41.9	50.0	6.8	1.4	0.0
	25年以下 (n=55)	49.1	47.3	3.6	0.0	0.0
	25年を越える (n=345)	69.0	27.5	2.3	0.3	0.9

表 5-4 定住意向(居住年数別)

6 市政に対する関心度について

問7. あなたは府中市の市政にどの程度関心をお持ちになっていますか。次の中から1つだけ選んでください。(n=835)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. まったく関心がない |

市政に対する関心度は、「ある程度関心がある」(56.5%)、「あまり関心がない」(27.4%)、「非常に関心がある」(12.3%)の順で高くなっている。「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心のある割合』は、7割近くを占める。

市政への関心	回答者数(人)	割合(%)
非常に関心がある	103	12.3
ある程度関心がある	472	56.5
あまり関心がない	229	27.4
まったく関心がない	23	2.8
(無回答)	8	1.0
合計	835	100.0

表 6-1 市政に対する関心度

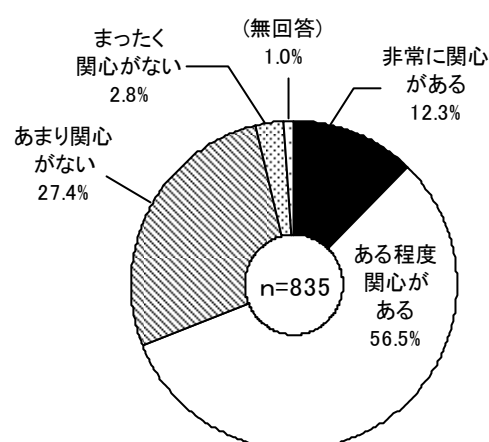


図 6-1 市政に対する関心度

	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	(無回答)
全体 (n=835)	12.3	56.5	27.4	2.8	1.0
男性 (n=409)	15.9	54.0	26.4	2.9	0.7
女性 (n=426)	8.9	58.9	28.4	2.6	1.2
男性/20歳代 (n=55)	10.9	36.4	40.0	10.9	1.8
男性/30歳代 (n=73)	11.0	46.6	37.0	4.1	1.4
男性/40歳代 (n=93)	12.9	62.4	22.6	2.2	0.0
男性/50歳代 (n=74)	14.9	55.4	28.4	1.4	0.0
男性/60歳代 (n=60)	25.0	55.0	20.0	0.0	0.0
男性/70歳以上 (n=54)	24.1	64.8	9.3	0.0	1.9
女性/20歳代 (n=61)	4.9	27.9	62.3	4.9	0.0
女性/30歳代 (n=65)	3.1	49.2	40.0	7.7	0.0
女性/40歳代 (n=96)	7.3	61.5	28.1	2.1	1.0
女性/50歳代 (n=42)	7.1	69.0	19.0	2.4	2.4
女性/60歳代 (n=81)	12.3	66.7	18.5	0.0	2.5
女性/70歳以上 (n=81)	16.0	74.1	8.6	0.0	1.2

表 6-2 市政に対する関心度(性別/年代別)

市政に対する関心度を性別／年代別でみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『関心があると感じている割合』は、「女性／70歳以上」(90.1%)、「男性／70歳以上」(88.9%)、「男性／60歳代」(80.0%)、「女性／60歳代」(79.0%)の順で高く、「女性／20歳代」(32.8%)、「男性／20歳代」(47.3%)の順で低い。

一方、「あまり関心がない」「まったく関心がない」を合わせた『関心がないと感じている割合』は、「女性／20歳代」(67.2%)、「男性／20歳代」(50.9%)、「女性／30歳代」(47.7%)、「男性／30歳代」(41.1%)の順で高く、「女性／70歳以上」(8.6%)、「男性／70歳以上」(9.3%)の順で低い。概ね年齢が高くなるほど市政に対する関心度も高くなる傾向がある。

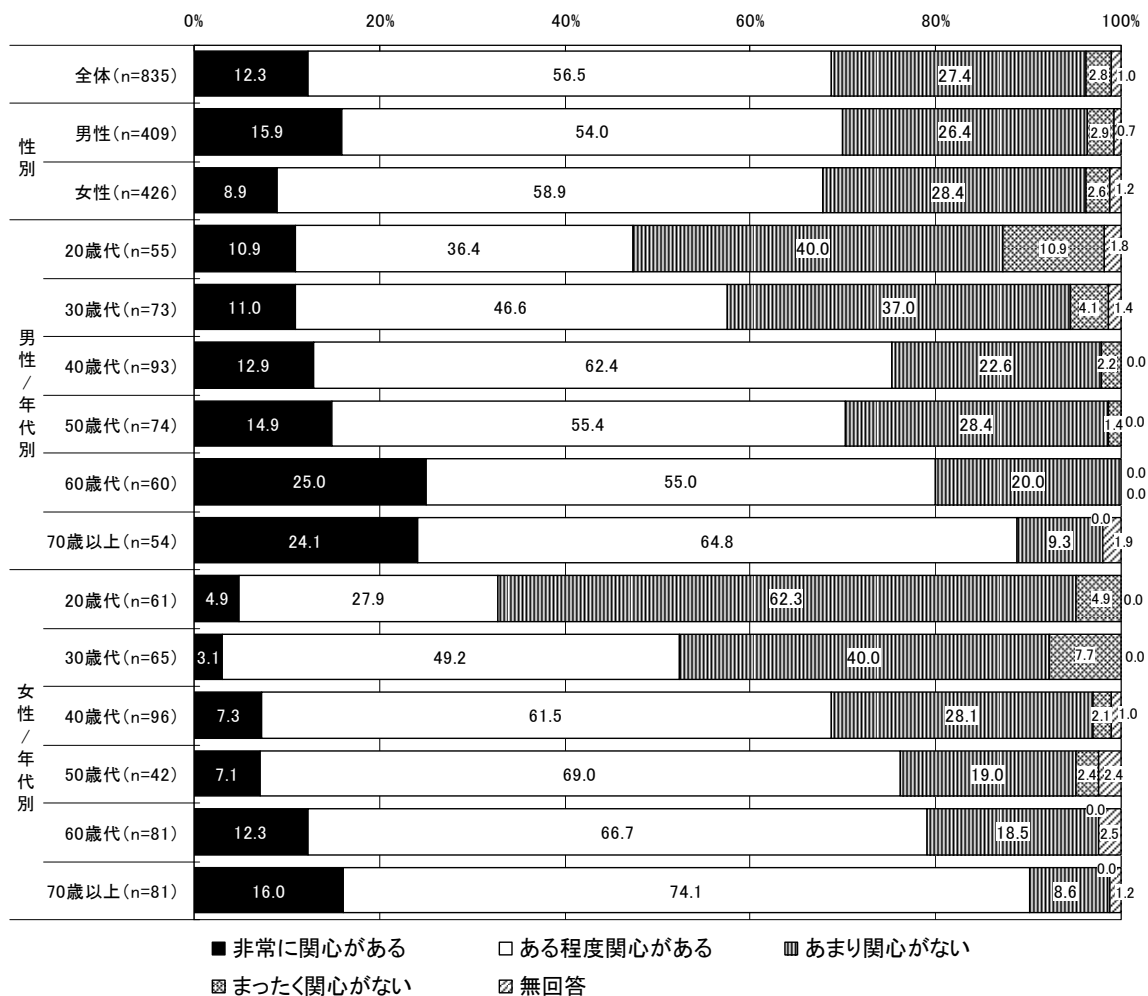


図 6-2 市政に対する関心度(性別／年代別)

《 問7で「1」または「2」をお答えの方に 》

問7-1. 市政に関心を持たれる理由は、どのような気持ちからですか。次の中から1つだけ選んでください。(n=575)

1. 自分の暮らし向きに直接関係があるから
2. 府中市政が最近身近なものになってきたから
3. 政治というものに興味があるから
4. 自分の住む府中市をもっとよくしたい気持ちがあるから
5. その他 ()

市政に関心を持つ理由として、「自分の暮らし向きに直接関係があるから」(62.6%)が6割半ばを占め、次いで「自分の住む府中市をもっとよくしたい気持ちがあるから」(24.5%)、「府中市政が最近身近なものになってきたから」(6.3%)、「政治というものに興味があるから」(4.2%)の順となっている。

[n=575]

市政に関心を持つ理由	回答者数(人)	割合(%)
自分の暮らし向きに直接関係があるから	360	62.6
府中市政が最近身近なものになってきたから	36	6.3
政治というものに興味があるから	24	4.2
自分の住む府中市をもっとよくしたい気持ちがあるから	141	24.5
その他	6	1.0
(無回答)	8	1.4
合計	575	100.0

表 6-3 市政に関心を持つ理由

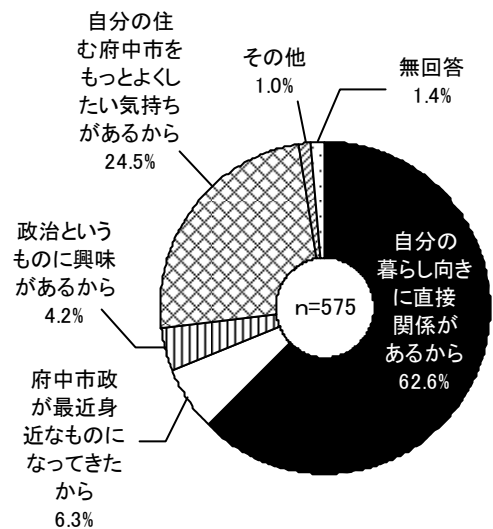


図 6-3 市政に関心を持つ理由

市政に関心を持つ理由を性別／年代別にみると、「自分の暮らし向きに直接関係があるから」が全ての年代で半数以上を占めており、「女性／40歳代」(75.8%)が最も高い。「自分の住む府中市をもっとよくしたい気持ちがあるから」は、「女性／50歳代」(37.5%)が最も高い。一方、「府中市政が最近身近なものになってきたから」「政治というものに興味があるから」は「女性／20歳代」(15.0%)を除き全ての年代で1割に満たない。

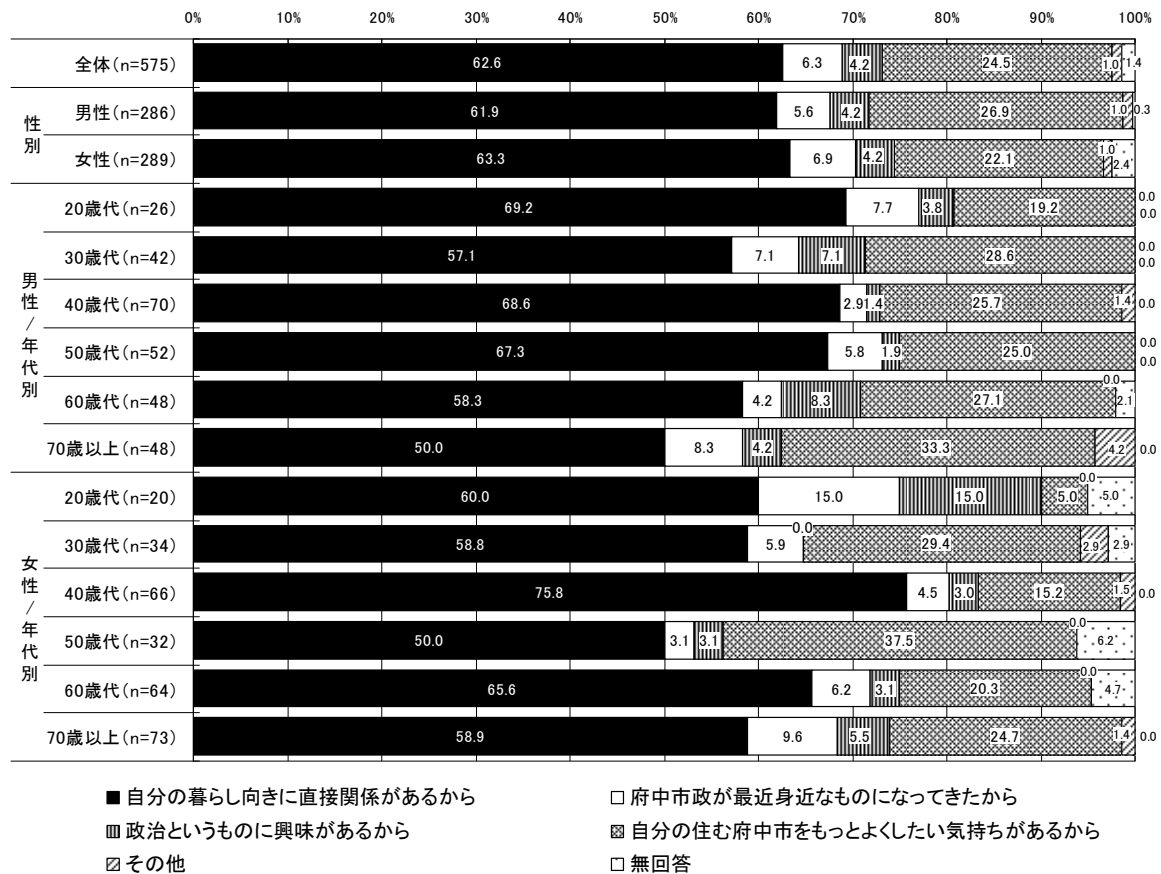


図 6-4 市政に関心を持つ理由(性別／年代別)

	自分の暮らし向きに直接関係があるから	府中市政が最近身近なものになってきたから	政治というものに興味があるから	自分の住む府中市をもっとよくしたい気持ちがあるから	その他	(無回答)
全体 (n=575)	62.6	6.3	4.2	24.5	1.0	1.4
男性 (n=286)	61.9	5.6	4.2	26.9	1.0	0.3
女性 (n=289)	63.3	6.9	4.2	22.1	1.0	2.4
男性／20歳代 (n=26)	69.2	7.7	3.8	19.2	0.0	0.0
男性／30歳代 (n=42)	57.1	7.1	7.1	28.6	0.0	0.0
男性／40歳代 (n=70)	68.6	2.9	1.4	25.7	1.4	0.0
男性／50歳代 (n=52)	67.3	5.8	1.9	25.0	0.0	0.0
男性／60歳代 (n=48)	58.3	4.2	8.3	27.1	0.0	2.1
男性／70歳以上 (n=48)	50.0	8.3	4.2	33.3	4.2	0.0
女性／20歳代 (n=20)	60.0	15.0	15.0	5.0	0.0	5.0
女性／30歳代 (n=34)	58.8	5.9	0.0	29.4	2.9	2.9
女性／40歳代 (n=66)	75.8	4.5	3.0	15.2	1.5	0.0
女性／50歳代 (n=32)	50.0	3.1	3.1	37.5	0.0	6.2
女性／60歳代 (n=64)	65.6	6.2	3.1	20.3	0.0	4.7
女性／70歳以上 (n=73)	58.9	9.6	5.5	24.7	1.4	0.0

表 6-4 市政に関心を持つ理由(性別／年代別)

《 問7で「3」または「4」をお答えの方に 》

問7-2. 市政に関心がない理由は、どのようなことでしょうか。次の中から1つだけ選んでください。(n=252)

1. 自分の暮らし向きにあまり関係がないから
2. 忙しくて市政のことなど考えるひまがないから
3. 市政は難しくよくわからないから
4. 今の府中市政は、うまくいっていると思うから
5. その他 ()

市政に関心がない理由として、「忙しくて市政のことなど考えるひまがないから」(34.5%)が最も高く、次いで「市政は難しくよくわからないから」(23.8%)、「自分の暮らし向きにあまり関係がないから」(21.0%)、「今の府中市政は、うまくいっていると思うから」(13.5%)の順となっている。

市政に関心がない理由	回答者数 (人)	割合 (%)
自分の暮らし向きにあまり関係がないから	53	21.0
忙しくて市政のことなど考えるひまがないから	87	34.5
市政は難しくよくわからないから	60	23.8
今の府中市政は、うまくいっていると思うから	34	13.5
その他	16	6.3
(無回答)	2	0.8
合計	252	100.0

表 6-5 市政に関心がない理由

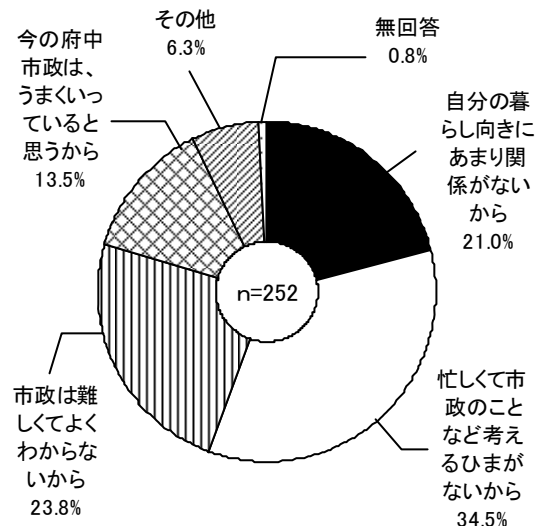


図 6-5 市政に関心がない理由

市政に関心がない理由を性別でみると、「男性」は「忙しくて市政のことなど考えるひまがないから」(35.0%)、「自分の暮らし向きにあまり関係がないから」(29.2%)の順で高い割合を占めており、「女性」は「忙しくて市政のことなど考えるひまがないから」(34.1%)、「市政は難しくてよくわからないから」(31.1%)の順で高い割合を占めている。

年代別は母数が少ないため参考値とする。

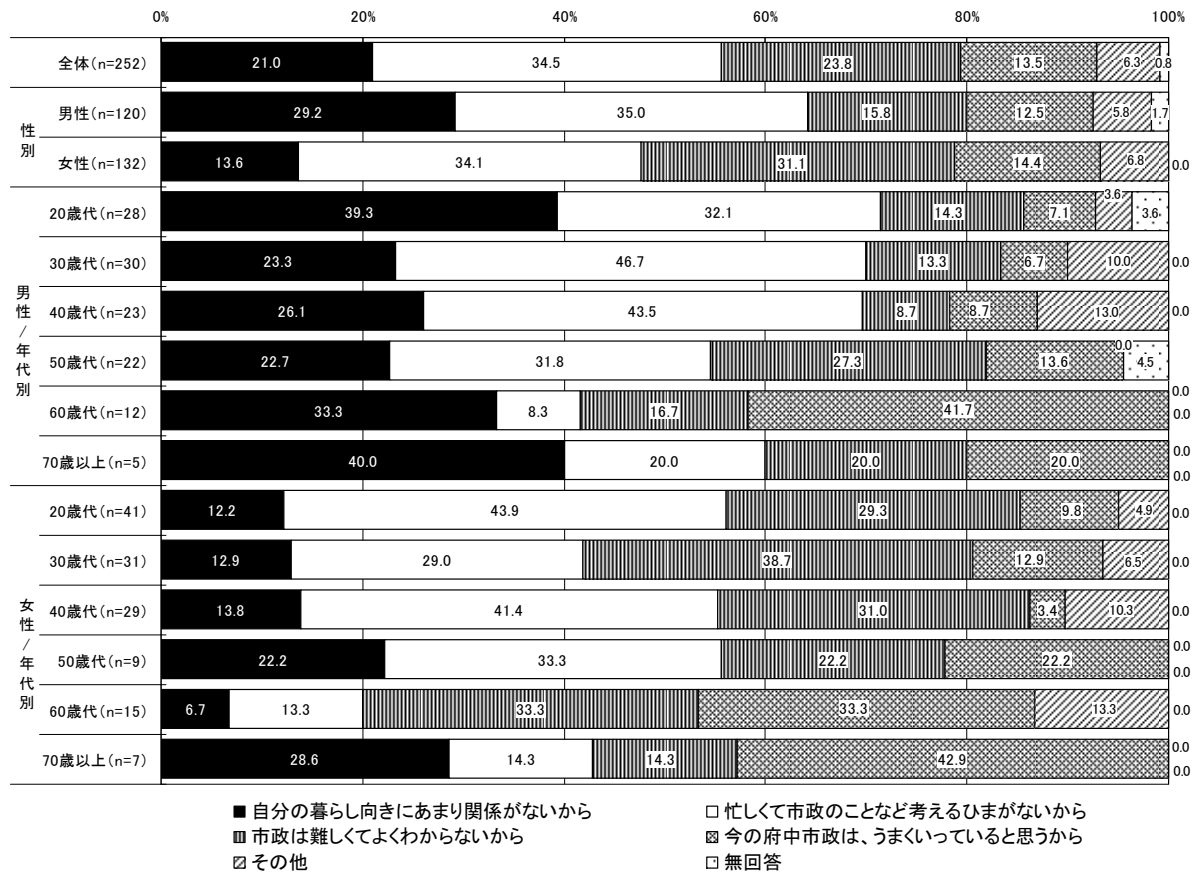


図 6-6 市政に関心がない理由 (性別/年代別)

	自分の暮らし向きにあまり関係がないから	忙しくて市政のことなど考えるひまがないから	市政は難しくてよくわからないから	今の府中市政は、うまくいっていると思うから	その他	(無回答)
全体 (n=252)	21.0	34.5	23.8	13.5	6.3	0.8
男性 (n=120)	29.2	35.0	15.8	12.5	5.8	1.7
女性 (n=132)	13.6	34.1	31.1	14.4	6.8	0.0
男性/20歳代 (n=28)	39.3	32.1	14.3	7.1	3.6	0.0
男性/30歳代 (n=30)	23.3	46.7	13.3	6.7	10.0	0.0
男性/40歳代 (n=23)	26.1	43.5	8.7	8.7	13.0	0.0
男性/50歳代 (n=22)	22.7	31.8	27.3	13.6	0.0	4.5
男性/60歳代 (n=12)	33.3	8.3	16.7	41.7	0.0	0.0
男性/70歳以上 (n=5)	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
女性/20歳代 (n=41)	12.2	43.9	29.3	9.8	4.9	0.0
女性/30歳代 (n=31)	12.9	29.0	38.7	12.9	6.5	0.0
女性/40歳代 (n=29)	13.8	41.4	31.0	3.4	10.3	0.0
女性/50歳代 (n=9)	22.2	33.3	22.2	22.2	0.0	0.0
女性/60歳代 (n=15)	6.7	13.3	33.3	33.3	13.3	0.0
女性/70歳以上 (n=7)	28.6	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0

表 6-6 市政に関心がない理由 (性別/年代別)

7 市への要望について

問8. 府中市に対して、これから特に力を入れてほしいと思うことを、次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで) (n = 835)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 道路の整備 | 13. 清掃・環境整備対策 |
| 2. 公園・緑地の整備 | 14. 勤労者福祉対策 |
| 3. 自然保護対策 | 15. 芸術・文化の振興 |
| 4. 区画整理・市街地再開発の推進 | 16. スポーツ・レクリエーションの振興 |
| 5. 学校施設の整備 | 17. 消防・防災対策 |
| 6. 保育行政の充実 | 18. 産業の振興 |
| 7. 幼児教育の充実 | 19. 消費者対策 |
| 8. 市営住宅の拡充 | 20. 公害防止対策 |
| 9. 障害者福祉対策 | 21. 防犯・風紀対策 |
| 10. 市民の健康管理対策 | 22. その他() |
| 11. 高齢者福祉対策 | 23. 特にない |
| 12. 交通安全対策 | |

市への要望は、「高齢者福祉対策」(34.4%)、「防犯・風紀対策」(26.7%)、「清掃・環境整備対策」(18.1%)、「市民の健康管理対策」(17.0%)の順で高くなっている。

市への要望内容	割合(%)
高齢者福祉対策	34.4
防犯・風紀対策	26.7
清掃・環境整備対策	18.1
市民の健康管理対策	17.0
消防・防災対策	16.4
道路の整備	14.3
消費者対策	13.1
公園・緑地の整備	12.7
交通安全対策	12.6
自然保護対策	12.2
保育行政の充実	10.1
学校施設の整備	9.2
市営住宅の拡充	8.3
障害者福祉対策	8.0
スポーツ・レクリエーションの振興	7.1
区画整理・市街地再開発の推進	6.7
勤労者福祉対策	6.5
産業の振興	6.5
芸術・文化の振興	5.7
公害防止対策	5.1
幼児教育の充実	5.0
その他	6.1
特にない	3.2
(無回答)	3.5

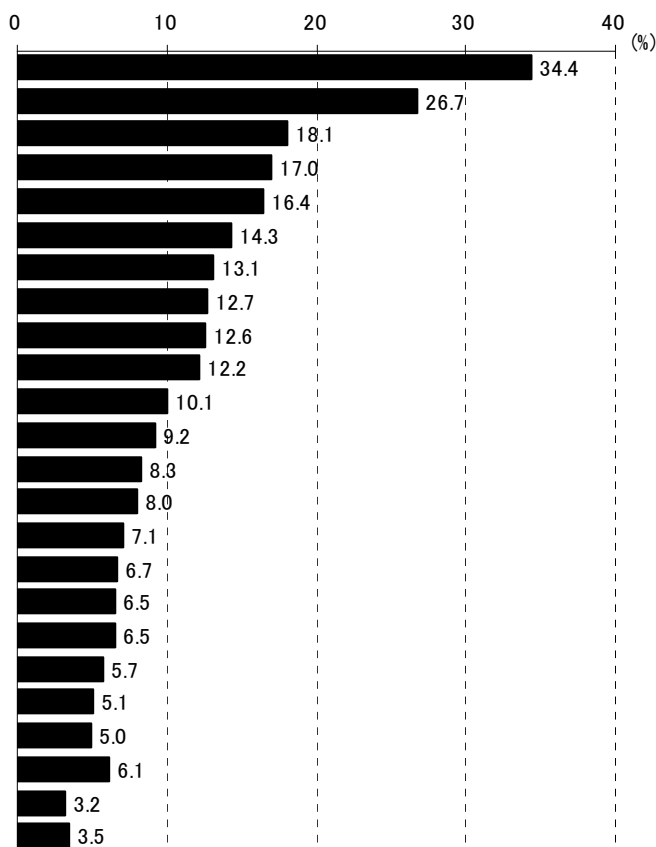


表 7-1 市への要望

図 7-1 市への要望

上位5項目について平成14年度からの順位変動を見ると、今年度1位の「高齢者福祉対策」は、平成17年度以外は常に1位となっている。「防犯・風紀対策」は17年度から新たに加えられ、常に上位となっている。3位の「清掃・環境整備対策」もほぼ毎年上位5項目に含まれている。「市民の健康管理対策」は去年2位となっていたが4位になっている。「消防・防災対策」は今まで上位5項目に入っていなかったが、今年度5位となっている。

	n	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年	835	高齢者福祉対策 34.4%	防犯・風紀対策 26.7%	清掃・環境整備対策 18.1%	市民の健康管理対策 17.0%	消防・防災対策 16.4%
22年	889	高齢者福祉対策 43.5%	市民の健康管理対策 27.0%	防犯・風紀対策 21.9%	清掃・環境整備対策 19.6%	自然保護対策/ 消費者対策 15.7%
21年	881	高齢者福祉対策 42.0%	防犯・風紀対策 27.0%	清掃・環境整備対策 26.6%	市民の健康管理対策 20.0%	消費者対策 16.1%
20年	889	高齢者福祉対策 42.2%	防犯・風紀対策 30.6%	清掃・環境整備対策 25.8%	市民の健康管理対策 18.3%	消費者対策 15.3%
19年	892	高齢者福祉対策 41.8%	清掃・環境整備対策 32.0%	防犯・風紀対策 31.8%	市民の健康管理対策 16.1%	消費者対策 12.4%
18年	882	高齢者福祉対策 42.7%	防犯・風紀対策 34.5%	清掃・環境整備対策 17.6%	市民の健康管理対策 14.5%	自然保護対策 13.5%
17年	851	防犯・風紀対策 42.1%	高齢者福祉対策 38.1%	清掃・環境整備対策 17.3%	市民の健康管理対策 15.7%	道路の整備 13.2%
16年	876	高齢者福祉対策 38.5%	市民の健康管理対策 20.1%	清掃・環境整備対策 18.0%	自然保護対策 17.6%	交通安全対策 16.1%
15年	848	高齢者福祉対策 42.2%	市民の健康管理対策 20.8%	清掃・環境整備対策 16.3%	道路の整備/交通安全対策 15.9%	
14年	870	高齢者福祉対策 40.0%	清掃・環境整備対策 19.3%	自然保護対策 17.4%	市民の健康管理対策/交通安全対策 17.2%	

表 7-2 市への要望の高い順(年度別)

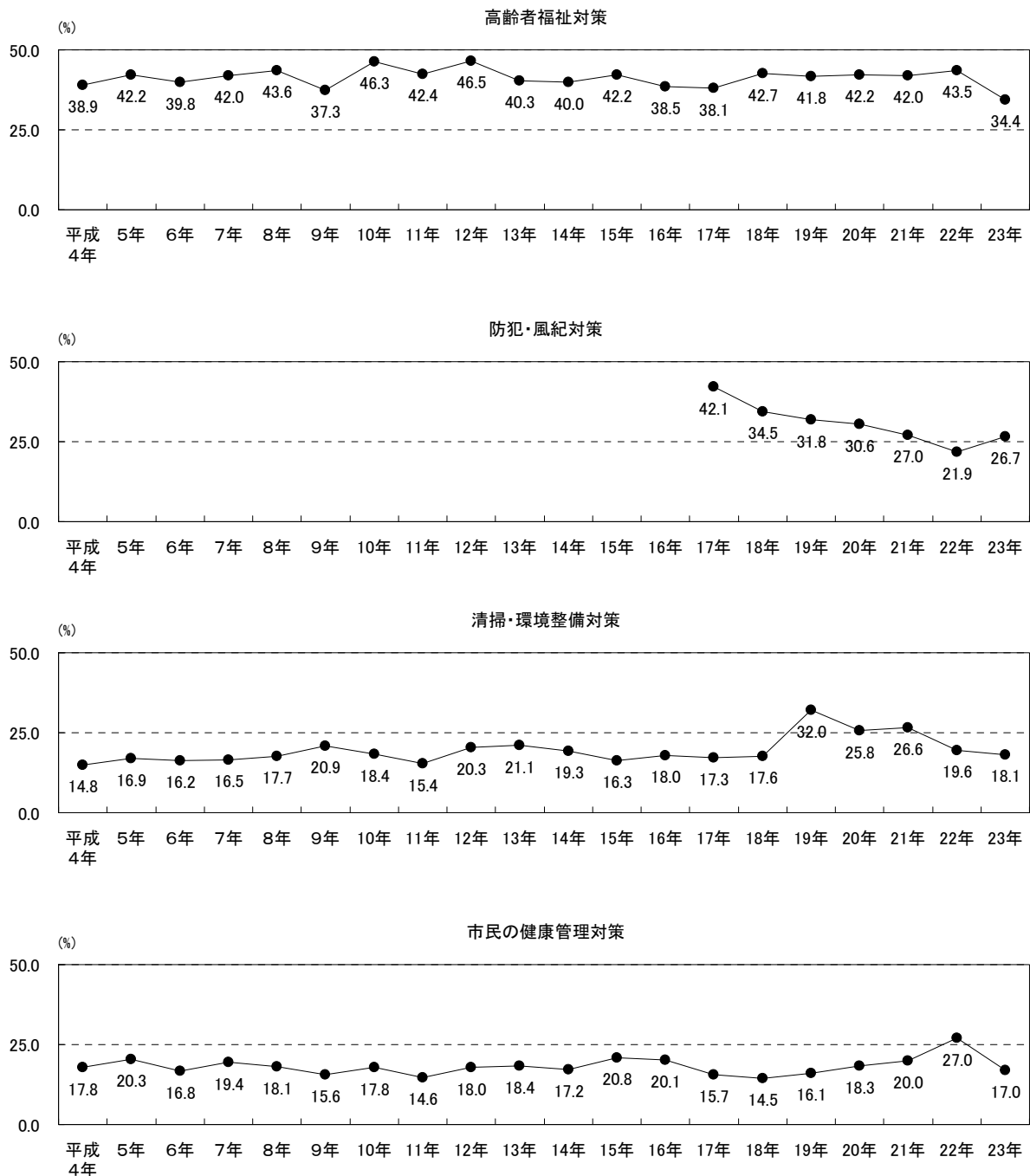
各施策について年度別にみると、「高齢者福祉対策」は、平成18年度から4割を超えていたが、今年度3割半ばと20年間で最も低くなっている。

「防犯・風紀対策」は、5年連続で減少していたが、今年度は増加している。

「清掃・環境整備対策」は、2年連続で減少している。

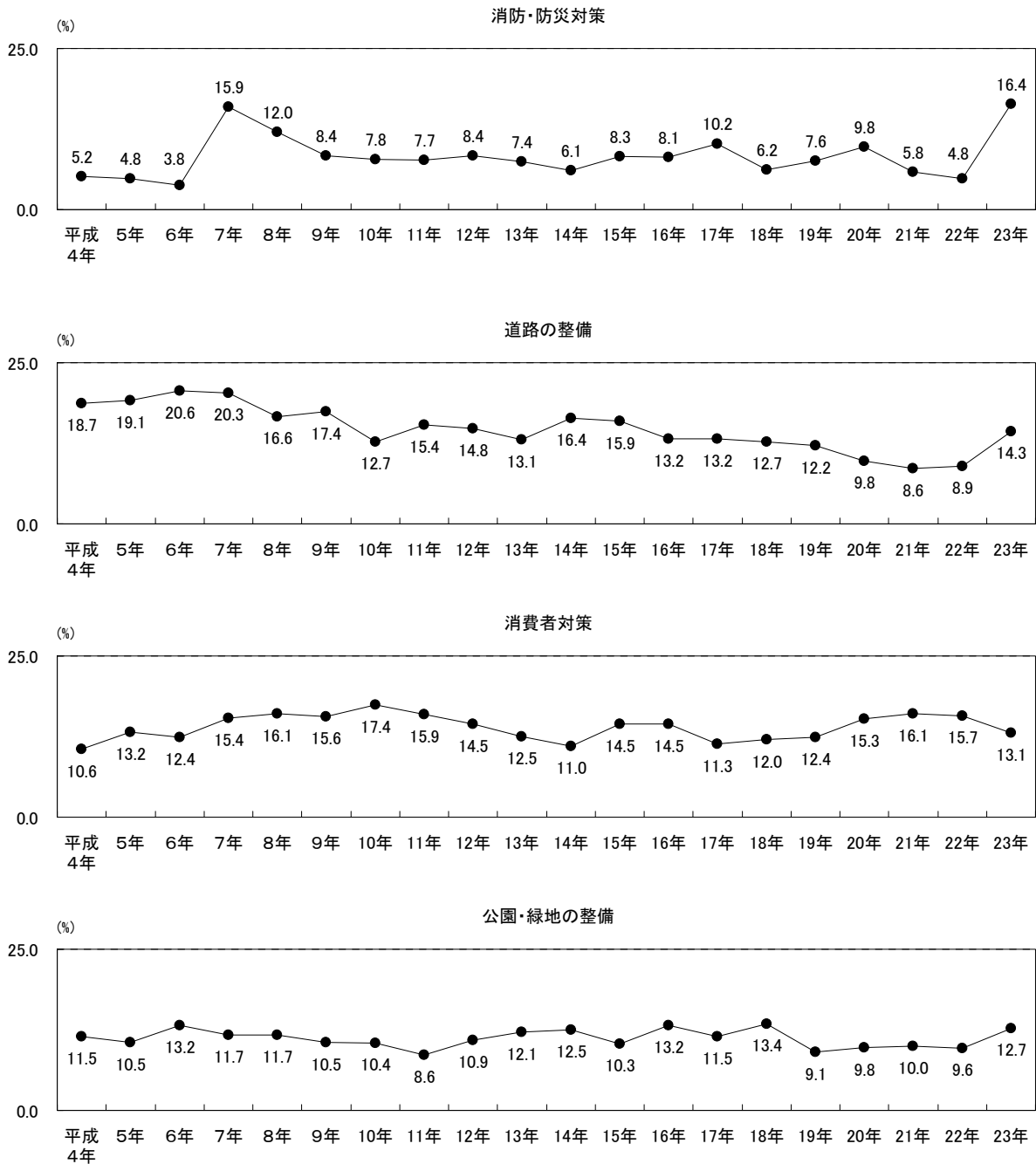
「市民の健康管理対策」は、4年連続で増加していたが、今年度は減少している。

図7-2① 市への要望(年度別)



「消防・防災対策」は、前年度の3倍強の割合となり、過去20年で最も高くなった。
 「道路の整備」は、平成14年度から減少傾向にあったが、ここ2年連続で増加している。
 「消費者対策」は、平成17年度から増加傾向にあったが、ここ2年連続で減少している。
 「公園・緑地の整備」は、平成19年度からほぼ横ばい傾向にあったが、増加している。

図7-2② 市への要望(年度別)



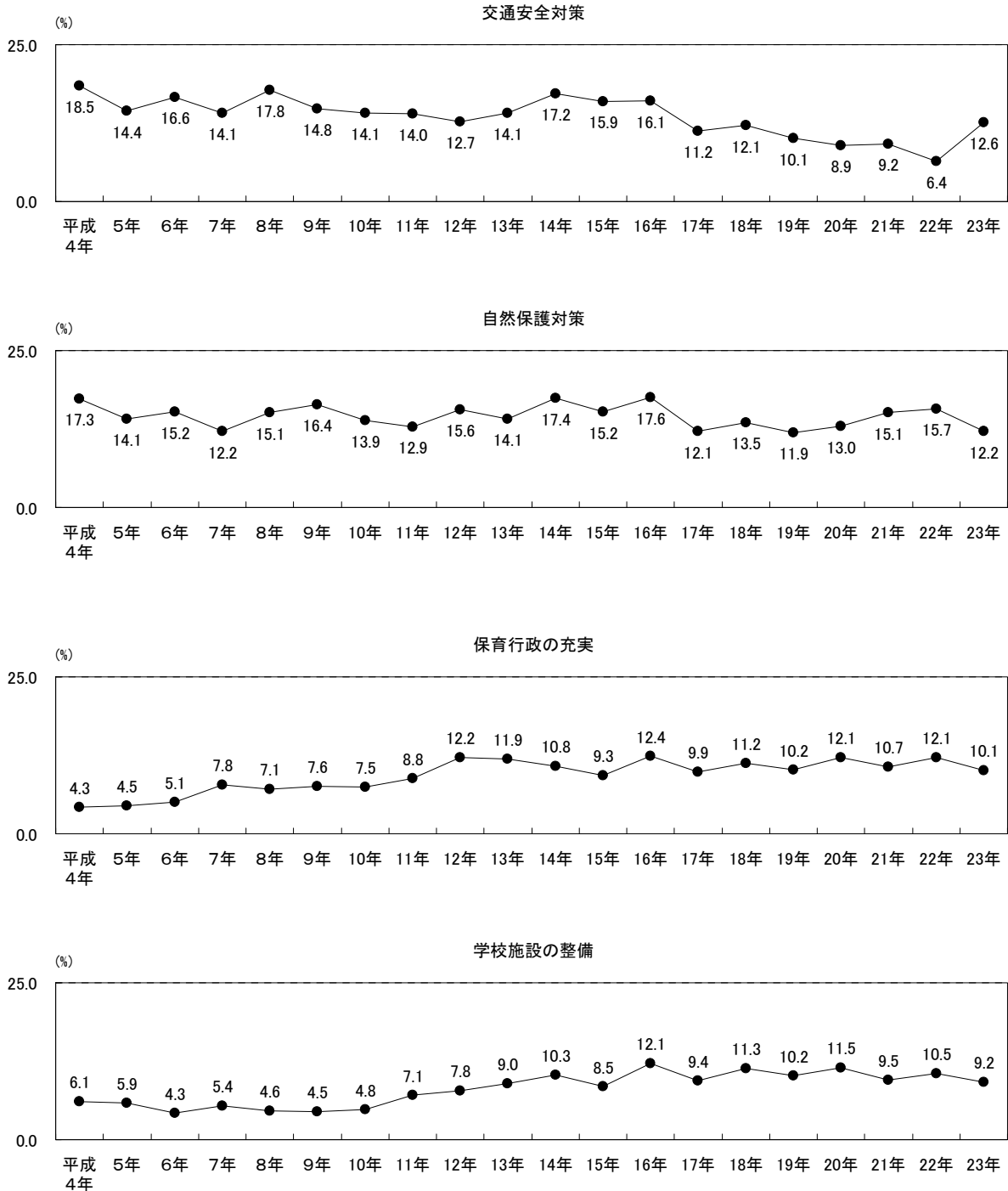
「交通安全対策」は、前年度の約2倍の割合で増加している。

「自然保護対策」は、平成19年度から増加傾向にあったが、減少している。

「保育行政の充実」は、前年度よりは減少しているが、平成12年度からほぼ横ばい傾向にある。

「学校施設の整備」は、前年度は増加したが、今年度は減少している。

図 7-2③ 市への要望(年度別)



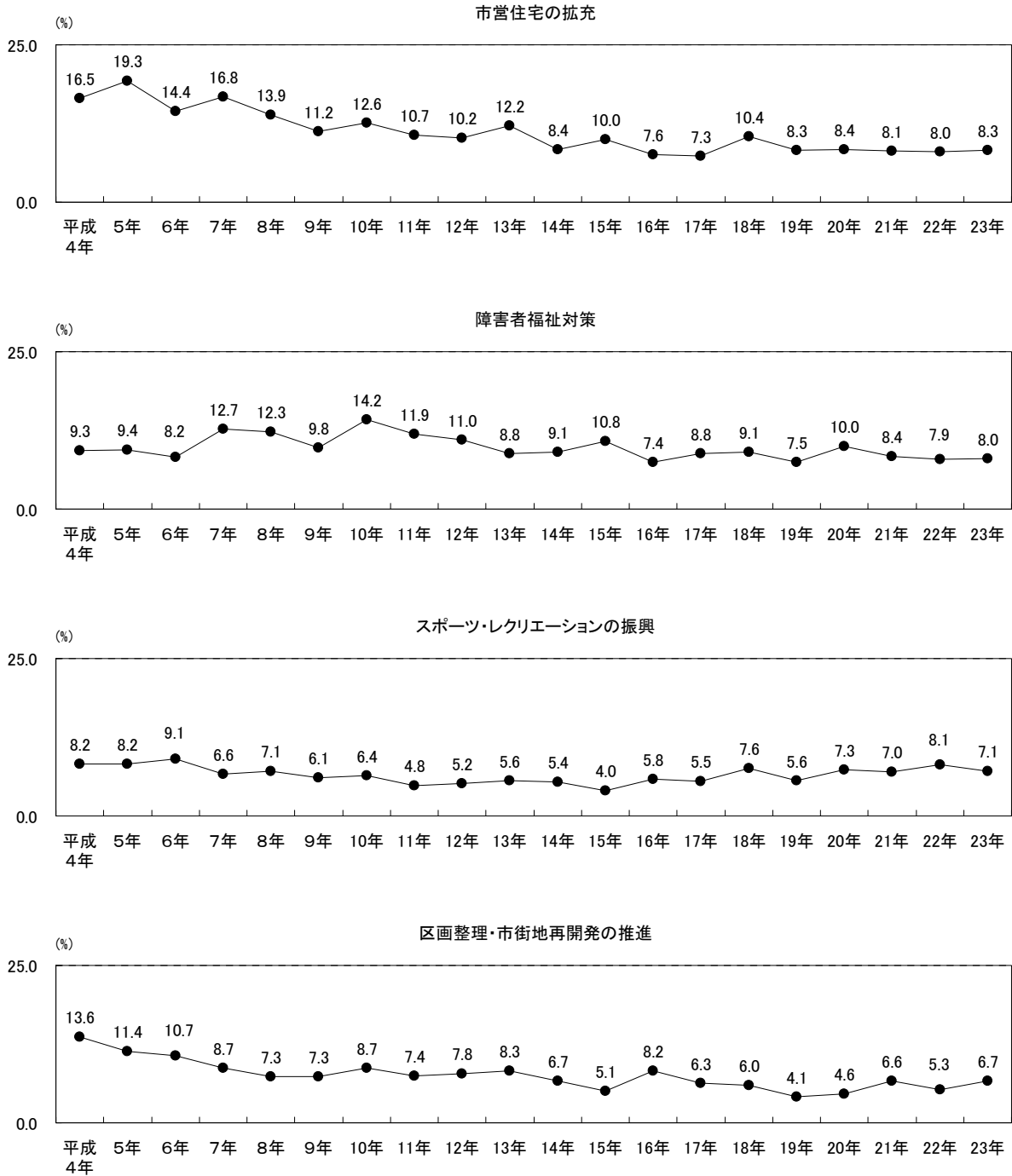
「市営住宅の拡充」は、平成19年度から横ばい傾向にある。

「障害者福祉対策」は、前年度とほぼ同じである。

「スポーツ・レクリエーションの振興」は、前年度より減少している。ほぼ横ばい傾向にある。

「区画整理・市街地再開発の推進」は、前年度より増加している。ほぼ横ばい傾向にある。

図7-2④ 市への要望(年度別)



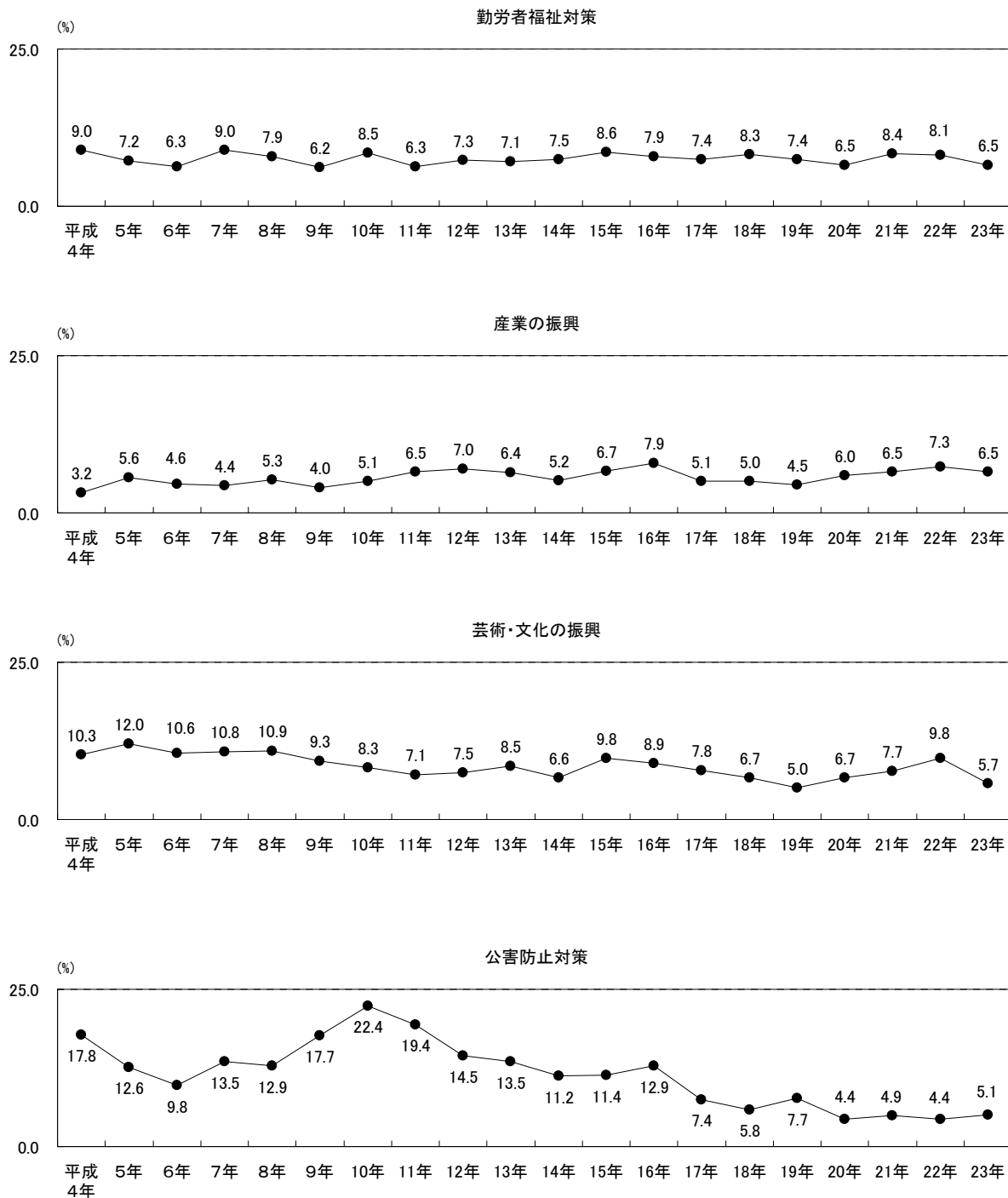
「勤労者福祉対策」は、前年度より減少している。ほぼ横ばい傾向にある。

「産業の振興」は、平成 19 年度から増加傾向にあったが、今回は減少している。

「芸術・文化の振興」は、平成 19 年度から増加傾向にあったが、今回は減少している。

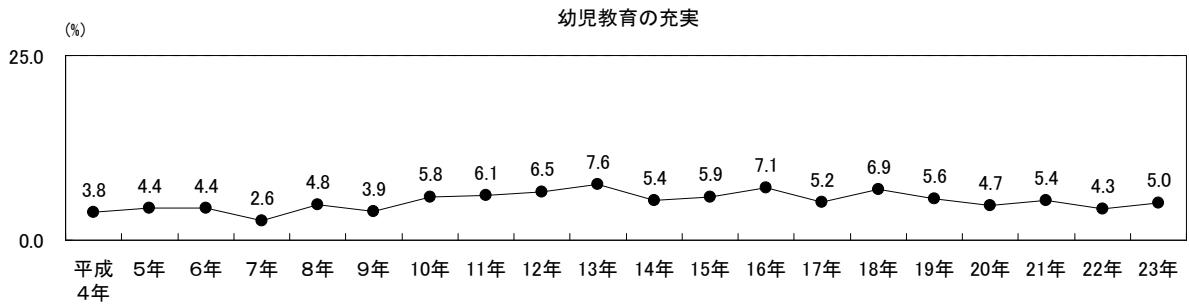
「公害防止対策」は、前年度より増加している。平成 20 年度よりほぼ横ばい傾向にある。

図 7-2⑤ 市への要望(年度別)



「幼児教育の充実」は、前年度より増加している。ほぼ横ばい傾向にある。

図 7-2⑥ 市への要望(年度別)



地区別にみて、市への要望が高い順に4つ並べると表 7-3 のようになる。概ね、どの地区も「高齢者福祉対策」「防犯・風紀対策」が高くなっている。「白糸台」は「防犯・風紀対策」が、「武蔵台」は「市民の健康管理対策」が最も高く、その他の地域では「高齢者福祉対策」が最も高い。

順位 地区名	1位		2位		3位		4位	
紅葉丘	高齢者福祉対策	30.7	防犯・風紀対策	25.3	道路の整備	21.3	交通安全対策	20.0
白糸台	防犯・風紀対策	29.1	高齢者福祉対策	27.2	清掃・環境整備対策	21.4	道路の整備	17.5
押立	高齢者福祉対策	41.7	市民の健康管理対策	29.2	清掃・環境整備対策	25.0	防犯・風紀対策	20.8
是政	高齢者福祉対策	37.7	清掃・環境整備対策	22.1	市民の健康管理対策	20.8	防犯・風紀対策	16.9
住吉	高齢者福祉対策	41.9	防犯・風紀対策	29.1	消防・防災対策	20.9	市民の健康管理対策 清掃・環境整備対策	18.6
片町	高齢者福祉対策	33.7	防犯・風紀対策	32.7	清掃・環境整備対策	20.2	公園・緑地の整備	17.3
中央	高齢者福祉対策	35.9	防犯・風紀対策	27.4	清掃・環境整備対策	18.8	市民の健康管理対策	17.1
新町	高齢者福祉対策	37.6	防犯・風紀対策	29.0	消防・防災対策	20.4	道路の整備	19.4
武蔵台	市民の健康管理対策	25.0	高齢者福祉対策	23.2	保育行政の充実	23.2	防犯・風紀対策	17.9
西府	高齢者福祉対策	32.8	防犯・風紀対策	27.9	消防・防災対策	21.3	道路の整備 学校施設の整備 自然保護対策	18.0
四谷	高齢者福祉対策	41.0	防犯・風紀対策	28.2	交通安全対策	20.5	消防・防災対策	17.9

表 7-3 市への要望の高い順(地区別)

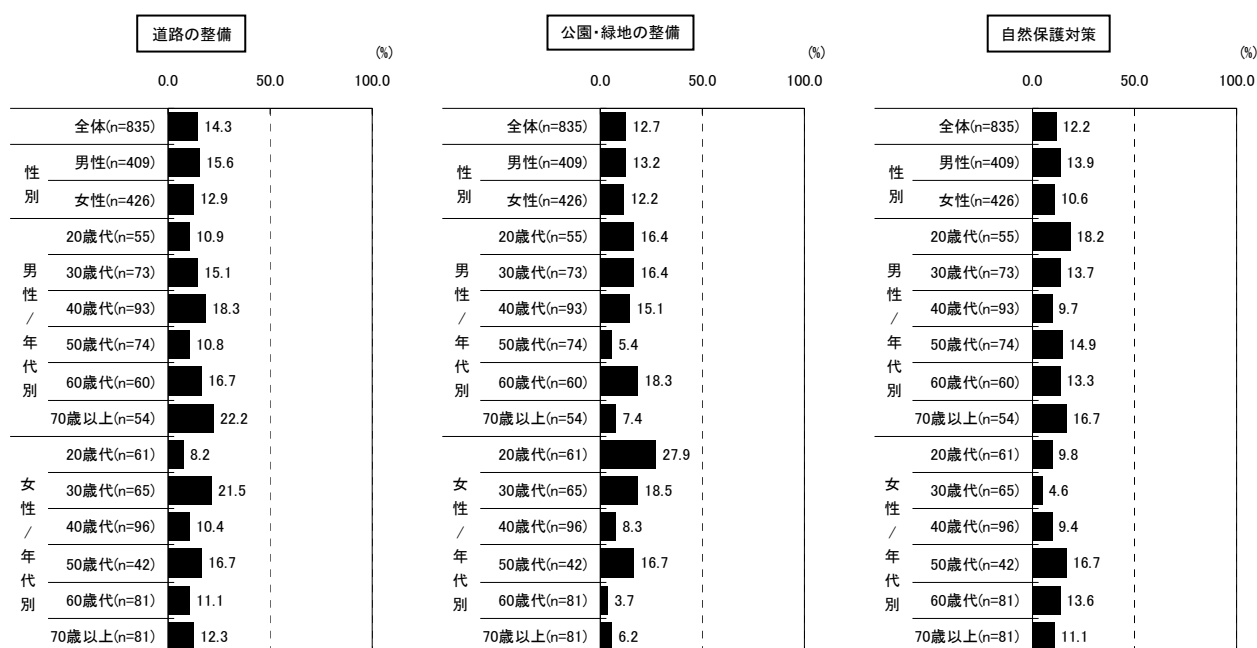
性別／年代別にみて、市への要望が高い順に4つ並べると表7-4のようになる。性別では男女とも「高齢者福祉対策」「防犯・風紀対策」の順で高くなっている。

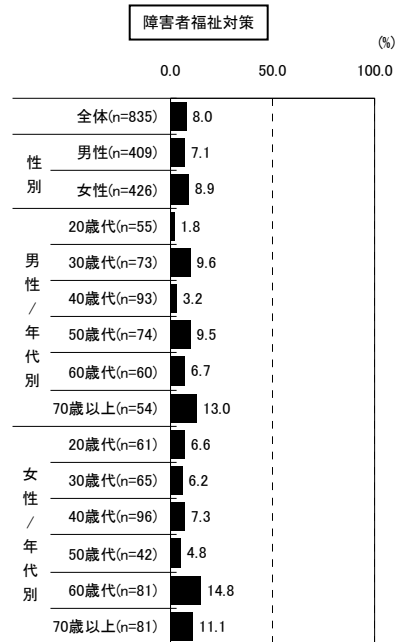
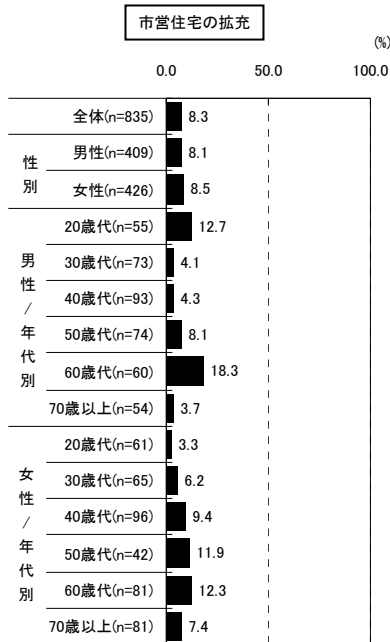
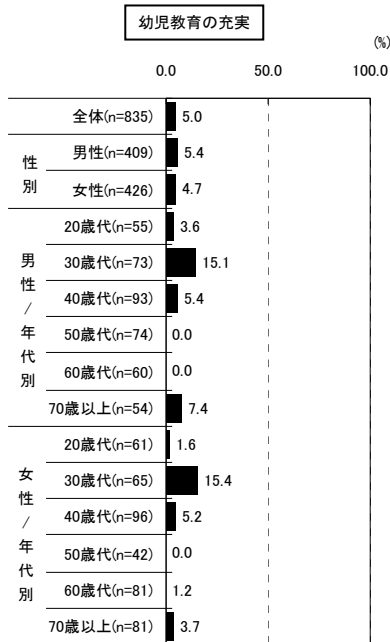
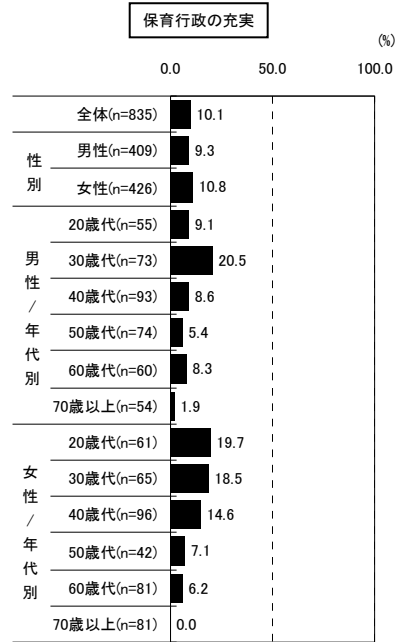
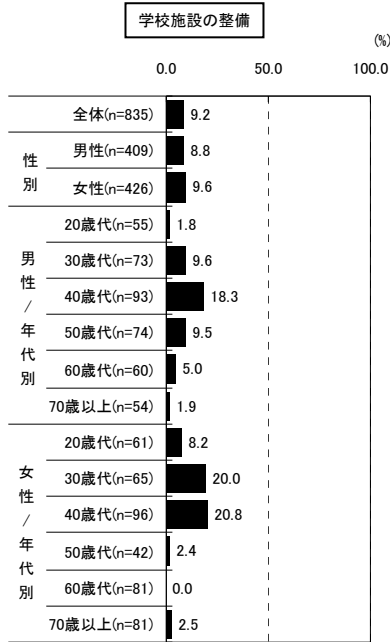
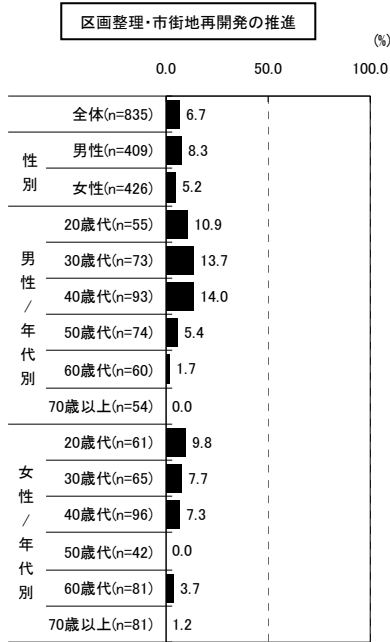
性別／年代別にみると、男女とも50歳以上で「高齢者福祉対策」が最も高く、50歳以下では「男性／20歳代」を除いて、「防犯・風紀対策」が最も高くなっている。

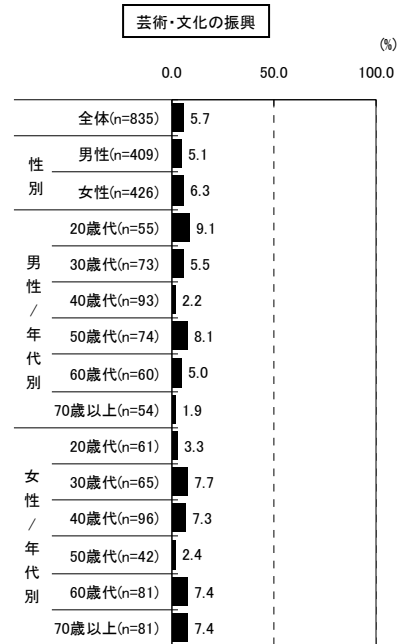
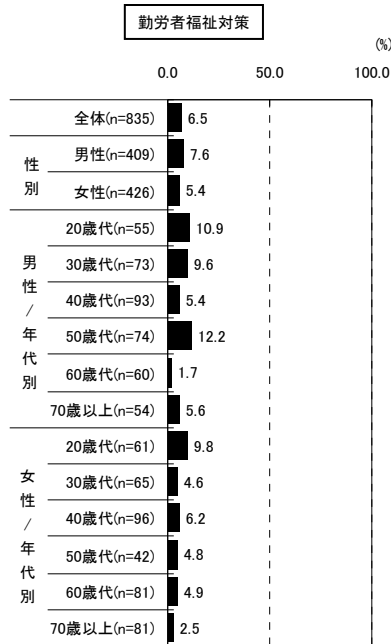
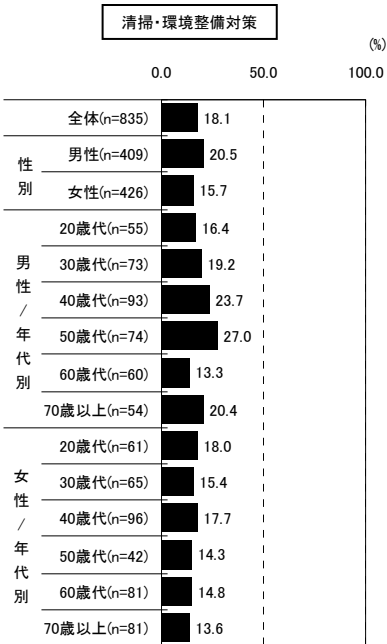
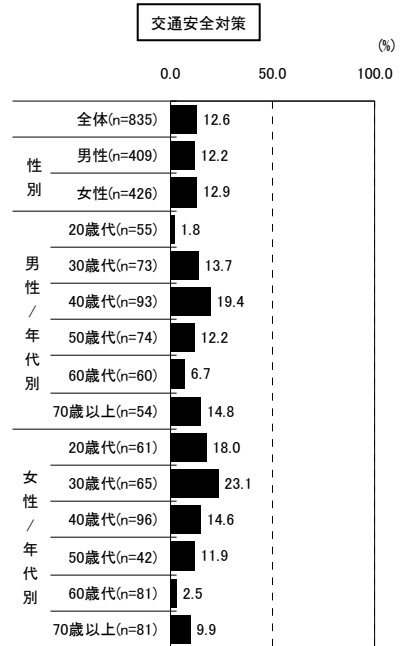
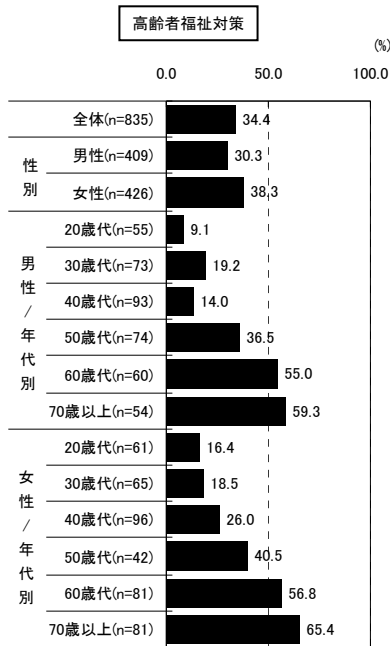
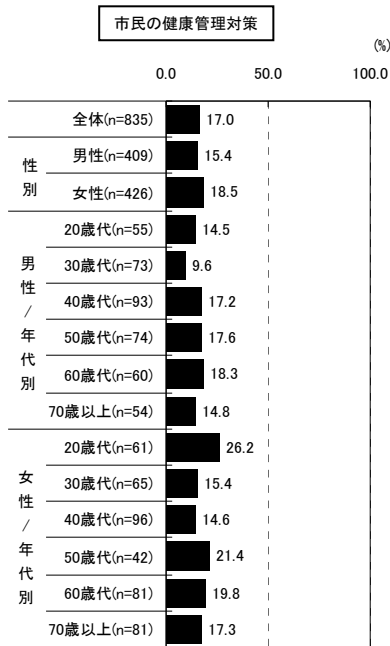
性別／年代別	順位	1位	2位	3位	4位
男性		高齢者福祉対策 30.3	防犯・風紀対策 25.2	清掃・環境整備対策 20.5	消防・防災対策 16.4
女性		高齢者福祉対策 38.3	防犯・風紀対策 28.2	市民の健康管理対策 18.5	消防・防災対策 16.4
男性／20～29歳		スポーツ・レクリエーションの振興 20.0	自然保護対策 18.2	防犯・風紀対策 清掃・環境整備対策 公園・緑地の整備 16.4	市民の健康管理対策 公害防止対策 14.5
男性／30～39歳		防犯・風紀対策 23.3	保育行政の充実 20.5	清掃・環境整備対策 高齢者福祉対策 19.2	公園・緑地の整備 16.4
男性／40～49歳		防犯・風紀対策 32.3	清掃・環境整備対策 23.7	交通安全対策 19.4	道路の整備 学校施設の整備 18.3
男性／50～59歳		高齢者福祉対策 36.5	防犯・風紀対策 28.4	清掃・環境整備対策 27.0	消防・防災対策 23.0
男性／60～69歳		高齢者福祉対策 55.0	防犯・風紀対策 28.3	消防・防災対策 26.7	市民の健康管理対策 市営住宅の拡充 公園・緑地の整備 18.3
男性／70歳以上		高齢者福祉対策 59.3	道路の整備 22.2	清掃・環境整備対策 20.4	消費者対策 18.5
女性／20～29歳		防犯・風紀対策 29.5	公園・緑地の整備 27.9	市民の健康管理対策 26.2	保育行政の充実 19.7
女性／30～39歳		防犯・風紀対策 29.2	交通安全対策 23.1	道路の整備 21.5	学校施設の整備 20.0
女性／40～49歳		防犯・風紀対策 30.2	高齢者福祉対策 26.0	学校施設の整備 20.8	清掃・環境整備対策 消防・防災対策 17.7
女性／50～59歳		高齢者福祉対策 40.5	防犯・風紀対策 38.1	市民の健康管理対策 21.4	消防・防災対策 19.0
女性／60～69歳		高齢者福祉対策 56.8	防犯・風紀対策 29.6	消防・防災対策 21.0	市民の健康管理対策 19.8
女性／70歳以上		高齢者福祉対策 65.4	防犯・風紀対策 消防・防災対策 市民の健康管理対策 17.3	消費者対策 16.0	清掃・環境整備対策 13.6

表7-4 市への要望の高い順(性別／年代別)

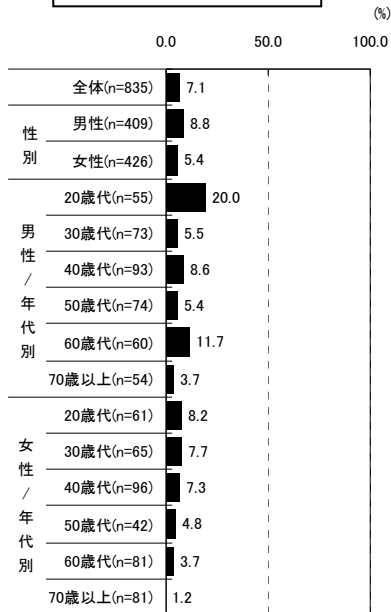
図7-3 市への要望(性別／年代別)



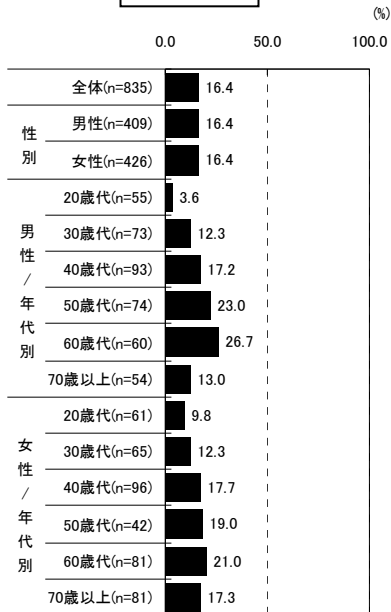




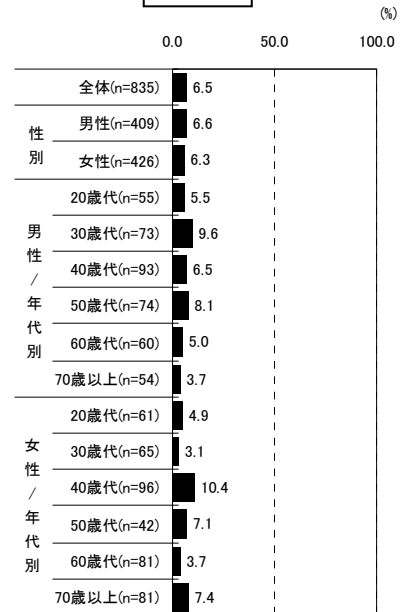
スポーツ・レクリエーションの振興



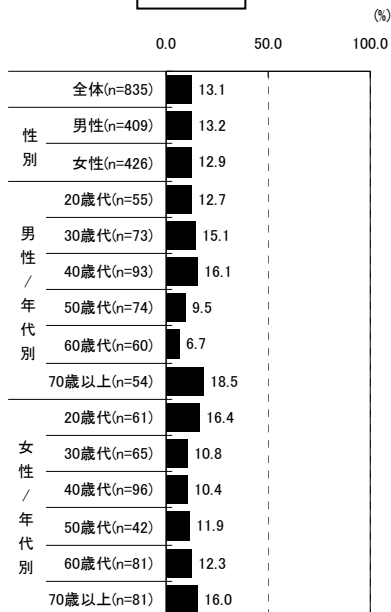
消防・防災対策



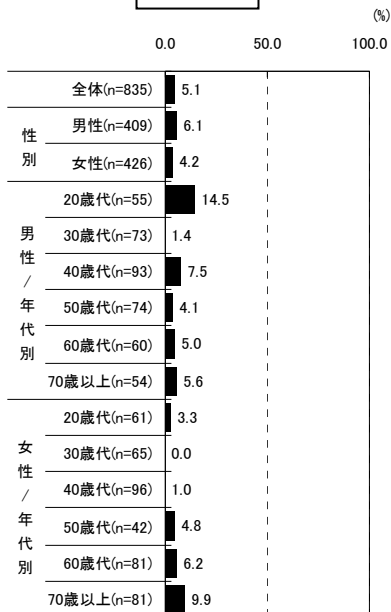
産業の振興



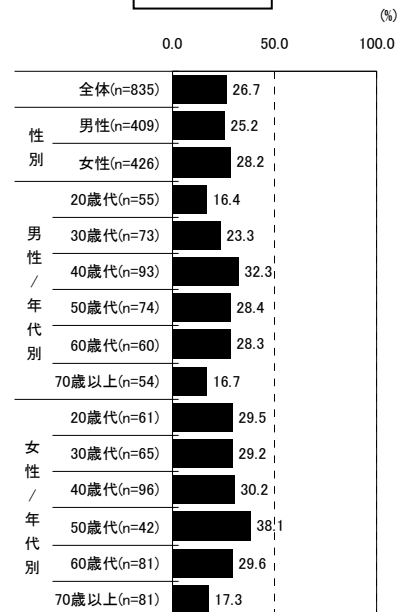
消費者対策

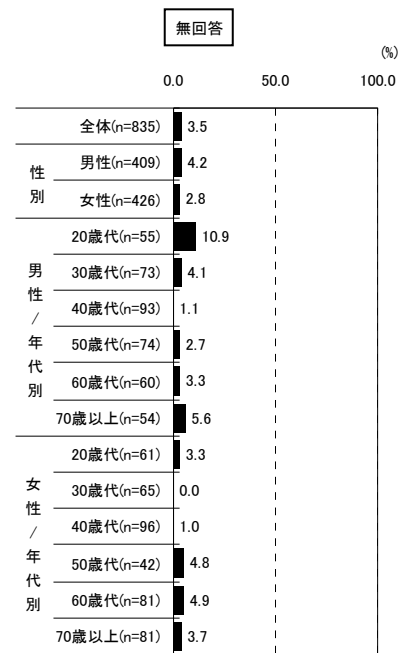
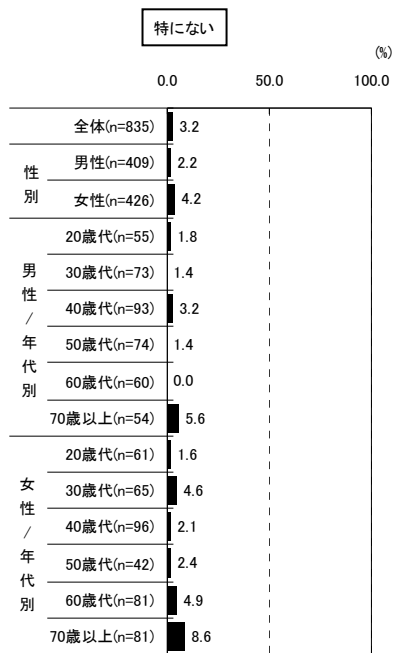
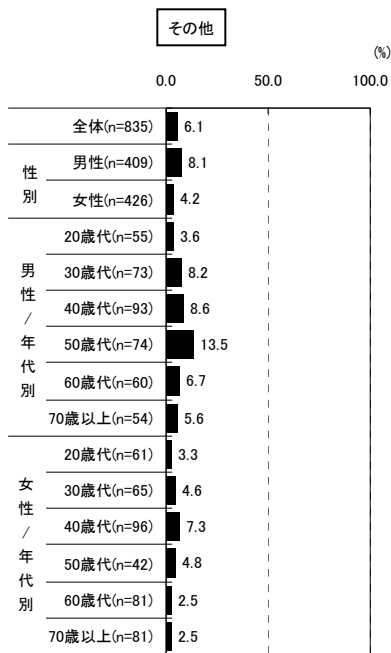


公害防止対策



防犯・風紀対策



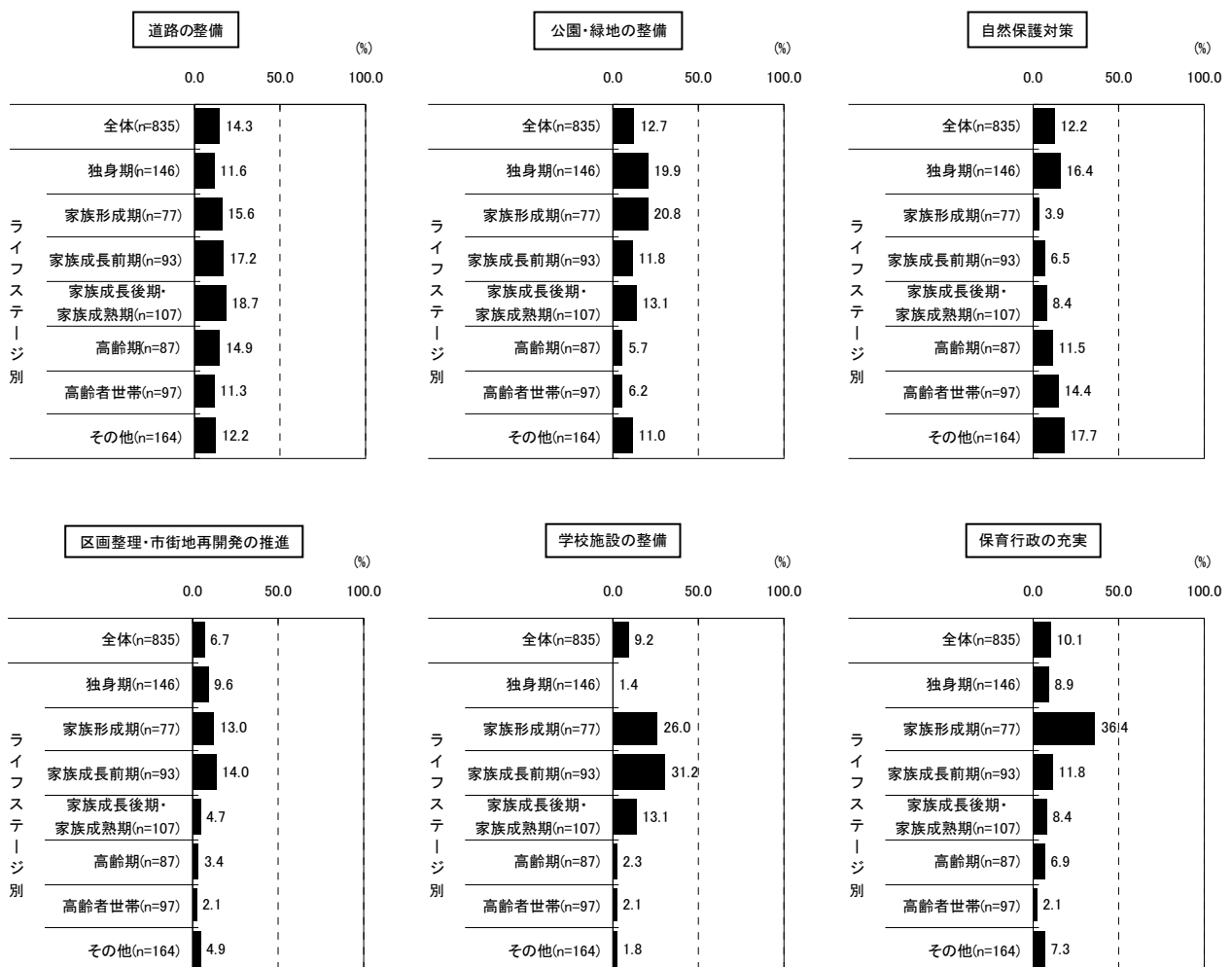


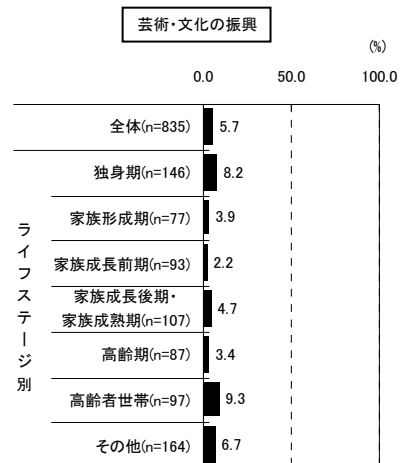
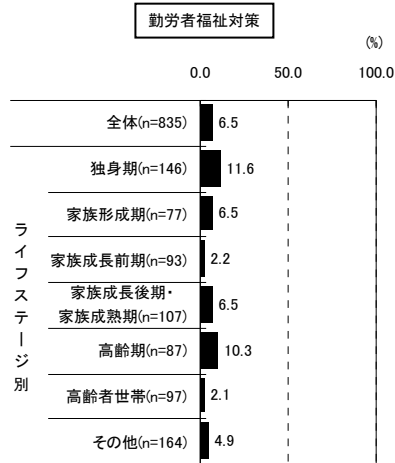
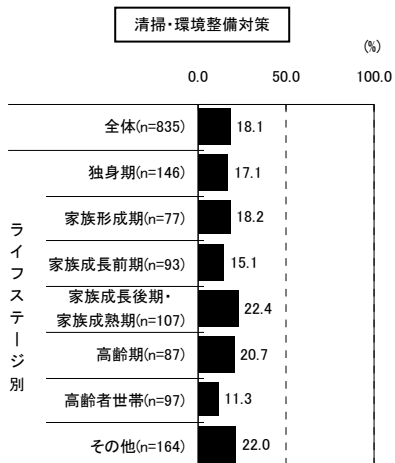
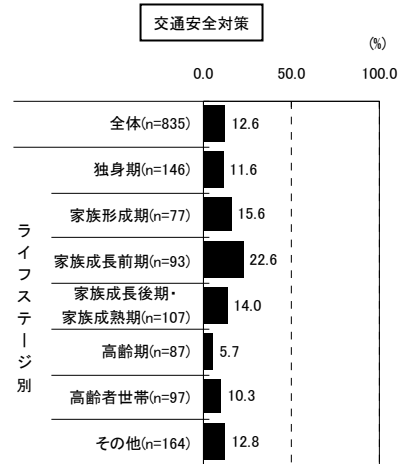
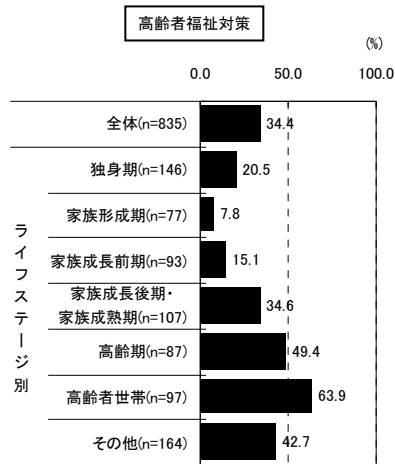
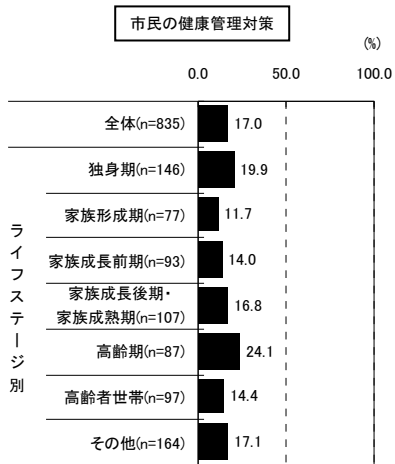
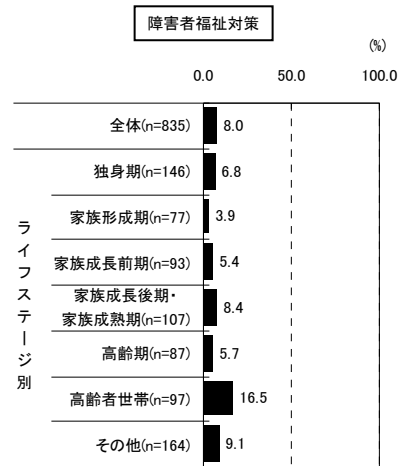
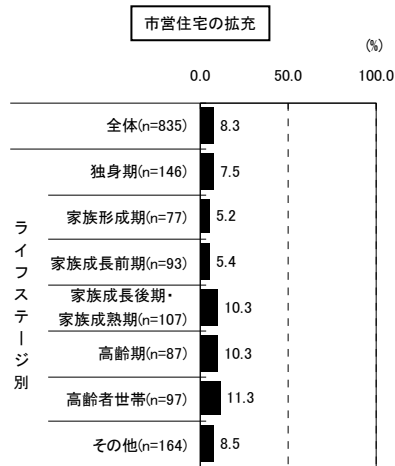
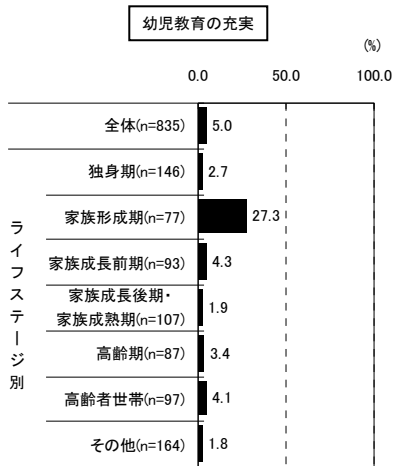
ライフステージ別にみて、市への要望が高い順に4つ並べると表7-5のようになる。「高齢期」「高齢者世帯」では、「高齢者福祉対策」が非常に高くなっている。「家族形成期」では、「保育行政の充実」「幼児教育の充実」「学校施設の整備」の順で高く、「家族成長前期」では、「学校施設の整備」「防犯・風紀対策」「交通安全対策」の順となっている。

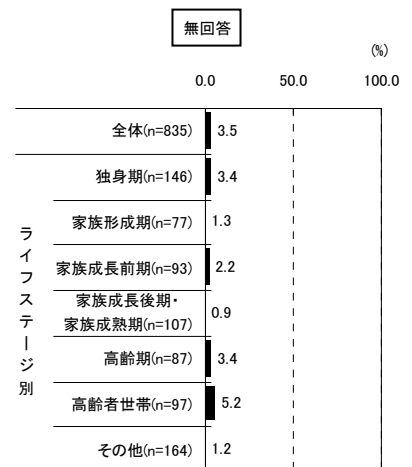
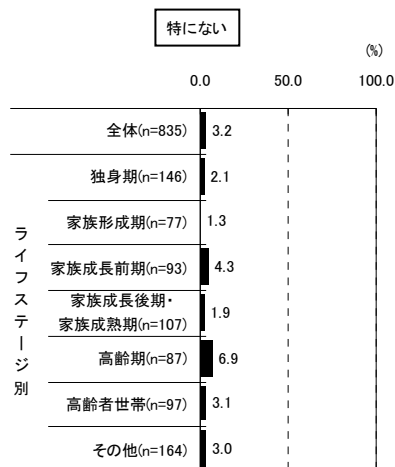
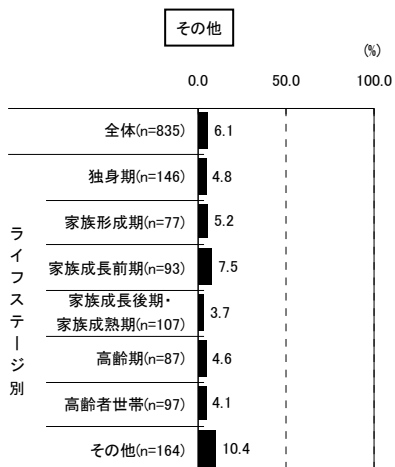
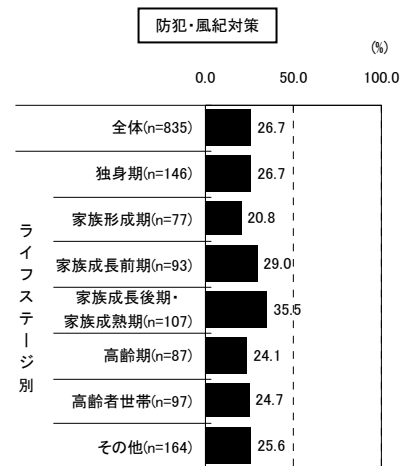
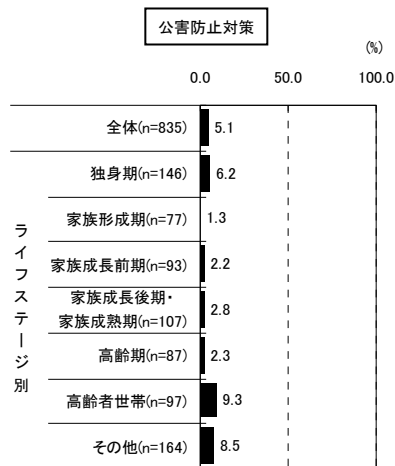
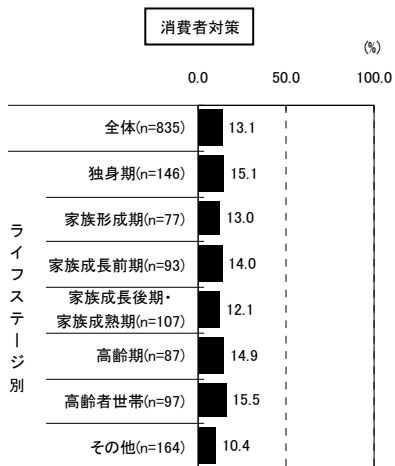
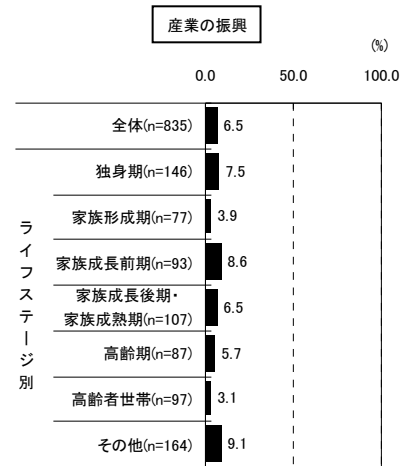
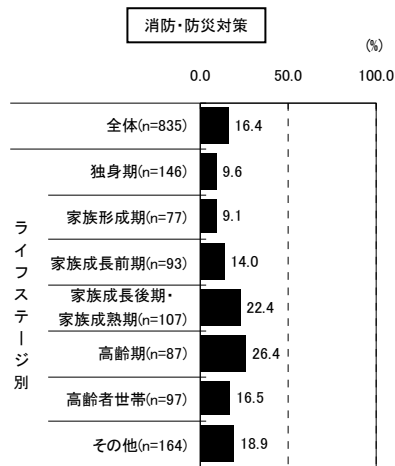
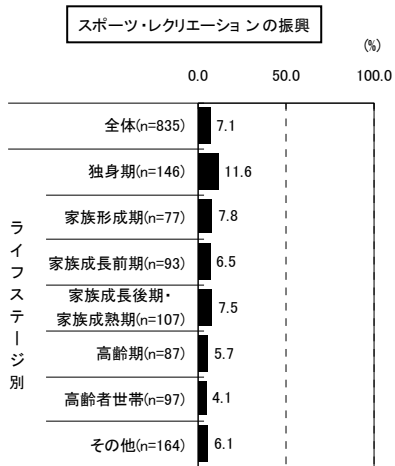
ライフステージ別	順位		1位		2位		3位		4位	
	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
独身期	防犯・風紀対策	26.7	高齢者福祉対策	20.5	公園・緑地の整備 市民の健康管理対策	19.9	清掃・環境整備対策	17.1		
家族形成期	保育行政の充実	36.4	幼児教育の充実	27.3	学校施設の整備	26.0	防犯・風紀対策 公園・緑地の整備	20.8		
家族成長前期	学校施設の整備	31.2	防犯・風紀対策	29.0	交通安全対策	22.6	道路の整備	17.2		
家族成長後期・ 家族成熟期	防犯・風紀対策	35.5	高齢者福祉対策	34.6	清掃・環境整備対策 消防・防災対策	22.4	道路の整備	18.7		
高齢期	高齢者福祉対策	49.4	消防・防災対策	26.4	防犯・風紀対策 市民の健康管理対策	24.1	清掃・環境整備対策	20.7		
高齢者世帯	高齢者福祉対策	63.9	防犯・風紀対策	24.7	消防・防災対策 障害者福祉対策	16.5	消費者対策	15.5		
その他	高齢者福祉対策	42.7	防犯・風紀対策	25.6	清掃・環境整備対策	22.0	消防・防災対策	18.9		

表7-5 市への要望の高い順(ライフステージ別)

図7-4 市への要望(ライフステージ別)







8 府中市総合計画について

(1) 府中市総合計画を知っているか

問9. 府中市では、行政のあらゆる分野を網羅した総合的で計画的な行政運営の指針となる「府中市総合計画」を策定し、この計画に基づき、市政運営を行っております。あなたはこの総合計画をご存知ですか。次の中から1つだけ選んでください。(n=835)

1. 知っているし、内容もある程度知っている
2. 知っているが、内容は知らない
3. 知らない

「府中市総合計画」を「知らない」と回答した割合が6割半ばを占めている。次いで、「知っているが、内容は知らない」(27.9%)、「知っているし、内容もある程度知っている」(5.1%)の順となっている。

	回答者数(人)	割合(%)
知っているし、内容もある程度知っている	43	5.1
知っているが、内容は知らない	233	27.9
知らない	549	65.7
(無回答)	10	1.2
合計	835	100.0

表 8-1 総合計画について

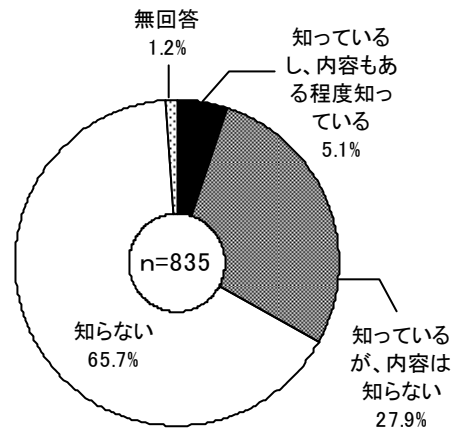


図 8-1 総合計画について

	知っているし、内容もある程度知っている	知っているが、内容は知らない	知らない	(無回答)
全体 (n=835)	5.1	27.9	65.7	1.2
男性 (n=409)	5.4	23.2	70.4	1.0
女性 (n=426)	4.9	32.4	61.3	1.4
男性/20歳代 (n=55)	1.8	12.7	81.8	3.6
男性/30歳代 (n=73)	2.7	19.2	78.1	0.0
男性/40歳代 (n=93)	2.2	21.5	76.3	0.0
男性/50歳代 (n=74)	8.1	23.0	67.6	1.4
男性/60歳代 (n=60)	11.7	25.0	61.7	1.7
男性/70歳以上 (n=54)	7.4	40.7	51.9	0.0
女性/20歳代 (n=61)	4.9	13.1	82.0	0.0
女性/30歳代 (n=65)	1.5	16.9	81.5	0.0
女性/40歳代 (n=96)	2.1	30.2	66.7	1.0
女性/50歳代 (n=42)	2.4	31.0	64.3	2.4
女性/60歳代 (n=81)	7.4	40.7	48.1	3.7
女性/70歳以上 (n=81)	9.9	54.3	34.6	1.2

表 8-2 総合計画について(性別/年代別)

「府中市総合計画」の認知度を性別／年代別にみると、「知っているし、内容もある程度知っている」は、「男性／60歳代」(11.7%)、「女性／70歳以上」(9.9%)、「男性／50歳代」(8.1%)、「男性／70歳以上」(7.4%)の順となっており、概ね年齢が高いほど認知度が高い傾向にある。

一方、「知らない」と回答した割合は、「女性／20歳代」(82.0%)、「男性／20歳代」(81.8%)、「女性／30歳代」(81.5%)、「男性／30歳代」(78.1%)の順となっており、年齢が低いほど認知度も低くなっている。

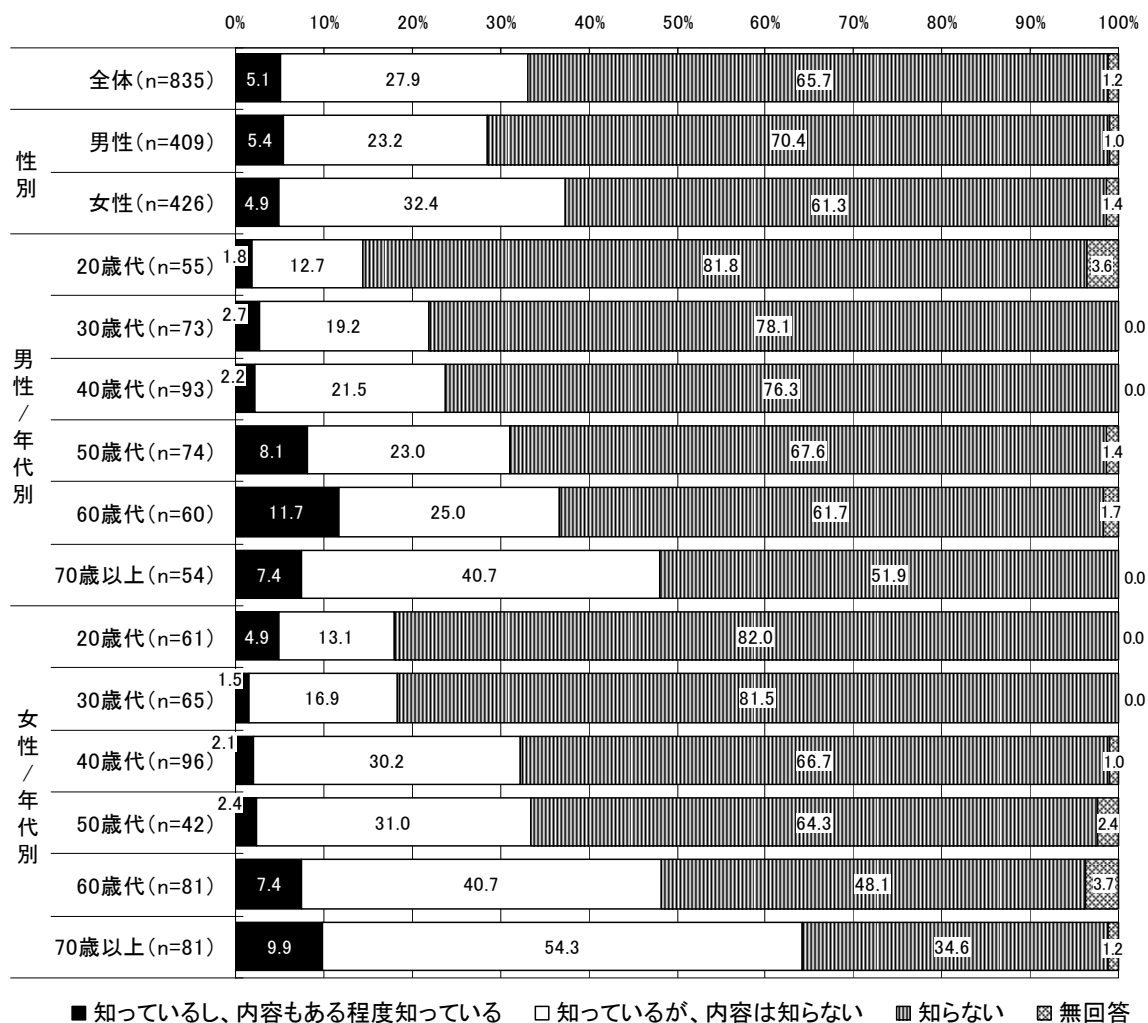


図 8-2 総合計画について(性別／年代別)

(2) 府中市総合計画を知った方法

《 問9で「1」または「2」をお答えの方に 》

問9-1. 総合計画をどのような方法でお知りになりましたか。当てはまるものをすべて選んでください。(n=276)

1. 広報「ふちゅう」
2. ホームページ
3. 図書館・市政情報公開室
4. 冊子を購入
5. その他()

総合計画を知った方法は、「広報「ふちゅう」」(88.8%)が9割近くで最も高く、次いで「ホームページ」(12.7%)、「図書館・市政情報公開室」(5.1%)の順となっている。「冊子を購入」という回答は無い。

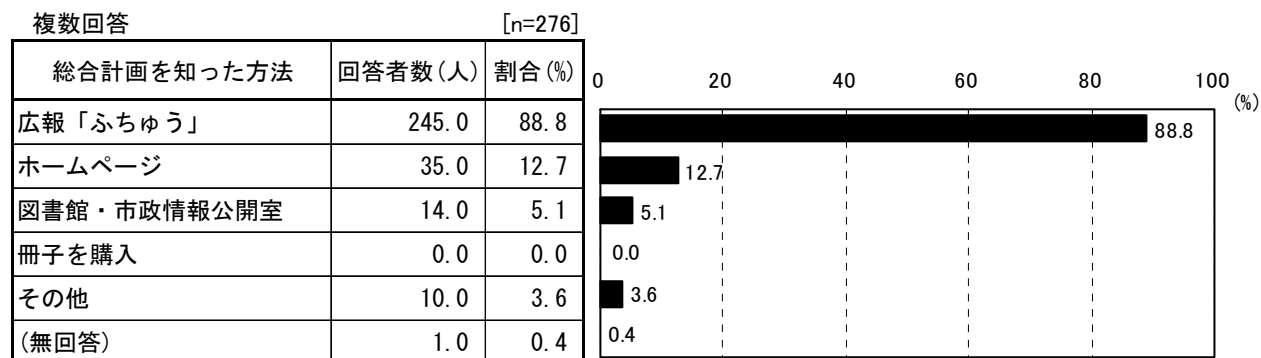


表 8-3 総合計画を知った方法

図 8-3 総合計画を知った方法

(3) 新たな府中市総合計画を知りたいか

問10. 府中市では現在、新たな総合計画の策定作業を進めておりますが、その計画が策定されたとき、計画内容を知りたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n = 835)

1. 内容を知りたい 2. 内容を知りたいとは思わない

新たな総合計画が策定されたとき、総合計画の「内容を知りたい」(80.2%)が8割を占める。「内容を知りたいとは思わない」は14.7%となっている。

	回答者数(人)	割合(%)
内容を知りたい	670	80.2
内容を知りたいとは思わない	123	14.7
(無回答)	42	5.0
合計	835	100.0

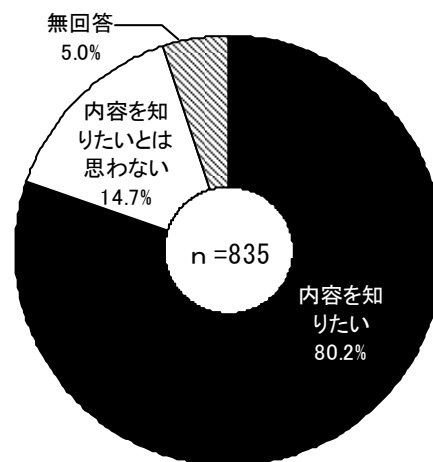


表 8-4 新たな総合計画の策定

図 8-4 新たな総合計画の策定

(%)

	内容を知りたい	内容を知りたいとは思わない	(無回答)
全体 (n=835)	80.2	14.7	5.0
男性 (n=409)	82.2	13.9	3.9
女性 (n=426)	78.4	15.5	6.1
男性／20歳代 (n=55)	65.5	27.3	7.3
男性／30歳代 (n=73)	90.4	8.2	1.4
男性／40歳代 (n=93)	86.0	12.9	1.1
男性／50歳代 (n=74)	82.4	12.2	5.4
男性／60歳代 (n=60)	76.7	16.7	6.7
男性／70歳以上 (n=54)	87.0	9.3	3.7
女性／20歳代 (n=61)	63.9	29.5	6.6
女性／30歳代 (n=65)	76.9	20.0	3.1
女性／40歳代 (n=96)	81.2	12.5	6.2
女性／50歳代 (n=42)	83.3	9.5	7.1
女性／60歳代 (n=81)	85.2	9.9	4.9
女性／70歳以上 (n=81)	77.8	13.6	8.6

表 8-5 新たな総合計画の策定(性別／年代別)

性別／年代別で見ると、「内容を知りたい」は、「男性／30歳代」(90.4%)、「男性／70歳以上」(87.0%)、「男性／40歳代」(86.0%)の順で高くなっている。一方、最も低いのは男女とも20歳代となっている。

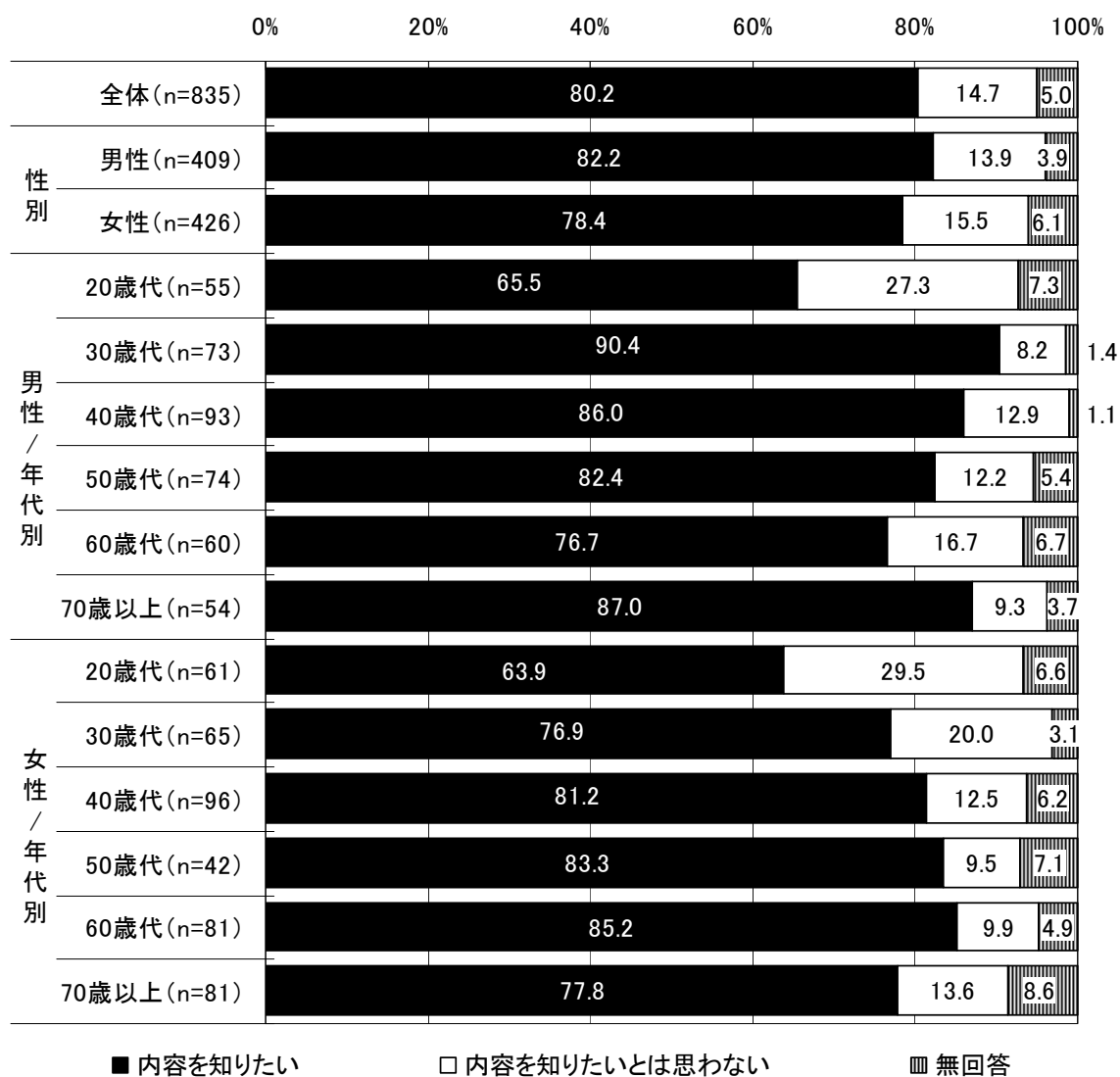


図 8-5 新たな総合計画の策定(性別／年代別)

(4) 新たな府中市総合計画を知りたい理由

《 問10で「1」をお答えの方に 》

問10-1. 内容を知りたいと思う理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=835)

1. 府中市政の運営方針に関心があるから
2. 府中市に住んでいくうえで必要なことだから
3. 行政の考えることだけでは不安があり、内容を確認する必要があるから
4. その他()

新たな総合計画の内容を知りたいと思う理由としては、「府中市に住んでいくうえで必要なことだから」(78.7%)が8割近くを占めており、次いで「行政の考えることだけでは不安があり、内容を確認する必要があるから」(10.3%)、「府中市政の運営方針に関心があるから」(8.1%)の順となっている。

内容を知りたい理由	回答者数(人)	割合(%)
府中市に住んでいくうえで必要なことだから	527	78.7
行政の考えることだけでは不安があり、内容を確認する必要があるから	69	10.3
府中市政の運営方針に関心があるから	54	8.1
その他	16	2.4
(無回答)	4	0.6
合計	670	100.0

表 8-6 総合計画の内容を知りたい理由

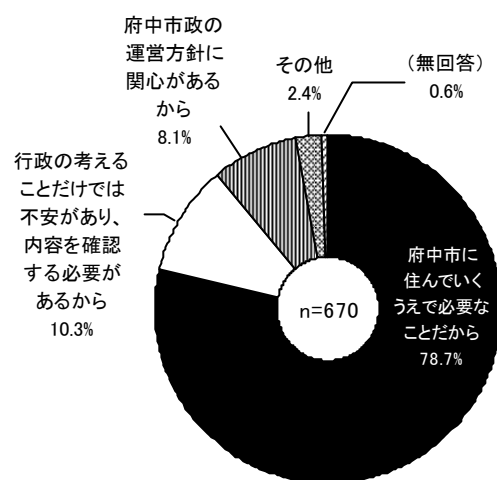
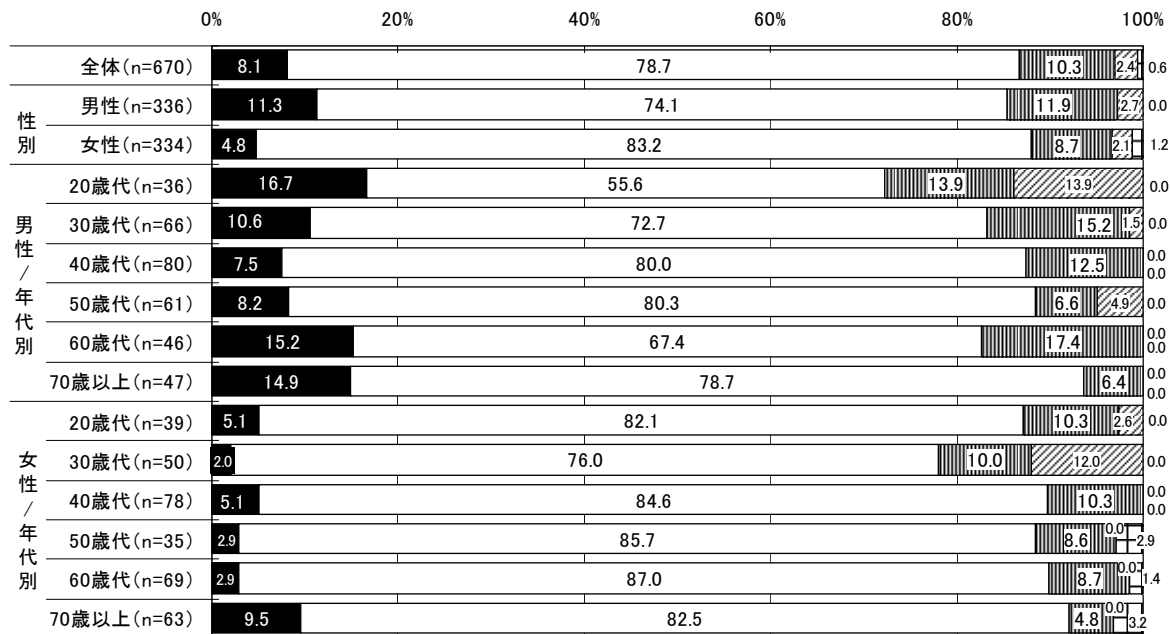


図 8-6 総合計画の内容を知りたい理由

性別／年代別でみると、「府中市政の運営方針に関心があるから」は、「男性／20歳代」(16.7%)、「男性／60歳代」(15.2%)の順で高く、男性の割合が高い。「府中市に住んでいくうえで必要なことだから」は、「女性／60歳代」(87.0%)、「女性／50歳代」(85.7%)の順で高く、女性の割合が高い。「行政の考えることだけでは不安があり、内容を確認する必要があるから」は、「男性／60歳代」(17.4%)、「男性／30歳代」(15.2%)の順となっている。



- 府中市政の運営方針に関心があるから
- 府中市に住んでいくうえで必要なことだから
- ▨ 行政の考えることだけでは不安があり、内容を確認する必要があるから
- ▧ その他
- 無回答

図 8-7 総合計画の内容を知りたい理由(性別／年代別)

(%)

性別／年代別	府中市政の運営方針に関心があるから	府中市に住んでいくうえで必要なことだから	行政の考えることだけでは不安があり、内容を確認する必要があるから	その他	(無回答)
全体 (n=670)	8.1	78.7	10.3	2.4	0.6
男性 (n=336)	11.3	74.1	11.9	2.7	0.0
女性 (n=334)	4.8	83.2	8.7	2.1	1.2
男性／20歳代 (n=36)	16.7	55.6	13.9	13.9	0.0
男性／30歳代 (n=66)	10.6	72.7	15.2	1.5	0.0
男性／40歳代 (n=80)	7.5	80.0	12.5	0.0	0.0
男性／50歳代 (n=61)	8.2	80.3	6.6	4.9	0.0
男性／60歳代 (n=46)	15.2	67.4	17.4	0.0	0.0
男性／70歳以上 (n=47)	14.9	78.7	6.4	0.0	0.0
女性／20歳代 (n=39)	5.1	82.1	10.3	2.6	0.0
女性／30歳代 (n=50)	2.0	76.0	10.0	12.0	0.0
女性／40歳代 (n=78)	5.1	84.6	10.3	0.0	0.0
女性／50歳代 (n=35)	2.9	85.7	8.6	0.0	2.9
女性／60歳代 (n=69)	2.9	87.0	8.7	0.0	1.4
女性／70歳以上 (n=63)	9.5	82.5	4.8	0.0	3.2

表 8-7 総合計画の内容を知りたい理由(性別／年代別)

(5) 新たな府中市総合計画を知りたくない理由

《 問10で「2」をお答えの方に 》

問10-2. 内容を知りたいと思わない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=123)

1. 府中市政の運営方針に関心がないから
2. 自分には関係がないから
3. 行政のつくる資料は読みづらいから
4. 内容を知っても意味がないから
5. その他

新たな総合計画の内容を知りたいと思わない理由としては、「内容を知っても意味がないから」(26.8%)、「府中市政の運営方針に関心がないから」(25.2%)、「行政のつくる資料は読みづらいから」(22.0%)、「自分には関係がないから」(16.3%)の順となっている。

内容を知りたくない理由	回答者数(人)	割合(%)
内容を知っても意味がないから	33	26.8
府中市政の運営方針に関心がないから	31	25.2
行政のつくる資料は読みづらいから	27	22.0
自分には関係がないから	20	16.3
その他	9	7.3
(無回答)	3	2.4
合計	123	100.0

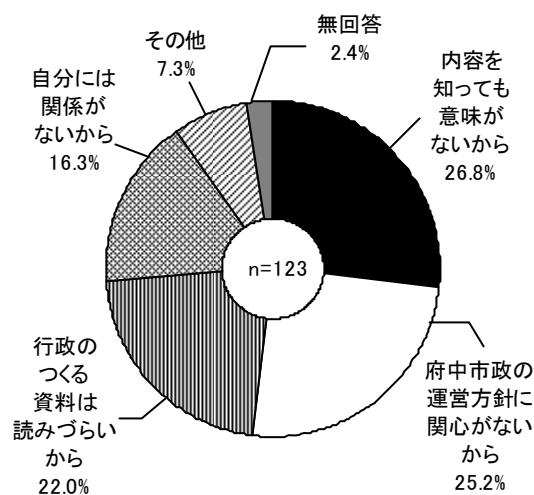


表8-8 総合計画の内容を知りたいと思わない理由

図8-8 総合計画の内容を知りたいと思わない理由

性別でみると、女性では、「内容を知っても意味がないから」(31.8%)、「府中市政の運営方針に関心がないから」(27.3%)、「行政のつくる資料は読みづらいから」(21.2%)の順で高くなっている。男性は、「自分には関係がないから」(24.6%)、「府中市政の運営方針に関心がないから」「行政のつくる資料は読みづらいから」(22.8%)、「内容を知っても意味がないから」(21.1%)の順で高くなっている。

年代別は、それぞれの母数が少ないため、参考値とする。

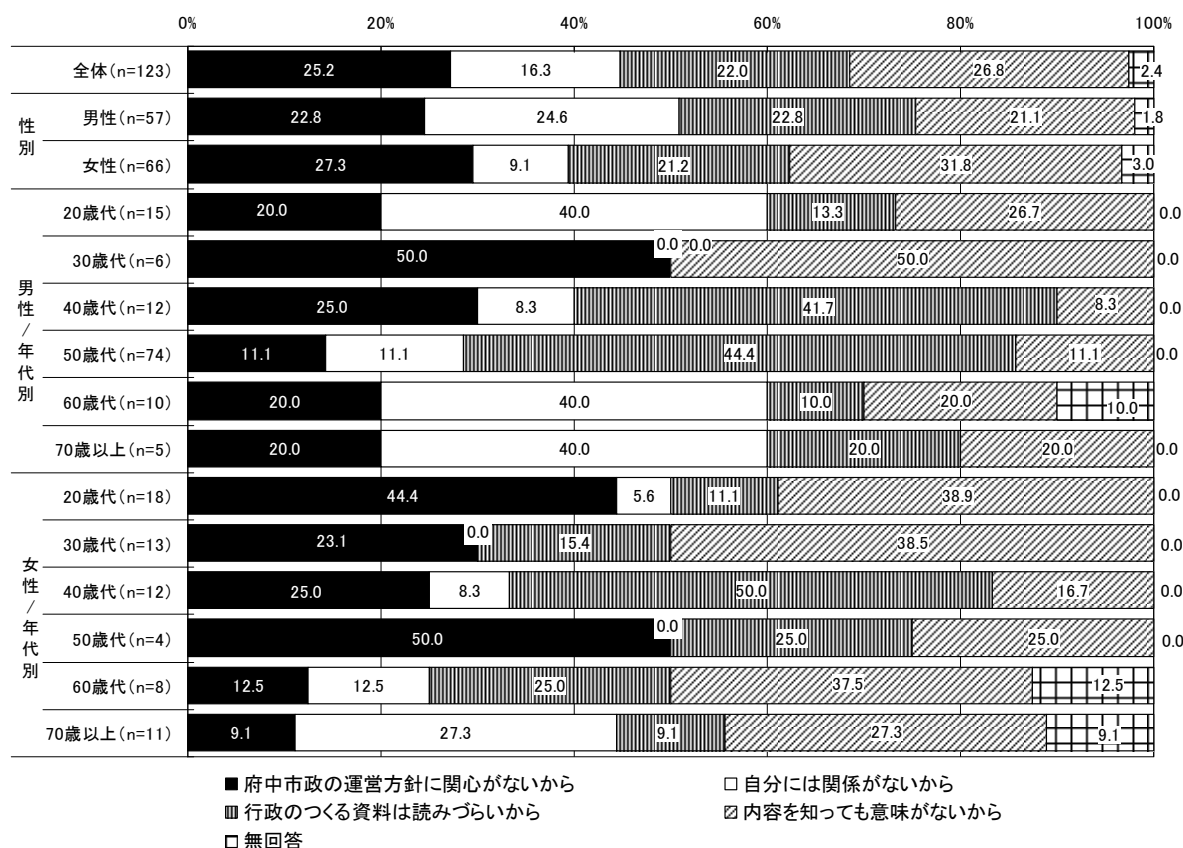


図 8-9 総合計画の内容を知りたいと思わない理由(性別/年代別)

	府中市政の運営方針に関心がないから	自分には関係がないから	行政のつくる資料は読みづらいから	内容を知っても意味がないから	その他	(無回答)
全体 (n=123)	25.2	16.3	22.0	26.8	7.3	2.4
男性 (n=57)	22.8	24.6	22.8	21.1	7.0	1.8
女性 (n=66)	27.3	9.1	21.2	31.8	7.6	3.0
男性/20歳代 (n=15)	20.0	40.0	13.3	26.7	0.0	0.0
男性/30歳代 (n=6)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
男性/40歳代 (n=12)	25.0	8.3	41.7	8.3	16.7	0.0
男性/50歳代 (n=74)	11.1	11.1	44.4	11.1	22.2	0.0
男性/60歳代 (n=10)	20.0	40.0	10.0	20.0	0.0	10.0
男性/70歳以上 (n=5)	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
女性/20歳代 (n=18)	44.4	5.6	11.1	38.9	0.0	0.0
女性/30歳代 (n=13)	23.1	0.0	15.4	38.5	23.1	0.0
女性/40歳代 (n=12)	25.0	8.3	50.0	16.7	0.0	0.0
女性/50歳代 (n=4)	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
女性/60歳代 (n=8)	12.5	12.5	25.0	37.5	0.0	12.5
女性/70歳以上 (n=11)	9.1	27.3	9.1	27.3	18.2	9.1

表 8-9 総合計画の内容を知りたいと思わない理由(性別/年代別)

(6) 府中市総合計画策定の検討方法

問 1 1. 総合計画策定における検討方法について、あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。(n=835)

1. 無作為抽出等の方法により不特定の市民に対して参加の意向をうかがい、幅広く市民の参加を促し、検討を行う
2. 公募により意欲や関心のある市民の参加を促し、検討を行う
3. 専門的知識を持った学識経験者などの参加を促し、検討を行う
4. 行政活動を実施する市の職員の参加を促し、責任を持って検討を行う
5. その他

総合計画策定における検討方法については、「公募により意欲や関心のある市民の参加を促し、検討を行う」(38.9%)、「無作為抽出等の方法により不特定の市民に対して参加の意向をうかがい、幅広く市民の参加を促し、検討を行う」(22.9%)、「専門的知識を持った学識経験者などの参加を促し、検討を行う」(21.6%)、「無回答」(7.2%)、「行政活動を実施する市の職員の参加を促し、責任を持って検討を行う」(6.7%)の順となっている。

総合計画策定の検討方法	回答者数 (人)	割合 (%)
公募により意欲や関心のある市民の参加を促し、検討を行う	325	38.9
無作為抽出等の方法により不特定の市民に対して参加の意向をうかがい、幅広く市民の参加を促し、検討を行う	191	22.9
専門的知識を持った学識経験者などの参加を促し、検討を行う	180	21.6
行政活動を実施する市の職員の参加を促し、責任を持って検討を行う	56	6.7
その他	23	2.8
(無回答)	60	7.2
合計	835	100.0

表 8-10 総合計画策定の検討方法

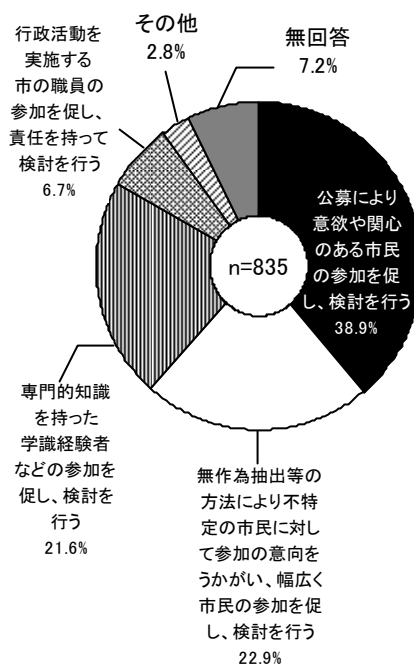
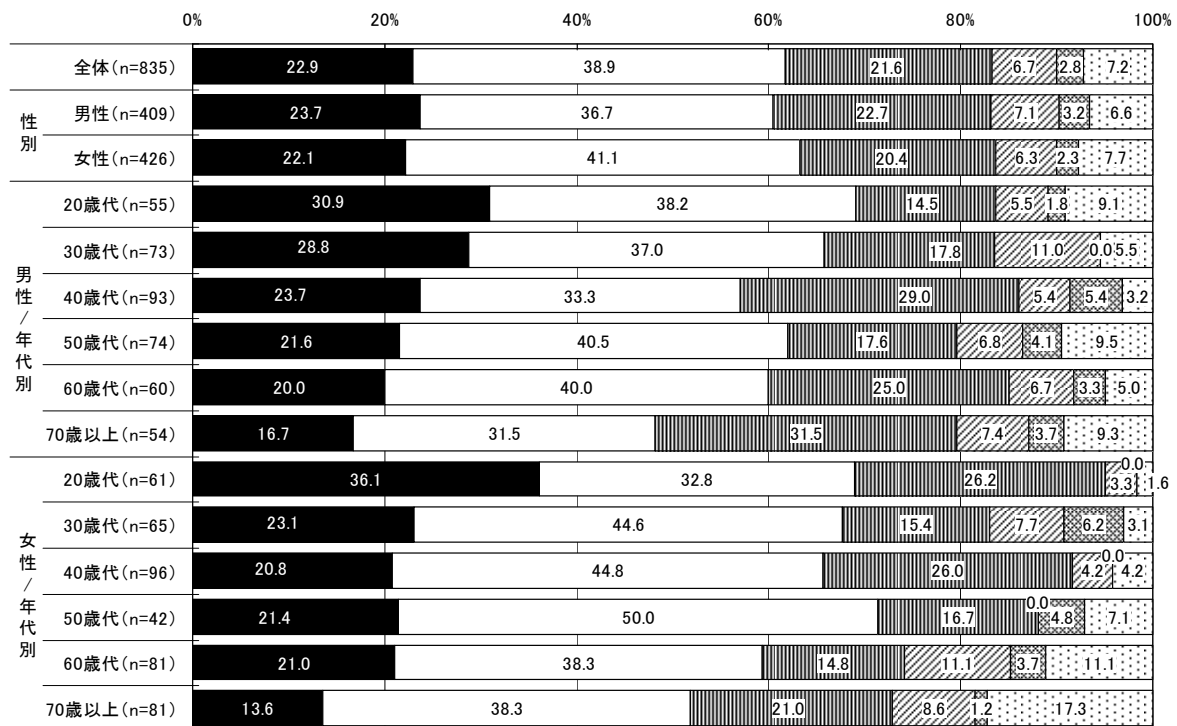


図 8-10 総合計画策定の検討方法

性別／年代別でみると、「無作為抽出等の方法により不特定の市民に対して参加の意向をうかがい、幅広く市民の参加を促し、検討を行う」は、男女とも20歳代が最も高い。「公募により意欲や関心のある市民の参加を促し、検討を行う」は、女性の30歳代から50歳代が高い。



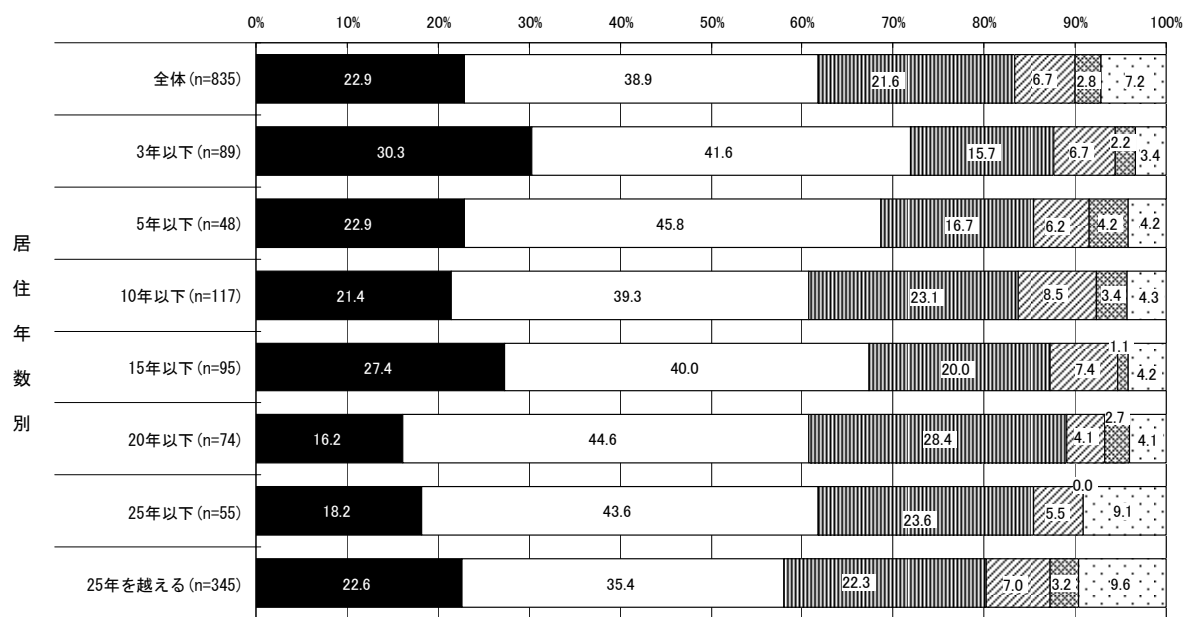
- 無作為抽出等の方法により不特定の市民に対して参加の意向をうかがい、幅広く市民の参加を促し、検討を行う
- 公募により意欲や関心のある市民の参加を促し、検討を行う
- ▨ 専門的知識を持った学識経験者などの参加を促し、検討を行う
- ▧ 行政活動を実施する市の職員の参加を促し、責任を持って検討を行う
- ▩ その他
- ◻ 無回答

図 8-11 総合計画策定の検討方法(性別／年代別)

	無作為抽出等の方法により不特定の市民に対して参加の意向をうかがい、幅広く市民の参加を促し、検討を行う (%)	公募により意欲や関心のある市民の参加を促し、検討を行う (%)	専門的知識を持った学識経験者などの参加を促し、検討を行う (%)	行政活動を実施する市の職員の参加を促し、責任を持って検討を行う (%)	その他 (%)	(無回答) (%)
全体 (n=835)	22.9	38.9	21.6	6.7	2.8	7.2
男性 (n=409)	23.7	36.7	22.7	7.1	3.2	6.6
女性 (n=426)	22.1	41.1	20.4	6.3	2.3	7.7
男性／20歳代 (n=55)	30.9	38.2	14.5	5.5	1.8	9.1
男性／30歳代 (n=73)	28.8	37.0	17.8	11.0	0.0	5.5
男性／40歳代 (n=93)	23.7	33.3	29.0	5.4	5.4	3.2
男性／50歳代 (n=74)	21.6	40.5	17.6	6.8	4.1	9.5
男性／60歳代 (n=60)	20.0	40.0	25.0	6.7	3.3	5.0
男性／70歳以上 (n=54)	16.7	31.5	31.5	7.4	3.7	9.3
女性／20歳代 (n=61)	36.1	32.8	26.2	3.3	0.0	1.6
女性／30歳代 (n=65)	23.1	44.6	15.4	7.7	6.2	3.1
女性／40歳代 (n=96)	20.8	44.8	26.0	4.2	0.0	4.2
女性／50歳代 (n=42)	21.4	50.0	16.7	0.0	4.8	7.1
女性／60歳代 (n=81)	21.0	38.3	14.8	11.1	3.7	11.1
女性／70歳以上 (n=81)	13.6	38.3	21.0	8.6	1.2	17.3

表 8-11 総合計画策定の検討方法(性別／年代別)

居住年数別でみると、「無作為抽出等の方法により不特定の市民に対して参加の意向をうかがい、幅広く市民の参加を促し、検討を行う」は、「3年以下」(30.3%)、「15年以下」(27.4%)の順で高くなっている。「公募により意欲や関心のある市民の参加を促し、検討を行う」は、「5年以下」(45.8%)、「20年以下」(44.6%)の順で高くなっている。「専門的知識を持った学識経験者などの参加を促し、検討を行う」は、「20年以下」(28.4%)、「25年以下」(23.6%)の順で高くなっている。



- 無作為抽出等の方法により不特定の市民に対して参加の意向をうかがい、幅広く市民の参加を促し、検討を行う
- 公募により意欲や関心のある市民の参加を促し、検討を行う
- ▨ 専門的知識を持った学識経験者などの参加を促し、検討を行う
- ▧ 行政活動を実施する市の職員の参加を促し、責任を持って検討を行う
- ▩ その他
- ◻ 無回答

図 8-12 総合計画策定の検討方法(居住年数別)

居住年数別	無作為抽出等の方法により不特定の市民に対して参加の意向をうかがい、幅広く市民の参加を促し、検討を行う (%)	公募により意欲や関心のある市民の参加を促し、検討を行う (%)	専門的知識を持った学識経験者などの参加を促し、検討を行う (%)	行政活動を実施する市の職員の参加を促し、責任を持って検討を行う (%)	その他 (%)	(無回答) (%)
全体 (n=835)	22.9	38.9	21.6	6.7	2.8	7.2
3年以下 (n=89)	30.3	41.6	15.7	6.7	2.2	3.4
5年以下 (n=48)	22.9	45.8	16.7	6.2	4.2	4.2
10年以下 (n=117)	21.4	39.3	23.1	8.5	3.4	4.3
15年以下 (n=95)	27.4	40.0	20.0	7.4	1.1	4.2
20年以下 (n=74)	16.2	44.6	28.4	4.1	2.7	4.1
25年以下 (n=55)	18.2	43.6	23.6	5.5	0.0	9.1
25年を越える(n=345)	22.6	35.4	22.3	7.0	3.2	9.6

表 8-12 総合計画策定の検討方法(居住年数別)

9 災害への備えについて

(1) 防災に対する認識

問12. 防災対策において、「自助（自らの安全は、自らが守る）」「共助（わがまちは、わが手で守る）」「公助（行政機関、公共企業の応急対策活動）」それぞれが災害対応能力を高め、連携することが大切とされています。それぞれのことばを知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。（n=835）

1. 「自助」「共助」「公助」それぞれのことばの意味を理解していた
2. 「自助」「共助」「公助」それぞれのことばの意味を大体理解していた
3. 「自助」「共助」「公助」ということばを聞いたことがあった
4. 「自助」「共助」「公助」ということばを聞いたことがなかった

「自助」「共助」「公助」それぞれのことばについて、「ことばを聞いたことがあった」（37.4%）が3割半ばを占め、次いで「ことばの意味を理解していた」（28.6%）、「ことばを聞いたことがなかった」（18.9%）、「ことばの意味を大体理解していた」（11.0%）の順となっている。ことばの意味を理解もしくは大体理解しているのは4割近くである。

[n=835]

防災に対する認識	回答者数 (人)	割合 (%)
「自助」「共助」「公助」それぞれのことばの意味を理解していた	92	11.0
「自助」「共助」「公助」それぞれのことばの意味を大体理解していた	239	28.6
「自助」「共助」「公助」ということばを聞いたことがあった	158	18.9
「自助」「共助」「公助」ということばを聞いたことがなかった	312	37.4
(無回答)	34	4.1
合計	835	100.0

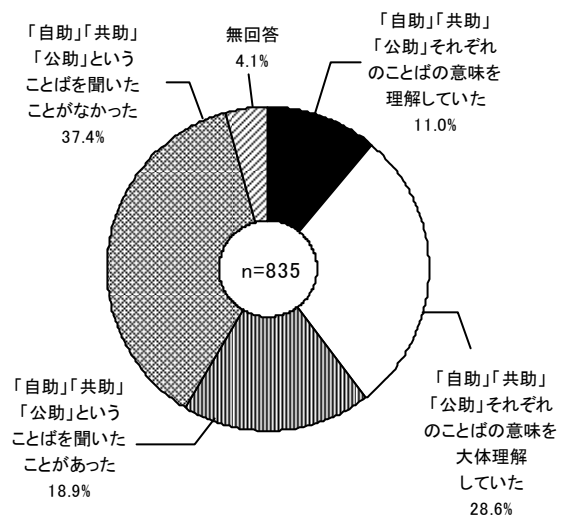


表 9-1 防災に対する認識

図 9-1 防災に対する認識

	「自助」「共助」「公助」それぞれのことばの意味を理解していた	「自助」「共助」「公助」それぞれのことばの意味を大体理解していた	「自助」「共助」「公助」ということばを聞いたことがあった	「自助」「共助」「公助」ということばを聞いたことがなかった	(無回答)
全体 (n=835)	11.0	28.6	18.9	37.4	4.1
男性 (n=409)	14.9	27.9	19.8	34.0	3.4
女性 (n=426)	7.3	29.3	18.1	40.6	4.7
男性/20歳代 (n=55)	7.3	16.4	7.3	65.5	3.6
男性/30歳代 (n=73)	4.1	38.4	20.5	34.2	2.7
男性/40歳代 (n=93)	11.8	20.4	26.9	40.9	0.0
男性/50歳代 (n=74)	23.0	24.3	23.0	24.3	5.4
男性/60歳代 (n=60)	21.7	33.3	13.3	26.7	5.0
男性/70歳以上 (n=54)	24.1	37.0	22.2	11.1	5.6
女性/20歳代 (n=61)	4.9	21.3	24.6	49.2	0.0
女性/30歳代 (n=65)	1.5	13.8	23.1	61.5	0.0
女性/40歳代 (n=96)	7.3	26.0	15.6	49.0	2.1
女性/50歳代 (n=42)	4.8	40.5	16.7	35.7	2.4
女性/60歳代 (n=81)	7.4	33.3	16.0	33.3	9.9
女性/70歳以上 (n=81)	14.8	42.0	14.8	17.3	11.1

表 9-2 防災に対する認識(性別/年代別)

性別／年代別にみると、『「自助」「共助」「公助」それぞれのことばの意味を理解していた』は、男性の50歳代から70歳以上までの年代が高い。『「自助」「共助」「公助」それぞれのことばの意味を大体理解していた』は、「女性／70歳以上」（42.0%）、「女性／50歳代」（40.5%）の順で高くなっている。一方、『「自助」「共助」「公助」ということばを聞いたことがなかった』は、「男性／20歳代」（65.5%）、「女性／30歳代」（61.5%）、「女性／20歳代」（49.2%）と若い年代で高い傾向にある。

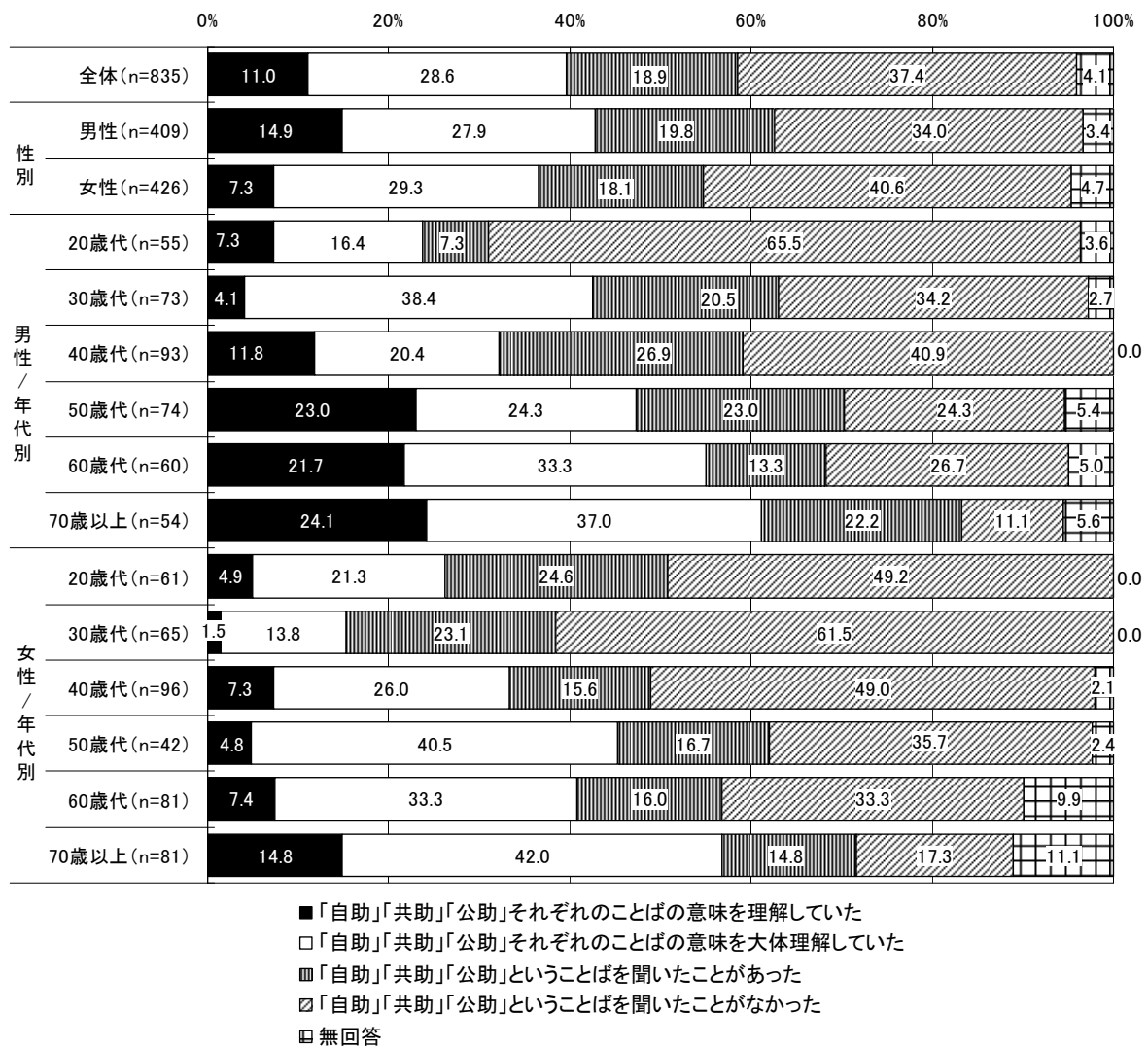


図 9-2 防災に対する認識(性別／年代別)

(2) 自宅で被災した場合、誰が助けてくれるか

問13. あなたが自宅で被災した場合、誰が助けてくれると思いますか？次の中から頼りにしているものを3つだけ選んでください。(n=835)

1. 自分自身
2. 同居の家族
3. 近隣の住民
4. 親戚・友人・知人
5. 地域の自主防災組織等の互助団体
6. 公共企業（ライフライン管理会社）
7. 福祉施設や医療機関
8. 消防（団）や警察、自衛隊
9. 国・都・市
10. その他

「自分自身」(64.9%)、「同居の家族」(64.8%)が6割半ばにのぼる。次いで、「消防（団）や警察、自衛隊」(43.7%)、「近隣の住民」(33.5%)、「親戚・友人・知人」(33.3%)の順で高くなっている。

複数回答

[n=835]

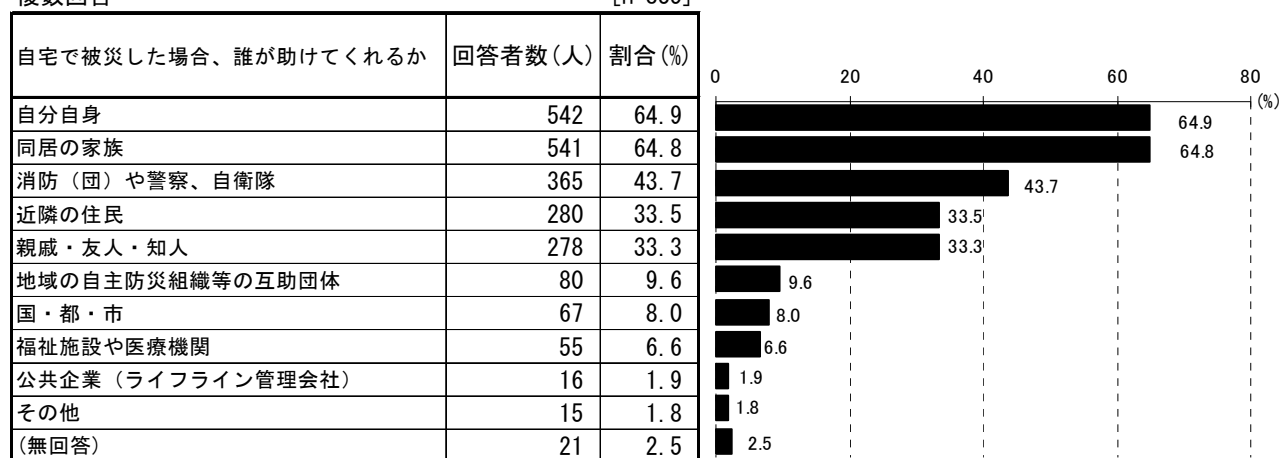
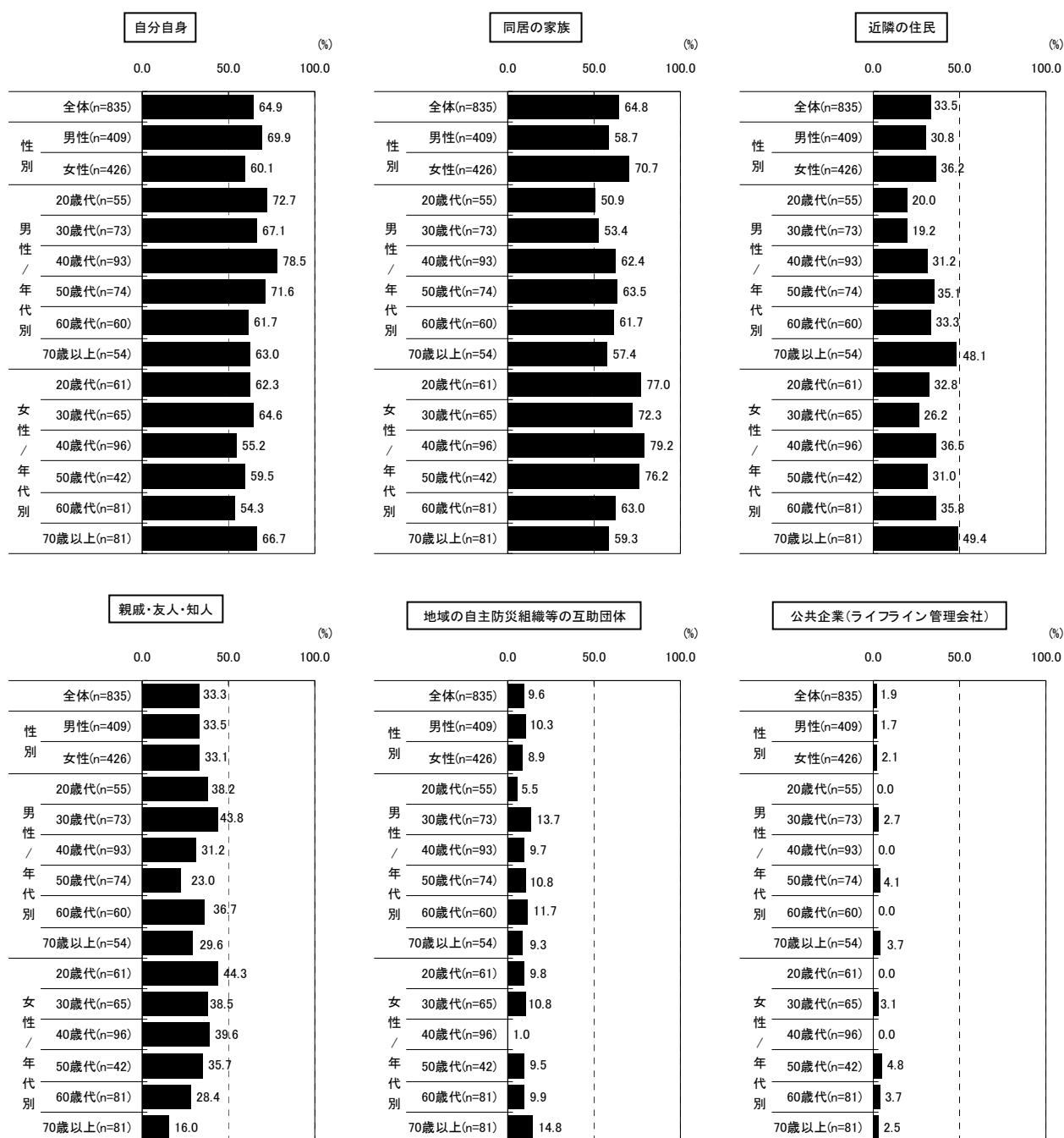


表 9-3 自宅で被災した場合、誰が助けてくれるか

図 9-3 自宅で被災した場合、誰が助けてくれるか

性別でみると、「自分自身」は男性の方が女性より高く、「同居の家族」「近隣の住民」は女性の方が男性より高くなっている。「親戚・友人・知人」「消防（団）や警察、自衛隊」は男女とも同じような割合となっている。

年代別でみると、「自分自身」は、男性の「40歳代」（78.5%）、「20歳代」（72.7%）、「50歳代」（71.6%）の順で高くなっている。女性の「60歳代」（54.3%）が最も低い。「同居の家族」は、女性の「40歳代」（79.2%）、「20歳代」（77.0%）、「50歳代」（76.2%）の順で高く、男性の「20歳代」（50.9%）が最も低い。「近隣の住民」は、「70歳以上」が男女とも最も高くなっているが、「20歳代」「30歳代」の割合が低い。「消防（団）や警察、自衛隊」は、女性の「40歳代」「60歳代」（53.1%）が高く、女性の「20歳代」（31.1%）で最も低い。また、「消防（団）や警察、自衛隊」と比べ、「国・都・市」を災害時の助けと考えている割合が低い。



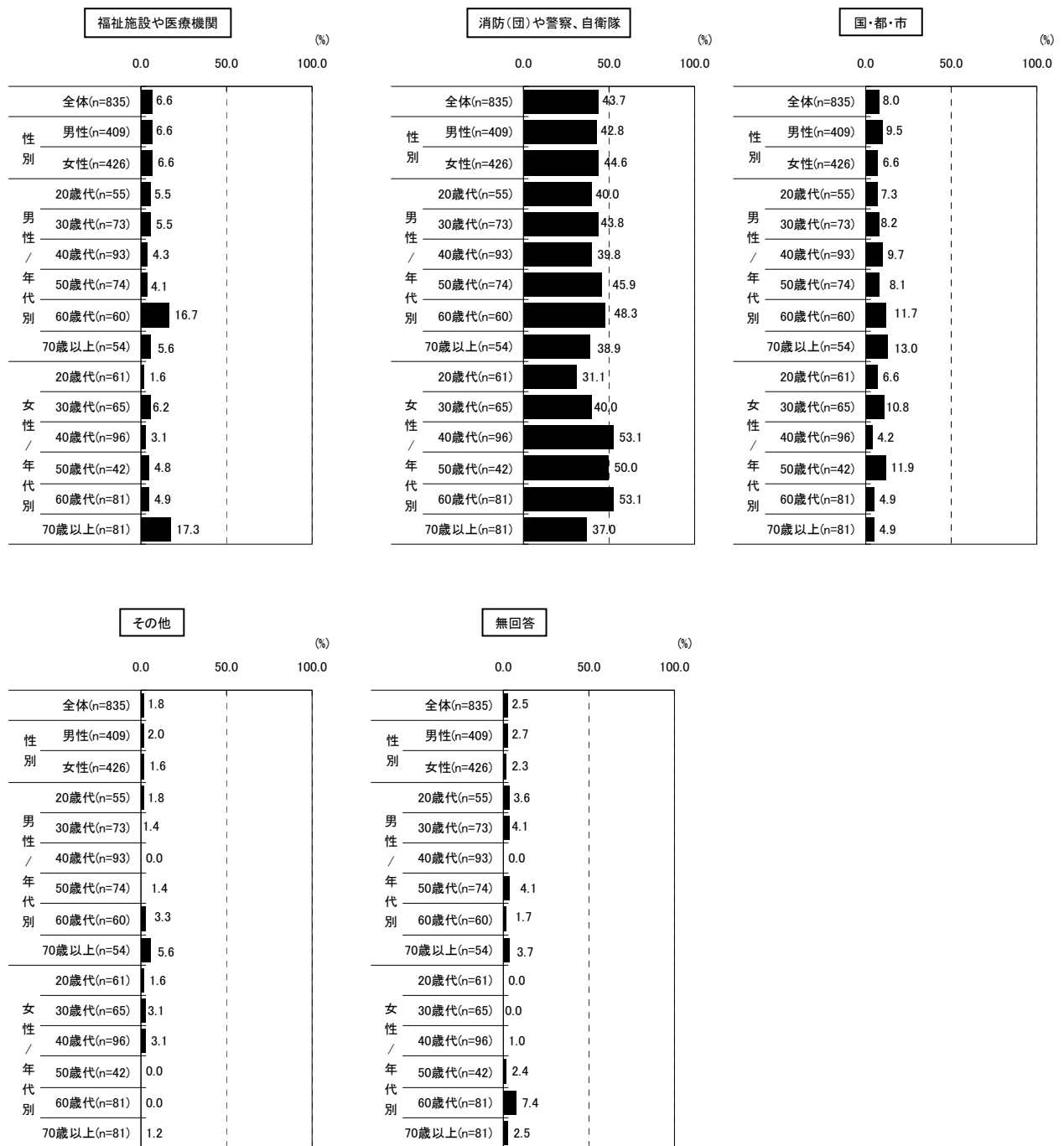
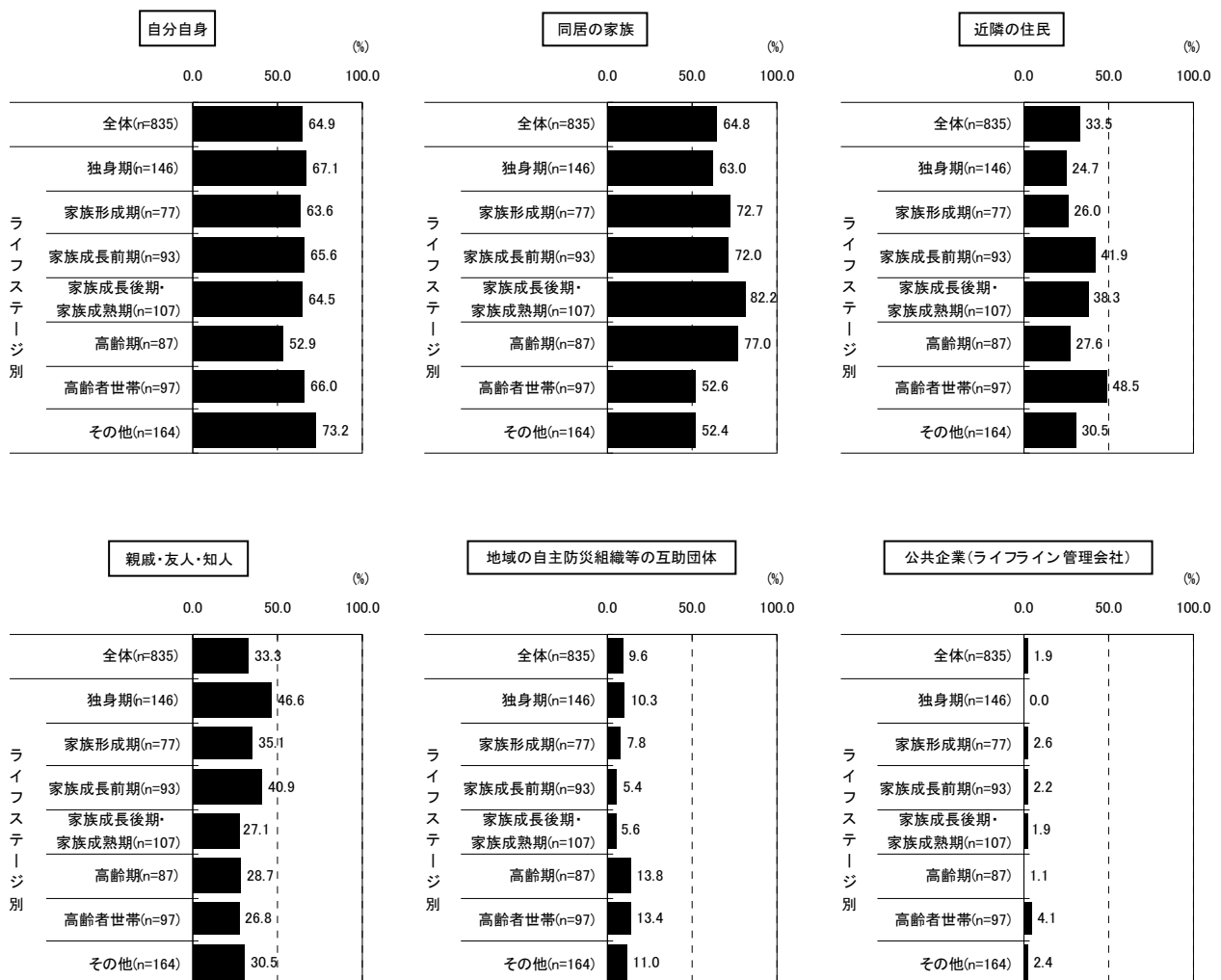


図 9-4 自宅で被災した場合、誰が助けてくれるか(性別/年代別)

ライフステージ別でみると、「自分自身」は、「その他」(73.2%)、「独身期」(67.1%)、「高齢者世帯」(66.0%)の順で高く、「高齢期」(52.9%)が最も低い。「同居の家族」は、「家族成長後期・家族成熟期」(82.2%)、「高齢期」(77.0%)の順で高く、「その他」(52.4%)、「高齢者世帯」(52.6%)が低くなっている。「近隣の住民」は、「高齢者世帯」(48.5%)が最も高いが、「高齢期」(27.6%)の割合は低い。「親戚・友人・知人」は、「独身期」(46.6%)、「家族成長前期」(40.9%)、「家族形成期」(35.1%)の順で高くなっている。「消防(団)や警察、自衛隊」は、「高齢期」(54.0%)、「その他」(47.0%)、「家族成長後期・家族成熟期」(46.7%)の順で高くなっている。「家族成長前期」(37.6%)、「独身期」(38.4%)で低くなっている。



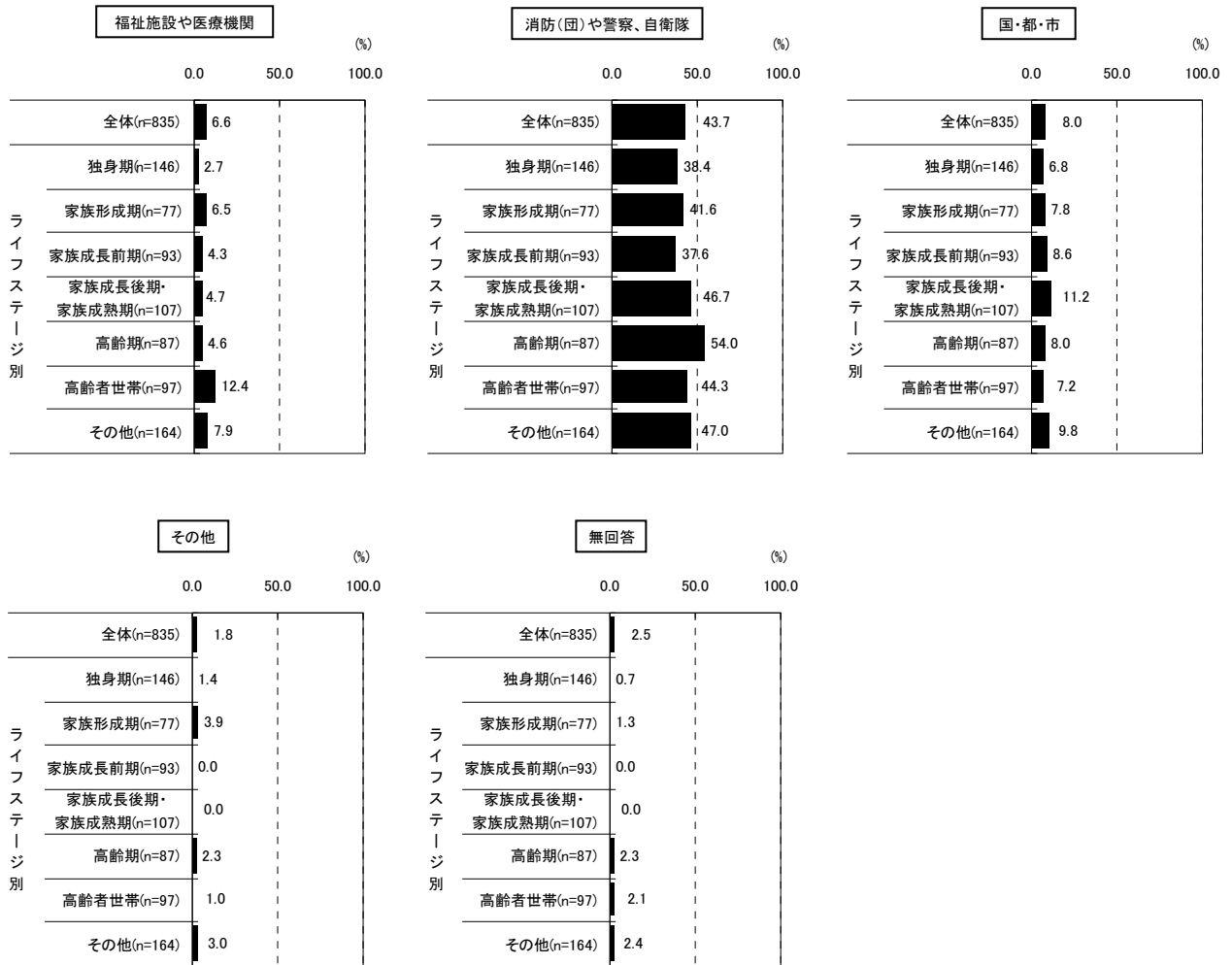


図 9-5 自宅で被災した場合、誰が助けてくれるか(ライフステージ別)

(3) 災害発生時の避難方法

問14. 府中市では、大地震などの災害が発生したときの避難方法について掲載した地震ハザードマップを配布しています。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

(n=835)

1. 地震ハザードマップを知っている
2. 地震ハザードマップを知らない
3. 「一時集合場所」とは何か、どこにあるか知っている
4. 「一時集合場所」とは何か知らない
5. 「広域避難場所」とは何か、どこにあるか知っている
6. 「広域避難場所」とは何か知らない
7. 「避難所」とは何か、どこにあるか知っている
8. 「避難所」とは何か知らない

「地震ハザードマップ」について、「知らない」が「知っている」を上回っている。「一時集合場所」「広域避難場所」「避難所」については、「知っている」が「知らない」を上回っている。

複数回答

[n=835]

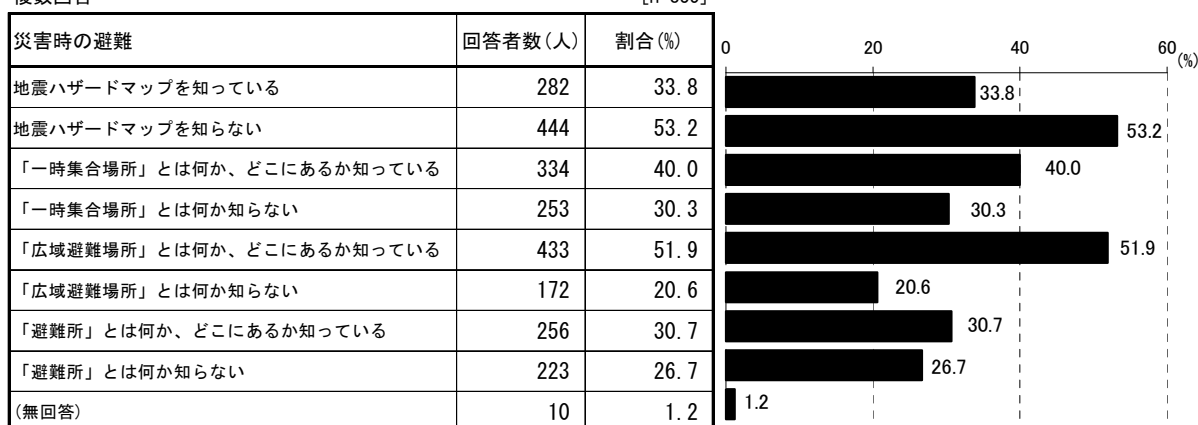


表 9-4 災害発生時の避難方法

図 9-6 災害発生時の避難方法

避難場所ごとの「知っている」「知らない」の割合を図 9-7 に表す。

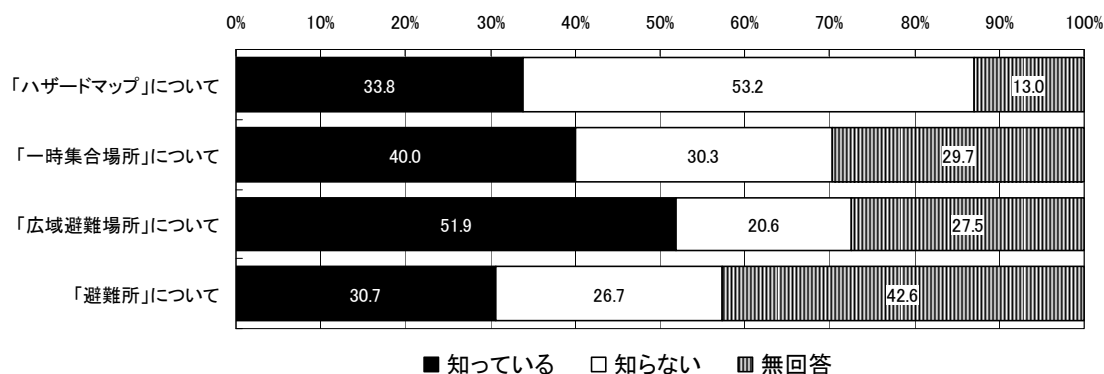


図 9-7 災害発生時の避難方法(避難場所ごと)

性別／年代別にみると、「地震ハザードマップ」については、「男性／70歳以上」「男性／50歳代」の順で「知っている」割合が高く、「知らない」は、「女性／20歳代」「女性／30歳代」「男性／20歳代」の順に高い。「一時集合場所」については、「男性／50歳代」「女性／70歳以上」「男性／60歳代」の順で「知っている」割合が高く、「知らない」は、「女性／30歳代」「女性／20歳代」の順で高い。「広域避難場所」については、「男性／50歳代」「男性／60歳代」の順で、「避難所」については、「男性／60歳代」「男性／70歳以上」の順で「知っている」割合が高い。

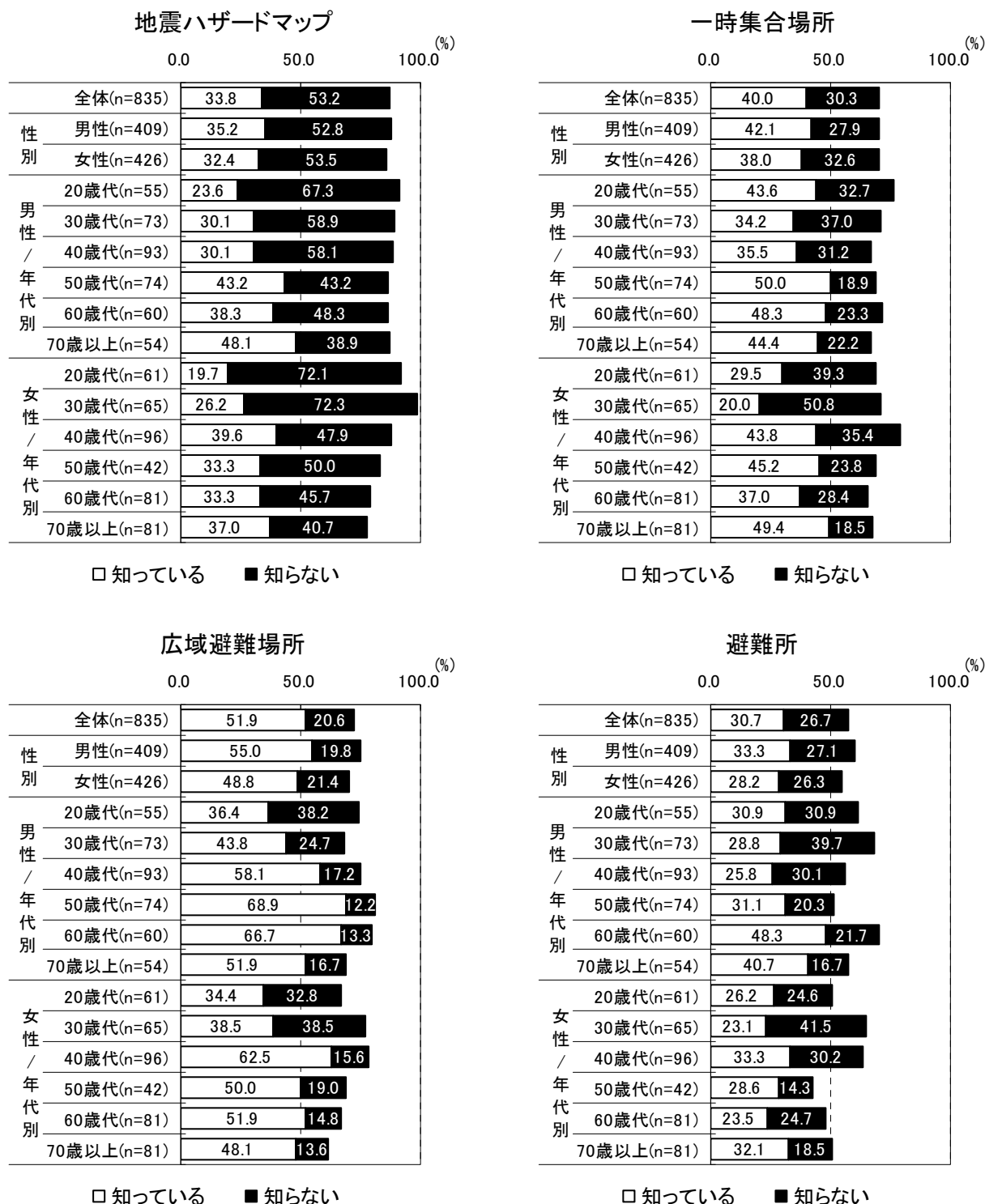


図9-8 災害発生時の避難方法(性別／年代別)

ライフステージ別にみると、「地震ハザードマップ」「一時集合場所」「広域避難場所」「避難所」のすべてについて、概ね「高齢期」「高齢者世帯」の「知っている」割合が高い。一方、「知らない」割合は、「独身期」「家族形成期」で高い傾向が見られる。

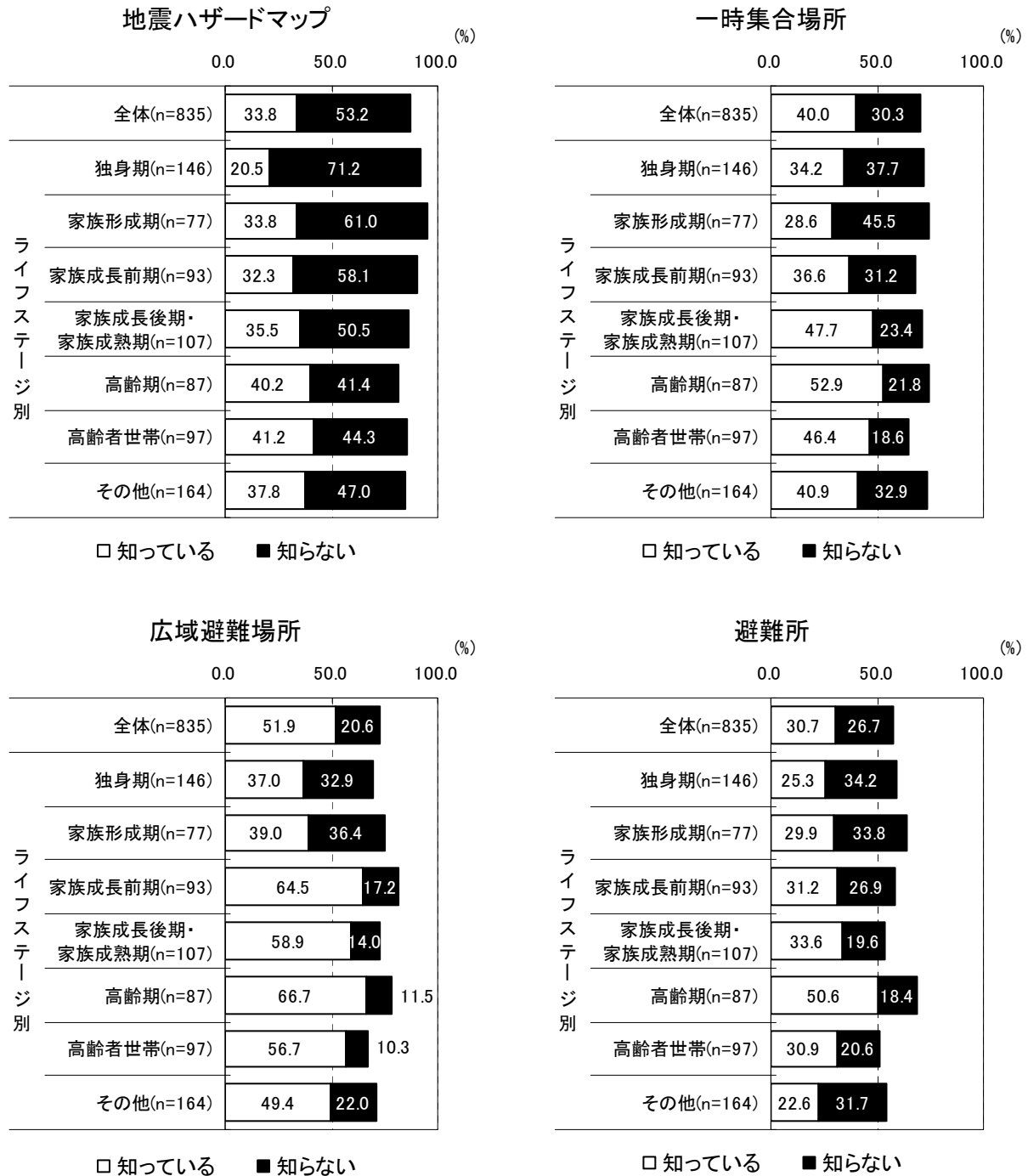


図 9-9 災害発生時の避難方法(ライフステージ別)

(4) 災害時の情報収集手段

問15. 地震が起きたとき、台風が近づいたときや大雨が降ったときなどに、情報収集の手段として利用したことがあるものをすべて選んでください。(n=835)

1. テレビを見る
2. ラジオを聴く
3. 市役所や気象台などの機関に直接問い合わせる
4. 家や職場にある資料をみる
5. 防災行政無線を聴く
6. 自分で見回りする
7. 近所の人と連絡をとる
8. 家族や友人に電話をかける
9. 家族や友人にメールする
10. パソコンでインターネットの災害関係のウェブを見る
11. パソコンでインターネットの掲示板やツイッターを見たり、情報や質問を書き込んだりする
12. 携帯電話（iモード、EZweb等）の災害情報等を見る
13. 携帯電話で掲示板やツイッターを見たり、情報や質問を書き込んだりする
14. 情報収集したことはない
15. その他

災害時に利用したことがある情報収集の手段として、「テレビを見る」(94.4%)が最も高い。次いで、「ラジオを聴く」(44.6%)、「パソコンでインターネットの災害関係のウェブを見る」(44.3%)、「家族や友人に電話をかける」(41.4%)の順で高くなっている。

複数回答	[n=835]	
情報収集の手段で利用したことがあるもの	回答者数(人)	割合(%)
テレビを見る	788	94.4
ラジオを聴く	372	44.6
パソコンでインターネットの災害関係のウェブを見る	370	44.3
家族や友人に電話をかける	346	41.4
携帯電話の災害情報等を見る	333	39.9
家族や友人にメールする	242	29.0
近所の人と連絡をとる	117	14.0
自分で見回りする	103	12.3
防災行政無線を聴く	99	11.9
パソコンでインターネットの掲示板やツイッターを見たり、情報や質問を書き込んだりする	87	10.4
携帯電話で掲示板やツイッターを見たり、情報や質問を書き込んだりする	79	9.5
市役所や気象台などの機関に直接問い合わせる	39	4.7
家や職場にある資料をみる	39	4.7
情報収集したことはない	14	1.7
その他	9	1.1
(無回答)	7	0.8

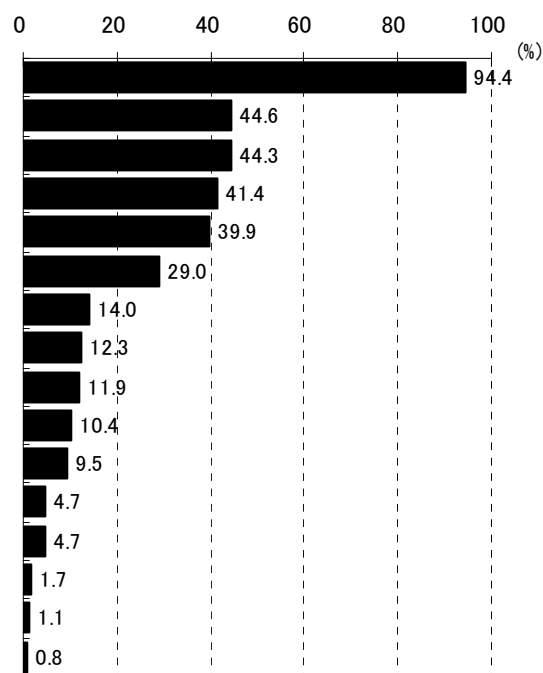
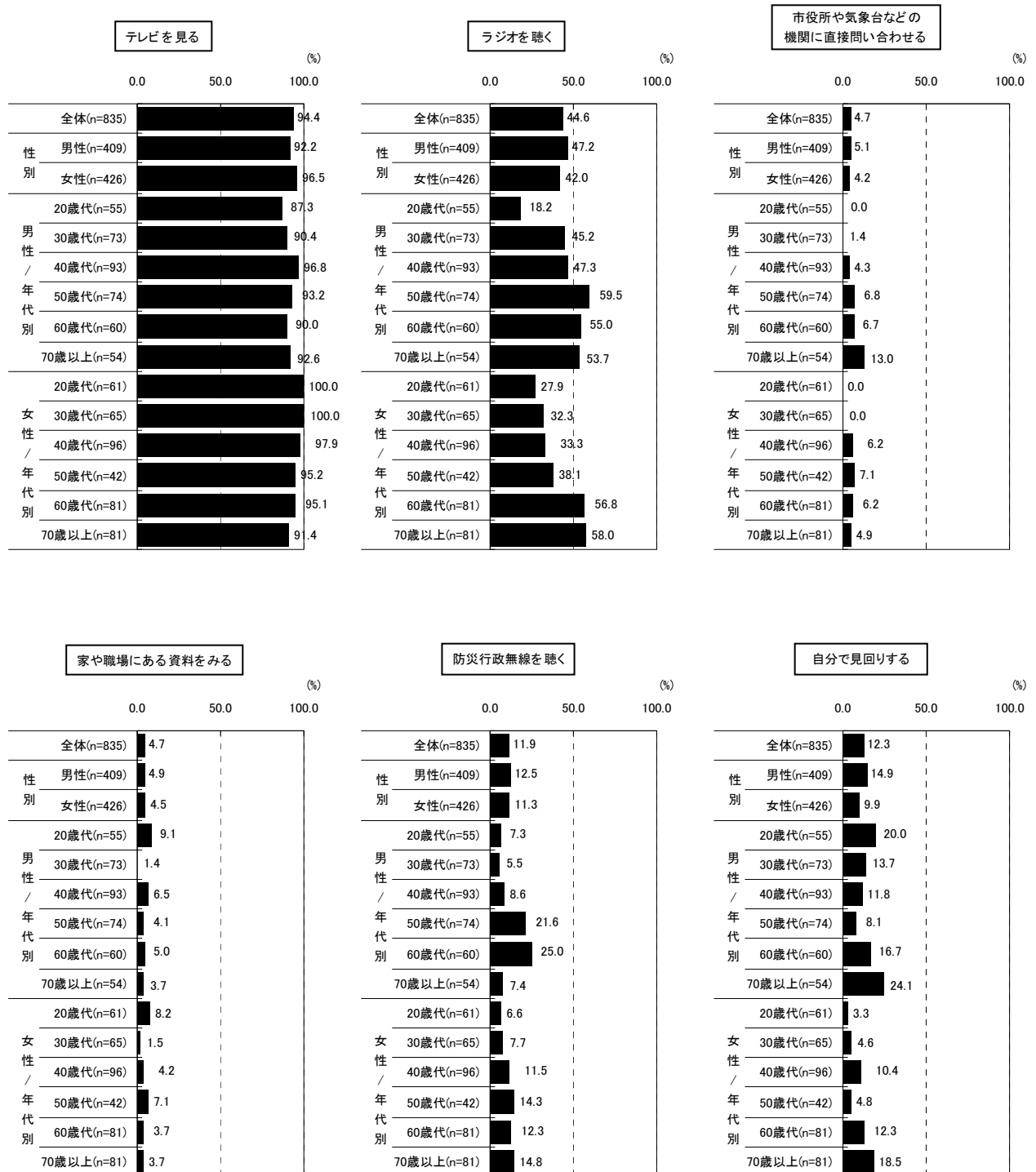
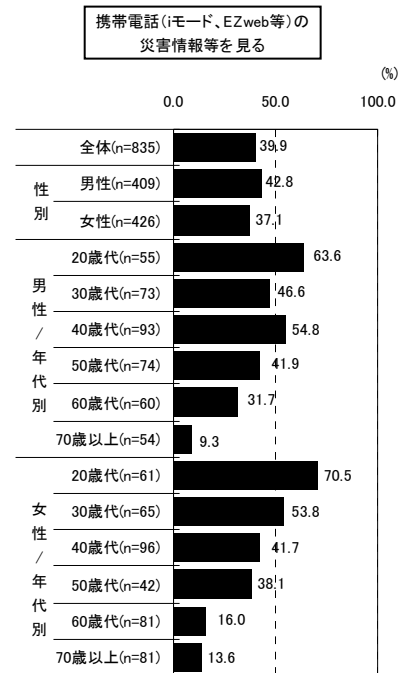
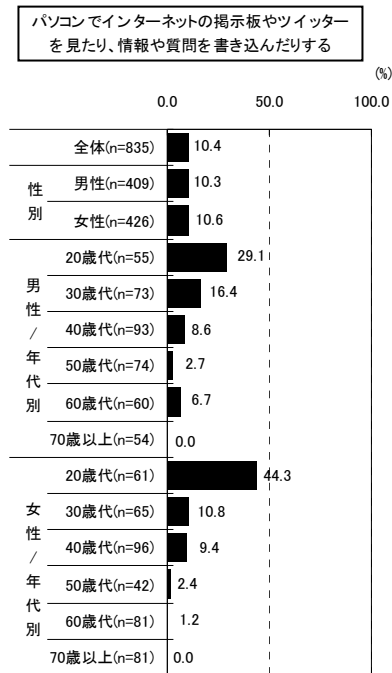
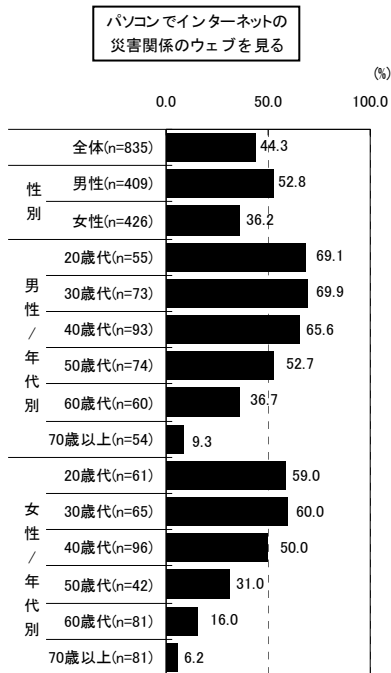
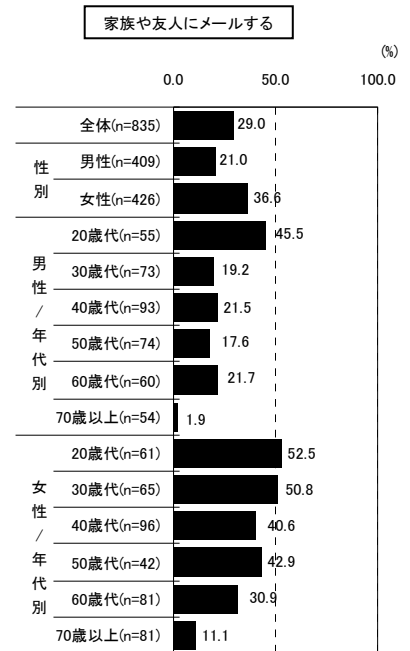
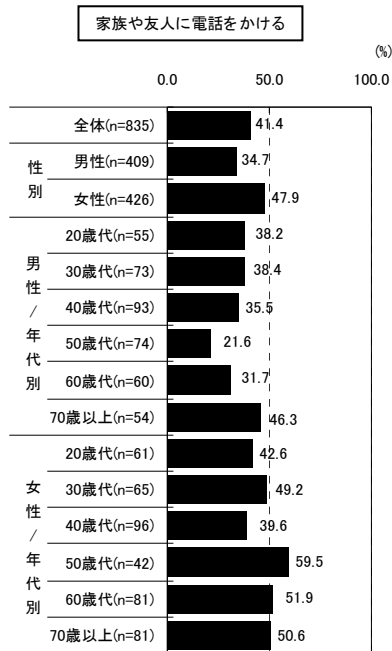
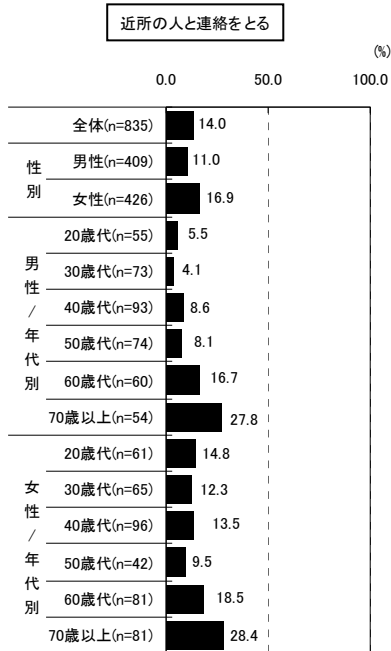


表 9-5 災害時の情報収集手段

図 9-10 災害時の情報収集手段

性別／年代別にみると、「テレビを見る」は全ての年代で高く、「女性／20歳代」「女性／30歳代」では100%である。「ラジオを聴く」は男女とも50歳以上で高くなっている一方で、20歳代は男女ともに最も低い。「家族や友人に電話をかける」「家族や友人にメールする」は、女性の方が割合が高くなっている。「パソコン」や「携帯電話」を情報収集に使用する割合は、男女とも20歳代が高くなっている。





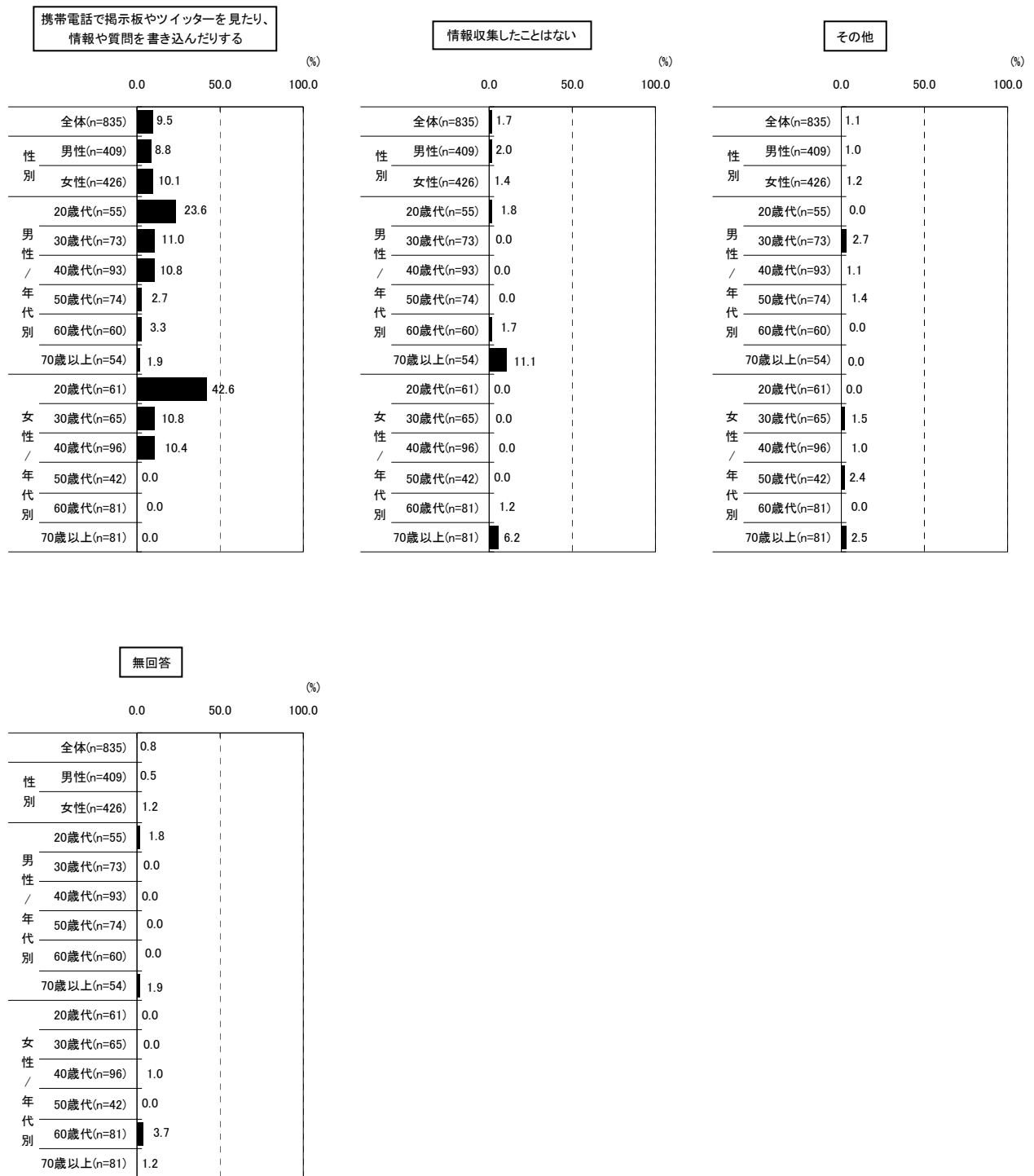
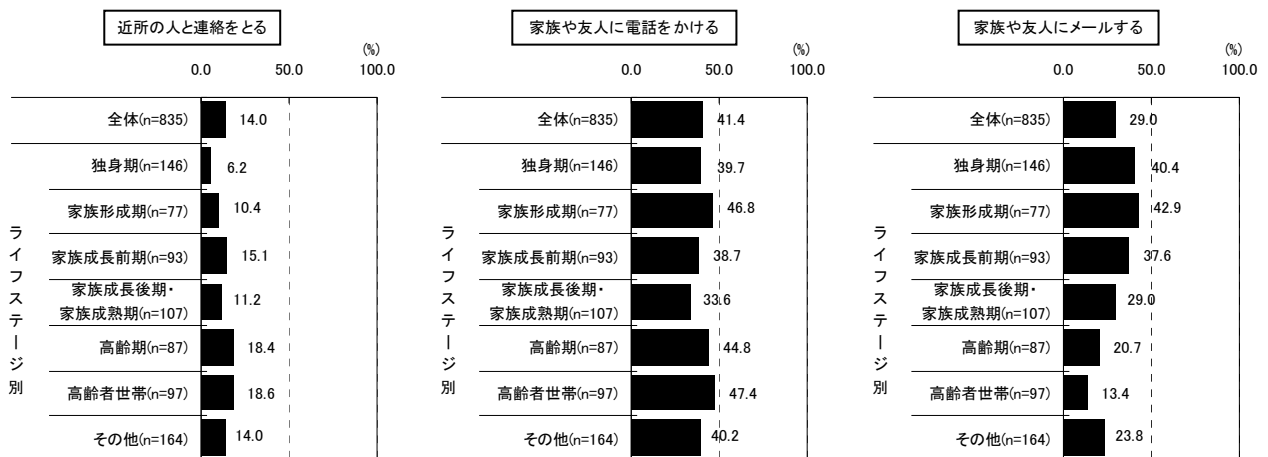
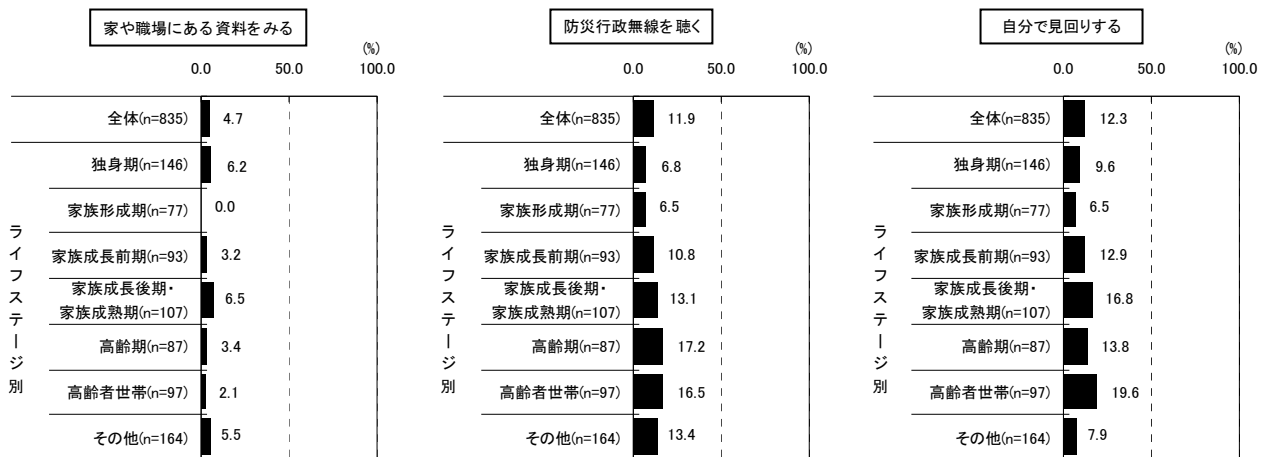
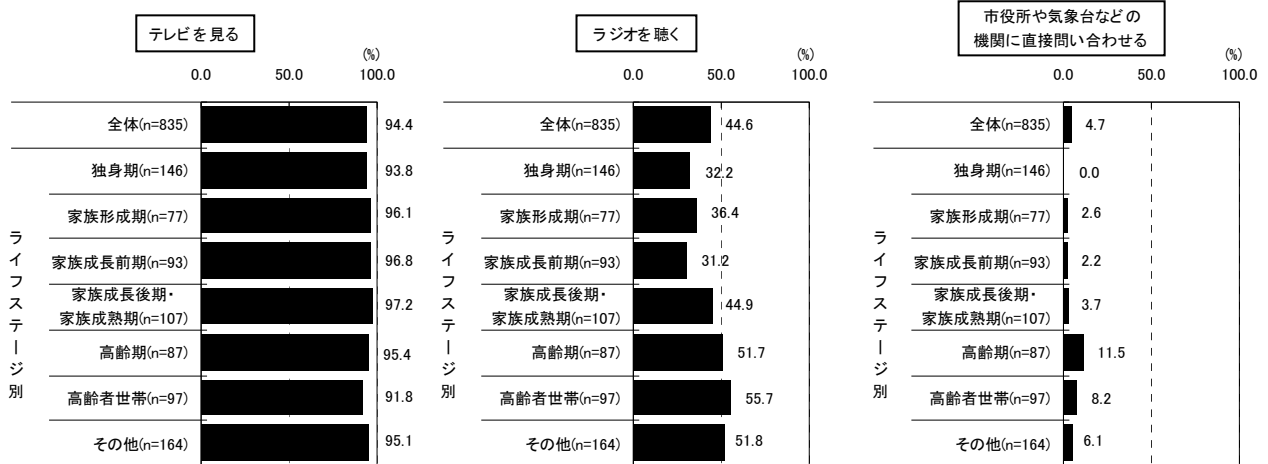


図 9-11 災害時の情報収集手段(性別/年代別)

ライフステージ別にみると、「テレビを見る」はすべて9割を超えている。「高齢期」「高齢者世帯」では、「ラジオを聴く」「市役所や気象台などの機関に直接問い合わせる」「防災行政無線を聴く」「近所の人と連絡をとる」が高い。



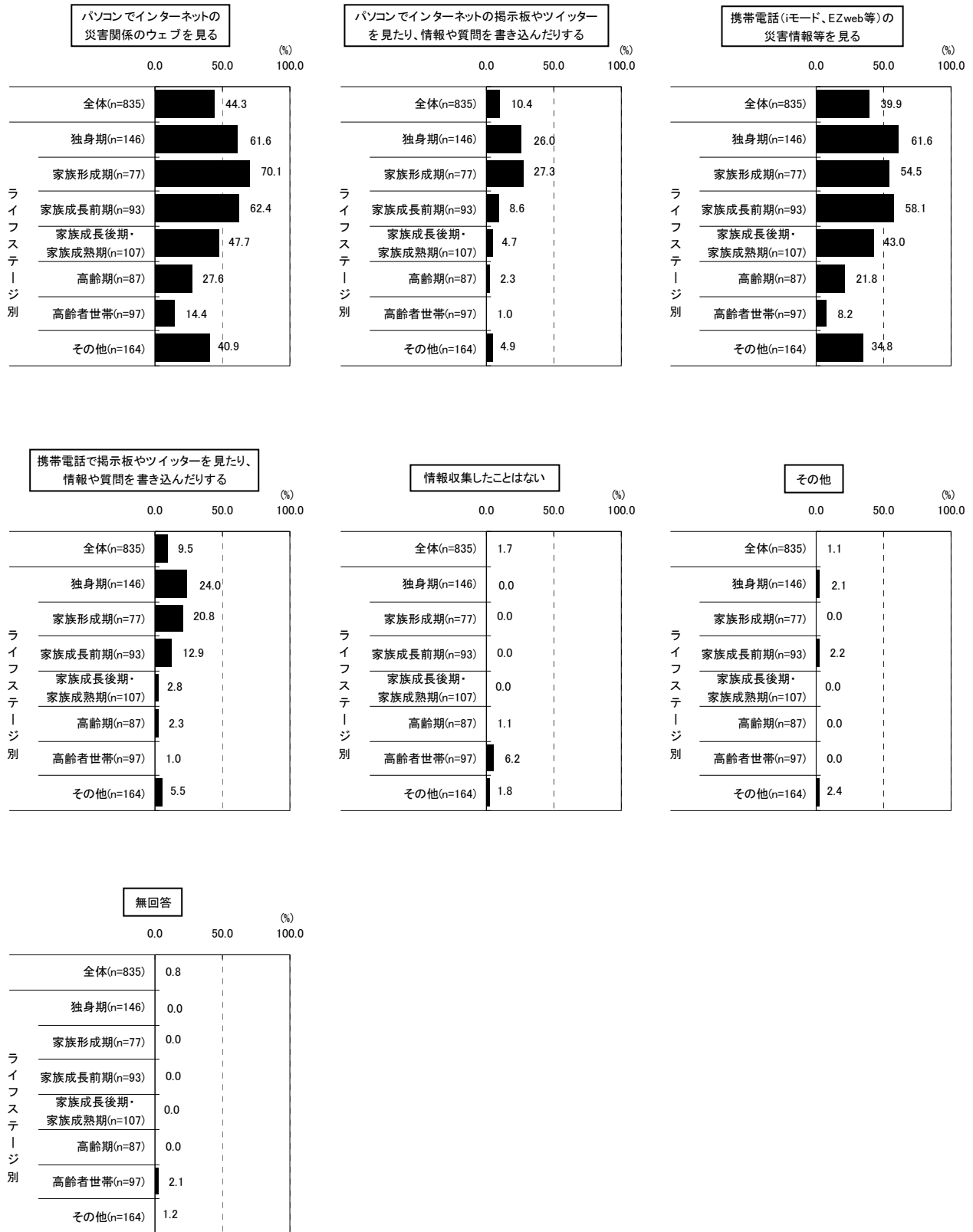


図 9-12 災害時の情報収集手段(ライフステージ別)

10 消防団について

問16. 火災等の災害時に対応する消防機関には消防署と消防団とがあります。消防団について、知っていることをすべて選んでください。(n=835)

1. 消防団は非常備消防といい、地元の火災のほか、風水害、地震などに対応する組織であり、消防署と組織は違うがお互いに協力して活動している
2. 消防団は、自分たちの地域は自分たちで守ろうという自主的な組織として生まれた組織である
3. 東日本大震災の対応で、府中市消防団は、地域における被害状況の確認、計画停電時の広報、警戒を行った
4. 消防団員は普段、自分の職業に従事し、火災や自然災害などが発生すると、消火や災害防御に従事する
5. 消防団員は、非常勤特別職の地方公務員である
6. 消防団員は、日曜日などの休日に訓練をしたり、ポンプや消火栓などを点検したりしている
7. 消防団は、どんど焼きや花火大会など地域の行事において、警戒活動を行っている
8. 名前しか知らない
9. 全く知らない

「消防団員は普段、自分の職業に従事し、火災や自然災害などが発生すると、消火や災害防御に従事する」が6割近くと最も高い。

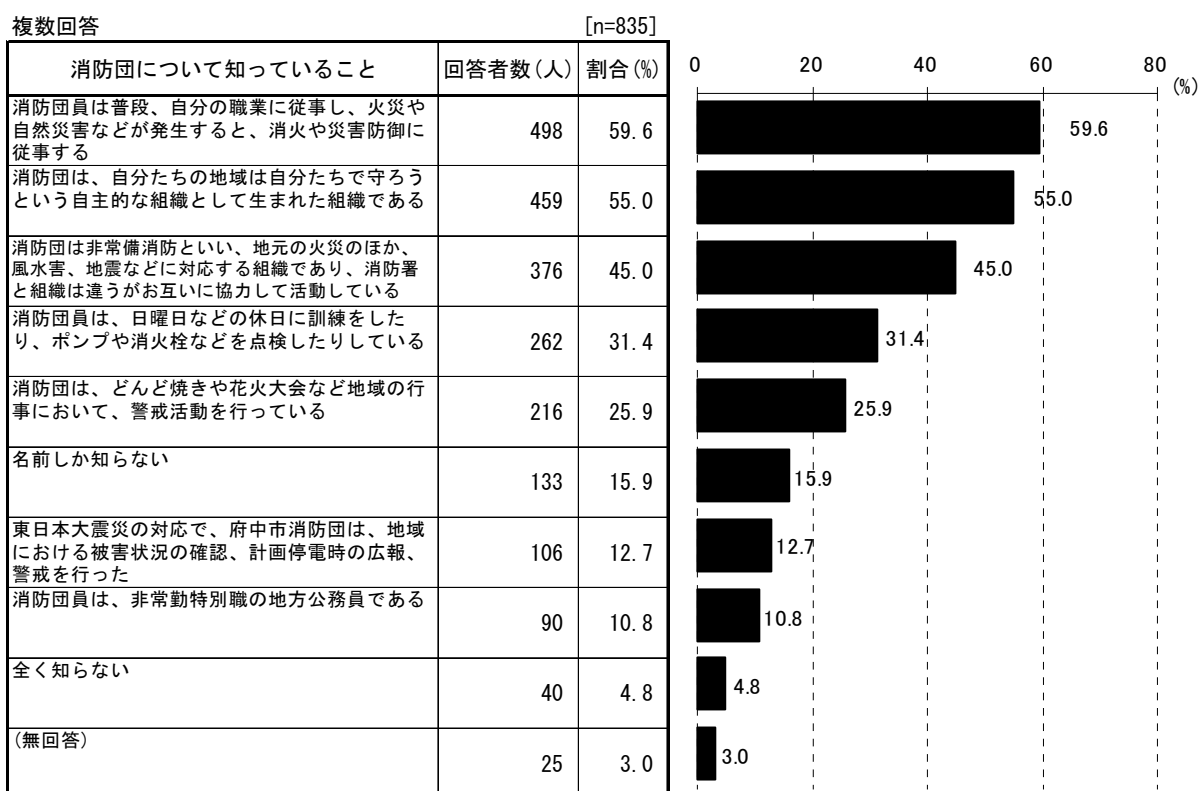
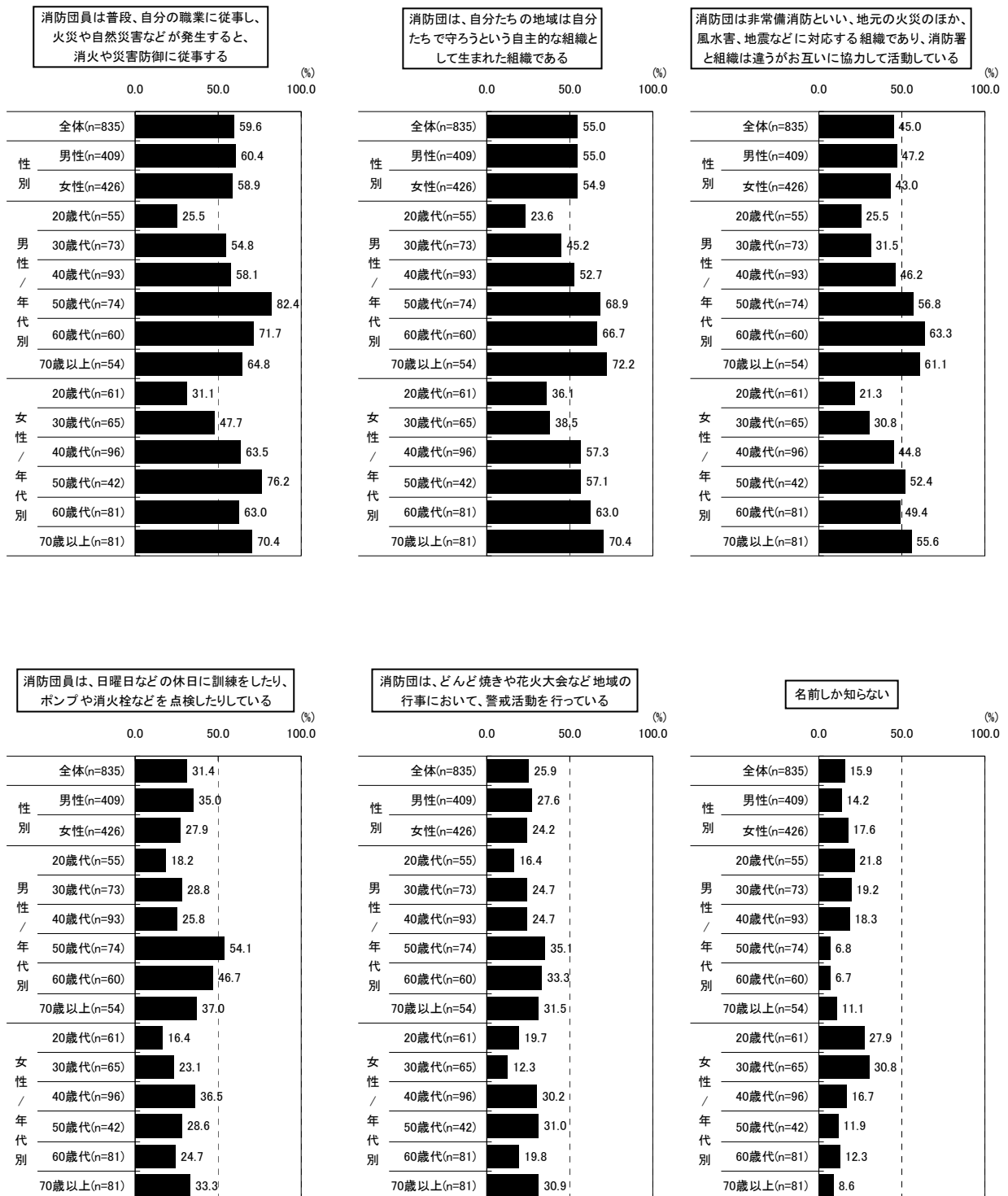


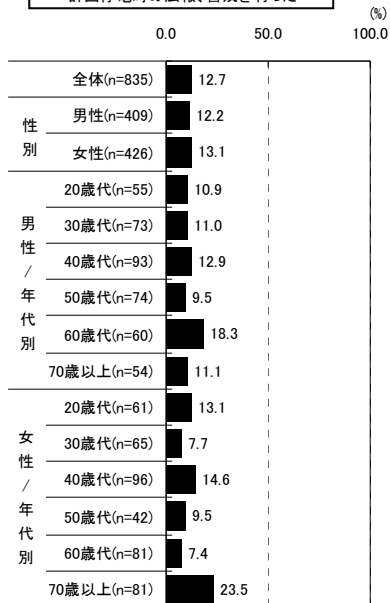
表 10-1 消防団について

図 10-1 消防団について

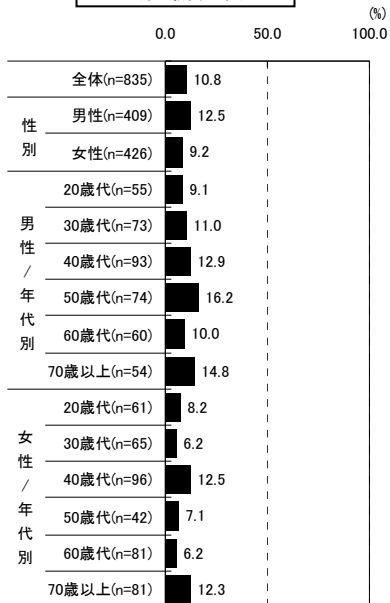
消防団について知っていることを性別／年代別にみると、男女とも「50 歳代」「60 歳代」「70 歳以上」での割合が高く、男女とも「20 歳代」「30 歳代」が低くなっている。一方で、消防団について「全く知らない」も「男性／20 歳代」では2割を超えている。



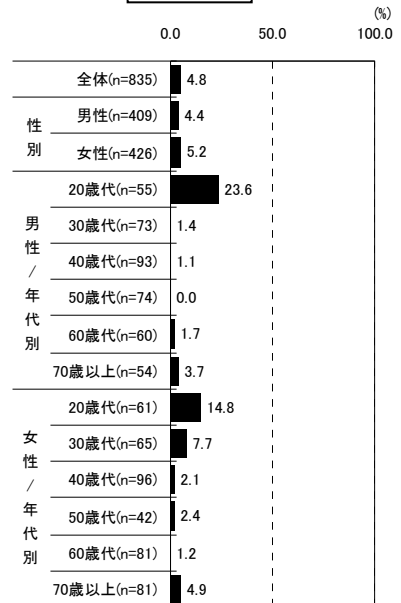
東日本大震災の対応で、府中市消防団は、
地域における被害状況の確認、
計画停電時の広報、警戒を行った



消防団員は、非常勤特別職の
地方公務員である



全く知らない



無回答

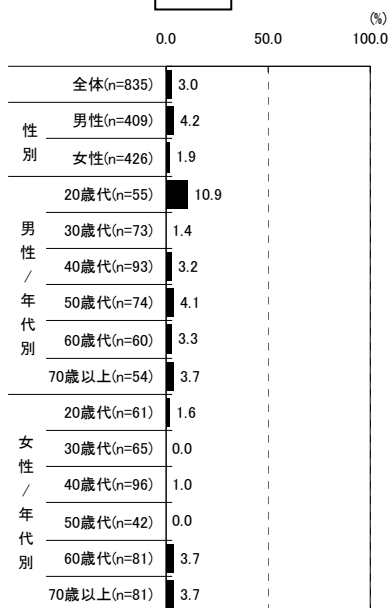


図 10-2 消防団について(性別/年代別)

11 道路等基盤施設の状況について

府中市では、みなさんに安心して使っていただけるよう、公共施設の管理を行っています。しかし、こうした施設では全体的な老朽化が進んでいるため、今後の管理に対応するために様々な課題について検討を進めていきたいと考えています。

(1) 公共施設の管理状態の満足度

問17. 現在の公共施設の管理状態に満足していますか。それぞれの施設について、最も近い評価を1つだけ選んでください。(n=835)

- ① 道路舗装【車道】について
- ② 道路舗装【歩道】について
- ③ 公園・緑地について
- ④ 橋梁・歩道橋について
- ⑤ 街路灯について

評価：(満足している・どちらかといえば満足している・どちらかといえば不満である・不満である)

公共施設の管理状態の満足度について、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』が最も高いのは、「公園・緑地について」(82.5%)であり、8割半ばを占めている。次いで、「道路舗装【車道】について」(81.0%)、「橋梁・歩道橋について」(77.5%)の順で高くなっている。一方、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた『不満とじている割合』は、「道路舗装【歩道】について」(34.0%)が3割半ばと高く、次いで「街路灯について」(24.8%)、「橋梁・歩道橋について」(16.0%)の順で高くなっている。

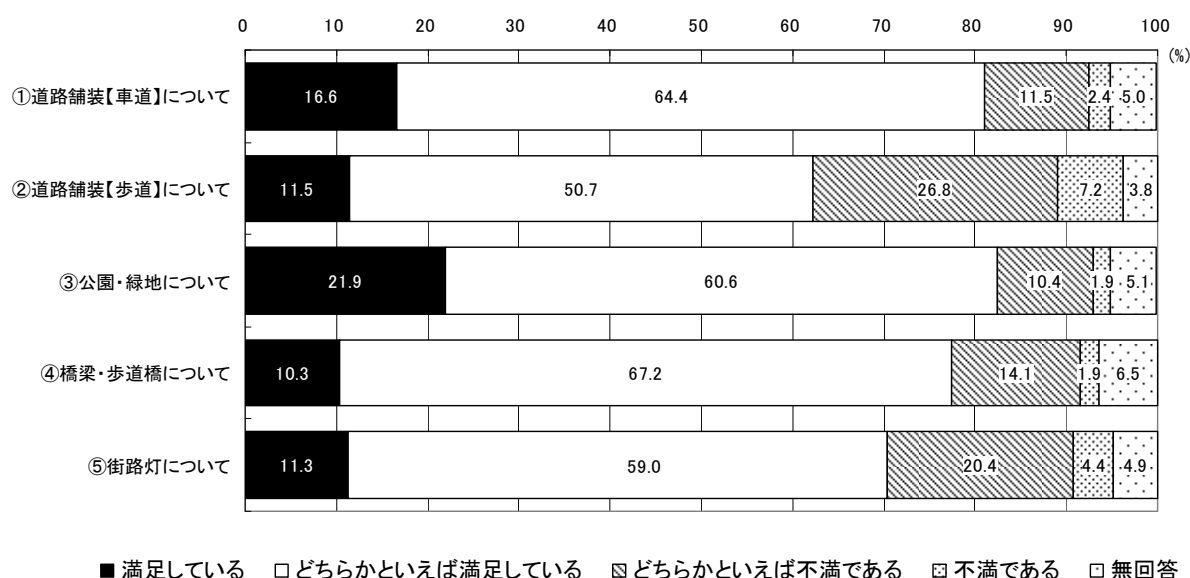


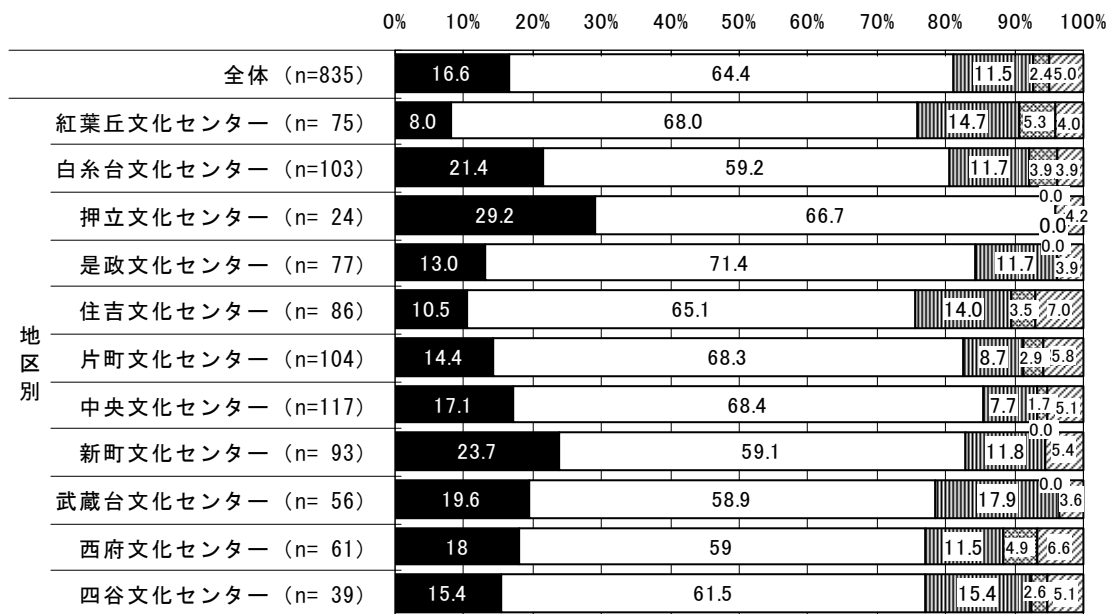
図 11-1 公共施設の管理状態の満足度

「道路舗装【車道】」の管理状態の満足度を地区別にみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「押立」(95.9%)、「中央」(85.5%)、「是政」(84.4%)、の順で高くなっており、「住吉」(75.6%)が最も低い。

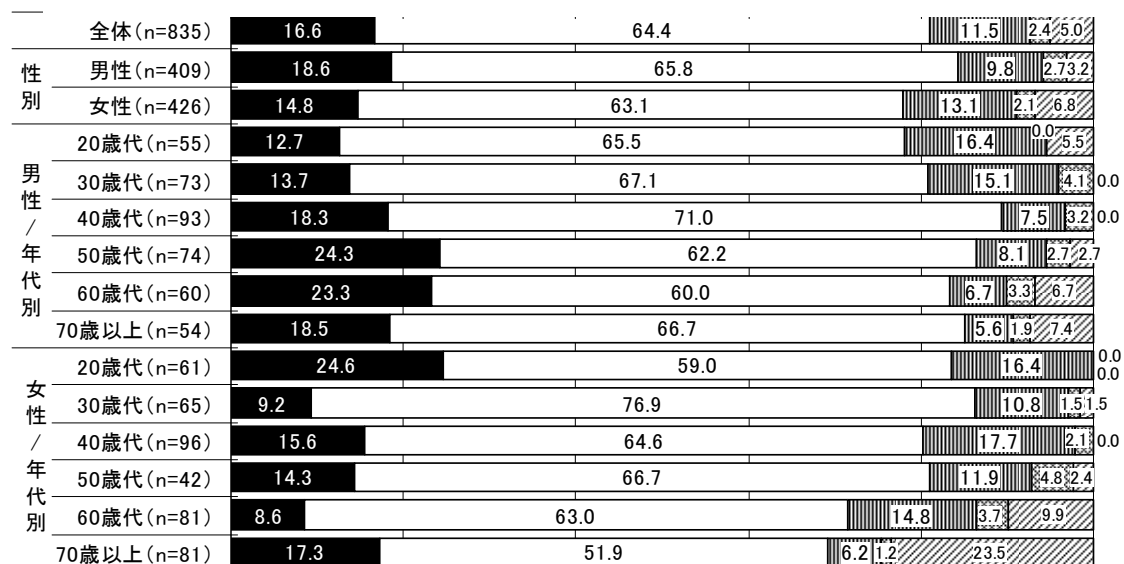
性別でみると、『満足とじている割合』は男性のほうが高い。

年代別でみると、「男性／40歳代」(89.3%)、「男性／50歳代」(86.5%)、「女性／30歳代」(86.1%)の順で『満足とじている割合』が高くなっている。「女性／70歳以上」(69.2%)が最も低い。

① 道路舗装【車道】について



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である ▩ 無回答 %



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である ▩ 無回答

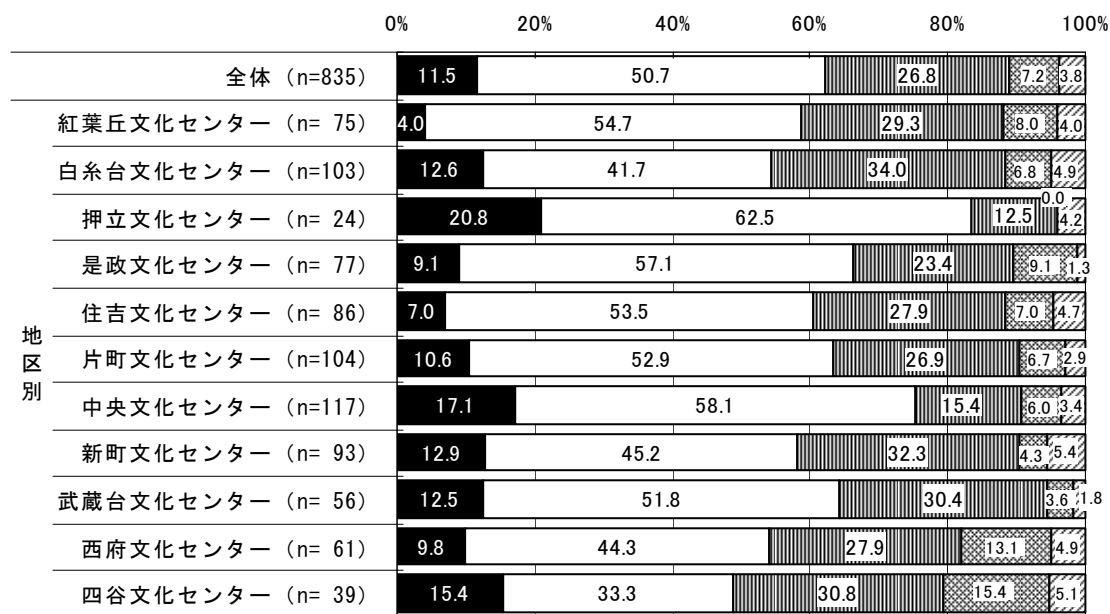
図 11-2 公共施設の管理状態の満足度／道路舗装【車道】(地区別、性別／年代別)

「道路舗装【歩道】」の管理状態の満足度を地区別にみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「押立」(83.3%)、「中央」(75.2%)、「是政」(66.2%)、の順で高くなっており、「四谷」(48.7%)が最も低い。

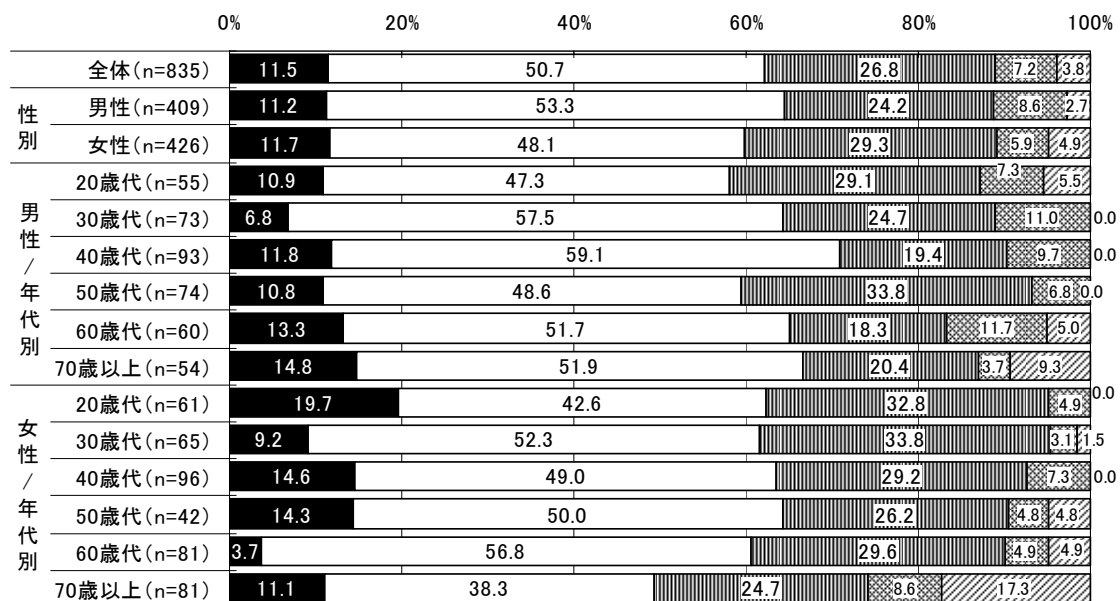
性別でみると、『満足とじている割合』は男性のほうが高い。

年代別でみると、「男性／40歳代」(70.9%)、「男性／70歳以上」(66.7%)、「男性／60歳代」(65.0%)の順に『満足とじている割合』が高くなっている。「女性／70歳以上」(49.2%)が最も低い。

② 道路舗装【歩道】について



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である ▩ 無回答



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である ▩ 無回答

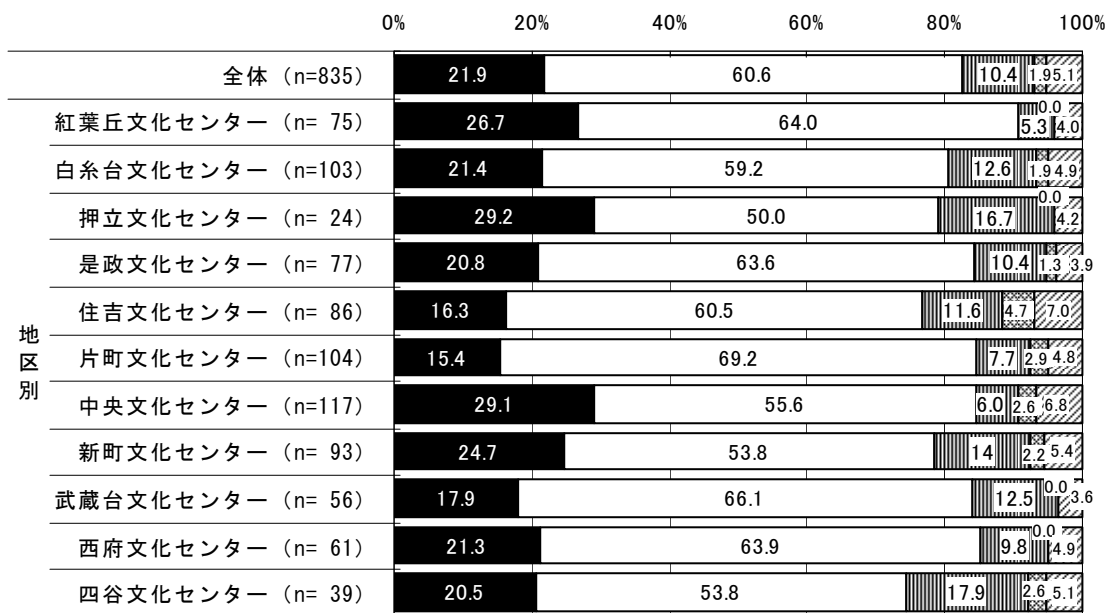
図 11-3 公共施設の管理状態の満足度／道路舗装【歩道】(地区別、性別／年代別)

「公園・緑地について」の管理状態の満足度を地区別にみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足と感じている割合』は、「紅葉丘」(90.7%)、「西府」(85.2%)、「中央」(84.7%)、の順で高くなっており、「四谷」(74.3%)が最も低い。

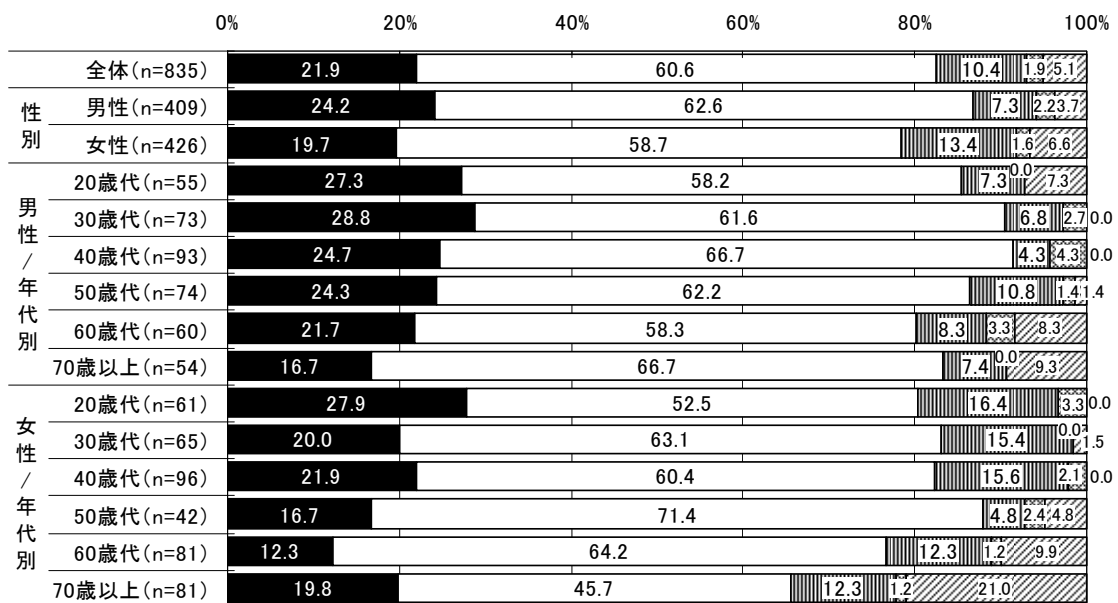
性別でみると、『満足と感じている割合』は男性のほうが高い。

年代別でみると、「男性/40歳代」(91.4%)、「男性/30歳代」(90.4%)、「女性/50歳代」(88.1%)の順で『満足と感じている割合』が高くなっている。「女性/70歳以上」(65.5%)が最も低い。

③ 公園・緑地について



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である □ 無回答



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である □ 無回答

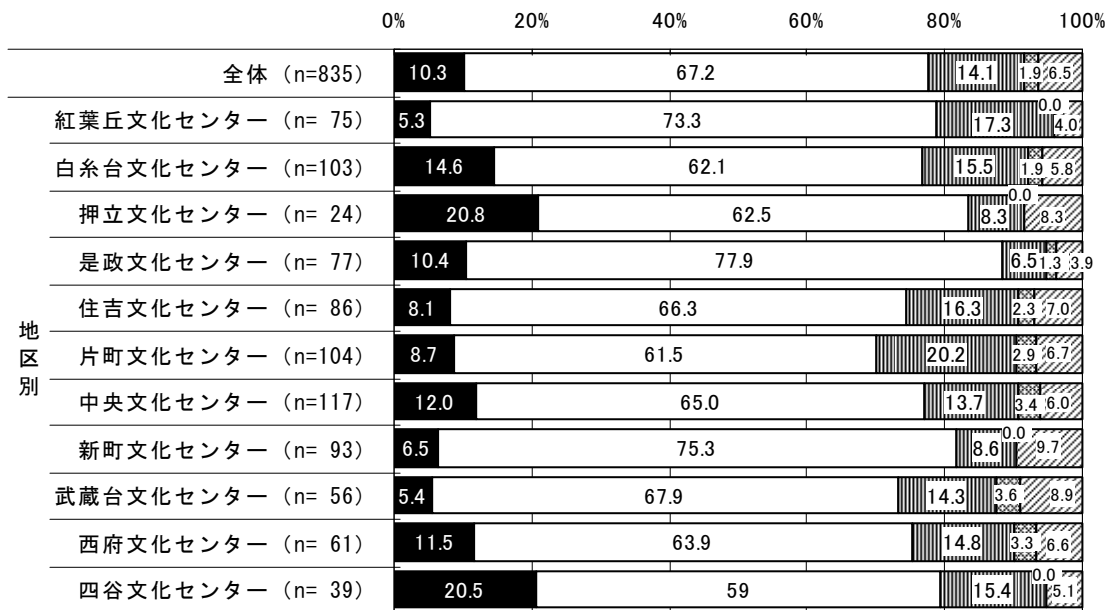
図 11-4 公共施設の管理状態の満足度/公園・緑地(地区別、性別/年代別)

「橋梁・歩道橋について」の管理状態の満足度を地区別にみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「是政」(88.3%)、「押立」(83.3%)、「新町」(81.8%)、の順で高くなっており、「片町」(70.2%)が最も低い。

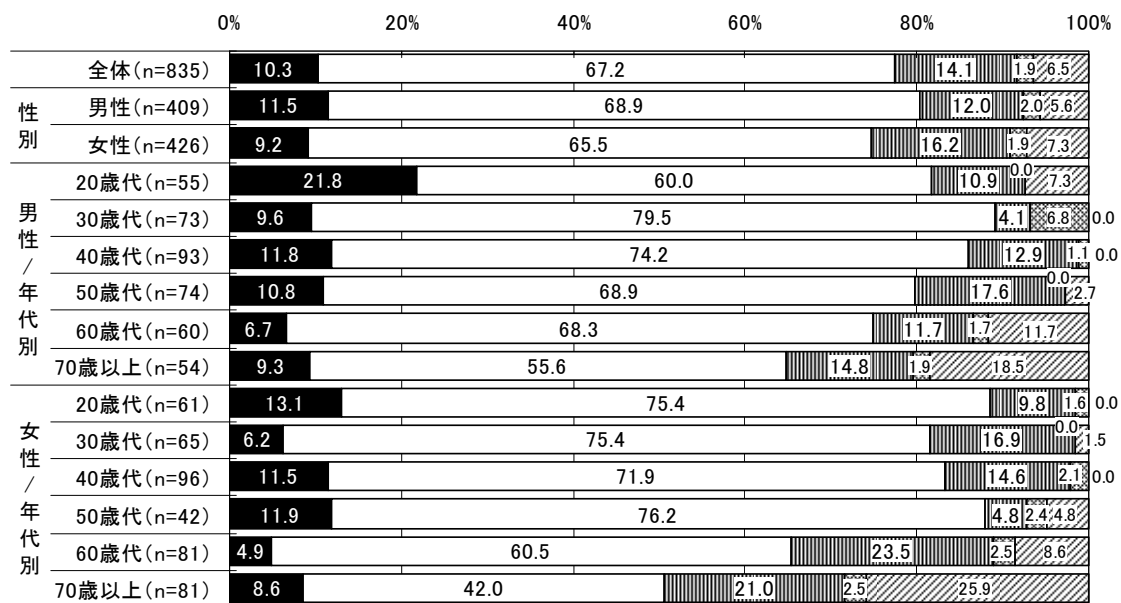
性別でみると、『満足とじている割合』は男性のほうが高い。

年代別でみると、「男性/30歳代」(89.1%)、「女性/20歳代」(88.5%)、「女性/50歳代」(88.1%)の順に『満足とじている割合』が高くなっている。男女とも70歳以上の満足度が低くなっている。

④ 橋梁・歩道橋について



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である □ 無回答



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である □ 無回答

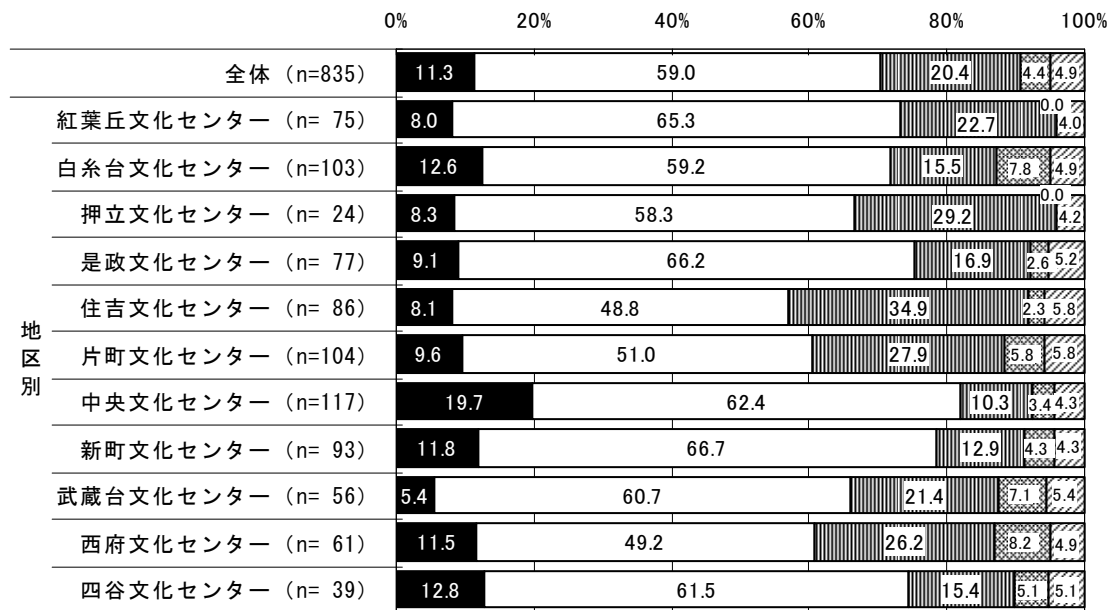
図 11-5 公共施設の管理状態の満足度/橋梁・歩道橋(地区別、性別/年代別)

「街路灯について」の管理状態の満足度を地区別にみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「中央」(82.1%)、「新町」(78.5%)、「是政」(75.3%)、の順で高くなっており、「住吉」(56.9%)が最も低い。

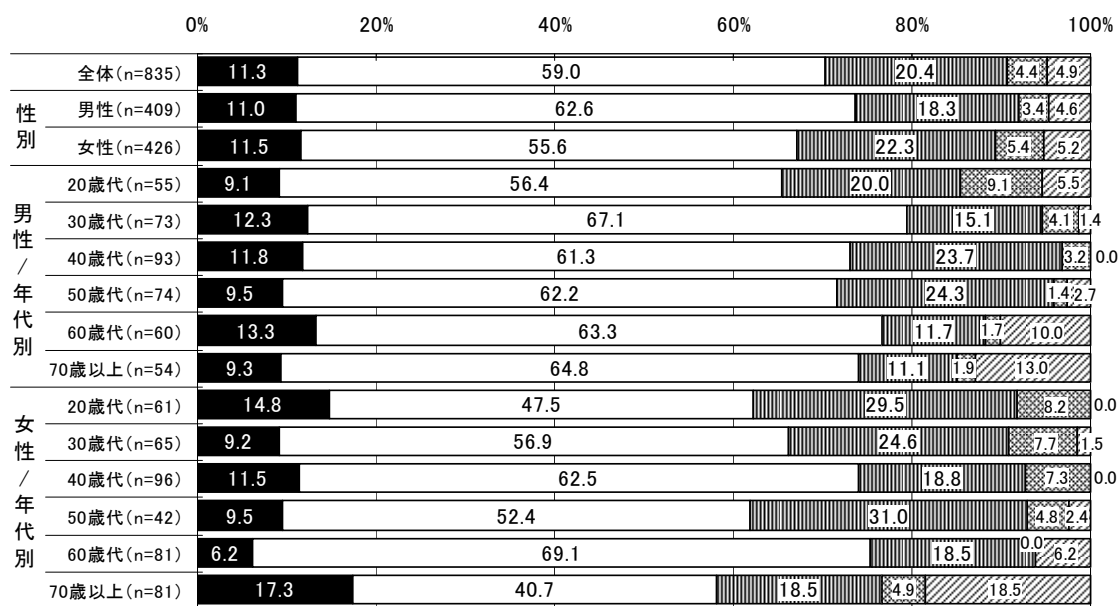
性別でみると、『満足とじている割合』は男性のほうが高い。

年代別でみると、「男性/30歳代」(79.4%)、「男性/60歳代」(76.6%)、「女性/60歳代」(75.3%)の順で『満足とじている割合』が高くなっている。「女性/70歳以上」(58.0%)が最も低くなっている。

⑤ 街路灯について



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である □ 無回答



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である □ 無回答

図 11-6 公共施設の管理状態の満足度/街路灯(地区別、性別/年代別)

(2) 公共施設の管理状態に不満を感じる理由

《 問17. で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方に 》

問18. 不満である理由として該当するものをすべて選んでください。

(n = 436)

1. 【車道】の舗装状態（でこぼこしている、ひび割れしているなど）が気になる
2. 【車道】の管理状態は過剰であると思う（節約すべきである）
3. 【歩道】のひび割れや根上がり（樹木の根により舗装が盛り上がっている状態）が気になる
4. 【歩道】の管理状態は過剰であると思う（節約すべきである）
5. 公園・緑地の樹木の本数や剪定状況が気になる
6. 遊具などの公園施設の数や老朽化が気になる
7. 橋梁・歩道橋の管理状態（でこぼこしている、ひび割れしているなど）が気になる
8. 街路灯の本数が少ない
9. 街路灯の管理状態（電球切れなど）が気になる
10. その他（ ）

現在の公共施設の管理状態が不満である理由として、「【歩道】のひび割れや根上がりが気になる」（42.7%）、「街路灯の本数が少ない」（35.1%）、「街路灯の管理状態が気になる」（22.0%）の順で高くなっている。

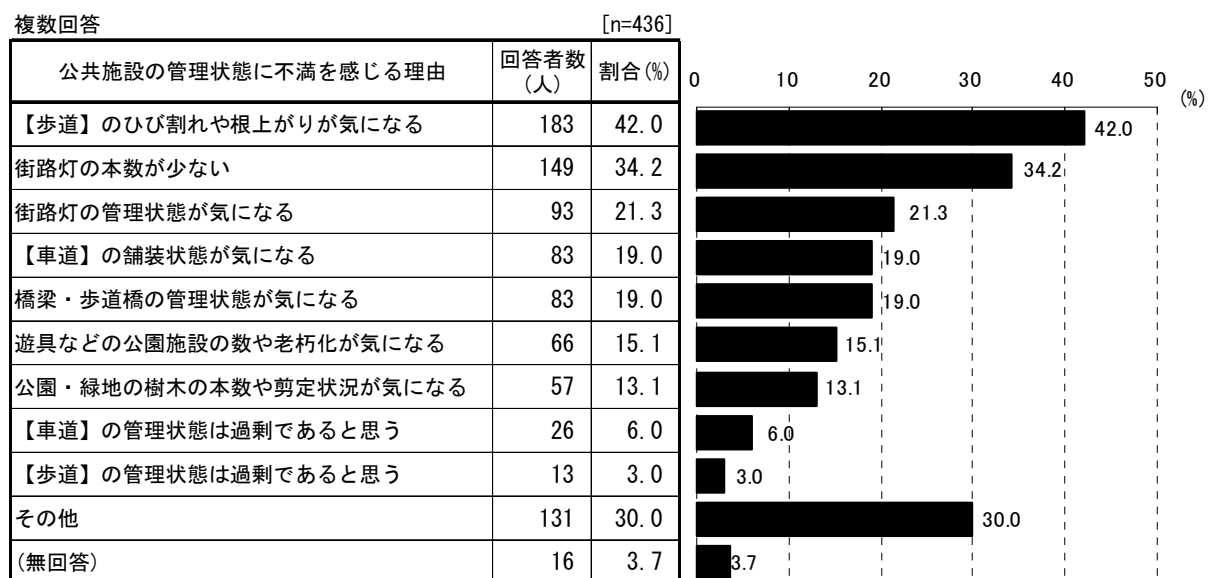
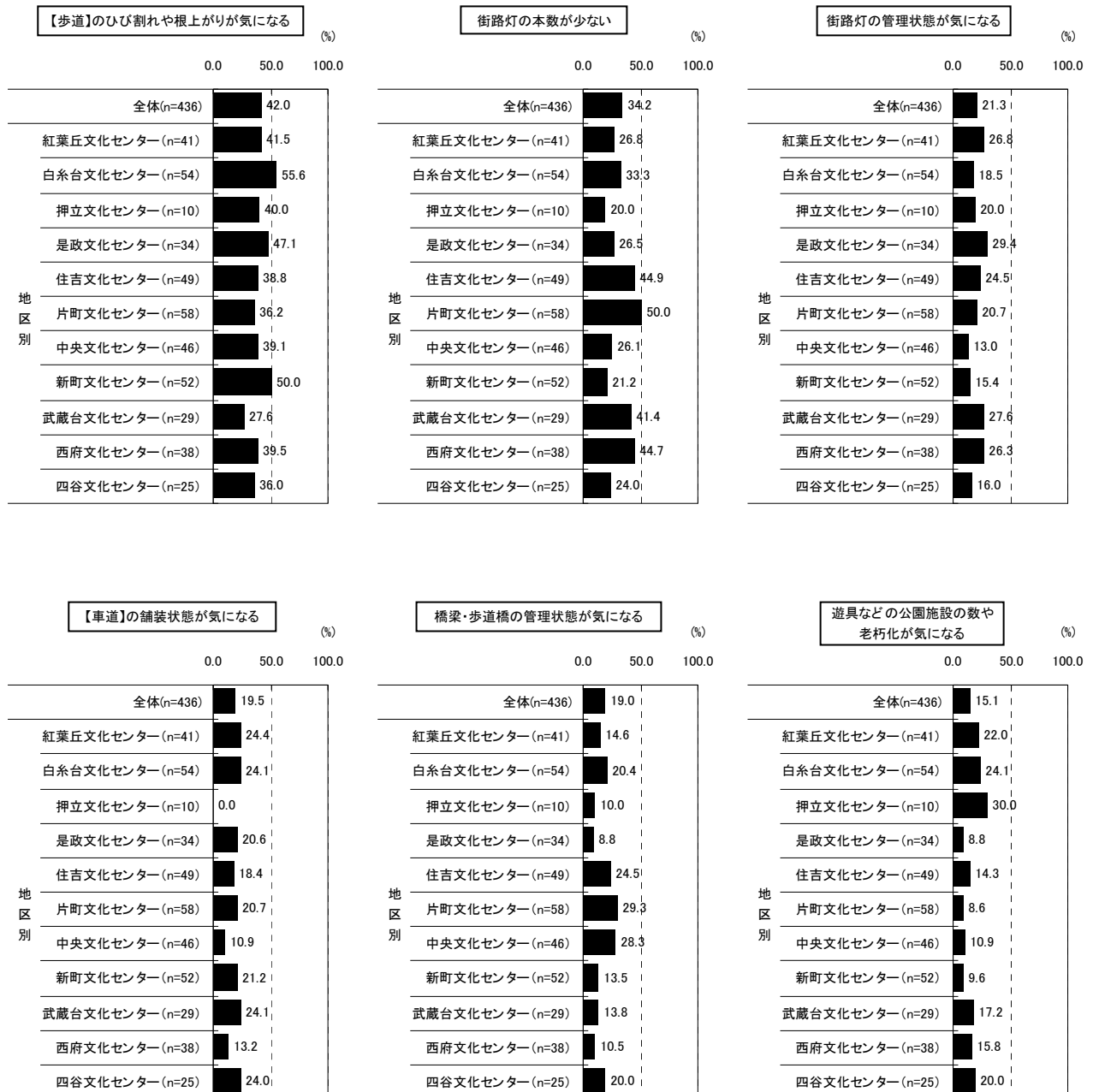


表 11-1 公共施設の管理状態に不満を感じる理由

図 11-7 公共施設の管理状態に不満を感じる理由

管理状態が不満である理由を地区別にみると、「【歩道】のひび割れや根上がりが気になる」は、「白糸台」(55.6%)、「新町」(50.0%)、「是政」(47.1%)の順で高くなっている。「街路灯の本数が少ない」は、「片町」(50.0%)、「住吉」(44.9%)、「西府」(44.7%)の順で高くなっている。「街路灯の管理状態が気になる」は、「是政」(29.4%)、「武蔵台」(27.6%)、「紅葉丘」(26.8%)の順で高くなっている。



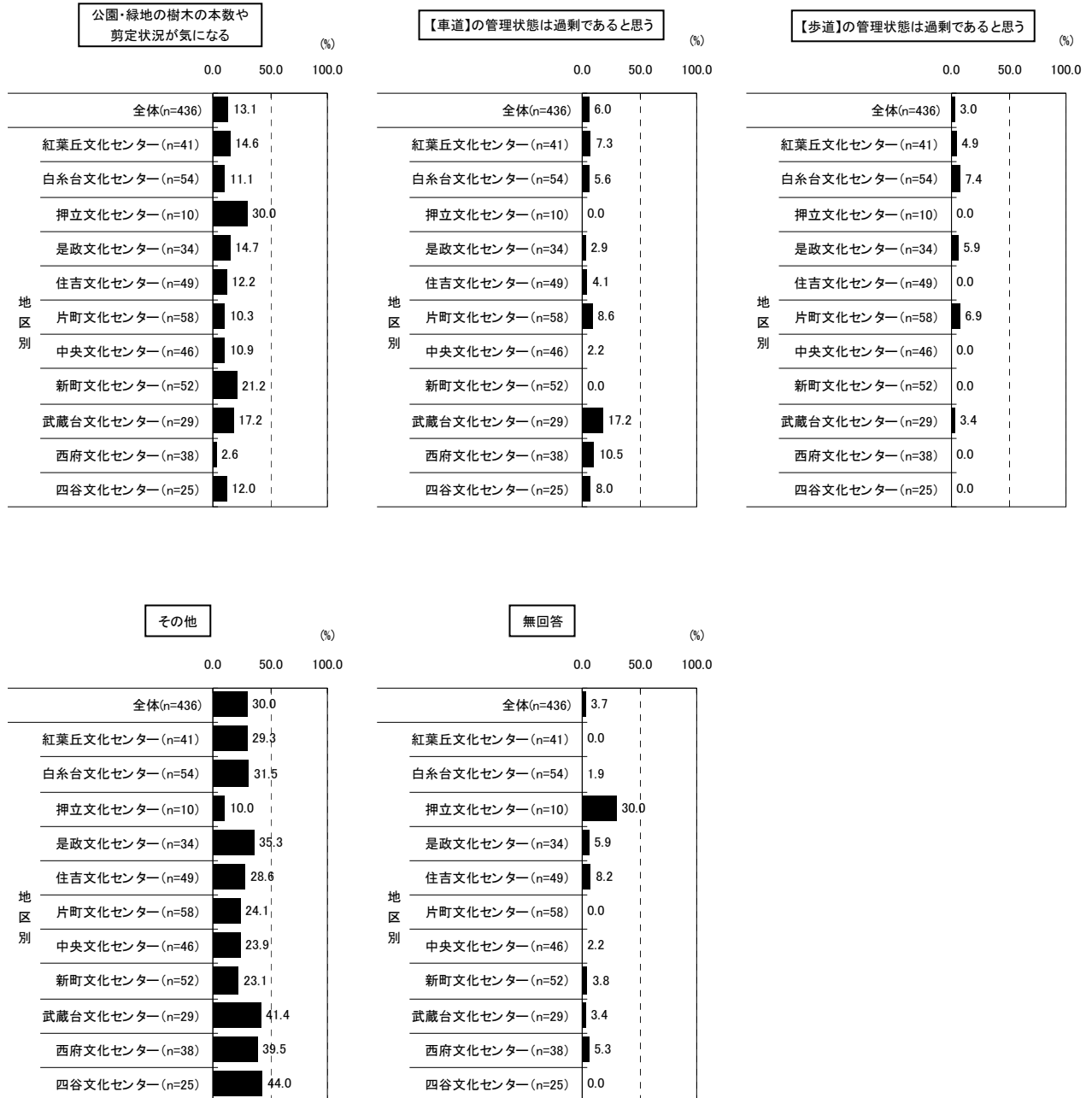
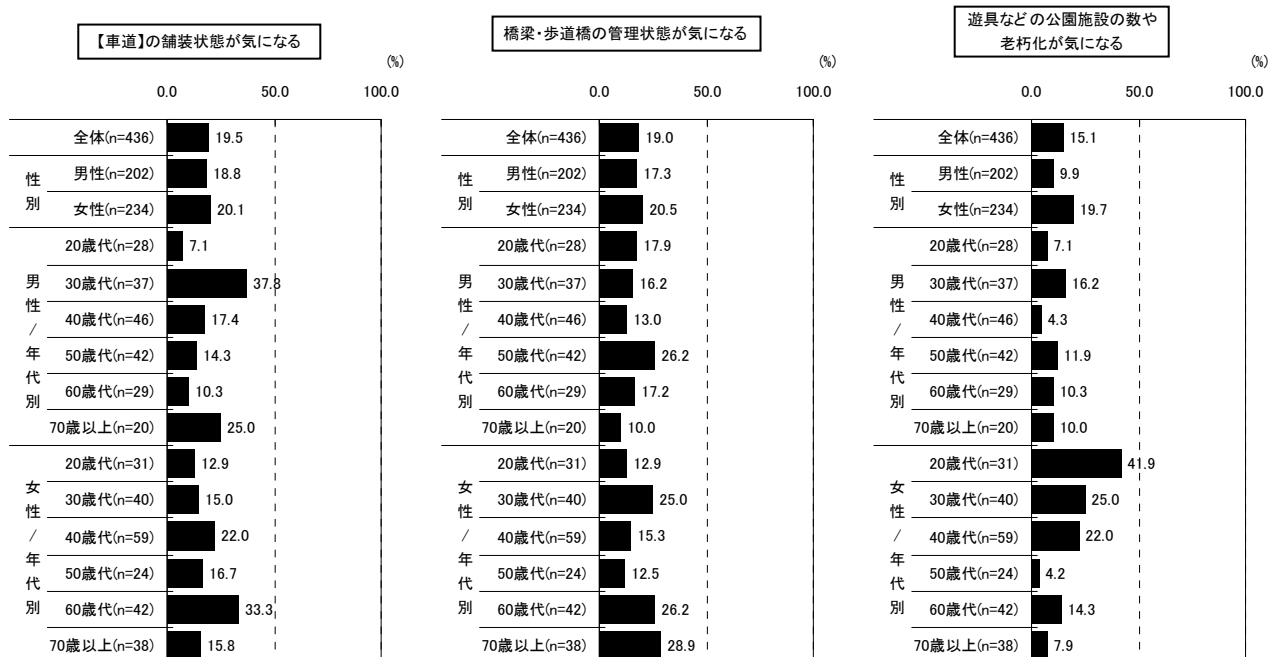
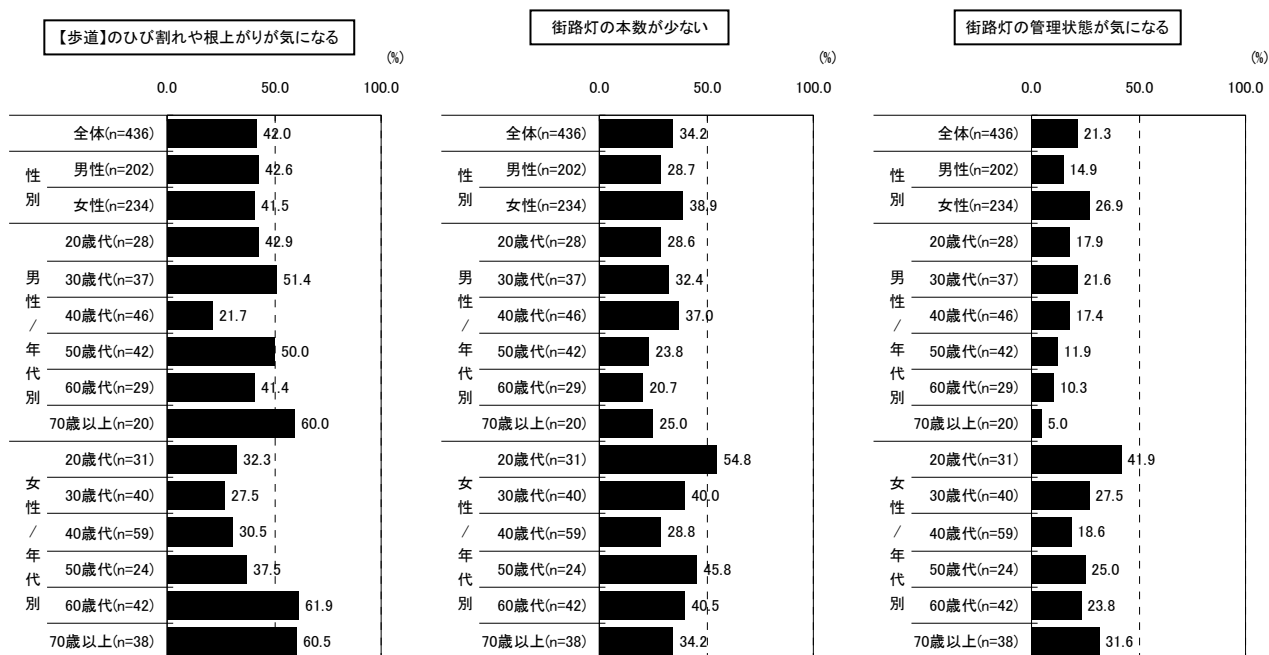


図 11-8 公共施設の管理状態に不満を感じる理由(地区別)

管理状態が不満である理由を性別でみると、「街路灯の本数が少ない」「街路灯の管理状態が気になる」では女性のほうが不満に感じている割合が高い。

年代別でみると、「【歩道】のひび割れや根上がりが気になる」は、男性は「70歳以上」(60.0%)、女性は「60歳代」(61.9%)「70歳以上」(60.5%)の割合が高い。「街路灯の本数が少ない」「街路灯の管理状態が気になる」「遊具などの公園施設の数や老朽化が気になる」は、「女性/20歳代」が高い。



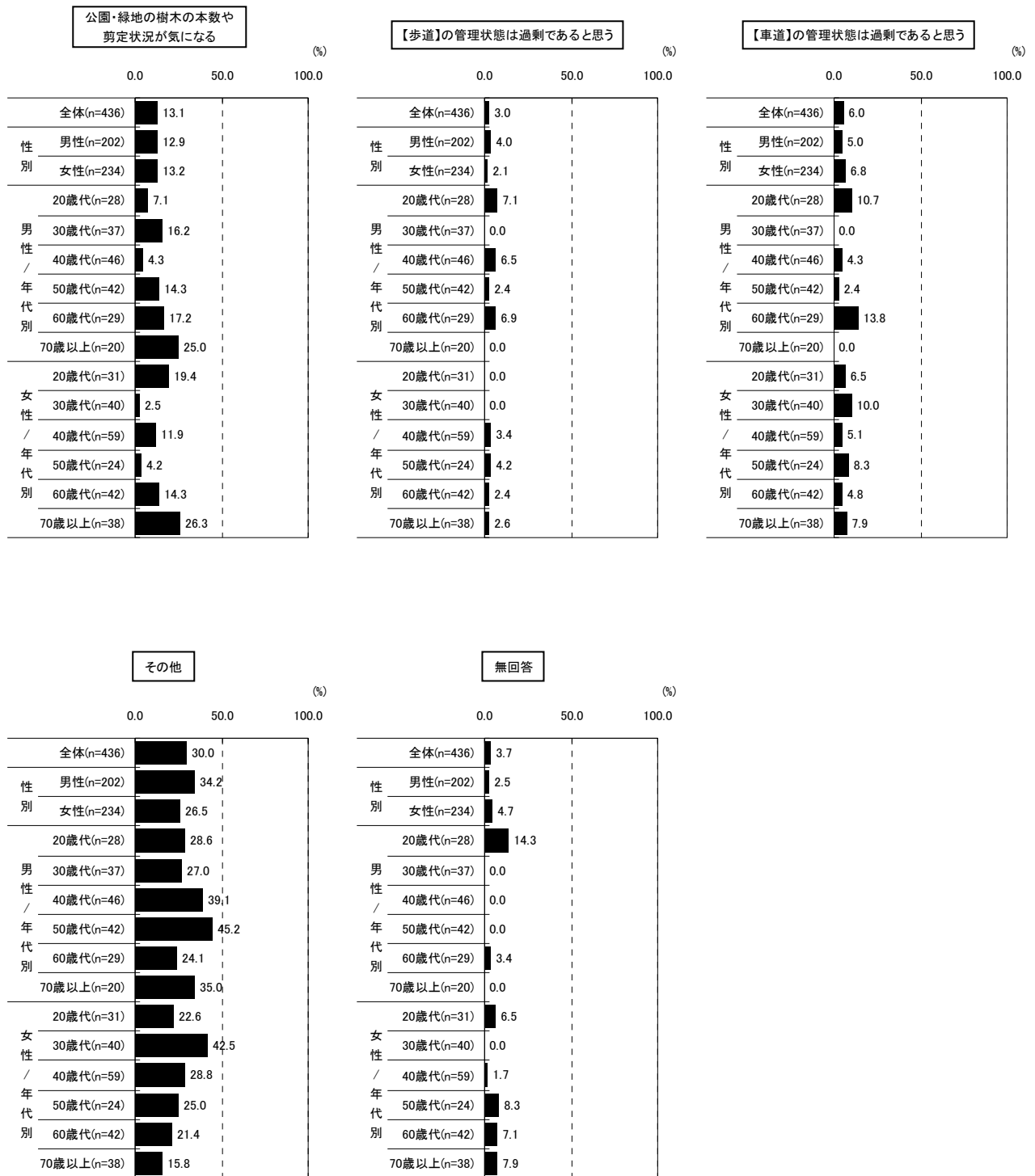


図 11-9 公共施設の管理状態に不満を感じる理由(性別/年代別)

1 2 緑地の保全と緑化の推進について

府中市では、緑の総合的な計画である「府中市緑の基本計画2009」に基づき、緑に関するさまざまな施策を実施しています。市民のみなさんがふだん感じている府中市の緑の状況を把握しながら、施策の改善を検討していきたいと考えています。

(1) 周辺自治体と比べた府中市内の緑の量

問 19. 周辺自治体と比べた場合の府中市内の緑の量について、あなたの実感に最も近いものを1つだけ選んでください。(n=835)

1. とても多い
2. 多い
3. 普通
4. 少ない
5. とても少ない

周辺自治体と比べた場合の府中市内の緑の量については、「とても多い」(15.8%)、「多い」(53.1%)をあわせ、緑の量が多いと感じている割合は7割近くを占めている。

	回答者数(人)	割合(%)
とても多い	132	15.8
多い	443	53.1
普通	218	26.1
少ない	22	2.6
とても少ない	1	0.1
無回答	19	2.3
合計	835	100.0

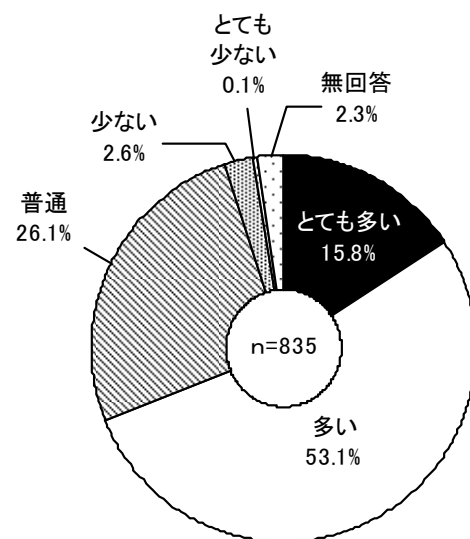


表 12-1 周辺自治体と比べた府中市内の緑の量

図 12-1 周辺自治体と比べた府中市内の緑の量

周辺自治体と比べた場合の府中市内の緑の量について性別／年代別でみると、「とても多い」と「多い」を合わせた『多いと感じている割合』は、「女性／50歳代」(80.9%)、「女性／40歳代」(75.0%)、「男性／30歳代」(74.0%)の順で高くなっており、「男性／20歳代」(58.1%)が最も低い。「普通」と感じている割合は、「女性／60歳代」(33.3%)が最も高く、「女性／50歳代」(14.3%)が最も低くなっている。一方、「とても少ない」と「少ない」を合わせた『少ないと感じている割合』は、「男性／20歳代」(7.3%)、「女性／70歳以上」(6.2%)の順で高くなっている。

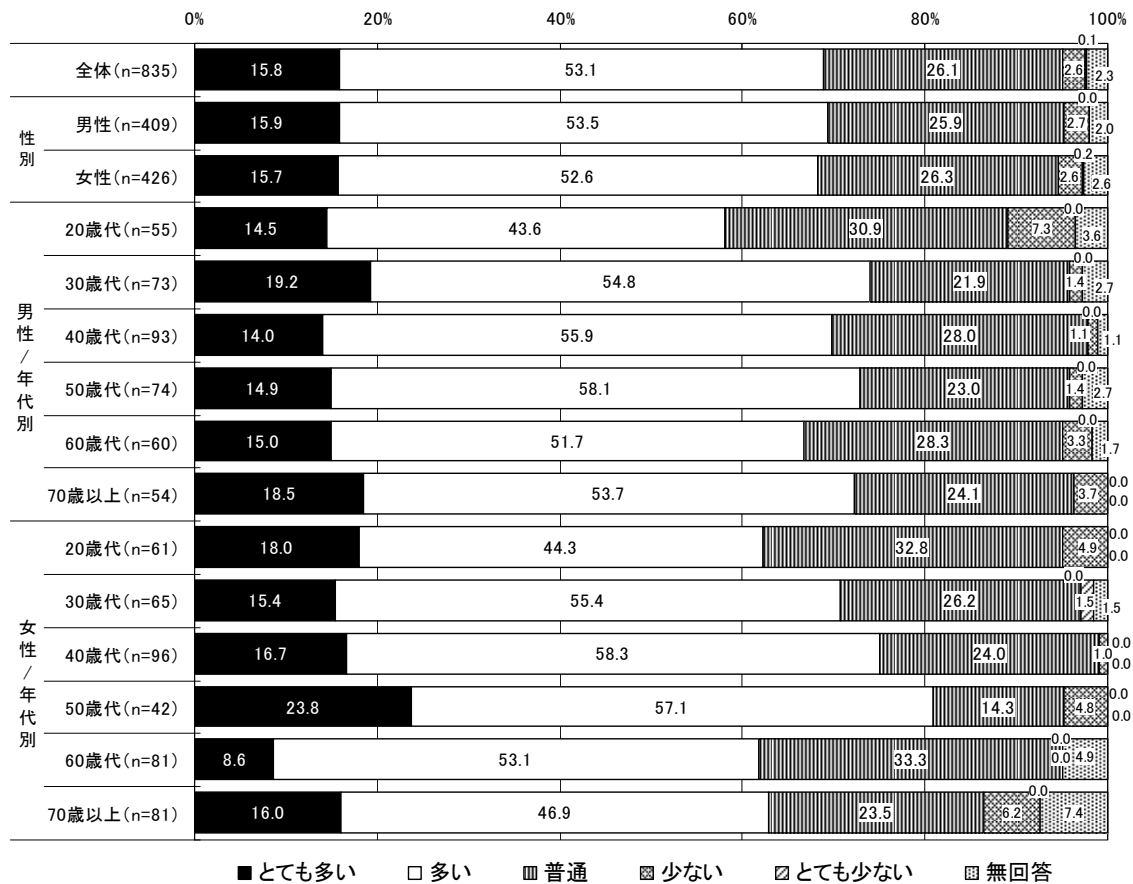


図 12-2 周辺自治体と比べた府中市内の緑の量 (性別／年代別)

周辺自治体と比べた場合の府中市内の緑の量についてライフステージ別でみると、「とても多い」と「多い」を合わせた『多いと感じている割合』は、「家族成長前期」（76.3%）、「家族成長後期・家族成熟期」（72.0%）、「家族形成期」（71.5%）の順で高くなっており、「独身期」（65.8%）が最も低い。「普通」と感じている割合は、「独身期」（28.8%）が最も高く、「家族成長前期」（23.7%）が最も低い。「とても少ない」と「少ない」を合わせた『少ないと感じている割合』は、「独身期」（5.5%）が最も高い。

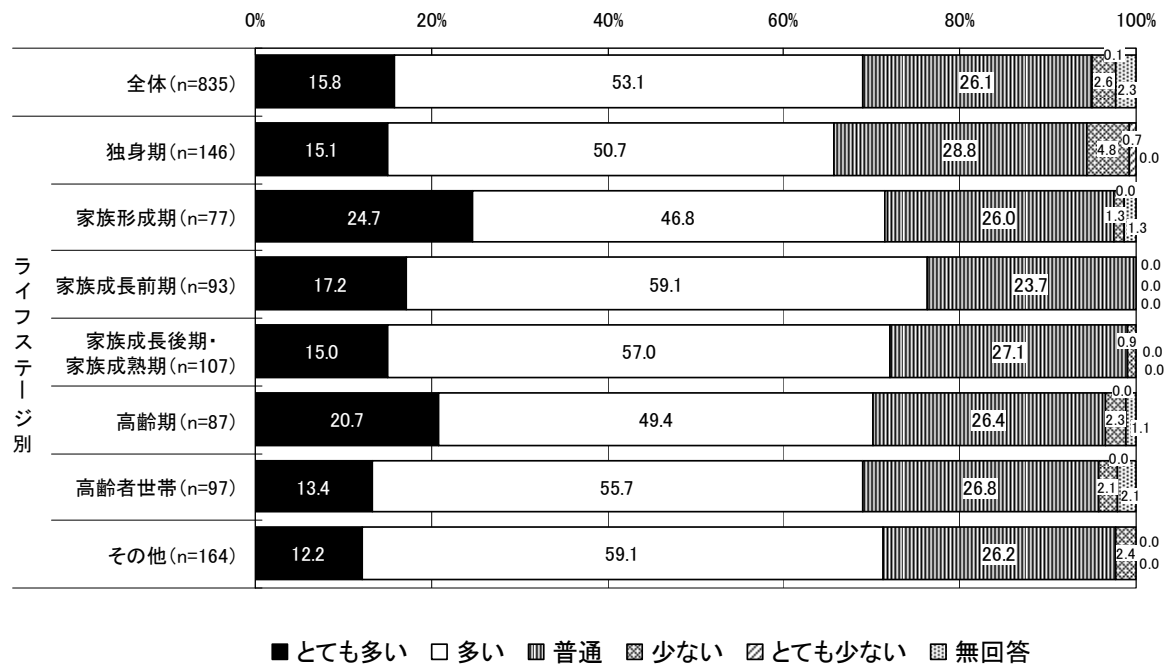


図 12-3 周辺自治体と比べた府中市内の緑の量（ライフステージ別）

周辺自治体と比べた場合の府中市内の緑の量について地区別でみると、「とても多い」と「多い」を合わせた『多いと感じている割合』は、「押立」(87.5%)、「紅葉丘」(78.6%)、「中央」(76.1%)の順で高くなっており、「住吉」(55.8%)が最も低い。「普通」と感じている割合は、「住吉」(37.2%)が最も高く、「押立」(12.5%)が最も低くなっている。一方、「とても少ない」と「少ない」を合わせた『少ないと感じている割合』は、「中央」(6.9%)、「住吉」(4.7%)の順で高くなっている。

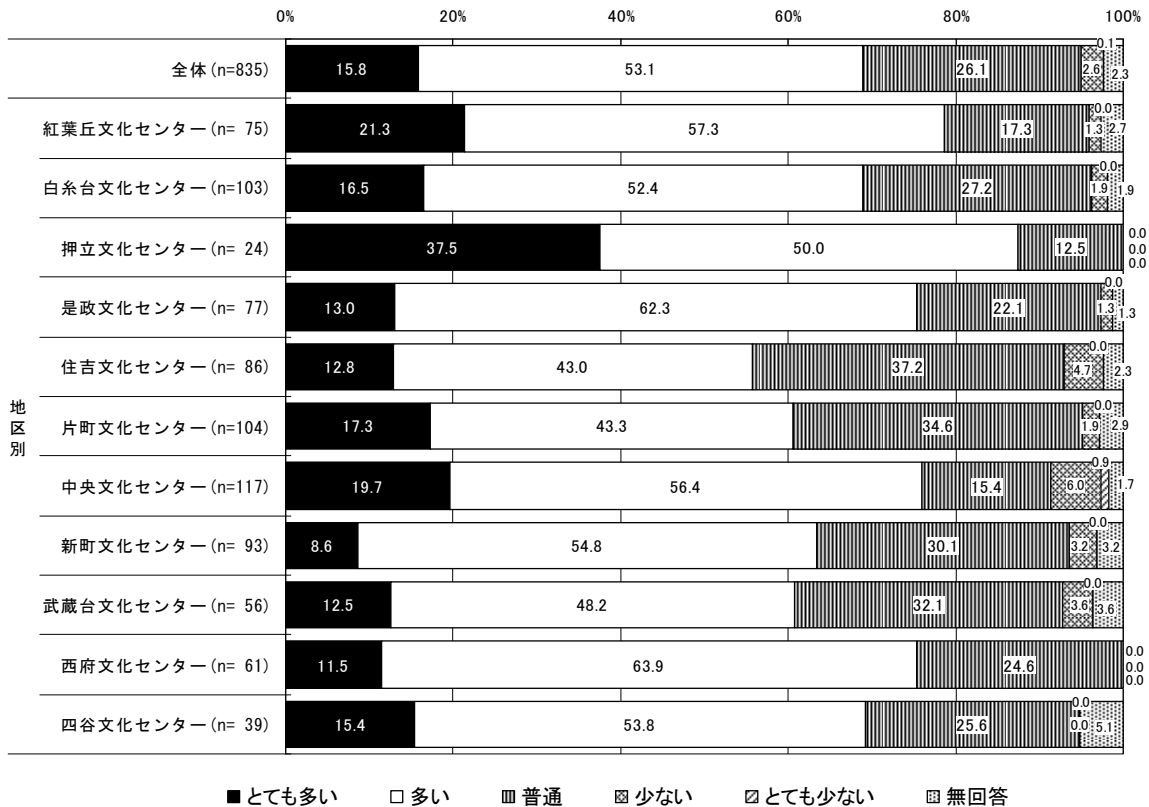


図 12-4 周辺自治体と比べた府中市内の緑の量 (地区別)

(2) 緑の果たす役割として期待するもの

問20. あなたは緑にどのような役割を期待していますか。次の中から上位3つまで選んでください。(n=835)

1. 心に安らぎをあたえる
2. 街並みの景観を向上させる
3. 地域の個性を生み出す
4. 空気をきれいにする
5. 気温・湿度などの気象条件を調節する
6. 騒音・震動などをやわらげる
7. 災害時の避難場所を提供する
8. 火災時に延焼をくいとめる
9. スポーツ・レクリエーションの場を提供する
10. コミュニティ形成の場を提供する
11. 自然や土とのふれあいの場を提供する
12. 動物・植物の育成の場を提供する
13. その他()

緑にどのような役割を期待しているのかについて、「心に安らぎをあたえる」(67.4%)が6割半ばで最も高く、「街並みの景観を向上させる」(50.1%)、「空気をきれいにする」(49.6%)、「気温・湿度などの気象条件を調節する」(37.7%)の順で高くなっている。

複数回答

[n=835]

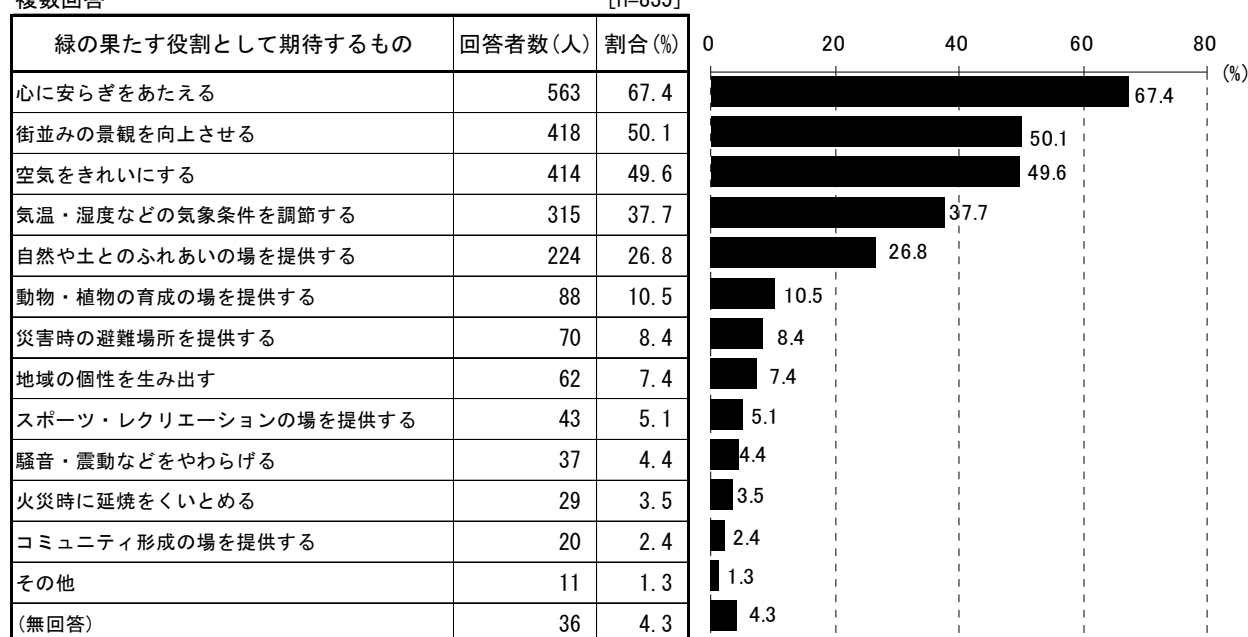
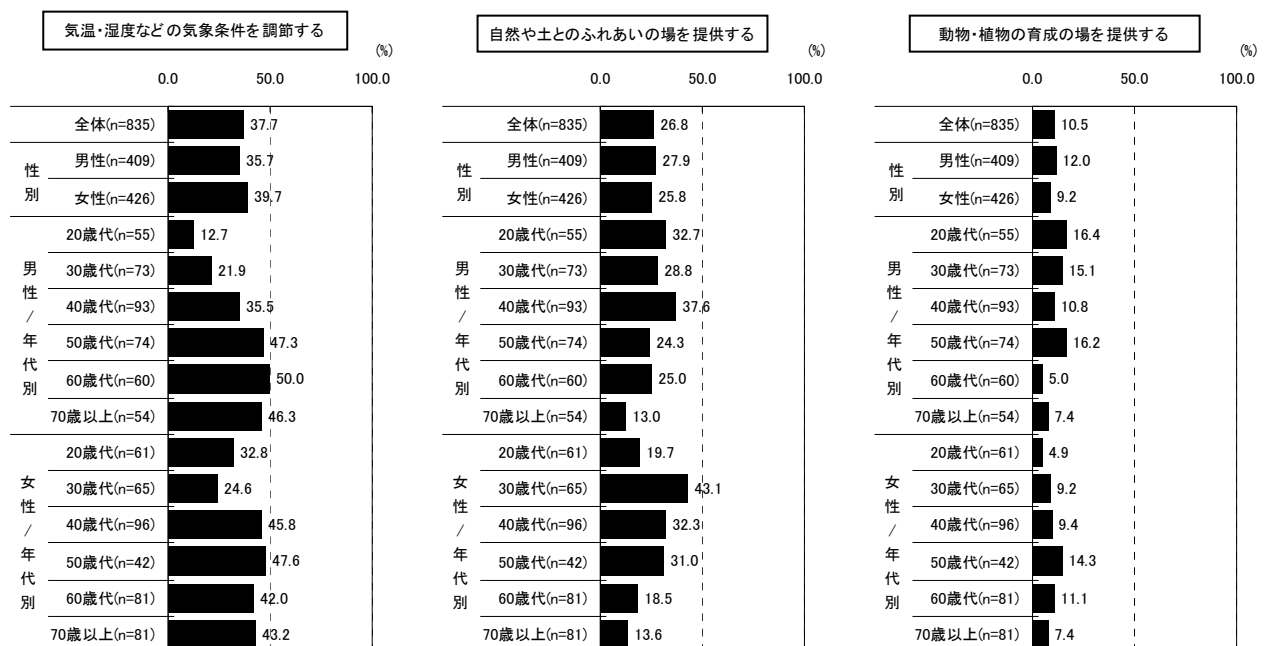
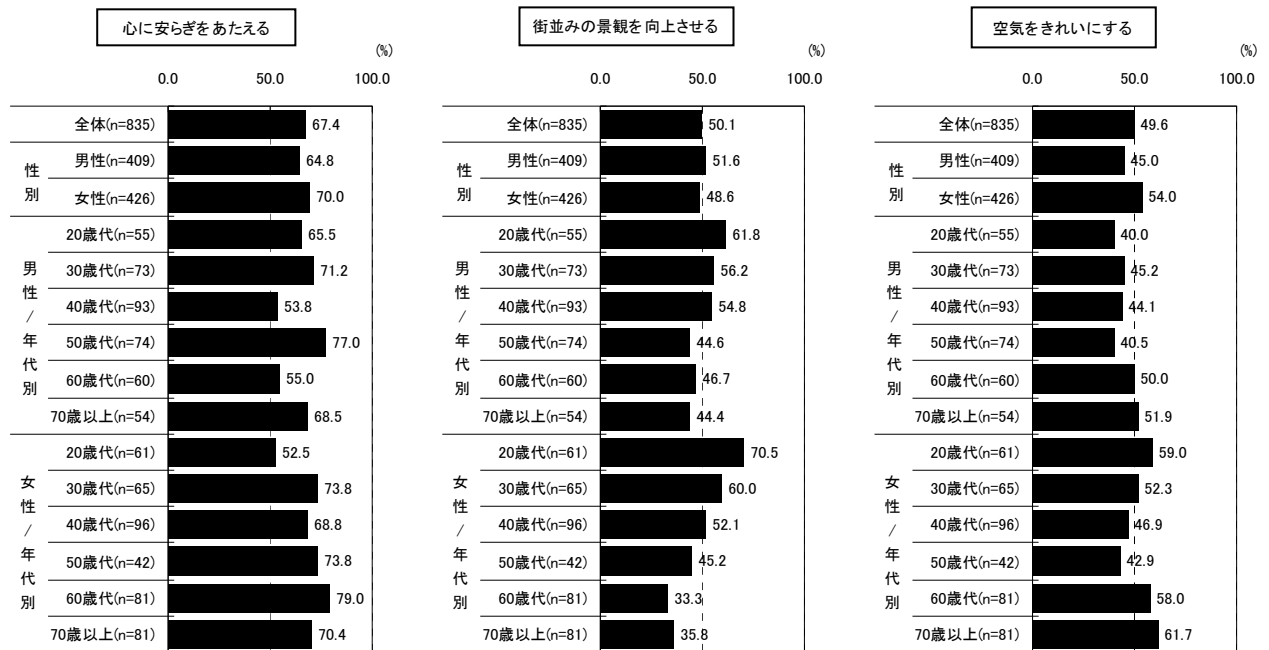


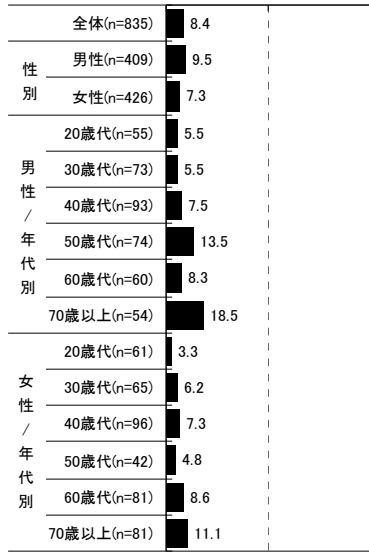
表 12-2 緑の果たす役割として期待するもの

図 12-5 緑の果たす役割として期待するもの

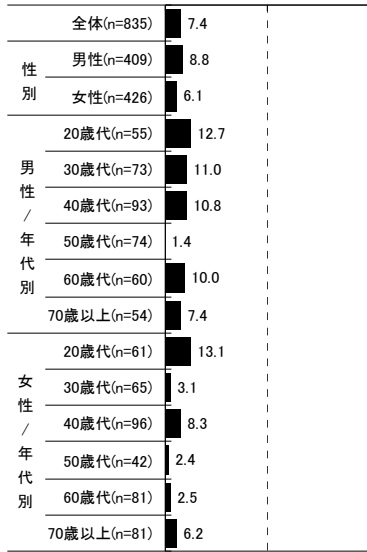
性別／年代別にみると、「心に安らぎをあたえる」は、全ての性別年代で5割以上を占めている。「街並みの景観を向上させる」は、男女とも「20歳代」「30歳代」の割合が高い。「空気をきれいにする」は、女性の割合が男性と比較して高い。「気温・湿度などの気象条件を調節する」は、男女とも「20歳代」「30歳代」で割合が低くなっている。



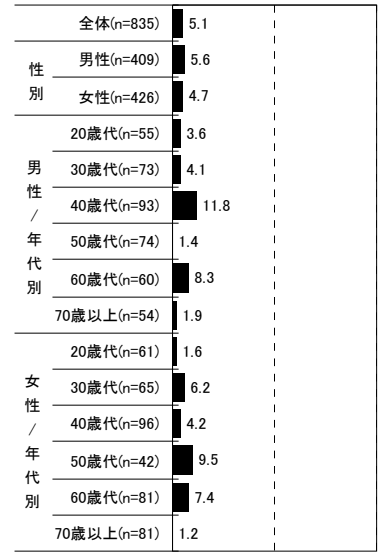
災害時の避難場所を提供する (%)



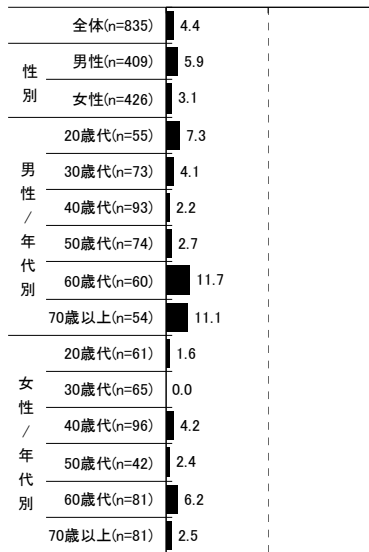
地域の個性を生み出す (%)



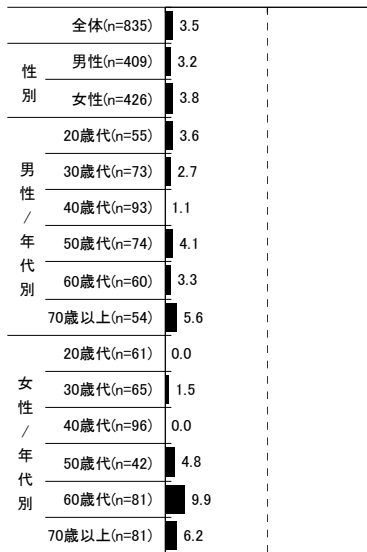
スポーツ・レクリエーションの場を提供する (%)



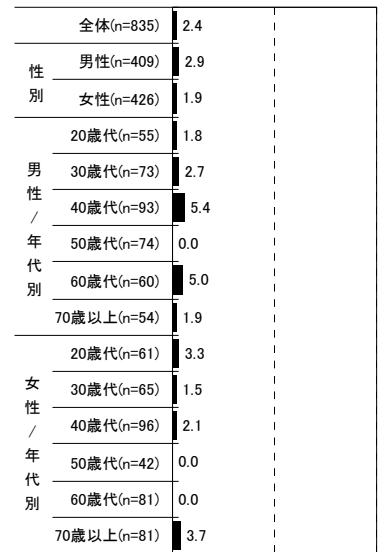
騒音・震動などをやわらげる (%)



火災時に延焼をくいとめる (%)



コミュニティ形成の場を提供する (%)



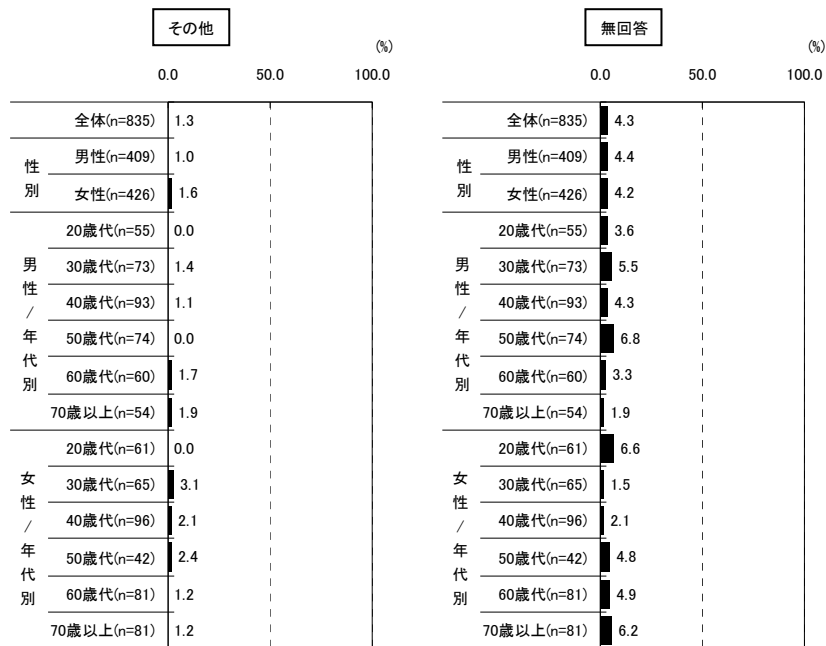
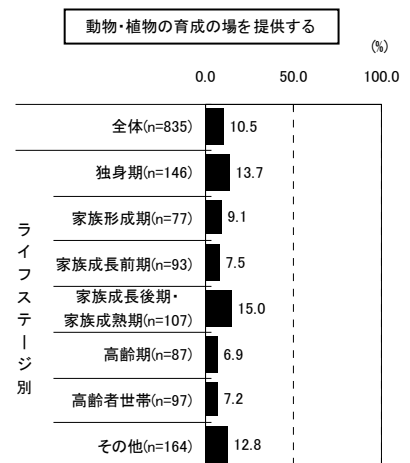
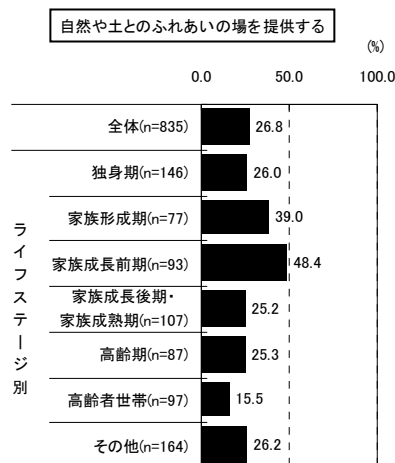
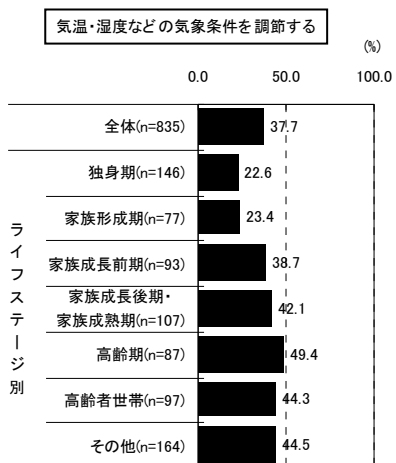
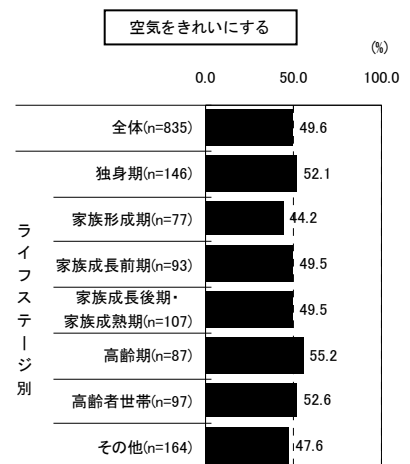
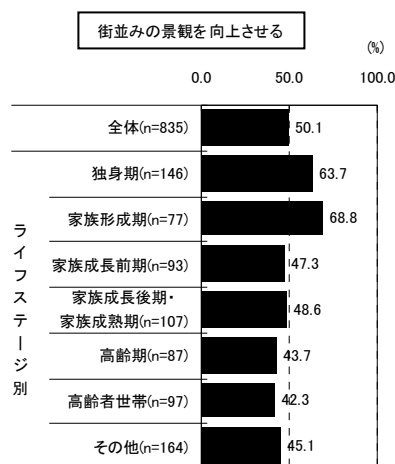
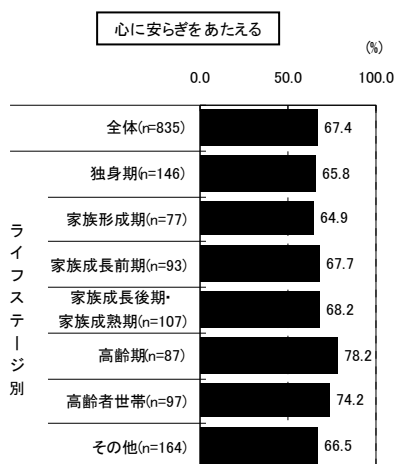


図 12-6 緑の果たす役割として期待するもの(性別/年代別)

ライフステージ別にみると、「心に安らぎをあたえる」は、「高齢期」(78.2%)、「高齢者世帯」(74.2%)の順で高くなっており、全てのライフステージで6割半ばを超えている。「街並みの景観を向上させる」は、「家族形成期」(68.8%)、「独身期」(63.7%)の割合が高い。「空気をきれいにする」は、「高齢期」(55.2%)、「高齢者世帯」(52.6%)が高くなっている。「気温・湿度などの気象条件を調節する」は、「高齢期」(49.4%)、「高齢者世帯」(44.3%)で高く、「独身期」(22.6%)、「家族形成期」(23.4%)で低い。「自然や土とのふれあいの場を提供する」は、「家族成長前期」(48.4%)が高くなっている。



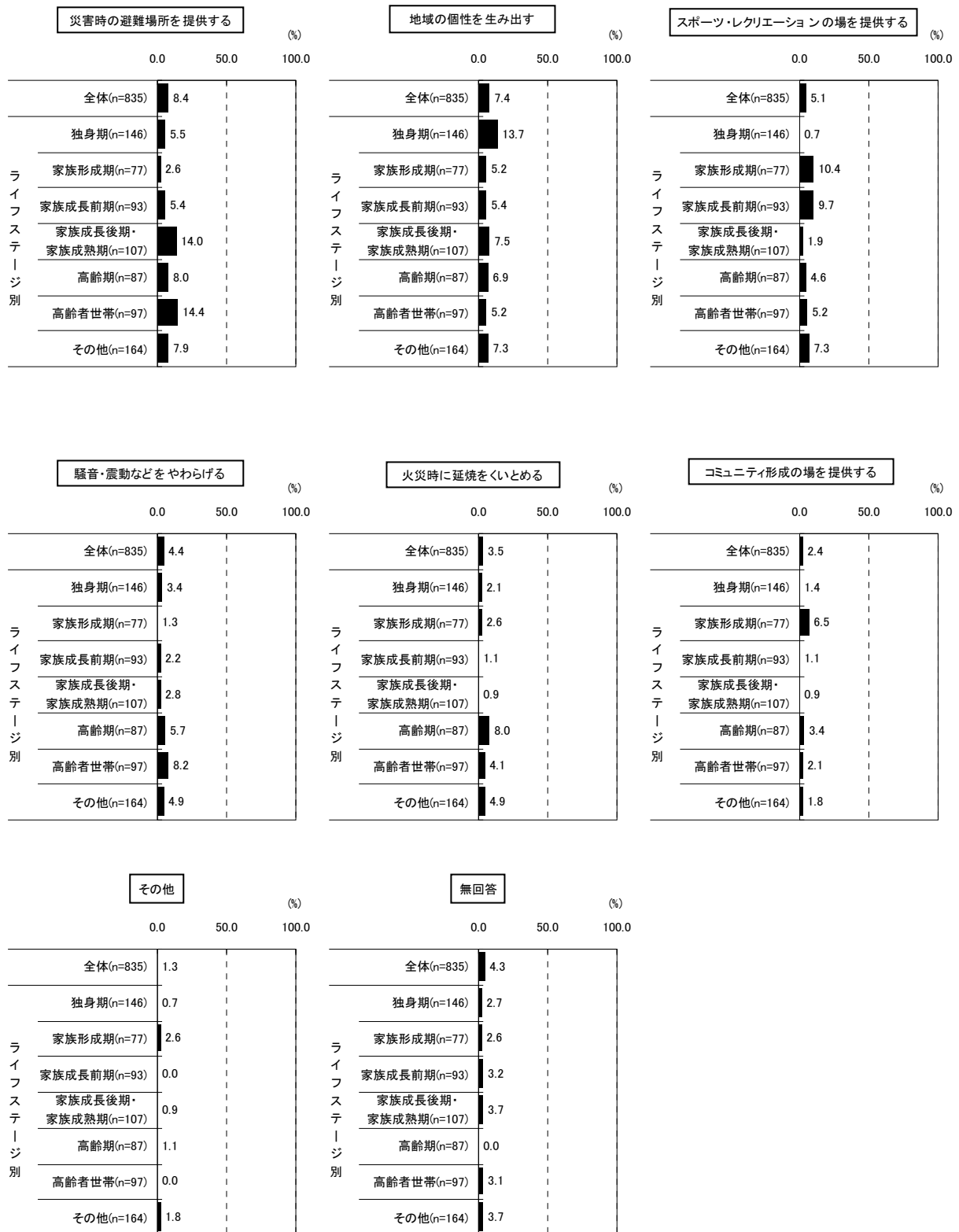


図 12-7 緑の果たす役割として期待するもの(ライフステージ別)

(3) 周辺自治体と比べた府中市内の公園

問 2 1. 周辺自治体と比べた場合の府中市内の公園について、あなたの実感をお聞かせください。それぞれの項目について、最も近い評価を1つだけ選んでください。(n = 835)

- ① 身近な公園の数について
- ② 公園の広さについて
- ③ 樹木や草木などの多さについて
- ④ 遊具の多さについて
- ⑤ 清掃など美化の状況について
- ⑥ 公園全体の安全性について

評価：(満足している・どちらかといえば満足している・どちらかといえば不満である・不満である)

周辺自治体と比べた場合の府中市内の公園について、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足と感している割合』は、「身近な公園の数について」(83.7%)が最も高く、「樹木や草木などの多さについて」(82.8%)、「公園の広さについて」(82.5%)の順で高くなっている。一方、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた『不満足と感している割合』は、「遊具の多さについて」(21.7%)が最も高く、「公園全体の安全性について」(19.4%)、「清掃など美化の状況について」(18.7%)の順で高くなっている。

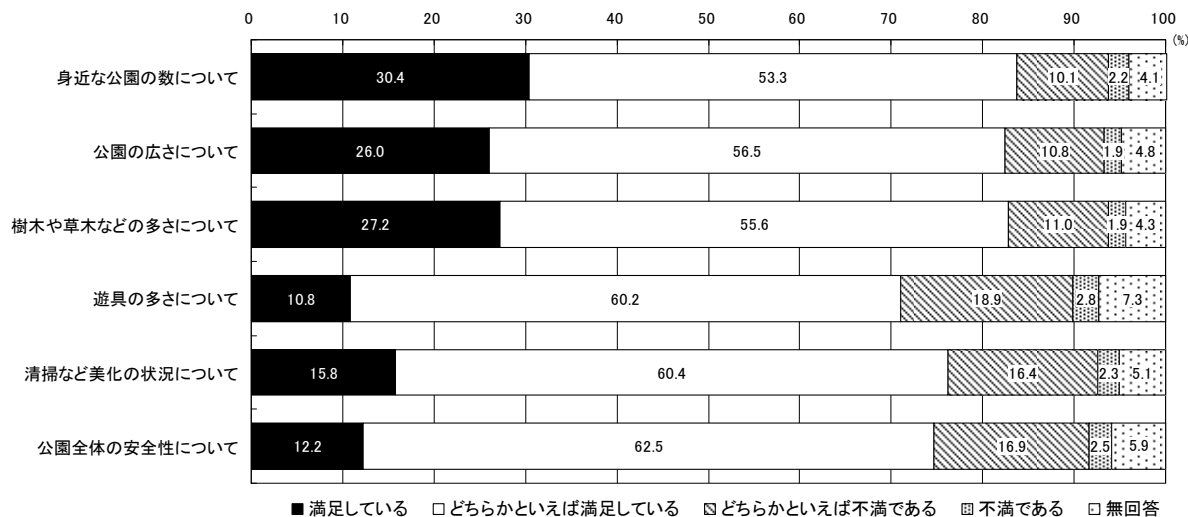


図 12-8 周辺自治体と比べた府中市内の公園

「身近な公園の数について」の満足度を性別でみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「男性」(87.8%)のほうが高い。

年代別でみると、「男性/50歳代」(91.9%)、「男性/20歳代」(90.9%)の順で高くなっており、「女性/70歳以上」(74.1%)が最も低い。

ライフステージ別でみると、『満足とじている割合』は、「家族成長後期・家族成熟期」(92.5%)、「家族成長前期」(87.1%)の順で高くなっており、「高齢期」(79.3%)が最も低い。

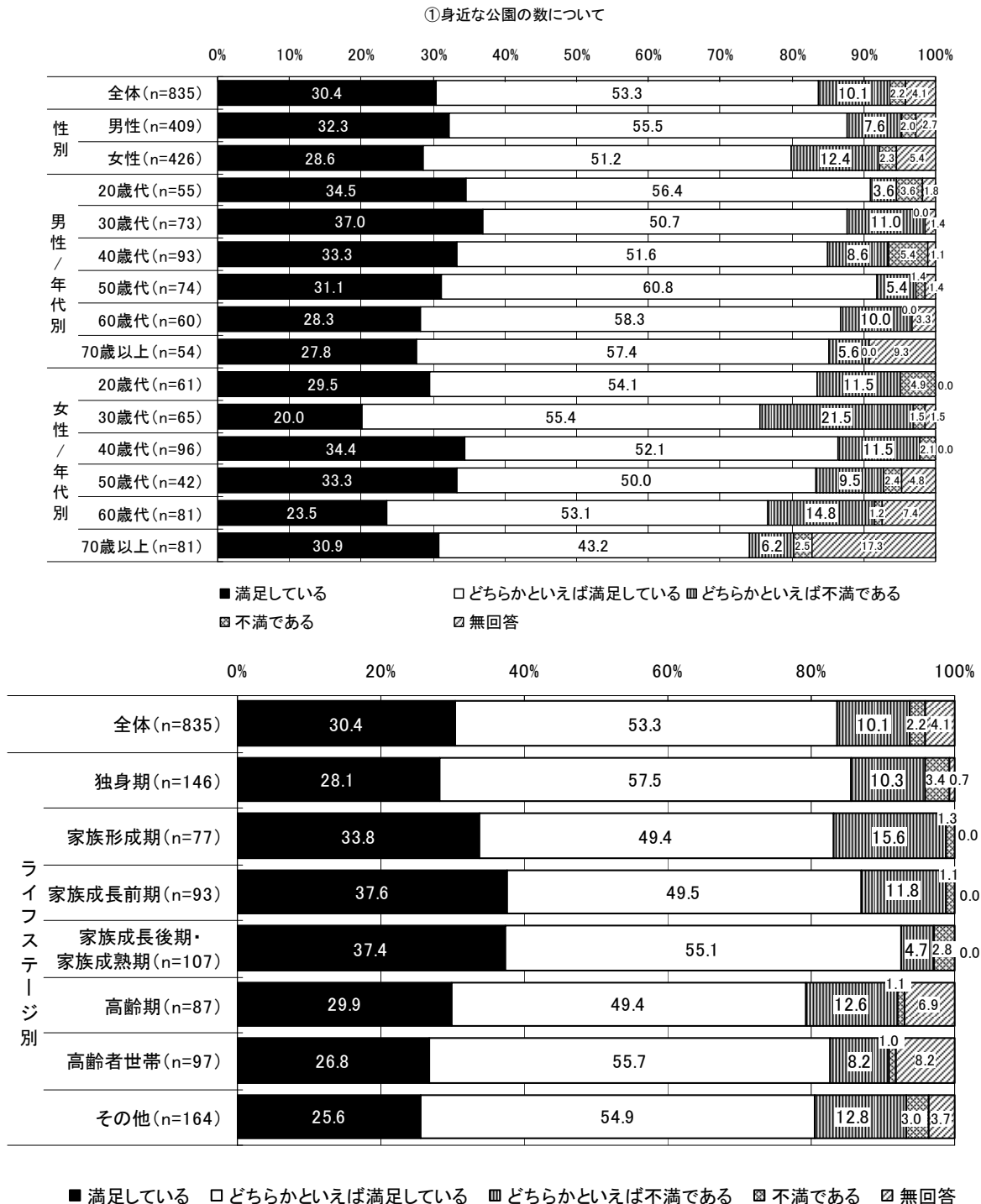


図 12-9 周辺自治体と比べた府中市内の公園/身近な公園の数(性別/年代別、ライフステージ別)

「公園の広さについて」の満足度を性別でみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「男性」(86.0%)のほうが高い。

年代別でみると、「女性/40歳代」(89.5%)、「男性/30歳代」(89.0%)の順で高くなっており、「女性/70歳以上」(62.9%)が最も低い。

ライフステージ別でみると、『満足とじている割合』は、「家族成長後期・家族成熟期」(89.7%)、「家族成長前期」(89.3%)の順で高くなっており、「高齢者世帯」(76.3%)が最も低い。

② 公園の広さについて

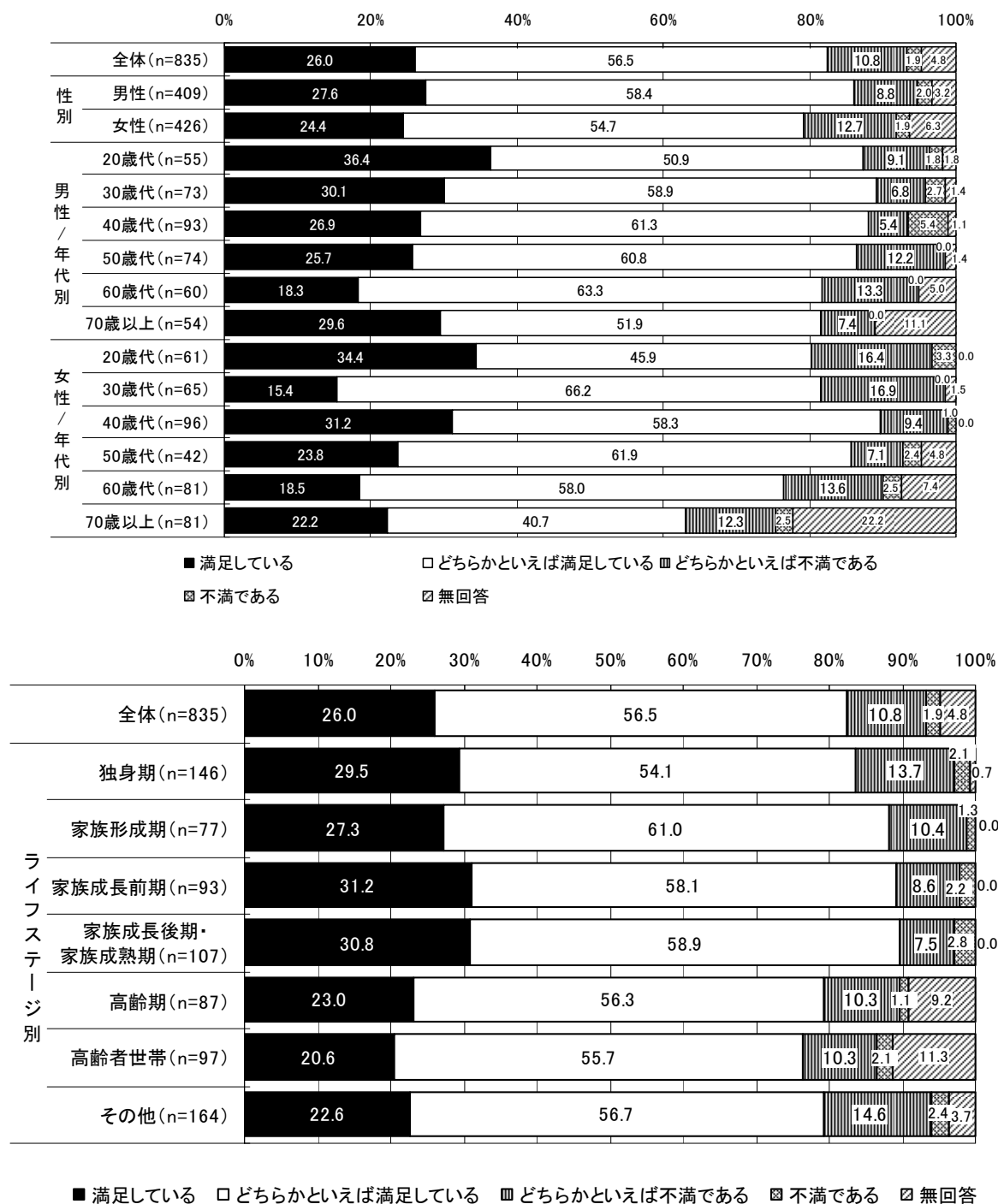


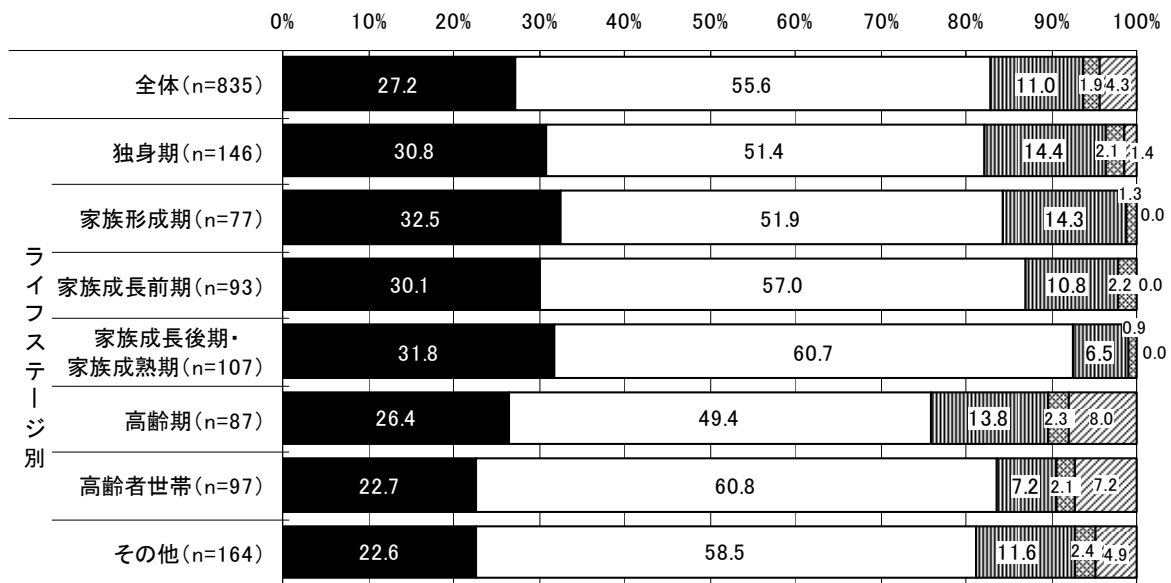
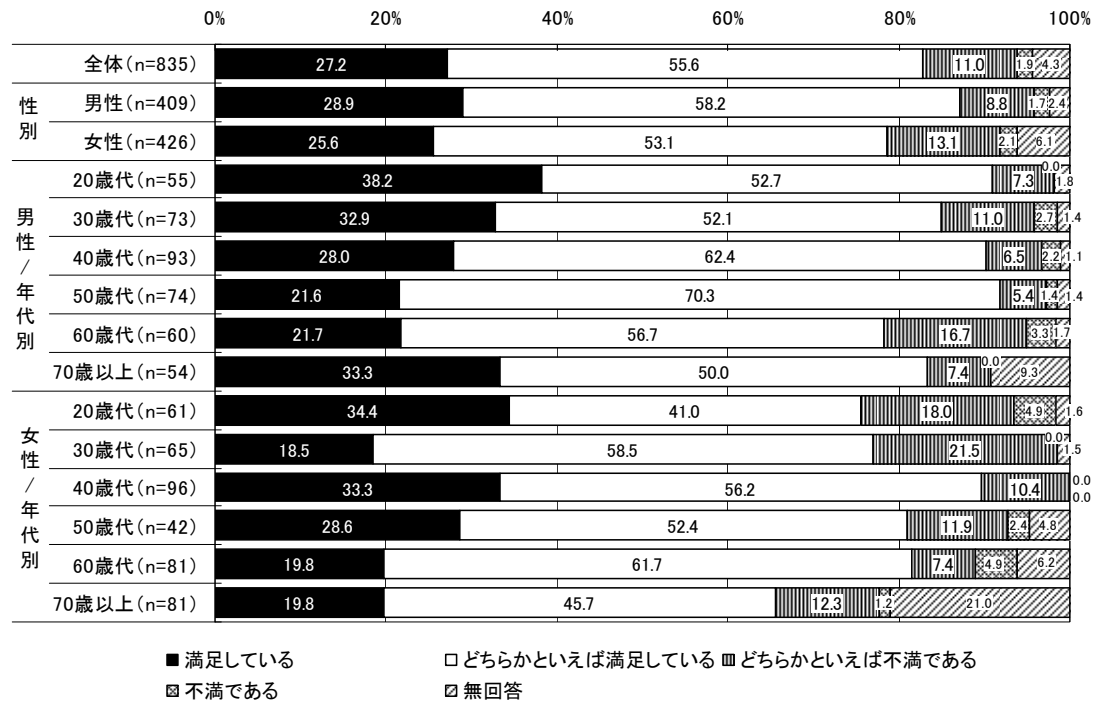
図 12-10 周辺自治体と比べた府中市内の公園/公園の広さ(性別/年代別、ライフステージ別)

「樹木や草木などの多さについて」の満足度を性別でみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「男性」（87.1%）のほうが高い。

年代別でみると、「男性／50歳代」（91.9%）、「男性／20歳代」（90.9%）の順で高くなっており、「女性／70歳以上」（65.5%）が最も低い。

ライフステージ別でみると、『満足とじている割合』は、「家族成長後期・家族成熟期」（92.5%）、「家族成長前期」（87.1%）の順で高くなっており、「高齢期」（75.8%）が最も低い。

③ 樹木や草木などの多さについて



■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である □ 無回答

図 12-11 周辺自治体と比べた府中市内の公園／樹木や草木の多さ(性別／年代別、ライフステージ別)

「遊具の多さについて」の満足度を性別でみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「男性」(75.3%)のほうが高い。

年代別でみると、「男性/20歳代」(87.3%)、「女性/50歳代」(85.7%)の順で高くなっており、「女性/70歳以上」(46.9%)が最も低い。

ライフステージ別でみると、『満足とじている割合』は、「家族成長後期・家族成熟期」(85.0%)、「その他」(77.5%)の順で高くなっており、「高齢者世帯」(59.8%)が最も低い。

④ 遊具の多さについて

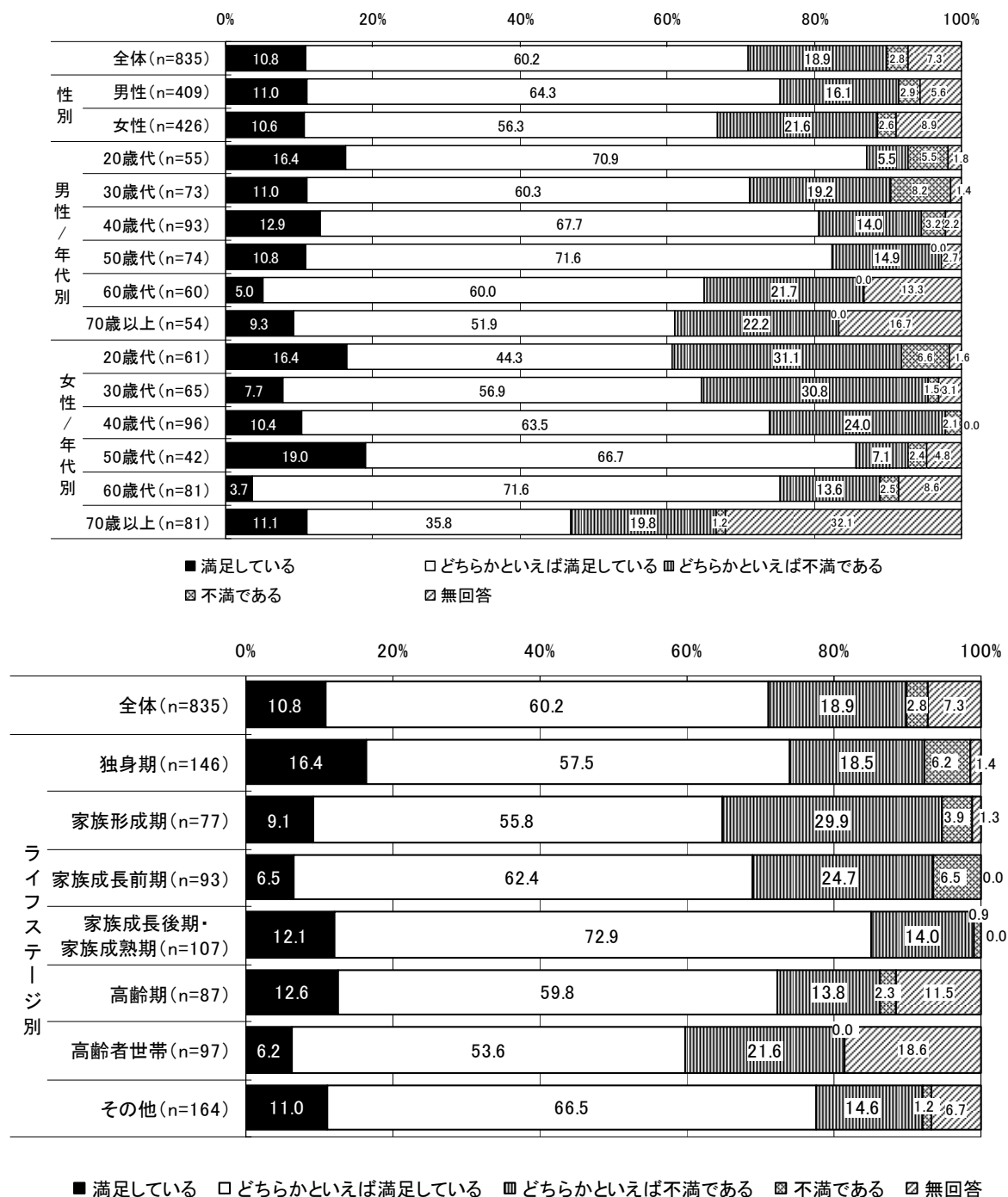


図 12-12 周辺自治体と比べた府中市内の公園/遊具の多さ(性別/年代別、ライフステージ別)

「清掃など美化の状況について」の満足度を性別でみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合『満足と感じている割合』は、「男性」(79.7%)のほうが高い。

年代別でみると、「男性/50歳代」(89.2%)、「女性/50歳代」(85.7%)の順で高くなっており、「女性/70歳以上」(65.4%)が最も低い。

ライフステージ別でみると、『満足と感じている割合』は、「家族成長前期」(82.8%)、「家族成長後期・家族成熟期」(80.4%)の順で高くなっており、「家族形成期」(70.1%)が最も低い。

⑤ 清掃など美化の状況について

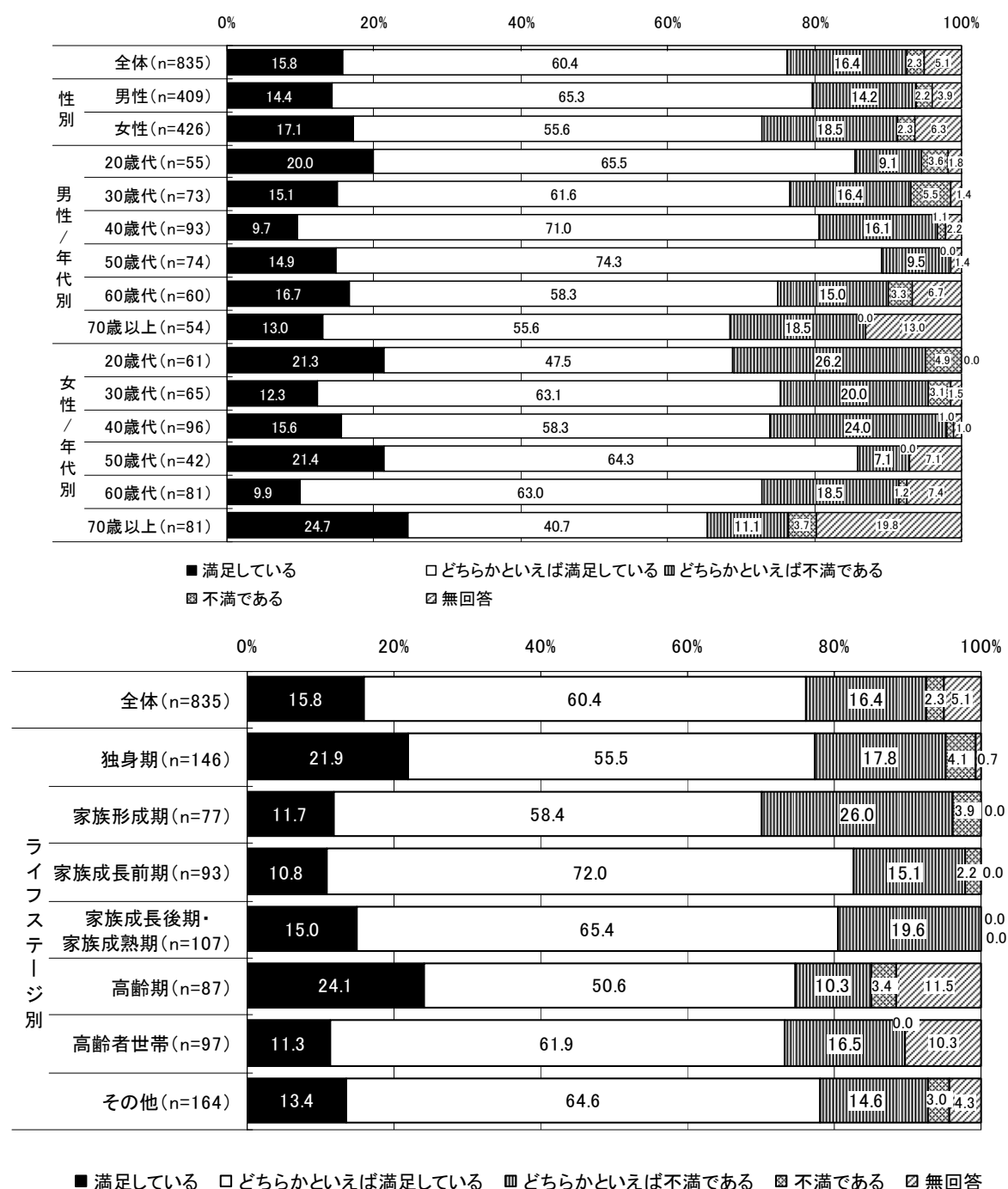


図 12-13 周辺自治体と比べた府中市内の公園/清掃など美化の状況(性別/年代別、ライフステージ別)

「公園全体の安全性について」の満足度を性別で見ると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足とじている割合』は、「男性」(80.7%)のほうが高い。

年代別で見ると、「男性/20歳代」(90.9%)、「男性/50歳代」(86.5%)の順で高くなっており、「女性/70歳以上」(55.6%)が最も低い。

ライフステージ別で見ると、『満足とじている割合』は、「その他」(81.1%)、「独身期」(80.8%)の順で高くなっており、「高齢者世帯」(68.0%)が最も低い。

⑥ 公園全体の安全性について

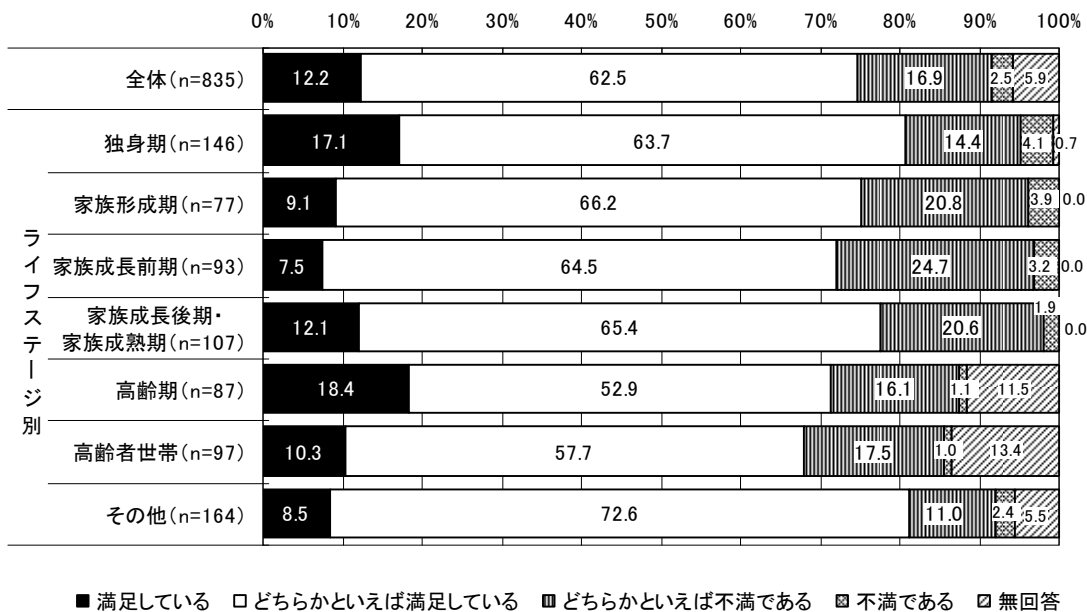
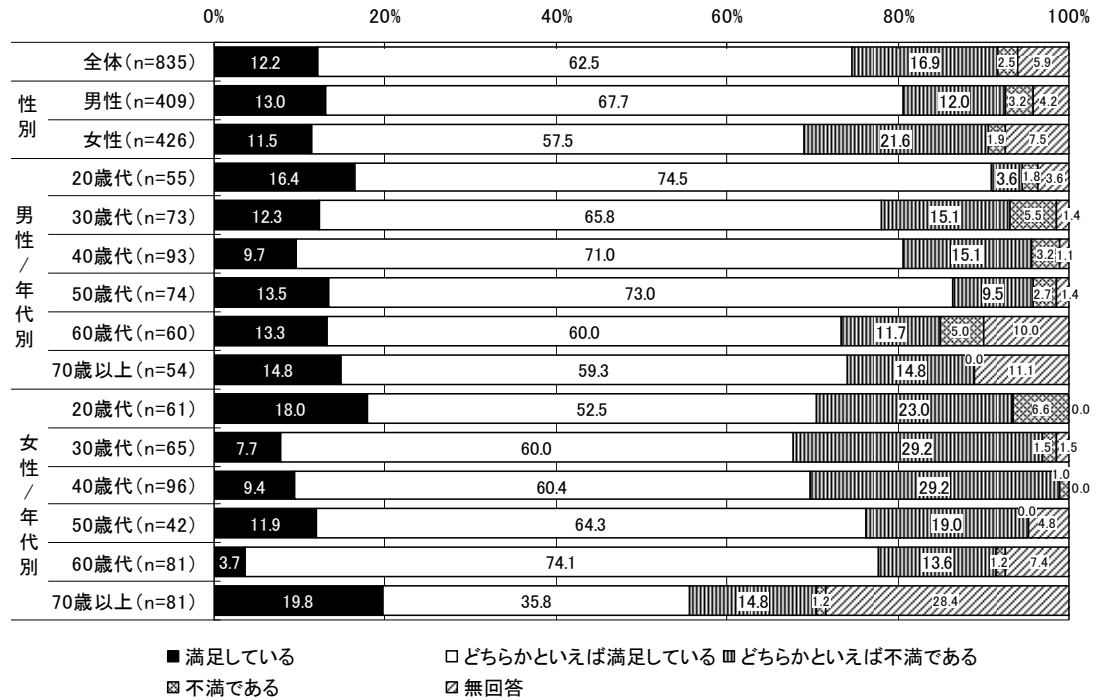


図 12-14 周辺自治体と比べた府中市内の公園/公園全体の安全性(性別/年代別、ライフステージ別)

(4) ふだんの公園の利用目的

問 2 2. あなたはふだんどのように公園を利用していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(n=835)

1. 遊具の利用
2. スポーツ
3. 雑談・休息
4. 散歩・ジョギング
5. 体操
6. つきそい
7. その他()

ふだんどのように公園を利用しているかについて、「散歩・ジョギング」(60.4%)が最も高く、「雑談・休息」(29.9%)、「つきそい」(15.3%)、「スポーツ」(11.7%)の順で高くなっている。

複数回答 [n=835]

ふだんの公園の利用目的	回答者数(人)	割合(%)
散歩・ジョギング	504	60.4
雑談・休息	250	29.9
つきそい	128	15.3
スポーツ	98	11.7
遊具の利用	97	11.6
体操	21	2.5
その他	98	11.7
(無回答)	34	4.1

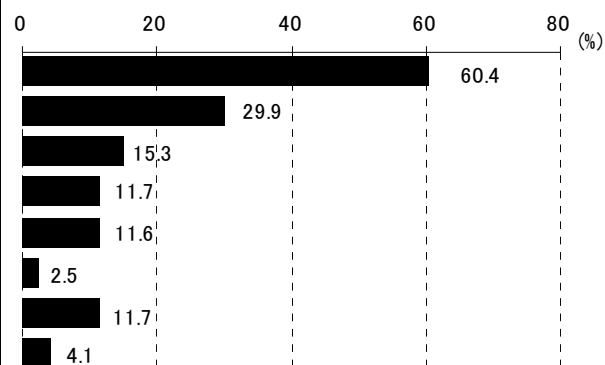
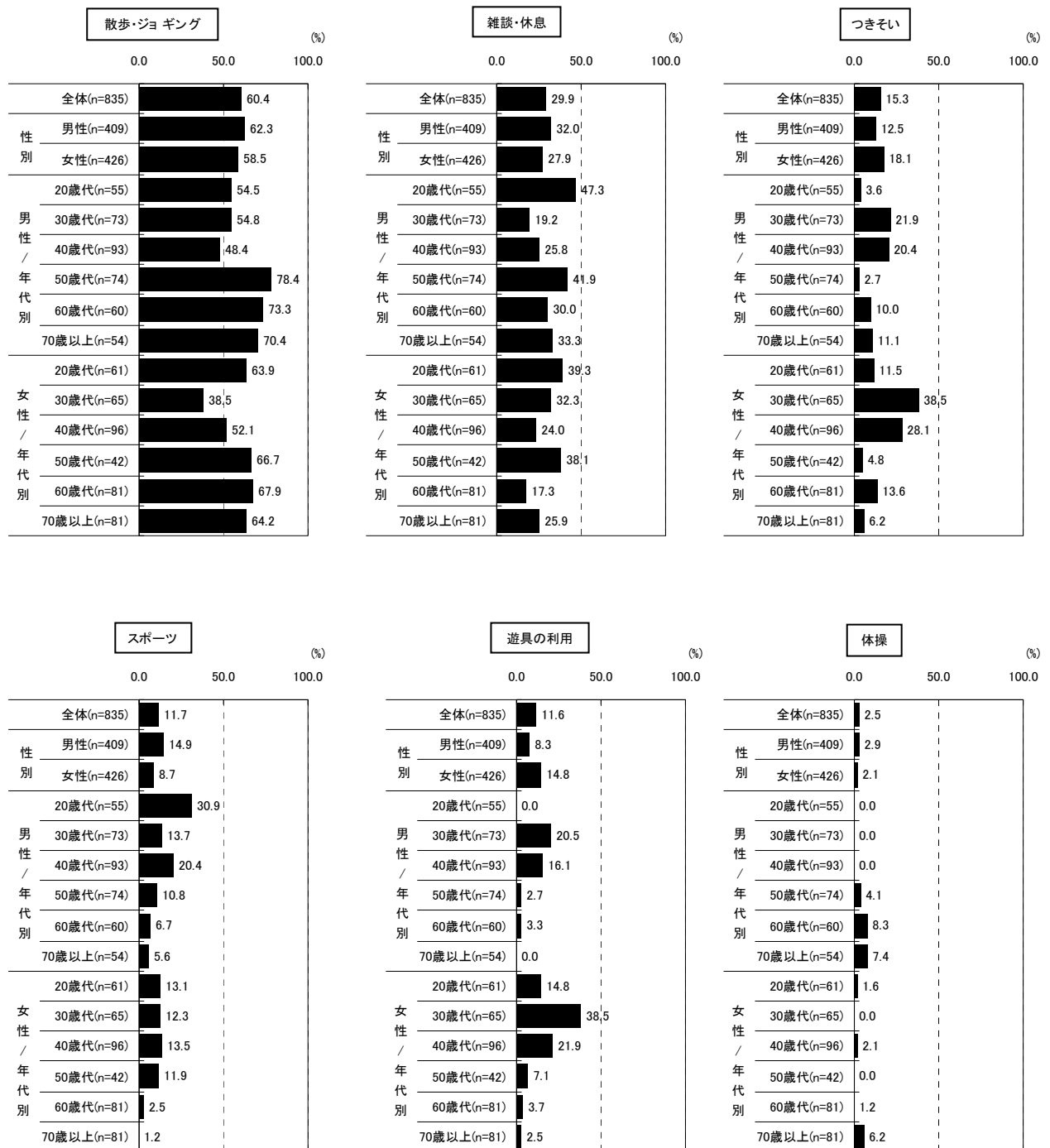


表 12-3 ふだんの公園の利用目的

図 12-15 ふだんの公園の利用目的

公園の利用について性別でみると、「スポーツ」、「散歩・ジョギング」、「雑談・休息」、「体操」で男性の割合が高く、「つきそい」「遊具の利用」では女性の割合が高い。

年代別にみると、「散歩・ジョギング」では、「男性／50歳代」(78.4%)、「男性／60歳代」(73.3%)、「男性／70歳以上」(70.4%)の順で高くなっており、「女性／30歳代」(38.5%)が最も低い。「雑談・休息」は「男性／20歳代」(47.3%)が、「つきそい」は「女性／30歳代」(38.5%)が、「スポーツ」は「男性／20歳代」(30.9%)が、「遊具の利用」は「女性／30歳代」(38.5%)が、「体操」は「男性／60歳代」(8.3%)が最も高い。



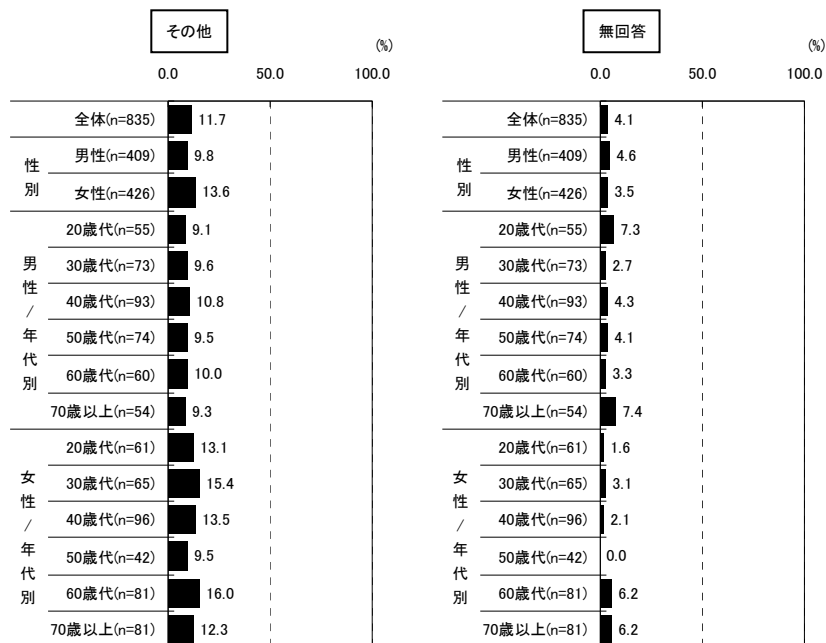


図 12-16 ふだんの公園の利用目的(性別/年代別)

公園の利用についてライフステージ別でみると、「散歩・ジョギング」では、「高齢期」(73.6%)、「家族成長後期・家族成熟期」(71.0%)、「高齢者世帯」(69.1%)の順で高くなっており、「家族成長前期」(32.3%)が最も低い。「雑談・休息」は「独身期」(41.1%)が、「つきそい」は「家族成長前期」(58.1%)が、「スポーツ」は「家族成長前期」(19.4%)が、「遊具の利用」は「家族形成期」(48.1%)が最も高い。「体操」は「高齢者世帯」(4.1%)が高い。

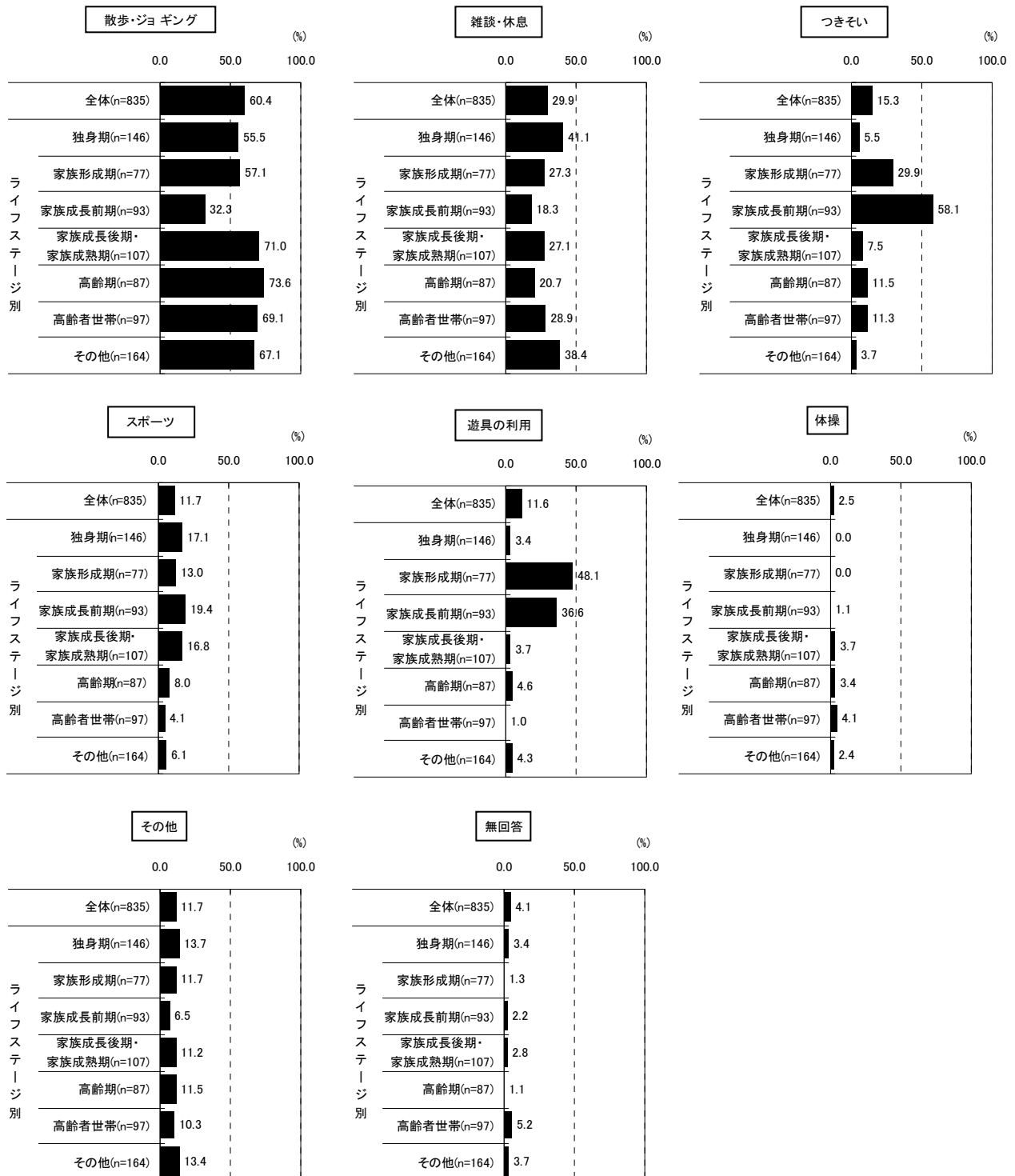


図 12-17 ふだんの公園の利用目的(ライフステージ別)

(5) 府中市の緑地保全、緑化事業及び制度について

問23. 府中市が行っている緑地保全、緑化事業及び制度などについて知っているものを次の中からすべて選んでください。(n=835)

1. 蓮を観る会
2. グリーンフェスティバル
3. 保存樹木、保存樹林、生垣造成の奨励金交付事業
4. 市民花壇の設置
5. 緑化相談、緑化講習会
6. 落ち葉の銀行
7. 環境週間の各種コンクール
8. 知っているものはない

府中市が行っている緑地保全、緑化事業及び制度などで知っているものについて、「知っているものはない」(41.1%)が4割を超え最も高くなっている。知っているものでは、「蓮を観る会」(33.8%)、「グリーンフェスティバル」(29.7%)、「保存樹木、保存樹林、生垣造成の奨励金交付事業」(15.7%)、「市民花壇の設置」(15.6%)の順で高くなっている。

複数回答

[n=835]

緑地保全、緑化事業及び制度などについて知っているもの	回答者数(人)	割合(%)
蓮を観る会	282	33.8
グリーンフェスティバル	248	29.7
保存樹木、保存樹林、生垣造成の奨励金交付事業	131	15.7
市民花壇の設置	130	15.6
落ち葉の銀行	84	10.1
緑化相談、緑化講習会	59	7.1
環境週間の各種コンクール	41	4.9
知っているものはない	343	41.1
(無回答)	22	2.6

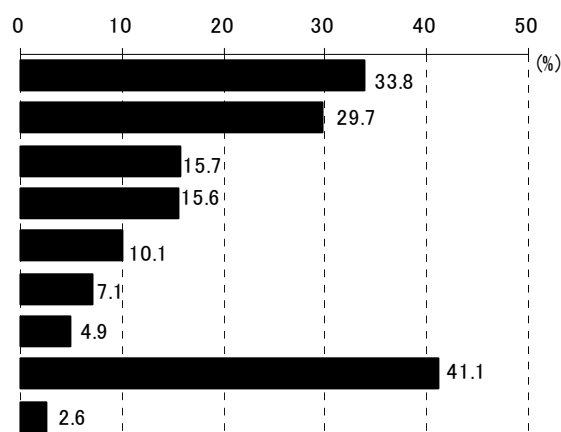


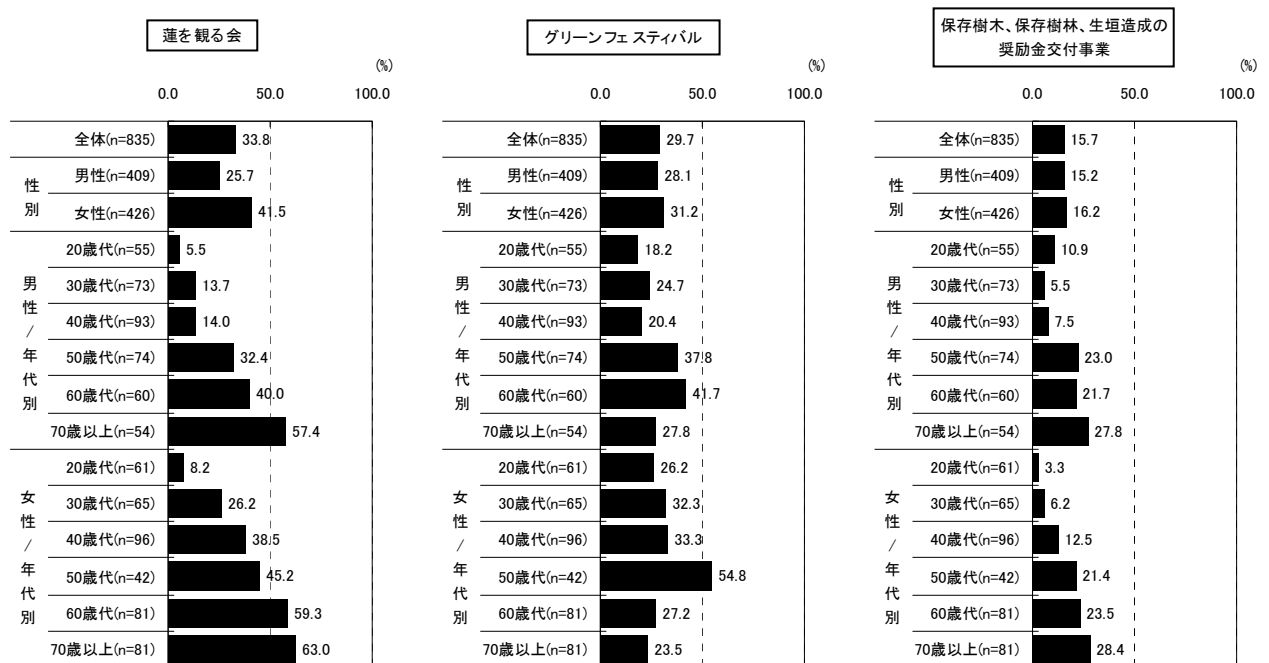
表 12-4 緑地保全、緑化事業及び制度について

図 12-18 緑地保全、緑化事業及び制度について

府中市の行っている緑地保全、緑化事業及び制度などの認知度を性別でみると、「緑化相談、緑化講習会」を除いて女性のほうが知っている割合が高い。

年代別でみると、「蓮を観る会」は「女性／70歳以上」(63.0%)が最も高く、同様に「グリーンフェスティバル」は「女性／50歳代」(54.8%)が、「保存樹木、保存樹林、生垣造成の奨励金交付事業」は「女性／70歳以上」(28.4%)が、「市民花壇の設置」は「女性／70歳以上」(32.1%)が、「緑化相談、緑化講習会」は「男性／60歳代」(15.0%)が、「落ち葉の銀行」は「女性／70歳以上」(23.5%)が、「環境週間の各種コンクール」は「女性／50歳代」(9.5%)が最も高い。

一方、「知っているものはない」について年代別でみると、男女ともに「20歳代」が最も高く、いずれも6割を超えている。次いで、男性では「40歳代」、「30歳代」が、また女性では「30歳代」が高くなっている。男女とも、年代が低いほど割合が高くなる傾向が見られる。



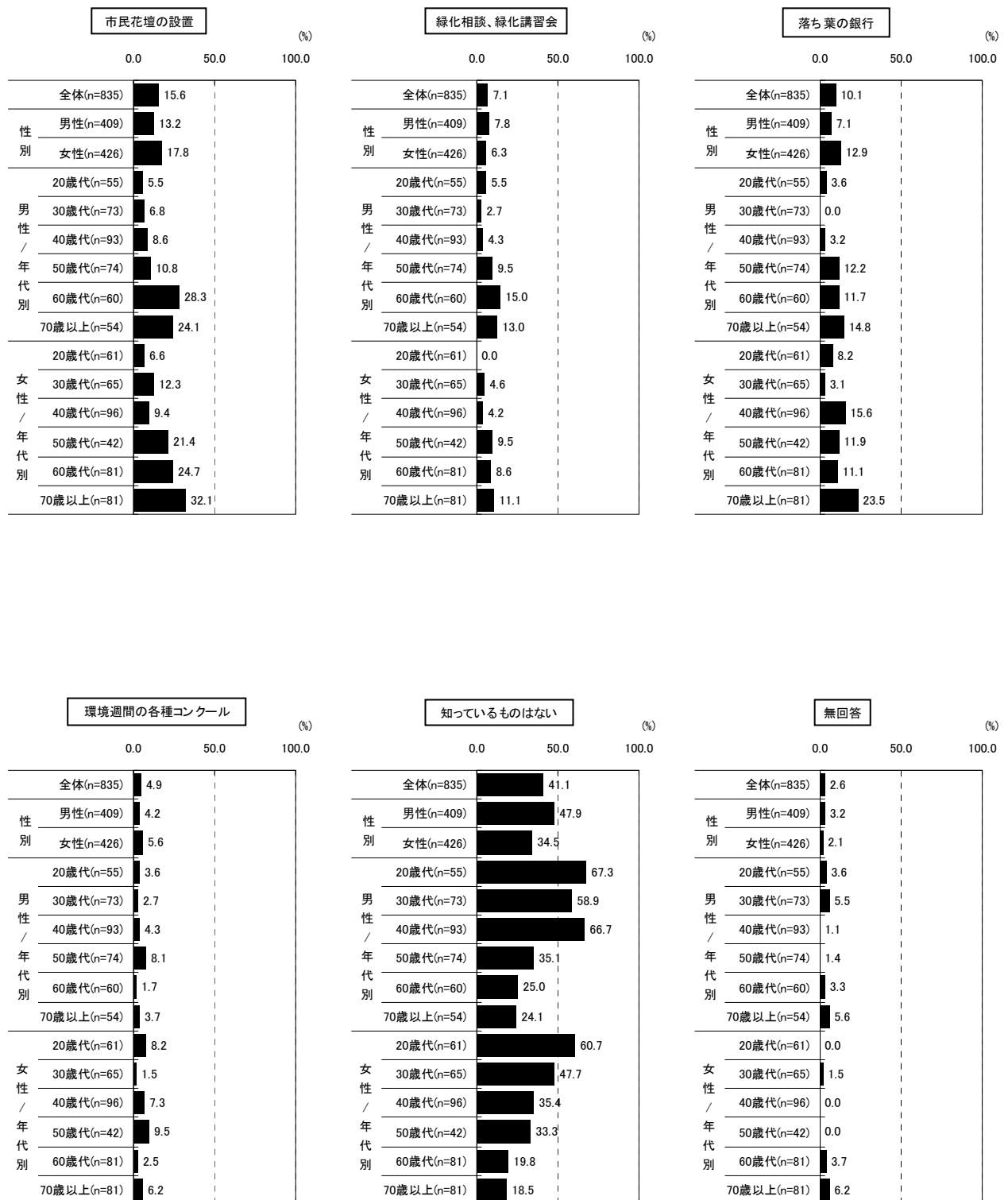


図 12-19 緑地保全、緑化事業及び制度について(性別/年代別)

ライフステージ別でみると、「蓮を観る会」は「高齢者世帯」(67.0%)が最も高く、「グリーンフェスティバル」は「家族成長後期・家族成熟期」(42.1%)が最も高くなっている。同様に「保存樹木、保存樹林、生垣造成の奨励金交付事業」は「高齢者世帯」(32.0%)が、「市民花壇の設置」は「高齢者世帯」(30.9%)が、「緑化相談、緑化講習会」は「高齢期」(14.9%)が、「落ち葉の銀行」は「高齢者世帯」(22.7%)が、「環境週間の各種コンクール」は「家族成長後期・家族成熟期」(8.4%)が最も高い。「知っているものはない」は「独身期」(62.3%)で最も高くなっている。

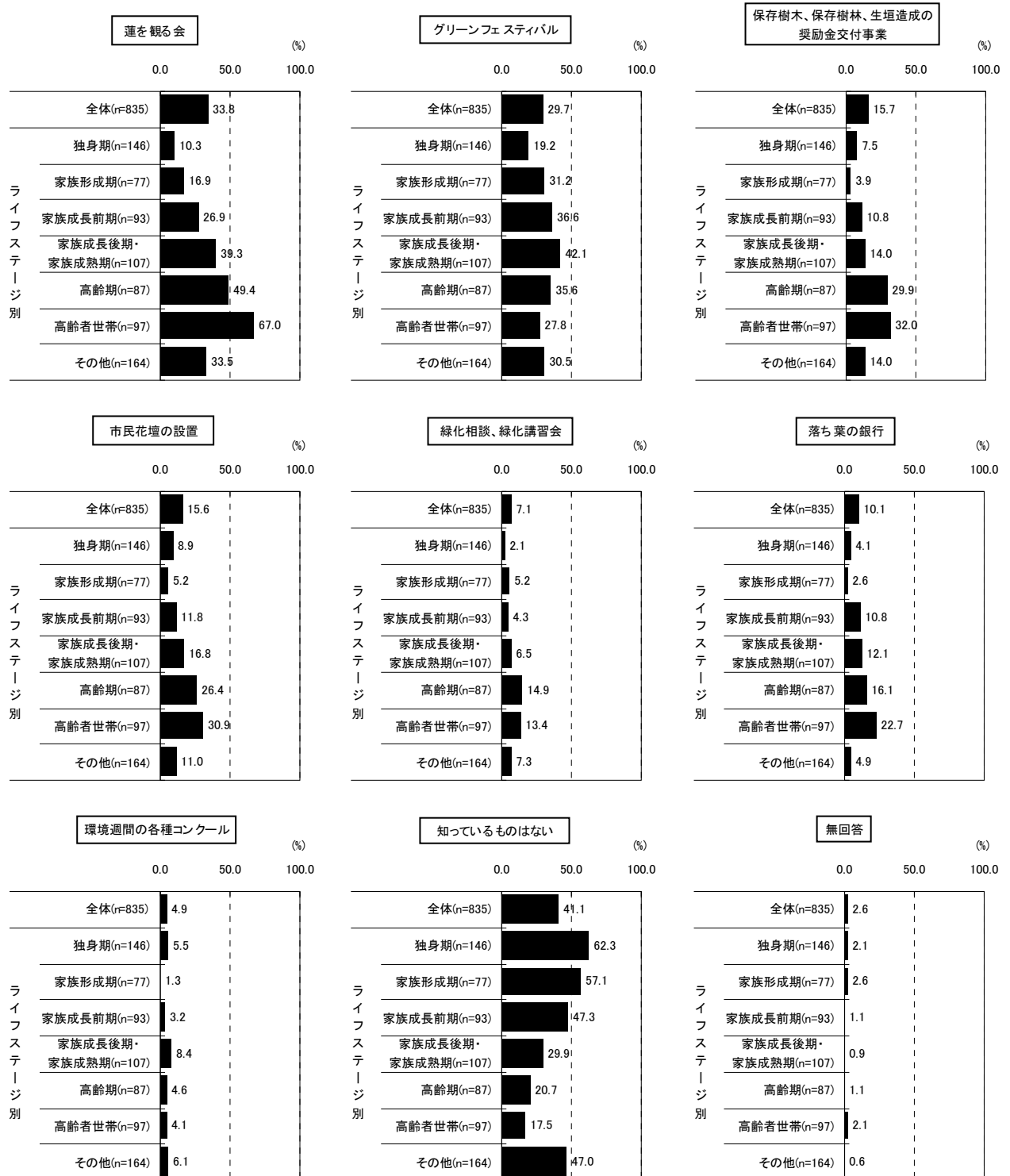


図 12-20 緑地保全、緑化事業及び制度について(ライフステージ別)

(6) 自宅の緑化において協力できる活動

問2-4. 府中市では、緑ゆたかなまちをめざし、市民との協働による緑化や公園づくりを進めています。ご自宅の緑化や公園の管理において、あなたが協力できると思う活動についてお伺いします。

問2-4-1. ご自宅の緑化について、当てはまるものをすべて選んでください。(n=835)

1. 植木鉢やプランターで草花を育てることができる
2. 生け垣を設置することができる
3. 屋上を緑化することができる
4. 壁面を緑化することができる
5. その他敷地内で緑を育てることができる
6. できることはない

自宅の緑化において協力できる活動については、「植木鉢やプランターで草花を育てることができる」(76.2%)が7割半ばと最も高くなっている。次いで、「その他敷地内で緑を育てることができる」(30.7%)、「生け垣を設置することができる」(7.9%)、「壁面を緑化することができる」(4.3%)、「屋上を緑化することができる」(3.1%)の順となっている。一方、「できることはない」(15.2%)は1割半ばにのぼり、回答数としては3番目に高くなっている。

複数回答		[n=835]	
自宅の緑化において協力できる活動	回答者数 (人)	割合(%)	
植木鉢やプランターで草花を育てることができる	636	76.2	
その他敷地内で緑を育てることができる	256	30.7	
生け垣を設置することができる	66	7.9	
壁面を緑化することができる	36	4.3	
屋上を緑化することができる	26	3.1	
できることはない	127	15.2	
(無回答)	32	3.8	

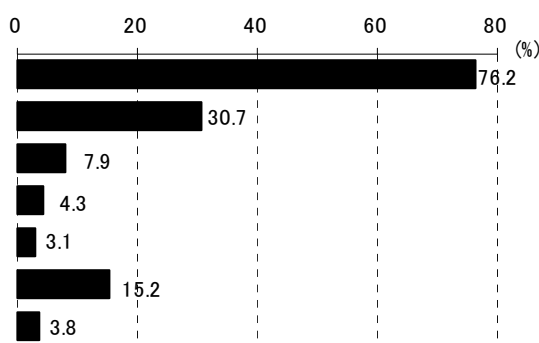


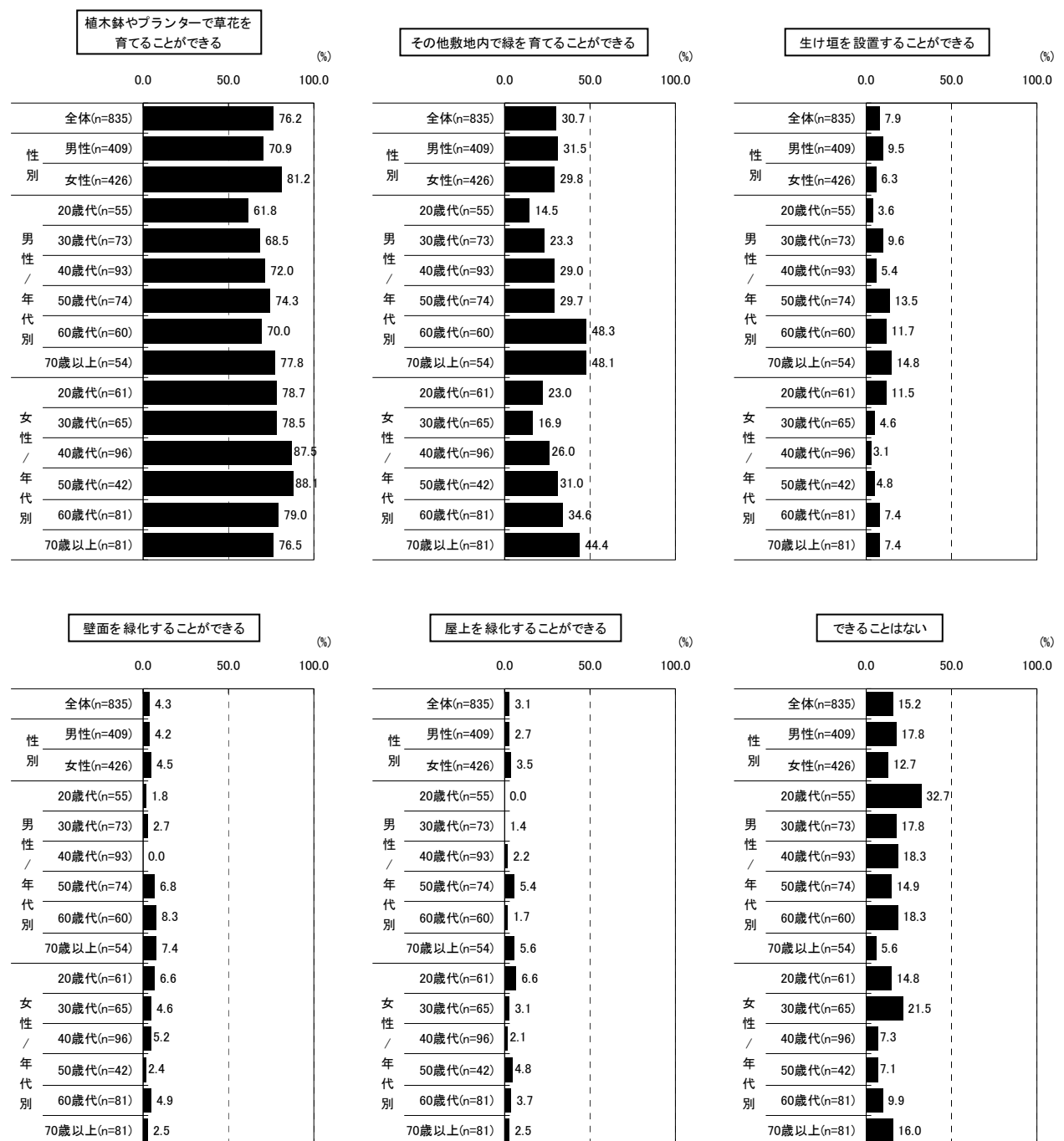
表 12-5 自宅の緑化において協力できる活動

図 12-21 自宅の緑化において協力できる活動

自宅の緑化において協力できる活動について性別でみると、「植木鉢やプランターで草花を育てることができる」、「壁面を緑化することができる」、「屋上を緑化することができる」で女性の割合が高くなっている。

年代別でみると、「植木鉢やプランターで草花を育てることができる」は「女性／50歳代」(88.1%)、「女性／40歳代」(87.5%)の順で高くなっている。「その他敷地内で緑を育てることができる」は「男性／60歳代」(48.3%)が、「生け垣を設置することができる」は「男性／70歳以上」(14.8%)が、「壁面を緑化することができる」は「男性／60歳代」(8.3%)が、「屋上を緑化することができる」は「女性／20歳代」(6.6%)が高くなっている。

一方、「できることはない」は「男性／20歳代」(32.7%)が最も高く、次いで「女性／30歳代」(21.5%)、「男性／40歳代」「男性／60歳代」(18.3%)の順となっている。



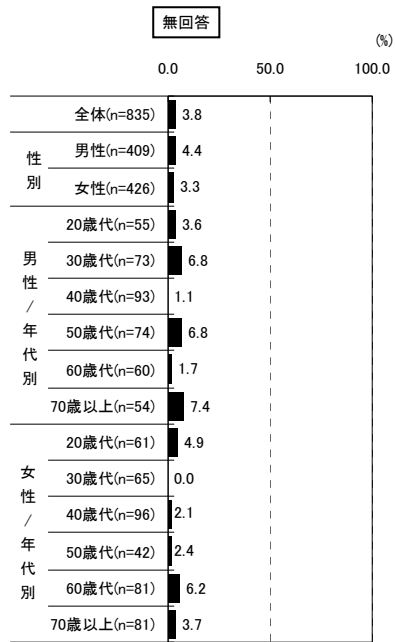
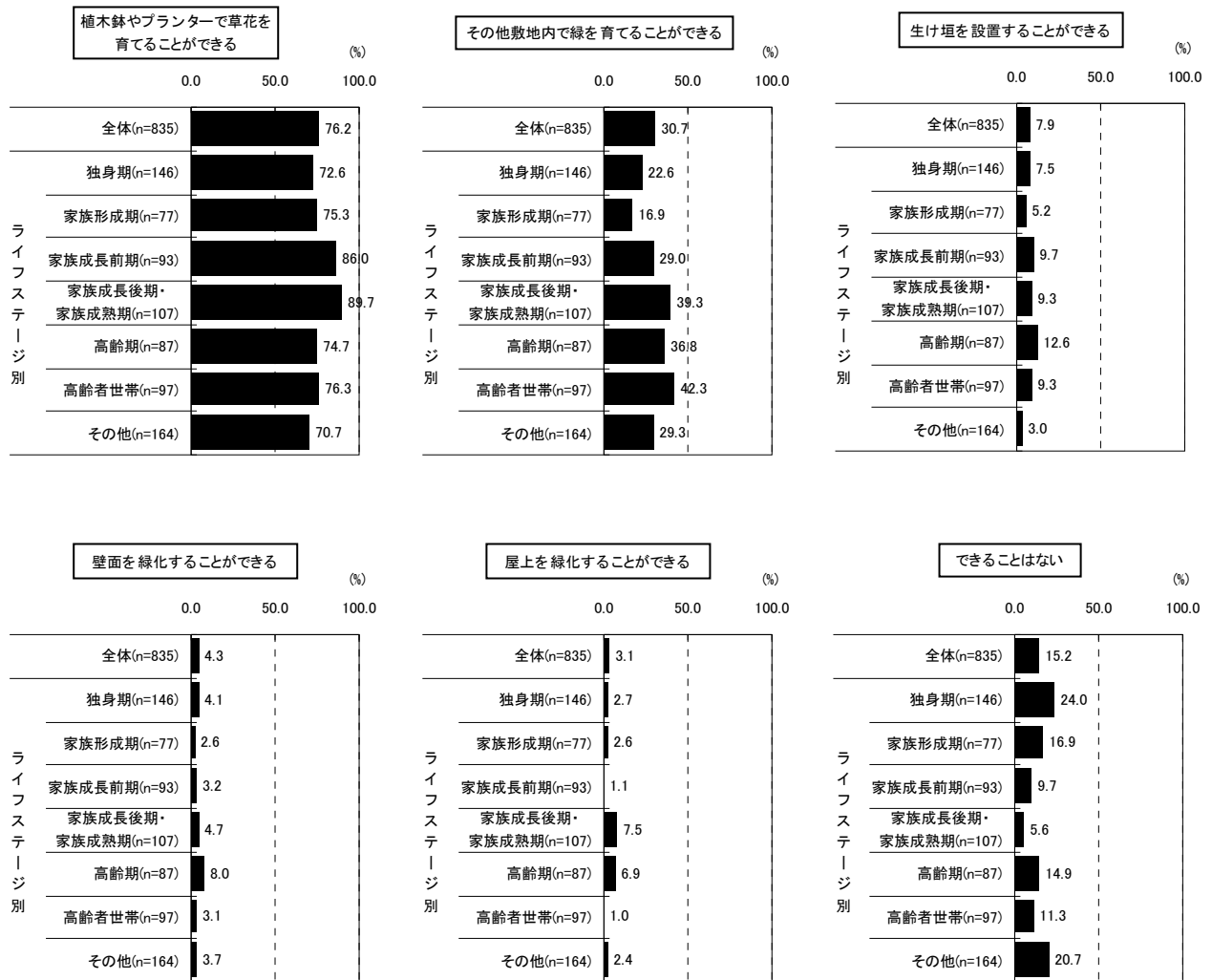


図 12-22 自宅の緑化において協力できる活動((性別/年代別)

ライフステージ別でみると、「植木鉢やプランターで草花を育てることができる」は「家族成長後期・家族成熟期」(89.7%)、「家族成長前期」(86.0%)の順で高くなっている。「その他敷地内で緑を育てることができる」は「高齢者世帯」(42.3%)が最も高く、「生け垣を設置することができる」は「高齢期」(12.6%)が、「壁面を緑化することができる」は「高齢期」(8.0%)が、「屋上を緑化することができる」は「家族成長後期・家族成熟期」(7.5%)が最も高い。

一方、「できることはない」は「独身期」(24.0%)が最も高く、次いで、「その他」(20.7%)、「家族形成期」(16.9%)の順となっている。



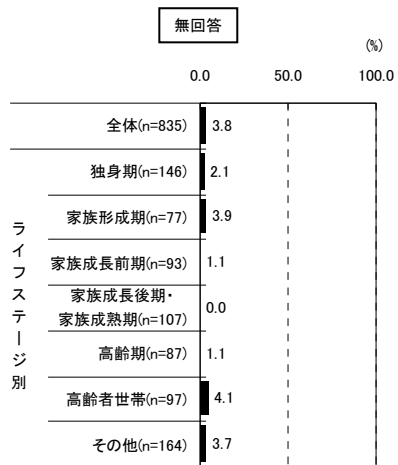


図 12-23 自宅の緑化において協力できる活動((ライフステージ別)

(7) 公園の管理において協力できる活動

問24. 府中市では、緑ゆたかなまちをめざし、市民との協働による緑化や公園づくりを進めています。ご自宅の緑化や公園の管理において、あなたが協力できると思う活動についてお伺いします。

問24-2. 公園の管理について、当てはまるものをすべて選んでください。(n=835)

1. 遊具などの安全点検をすることができる
2. 日常的なごみ拾いや草取りをすることができる
3. 花壇の手入れをすることができる
4. 植樹帯の草刈りをすることができる
5. 樹木の刈込みや剪定をすることができる
6. できることはない

公園の管理において協力できる活動について、「日常のごみ拾いや草取りをすることができる」(43.2%)が4割半ばと最も高い。次いで、「花壇の手入れをすることができる」(14.1%)、「遊具などの安全点検をすることができる」(11.3%)、「植樹帯の草刈りをすることができる」(7.5%)、「樹木の刈込みや剪定をすることができる」(4.1%)の順となっている。一方、「できることはない」(43.0%)も4割半ばにのぼり、回答数としては2番目に高くなっている。

複数回答

[n=835]

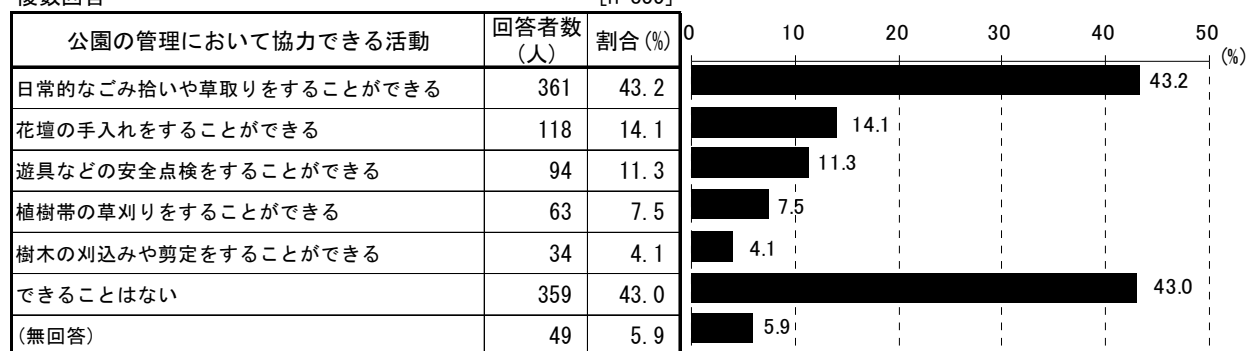
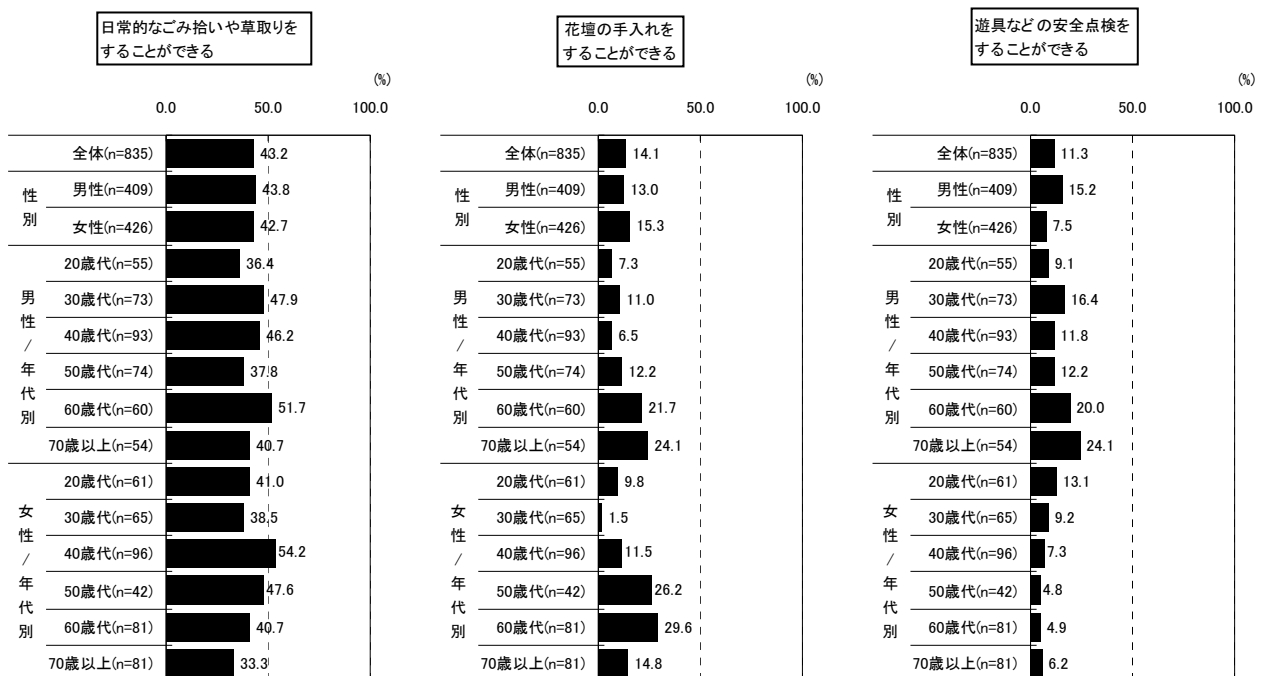


表 12-6 公園の管理において協力できる活動

図 12-24 公園の管理において協力できる活動

公園の管理において協力できる活動について性別で見ると、「花壇の手入れをすることができる」で女性の割合が高く、「遊具などの安全点検をすることができる」や「植樹帯の草刈りをするすることができる」や「樹木の刈込みや剪定をすることができる」で男性の割合が高くなっている。

年代別で見ると、「日常のごみ拾いや草取りをすることができる」は「女性／40歳代」(54.2%)、「男性／60歳代」(51.7%)の順で高くなっている。「花壇の手入れをすることができる」は「女性／60歳代」(29.6%)が最も高く、「遊具などの安全点検をすることができる」は「男性／70歳以上」(24.1%)が、「植樹帯の草刈りをするすることができる」は「男性／60歳代」(18.3%)が、「樹木の刈込みや剪定をすることができる」は「男性／60歳代」(15.0%)が最も高い。一方、「できることはない」は「女性／30歳代」(53.8%)が最も高く、次いで「女性／70歳以上」(53.1%)、「男性／20歳代」(50.9%)の順で高くなっている。



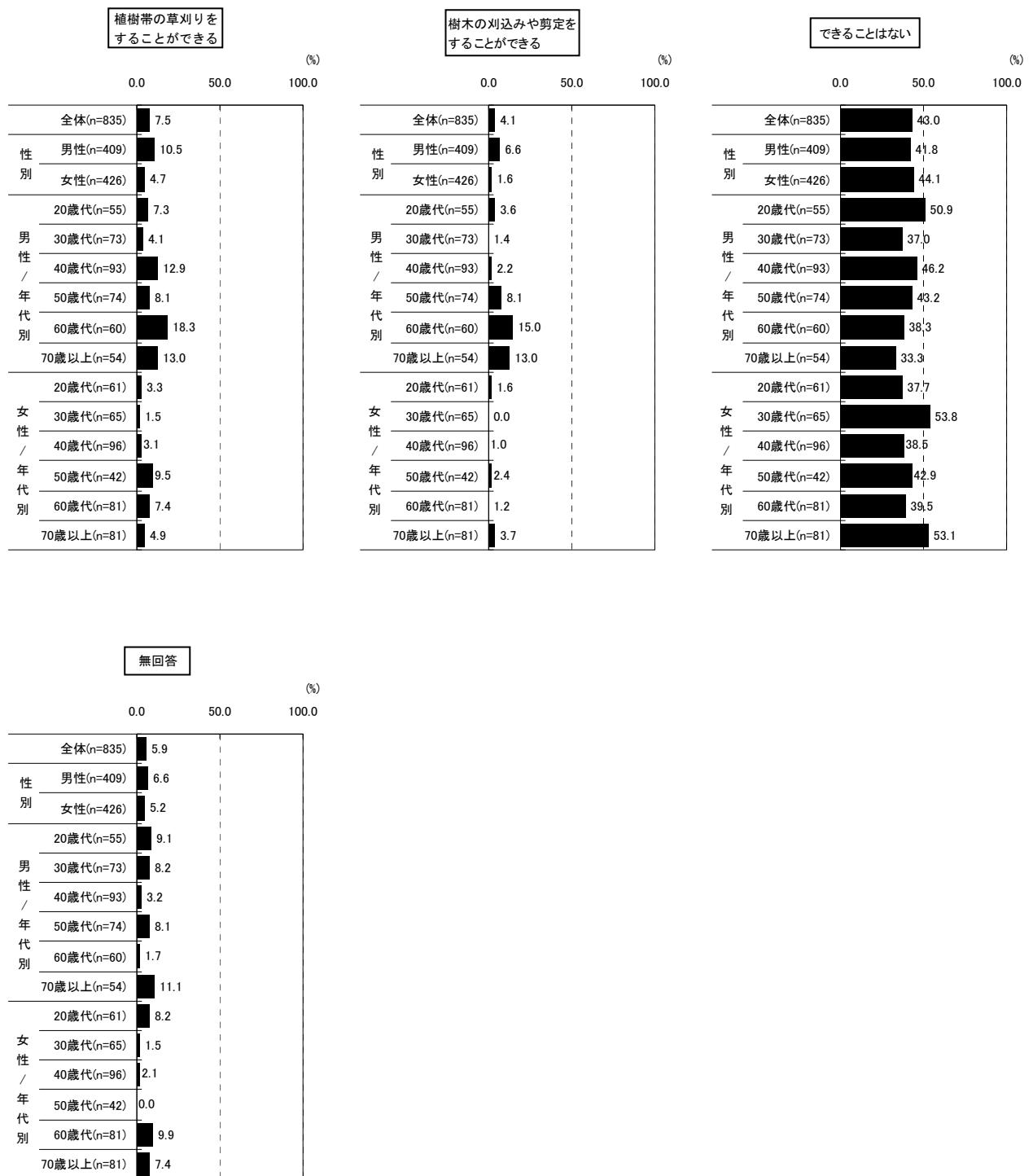
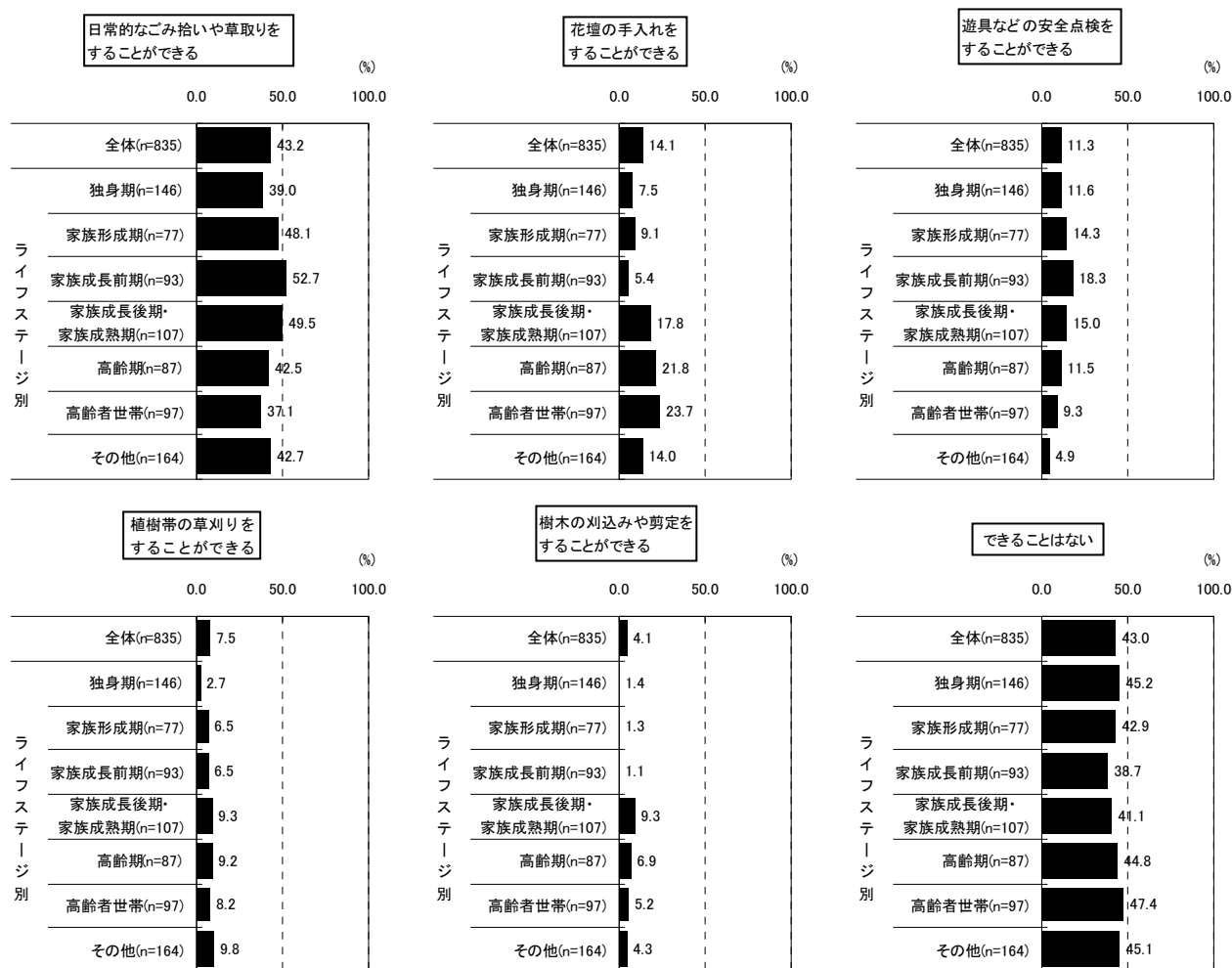


図 12-25 公園の管理で協力できる活動(性別/年代別)

ライフステージ別でみると、「日常のごみ拾いや草取りをすることができる」は「家族成長前期」(52.7%)、「家族成長後期・家族成熟期」(49.5%)の順で高くなっている。「花壇の手入れをすることができる」は「高齢者世帯」(23.7%)が最も高く、「遊具などの安全点検をすることができる」は「家族成長前期」(18.3%)が、「植樹帯の草刈りをすることができる」は「その他」(9.8%)が、「樹木の刈込みや剪定をすることができる」は「家族成長後期・家族成熟期」(9.3%)が最も高い。一方、「できることはない」は「高齢者世帯」(47.4%)が最も高く、次いで「独身期」(45.2%)「その他」(45.1%)の順で高くなっている。



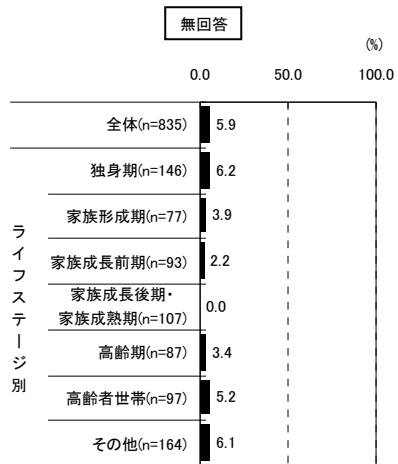


図 12-26 公園の管理において協力できる活動(ライフステージ別)

(8) 緑を守り育てていくために府中市が力を入れるべきこと

問25. 緑を守り育てていくために、府中市が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。次の中から上位3つまで選んでください。(n=835)

1. 公園・広場などの整備・充実
2. 街路樹の整備・充実
3. 公共施設の緑化の推進
4. 開発、建築計画の際の緑化指導
5. 地域ぐるみの緑化への援助・指導
6. 緑地・樹林地などの保全
7. 農地の保全
8. 緑化に関する講習会などの開催
9. 小・中学校での緑化教育と実践活動
10. その他 ()

緑を守り育てていくために、府中市が特に力を入れるべきことについて、「公園・広場などの整備・充実」(47.8%)が5割近くと最も高い。次いで、「街路樹の整備・充実」(44.0%)、「緑地・樹林地などの保全」(32.8%)の順となっている。

複数回答

[n=835]

緑を守り育てていくために府中市が力を入れるべきこと	回答者数(人)	割合(%)
公園・広場などの整備・充実	399	47.8
街路樹の整備・充実	367	44.0
緑地・樹林地などの保全	274	32.8
開発、建築計画の際の緑化指導	252	30.2
小・中学校での緑化教育と実践活動	219	26.2
公共施設の緑化の推進	214	25.6
農地の保全	165	19.8
地域ぐるみの緑化への援助・指導	150	18.0
緑化に関する講習会などの開催	32	3.8
その他	24	2.9
(無回答)	47	5.6

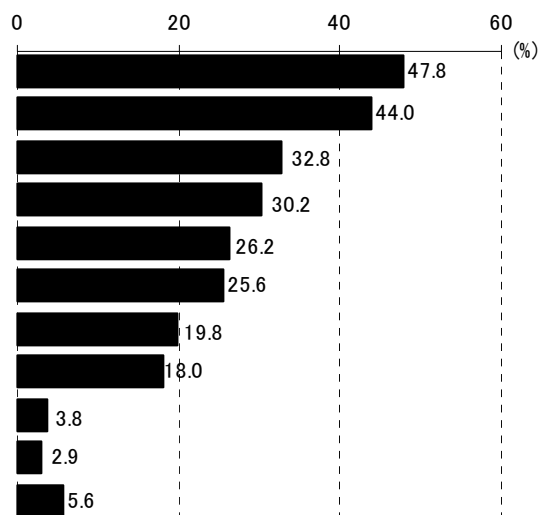
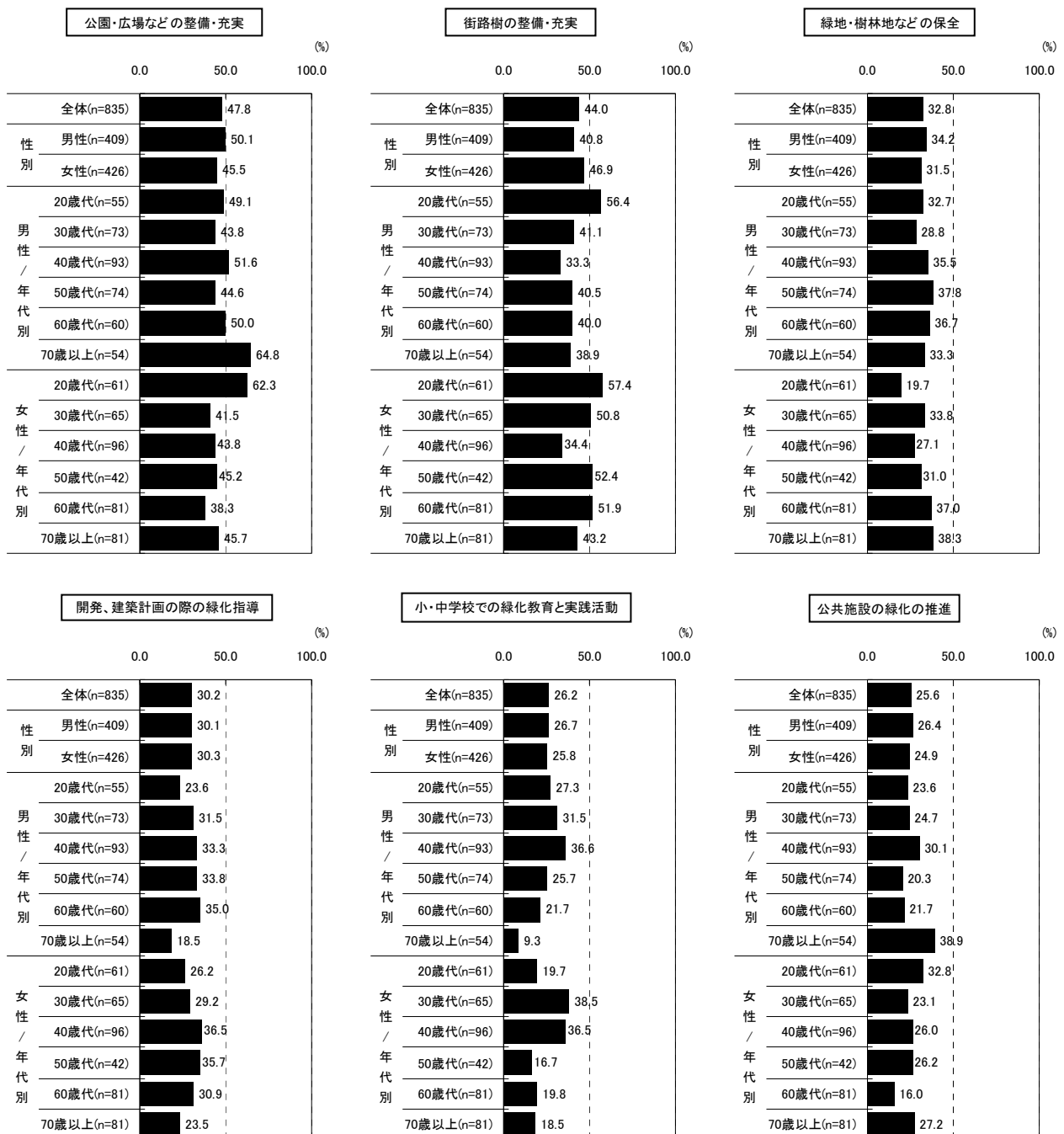


表 12-7 緑を守り育てていくために府中市が力を入れるべきこと

図 12-27 緑を守り育てていくために府中市が力を入れるべきこと

緑を守り育てていくために、府中市が特に力を入れるべきことについて性別で見ると、「公園・広場などの整備・充実」や「緑地・樹林地などの保全」では男性の割合が高く、「街路樹の整備・充実」や「地域ぐるみの緑化への援助・指導」では女性の割合が高くなっている。

年代別で見ると、「公園・広場などの整備・充実」は「男性/70歳以上」(64.8%)、「女性/20歳代」(62.3%)の順で高くなっている。「街路樹の整備・充実」は「女性/20歳代」(57.4%)が最も高く、「緑地・樹林地などの保全」は「女性/70歳代」(38.3%)、「開発、建築計画の際の緑化指導」は「女性/40歳代」(36.5%)、「小・中学校での緑化教育と実践活動」は「女性/30歳代」(38.5%)が最も高い。



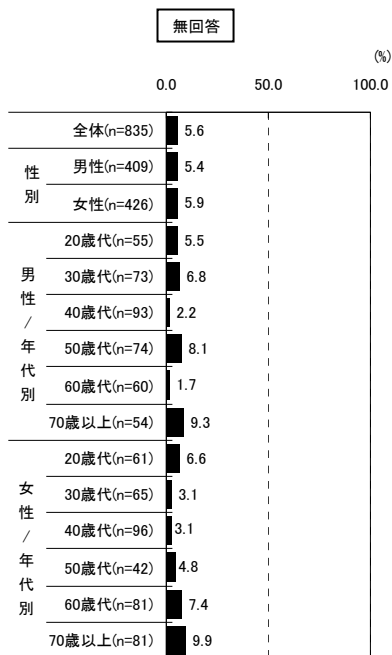
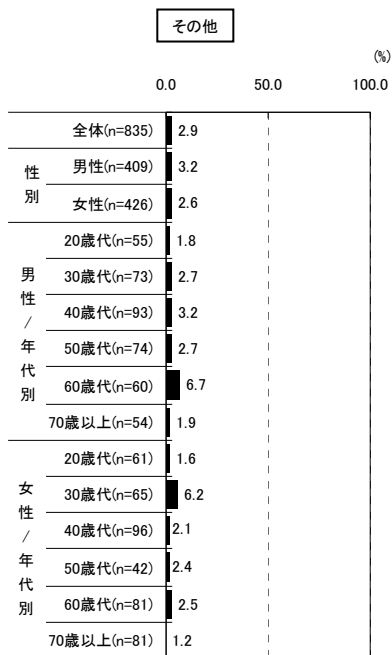
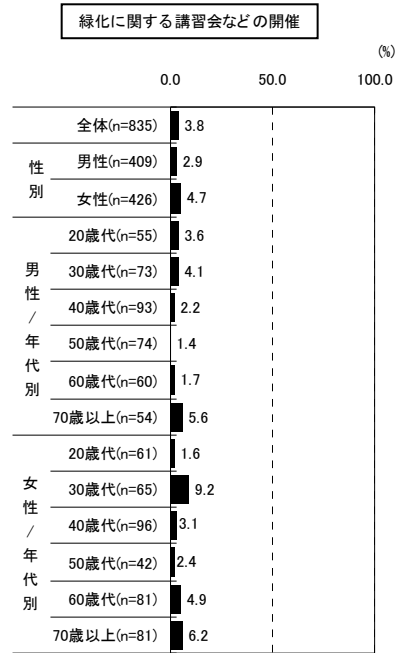
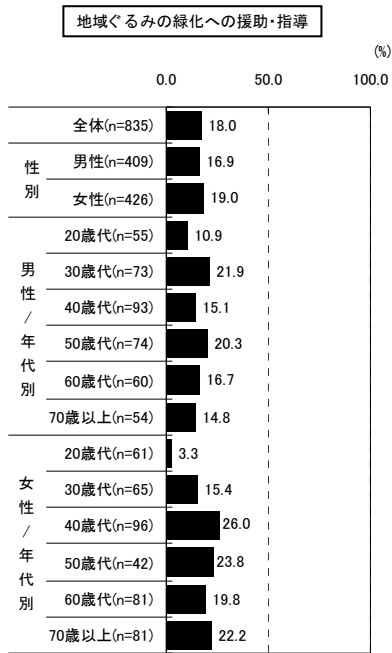
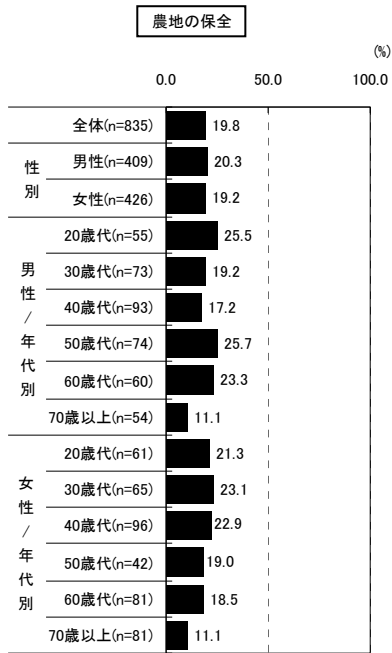
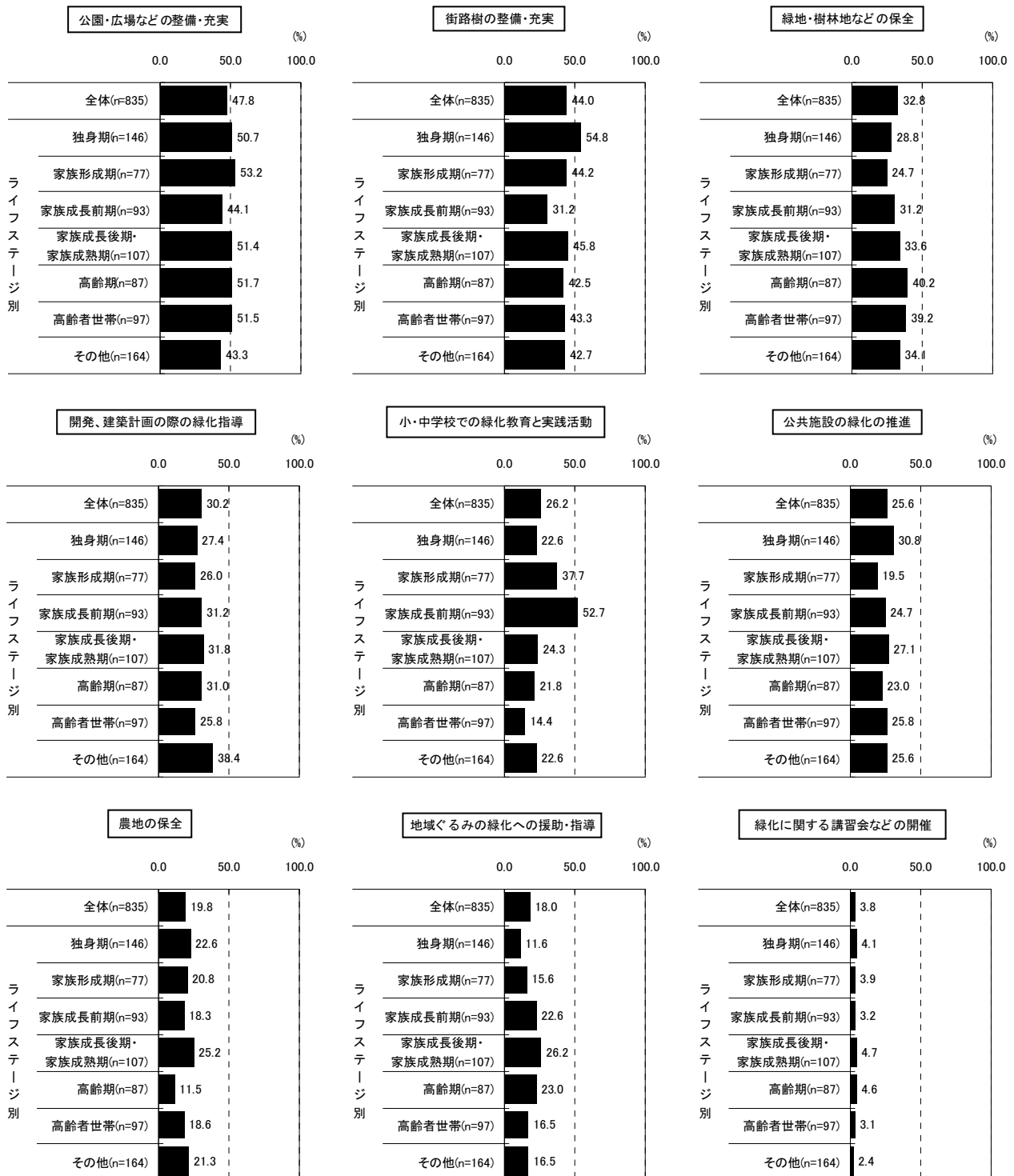


図 12-28 緑を守り育てていくために
府中市が力を入れるべきこと(性別/年代別)

ライフステージ別でみると、「公園・広場などの整備・充実」は「家族形成期」(53.2%)、「高齢期」(51.7%)の順で高くなっている。「街路樹の整備・充実」は「独身期」(54.8%)が最も高く、「緑地・樹林地などの保全」は「高齢期」(40.2%)、「開発、建築計画の際の緑化指導」は「その他」(38.4%)、「小・中学校での緑化教育と実践活動」は「家族成長前期」(52.7%)、「公共施設の緑化の推進」は「独身期」(30.8%)が最も高い。



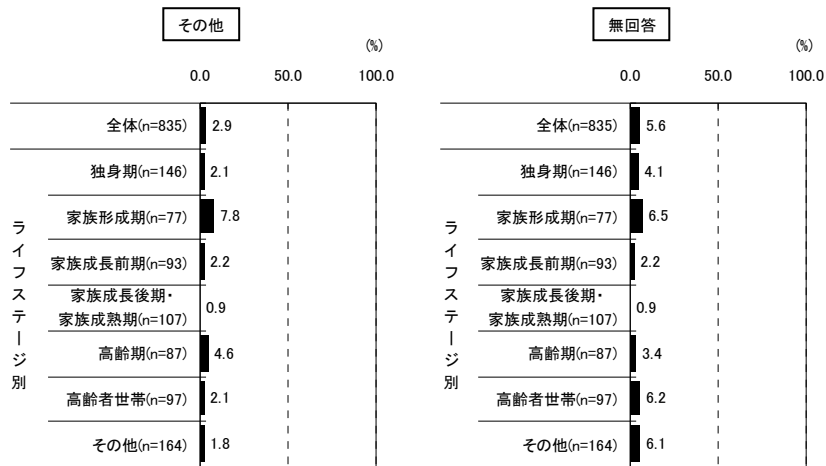


図 12-29 緑を守り育てていくために
府中市が力をいれるべきこと（ライフステージ別）

